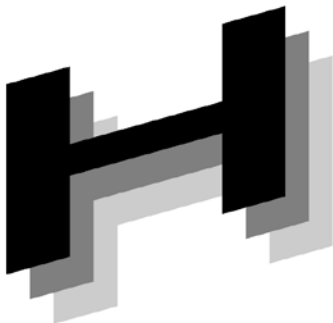




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

JAHIS

地域医療連携のための
IHE ITI 適用ガイド

2013年4月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

保健福祉システム部会 地域医療システム委員会

JAHIS 地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド

まえがき

現在、各地で地域医療連携情報システムの構築が進められているが、それらのシステムの構築において標準化を進める上で課題が多く、参照とすべき適切なガイドが望まれている。

JAHIS は、JAHIS 技術文書として 2009 年に以下の 2 点を発行している。

「09-101 地域医療情報連携システム 診療情報共有化のための IHE XDS 適用ガイド」

「09-102 地域医療情報連携システム 患者情報管理のための IHE PIX/PDQ 適用ガイド」

これらのガイドは限定された業務とスキームを前提とした地域医療連携情報システムに関するガイドであり、現在多くの地域で構築されている地域医療連携情報システムへの適用は難しく、部分的に参照されるにとどまっている。

また、ePHDS 委員会/日本 PACS 研究会作成、日本 IHE 協会編として「地域医療連携情報システム構築ハンドブック 2011」が示されている。当該文書は地域医療連携情報システムの構築を行う主体者（自治体や広域医療圏の協議会など）が計画を作成し、プロジェクトを推進していく上で、極めて有用なハンドブックである。

しかしながら、JAHIS 会員（ベンダー）の立場から見た場合、現在の多くの地域医療連携情報システムは自治体や協議会等によってスキーム（アクセス管理やネットワーク等）が既に定められており、JAHIS 会員が関与できる範囲は限られていることから、当該文書にしたがってシステムを構築することは困難な場合が多い。

他方、既に全国で多数の地域医療連携情報システムにおいて、標準規格を採用し構築がすすめられているが、今後、地域医療連携情報システム間の相互の接続がいつそう求められる事を考慮すると、標準化の適用範囲を拡大し、この要求に応えることが望まれている。

こうしたことから、本書は、最新の導入実態や最新の標準規格を踏まえて、前記 2 冊の JAHIS 技術文書を置き換え、システム構築を容易にすることを目指したものである。

なお、今日地域医療連携情報システムへの実装が期待される標準プロファイルを選択し、適用すべきアクタ及びトランザクションを整理したものである。したがって、本書の適用のみで該当プロファイルへの完全準拠を担保したものではないことにご留意願いたい。

また、日本 IHE 協会の「地域医療連携情報システム構築ハンドブック 2011」については、本書はそのサブセットについて具体的に解説していることになり、適宜当該ハンドブックを参照されることが望ましい。

今後、国内関係各位のご意見、ならびに各所での適用状況を踏まえ、診療情報共有を含む地域医療連携情報ネットワークの実装の成果を取り入れ、長期的に JAHIS 標準として育てていきたいと考えている。

2013 年 3 月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
保健福祉システム部会 地域医療システム委員会
医療福祉情報連携技術 WG（ワーキング）

地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド検討 SWG（サブワーキング）
地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド検討作業班

<< 告知事項 >>

本書は関連団体の所属の有無に関わらず、本書の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本書に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本書ならびに本書に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本書の作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本書についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

はじめに

平成 21 年度補正予算において地域における医療課題の解決を図るため交付された地域医療再生基金（地域医療再生臨時特例交付金）が二次医療圏を基本とする地域に割り当てられた。続く平成 22 年度補正予算による地域医療再生基金によって三次医療圏における広域な医療圏における課題解決のために交付された。

こうした広域における医療課題の解決の一つの手段として、地域に点在する複数の医療機関を含む医療福祉分野の IT を活用した連携への期待が高まり、全国各地で診療情報の共有を主とする地域医療連携情報システムの導入が検討され運用事例が急速に増加している。

こうした国内の状況を鑑み平成 23 年 9 月高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT 戦略本部） 専門調査会、医療情報化に関するタスクフォース「二次医療圏を超えた地域連携における標準的なアーキテクチャ作業部会」において、「二次医療圏を超えた地域連携ネットワーク」の検討が開始され、都道府県の間での情報連携を可能とする標準的なアーキテクチャや、標準規格や既存の取り組み事例の活用等について検討が開始されその結果が報告された。

報告書冒頭には以下の記述がある。「IT を活用した地域連携ネットワークが日本各地で構築されており、近年はオンラインによる構築例が顕著に増えている。それらの地域連携ネットワークのうち、その多くは 1 つの二次医療圏内の医療機関等で構成されている。しかし、実際の医療機関等の間での連携は二次医療圏に閉じないケースも多く、当初は二次医療圏で開始された地域連携ネットワーク同士が更に連携して広域な地域連携ネットワークを構築する事例も現れてきている。異なる地域連携ネットワーク同士が連携するにあたっては、連携を行う度に個別の連携方式を検討するといった無駄を省くためにも標準的な連携の在り方を決めておくことが極めて重要である。また、連携を行うに当たっては技術面だけではなく、地域連携ネットワーク毎の運営方法や組織の在り方の違い等、運営面でも多くの検討が必要となる。（以下略）」とある。

このようなことから、二次医療圏レベルの地域医療連携情報システムの存在を前提とした、相互接続について、標準規格を活用した具体的な検討が喫緊の課題と認識されガイド策定を検討するに至った。

本書は、厚生労働省における、地域診療情報連携推進事業や地域医療再生基金等に代表される各種補助事業等や諸施策について求められている、「保健医療情報分野の標準規格として認めるべき規格（厚生労働省標準規格）」に含まれる SS-MIX など各種標準規格類や、HL7 や DICOM など国際標準類に用いて、解決方法を定義し、実装を行うためのフレームワークである IHE を適用して、二次医療圏レベルの地域医療連携情報システムの相互接続を実現するためのガイドとして提供するものである。

ガイドでは、「IHE IT Infrastructure Technical Framework（以下、IHE ITI）」ドメインの統合プロファイルを地域における医療機関等の相互接続ニーズに応えることを目的として取り上げ、日本国内特有の制度や社会状況、また、各種ガイドランへの準拠を前提としたネットワーク環境などを考慮しとりまとめている。

本書は、JAHIS 会員各社の意見を集約し JAHIS 技術文書の一つとして発行したものである。従って、会員各社が本書を参考として、標準規格に基づいた医療機関等の相互接続を提供するシステムの開発や更新の手助けとなれば幸いである。

なお、本書を取り巻く環境は、制度や社会状況、関連する標準規格の制定などにあわせて常に変化するものであり、その時点で必ずしも適当ではない可能性もある。本書を策定した SWG および作業班としては、これら外部環境に合わせて継続的に検討を重ねて改定していく所存であるが、本書の利用者及び関係する団体の皆様におかれては、その点についてご留意頂くとともに、お気づきの点をフィードバックして頂けるとありがたい。

今後、本書を元に各地域医療連携情報ネットワークに IHE ITI の各種プロファイルが実装されることを望むとともに、こうした取り組みによる相互接続により医療情報全般に対する標準化の推進、患者の医療安全の向上、保健医療福祉サービスの向上に貢献できれば幸いである。

最後に本書は、会員各社に向け情報システム側から見た視点で多くの記載をしているが、導入にあたっては地域医療連携情報ネットワークの運営主体同士の管理者レベルのネゴシエーションが行われ様々な合意が行われることが前提となることを付記させていただく。本書を取りまとめるにあたり、ご教示ならびにご協力頂いた方々に心から感謝する。

2013 年 4 月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
保健福祉システム部会 地域医療システム委員会

目 次

第1章 本書の位置づけ.....	1
1.1 目的.....	1
1.2 適用範囲.....	1
1.2.1 地域医療連携情報システムの提供範囲.....	2
1.2.2 規格等の範囲.....	3
第2章 本書を適用するにあたって.....	6
2.1 地域医療連携情報ネットワークの導入の現況.....	6
2.2 地域医療連携情報ネットワークと地域医療連携情報システムの定義.....	6
2.2.1 ネットワーク構成.....	8
2.2.2 ID管理（患者ID管理）.....	9
2.2.3 データ管理（レジストリ、リポジトリ 構成）.....	13
2.2.4 アクセス権限管理.....	14
2.3 現況の課題についてまとめ.....	15
2.4 現況の課題とIHE-ITI適用による解決策（適用箇所〔範囲〕）.....	16
2.5 用語について.....	18
2.6 記号及び略語.....	20
第3章 本書の読み方.....	22
3.1 本書の構成.....	22
3.2 統合プロファイル適用ガイドの読み方.....	23
3.2.1 「X.1 概要」の記載内容.....	24
3.2.2 「X.2 適用方針」の記載内容.....	24
3.2.3 「X.3 トランザクション定義」の記載内容.....	24
3.2.3.1 HL7 V3 メッセージのトランザクション定義.....	25
3.2.3.2 ebXML メッセージのトランザクション定義.....	25
3.2.3.2.1 XDS メタデータ.....	26
3.2.3.2.1.1 XDS ドキュメントエントリ.....	28
3.2.3.2.1.2 XDS サブミッションセット.....	32
3.2.3.2.1.3 XDS フォルダ.....	33
3.2.3.2.1.4 文書間関係.....	34
3.2.4 「X.4 インターフェース定義」の記載内容.....	35
3.2.4.1 HL7 V3 メッセージを使用するトランザクションに対する要求事項.....	35
3.2.4.1.1 HL7 WS Basic Profile 制約.....	35
3.2.4.2 HL7 V3 メッセージを使用しないトランザクションに対する要求事項.....	36
3.2.4.2.1 命名規則と名前空間.....	36
3.2.4.2.2 メッセージ定義とポートタイプ定義.....	37
3.2.4.2.3 バインディング定義.....	38
3.2.4.2.4 アドレス指定.....	38
3.2.4.3 MTOM/XOP 仕様の文書添付方式.....	38
3.2.5 「X.5 メッセージ定義」の記載内容.....	40
第4章 患者ID相互参照管理方式（IHE PIX）.....	42
4.1 概要.....	42
4.2 適用方針.....	44
4.3 トランザクション定義.....	46
4.3.1 患者ID相互参照問合せ（HL7 V3版）[ITI-45].....	46
4.4 インターフェース定義.....	48
4.4.1 患者ID相互参照問合せ（HL7 V3版）[ITI-45].....	48

4.5	メッセージ定義	49
4.5.1	患者ID相互参照問合せ (HL7 V3版) [ITI-45]	49
4.5.1.1	患者ID照会メッセージ (Patient Registry Get Identifiers Query (PRPA_IN201309UV02))	50
4.5.1.2	患者ID照会応答メッセージ (Patient Registry Get Identifiers Response (PRPA_IN201310UV02))	60
4.6	その他実装上の考慮事項	75
4.6.1	PIXマネージャに期待されるアクション	75
第5章	患者基本情報問合せ方式 (IHE PDQ)	77
5.1	概要	77
5.2	適用方針	78
5.3	トランザクション定義	79
5.3.1	患者基本情報問合せ (HL7 V3版) [ITI-47]	79
5.4	インターフェース定義	81
5.4.1	患者基本情報問合せ (HL7 V3版) [ITI-47]	81
5.5	メッセージ定義	82
5.5.1	患者基本情報問合せ (HL7 V3版) [ITI-47]	82
5.5.1.1	患者基本情報照会メッセージ (Patient Registry Find Candidates Query (PRPA_IN201305UV02))	82
5.5.1.2	患者基本情報照会応答メッセージ (Patient Registry Find Candidates Query Response (PRPA_IN201306UV02))	90
5.6	その他実装上の考慮事項	100
5.6.1	患者基本情報サプライヤに期待されるアクション	100
第6章	施設間文書共有方式 (IHE XDS.b)	102
6.1	概要	102
6.2	適用方針	105
6.3	トランザクション定義	106
6.3.1	ストアドクエリ [ITI-18]	106
6.3.2	文書セットの読出し [ITI-43]	107
6.4	インターフェース定義	108
6.4.1	ストアドクエリ [ITI-18]	108
6.4.2	文書セットの読出し [ITI-43]	110
6.5	メッセージ定義	111
6.5.1	ストアドクエリメッセージ [ITI-18]	111
6.5.1.1	ストアドクエリ照会メッセージ (Registry Stored Query)	111
6.5.1.1.1	クエリパラメータの指定方法	112
6.5.1.1.2	クエリパラメータ	115
6.5.1.1.2.1	文書の検索クエリ (FindDocuments)	115
6.5.1.1.2.2	サブミッションセット検索クエリ (FindSubmissionSets)	116
6.5.1.1.2.3	フォルダ検索クエリ (FindFolders)	116
6.5.1.1.2.4	全内容取得クエリ (GetAll)	117
6.5.1.1.2.5	文書の取得クエリ (GetDocuments)	117
6.5.1.1.2.6	フォルダの取得クエリ (GetFolders)	118
6.5.1.1.2.7	関連の取得クエリ (GetAssociations)	118
6.5.1.1.2.8	文書と関連の取得クエリ (GetDocumentsAndAssociations)	119
6.5.1.1.2.9	サブミッションセットの取得クエリ (GetSubmissionSets)	120
6.5.1.1.2.10	サブミッションセットと内容の取得クエリ (GetSubmissionSetAndContents)	121
6.5.1.1.2.11	フォルダと内容の取得クエリ (GetFolderAndContents)	122
6.5.1.1.2.12	文書に関連するフォルダの取得クエリ (GetFoldersForDocument)	122
6.5.1.1.2.13	関連する文書の取得クエリ (GetRelatedDocuments)	123
6.5.1.1.3	ストアドクエリ照会メッセージのメッセージ定義	124
6.5.1.2	ストアドクエリ応答メッセージ (RegistryStoredQueryResponse)	125

6.5.2 文書セットの読出しメッセージ [ITI-48]	144
6.5.2.1 文書セットの読出し要求メッセージ (Retrieve Document Set)	144
6.5.2.2 文書セットの読出し要求応答メッセージ (Retrieve Document Set Response)	144
6.6 その他実装上の考慮事項	146
6.6.1 homeCommunityId の使用について	146
6.6.2 大量の検索結果の扱い	146
6.6.3 期待されるアクション	146
6.6.4 XDS におけるアクセス権について	148
第7章 コミュニティ間文書共有方式 (IHE XCA)	149
7.1 概要	149
7.2 適用方針	150
7.3 トランザクション定義	152
7.3.1 ゲートウェイ間問合せ [ITI-38]	152
7.3.2 ゲートウェイ間文書読出し [ITI-39]	153
7.4 インターフェース定義	153
7.4.1 ゲートウェイ間問合せ [ITI-38]	153
7.4.2 ゲートウェイ間文書読出し [ITI-39]	154
7.5 メッセージ定義	156
7.5.1 ゲートウェイ間問合せメッセージ [ITI-38]	156
7.5.1.1 homeCommunityId の使用について	156
7.5.1.2 ゲートウェイ間問合せメッセージ (Cross Gateway Query)	156
7.5.1.3 ゲートウェイ間問合せ応答メッセージ (Cross Gateway Query Response)	156
7.5.2 ゲートウェイ間文書読み出しメッセージ [ITI-39]	156
7.5.2.1 ゲートウェイ間文書読み出し要求メッセージ (Cross Gateway Retrieve Request)	156
7.5.2.2 ゲートウェイ間文書読み出し応答メッセージ (Cross Gateway Retrieve Response)	156
7.6 その他実装上の考慮事項	157
7.6.1 XCA における患者 ID 管理について	157
第8章 共通データ仕様	158
8.1 識別子	158
8.1.1 人が読解可能でない識別子	158
8.1.2 人が読解可能な識別子 (PIX マネージャによる患者 ID)	158
8.1.3 人が読解可能な識別子 (その他のアクタによる識別子)	159
8.2 氏名 (漢字・カナ・ローマ字)	159
8.3 単純名称	160
8.4 性別	160
8.5 生年月日	161
8.6 住所	161
8.7 電話番号	162
第9章 コード表	163
第10章 オブジェクト識別子 (OID) 一覧	175
第11章 引用規格・参考 URL・参考資料	176
11.1 引用規格	176
11.2 参考 URL	176
11.3 参考資料	177
付録1 WSDL	179
付録2 サンプルメッセージ	188
1. 患者 ID 照会メッセージ (PRPA_IN201309UV02)	188
2. 患者 ID 照会応答メッセージ (PRPA_IN201310UV02)	189
3. 患者基本情報照会メッセージ (PRPA_IN201305UV02)	192
4. 患者基本情報照会応答メッセージ (PRPA_IN201306UV02)	195

5. ストアドクエリメッセージ.....	200
6. ストアドクエリ応答メッセージ.....	201
7. ドキュメント読み出し要求メッセージ.....	205
8. ドキュメント読み出し要求応答メッセージ.....	206
付録3 作成者名簿.....	207

第1章 本書の位置づけ

1.1 目的

国内での地域医療連携情報ネットワークの事例が増える中、地域医療連携情報ネットワーク間(例：二次医療圏同士の接続等)における患者情報の共有の検討が進みつつある。

また、地域医療のニーズにおいても地域医療連携情報ネットワーク間で接続する可能性が増してきている。

現在、地域医療連携情報ネットワークは、単一ベンダーにより提供されていることが多く、ネットワーク間接続に於いて様々なニーズに応えるためには、各ベンダー間の連携が必要であり、連携を行うための仕様または方法が課題となっている。この課題に対する解決策として、患者にとって最適なケアをサポートするために、適切な医療情報の共有を目的として策定された、標準規格などの実装を定義したテクニカルフレームワーク IHE ITI の適用を検討する。

今後、各地で起こり得る地域医療連携情報ネットワーク間の接続に際し、こうした標準的なフレームワークの活用をガイドとして提供することにより、各ベンダー間接続の助け、日常診療圏や二次医療圏を跨る医療連携を具体的なものとした上で、地域医療資源の機能分化の促進や最適化などの各種メリットを地域の医療現場に提供する。このように患者が安心・安全な医療を享受することができる地域ぐるみの医療連携体制を支援することにより、医療従事者の偏在などへの寄与、ならびに医療、福祉分野に跨る多職種連携などに寄与することを目的とする。

本ガイドは以下の構成をとる。

- 1章 本ガイドの位置づけとして、地域医療連携情報システムに適用される各種標準規格を明確にする。
- 2章 国内の地域医療連携ネットワークの実態と国内特有の仕組みや、それに伴う運営主体や外部環境を含む課題などを提示することにより、実装に向け、まず適用を検討すべきプロファイルを示す。
- 3章 4章から7章で対象とする統合プロファイルの構成を解説する。
- 4章 PIXについて、地域医療連携ネットワーク間での適用方法を説明する。
- 5章 PDQについて、地域医療連携ネットワーク間での適用方法を説明する。
- 6章 XDS.bについて、地域医療連携ネットワーク間での適用方法を説明する。
- 7章 XCAについて、地域医療連携ネットワーク間での適用方法を説明する。
- 8章 共通的に使用するデータのXML仕様を説明する。
- 9章 本書で使用するコード表を記載する。
- 10章 本書で使用するオブジェクト識別子を記載する。

1.2 適用範囲

本ガイドの位置付けは、JAHIS で既に作成されている制定した標準・技術文書と相互連携をとりながら、各医療圏・地域で構築されている様々な地域医療連携システムに対して、各医療圏・地域を超えた医療情報を連携するための仕様または方法を記載する。

まえがきを補填するが、本ガイドにおいては、採用される標準規格、あるいは新たな環境変化に伴い随時改訂を行うものと位置づけており、必要に応じて JAHIS 技術標準に向けた今後の検討を継続していくものであるから、実装を検討されるベンダー各社においては、本ガイドの検討主体となった地域医療システム委員会、医療福祉情報連携技術WG、地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド検討SWG、同作業班に連絡をとり実装に向けた意見共有を行って頂きたい。こうしたベンダー各社の意見共有を経て、さらなるプロファイルの適用、ならびにガイドの改訂、JAHIS 技術標準に向けた検討に繋がりたいと考えている。その道筋を継続するための最初の版であることを明記する。

1.2.1 地域医療連携情報システムの提供範囲

地域医療連携情報システムが提供される地域は、三次医療圏、二次医療圏、複数の基礎自治体など多様性があり、将来は圏域のみならず、県域を超えた連携も想起される。ここでは本ガイド策定検討のきっかけとなったIT戦略本部「二次医療圏を超えた地域連携における標準的なアーキテクチャ作業部会」において検討された「二次医療圏を超えた地域連携ネットワーク」などを前提に「二次医療圏」を単位とした、地域医療連携情報システム同士の接続の類型について整理をする。以下に典型的な4つの類型を示す。これ以外の類型も存在することを付記する。

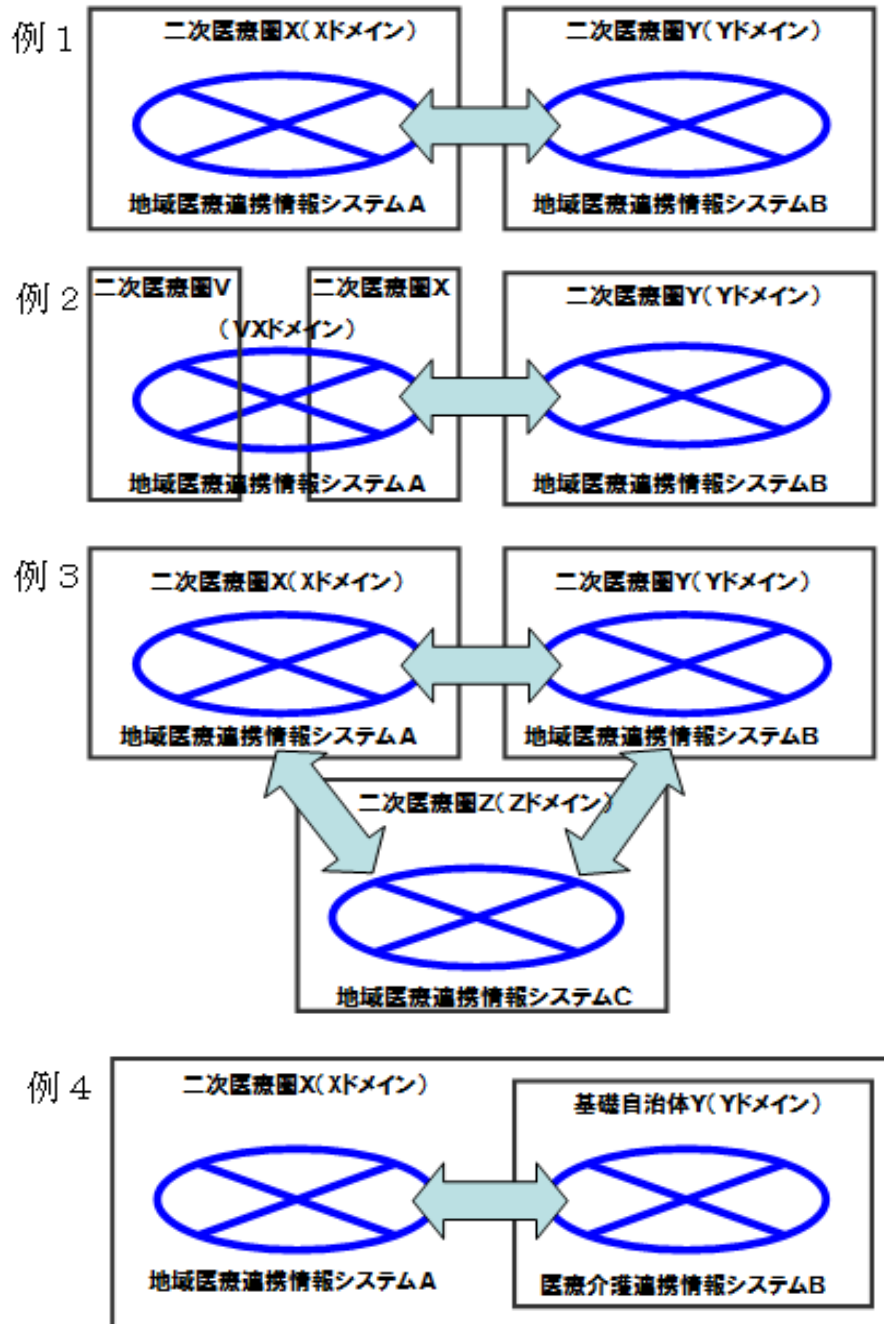


図 1.2.1-1 地域医療連携情報システム類型例

地域医療連携情報システムは各医療圏・地域で構築方法・構成やセキュリティ管理、通信回線等インフラの整備状況は多様性があり、それぞれに地域医療ネットワークを組織する団体の理念によって、その運用方法は異なる。従って、地域医療連携情報システム同士が相互接続する際に導出したユースケースに則り、技術面、運用面の検討の上、統合

プロフィールの適用、すなわち、アクタとトランザクションの使用方法を検討する必要がある。

1.2.2 規格等の範囲

二次医療圏同士でメッセージとして連携される情報内のコード、ボキャブラリ等については標準化されているものを採用する。標準化、規格化されていないフォーマット、コード等も存在するが、規格として一般的に流通している標準化規格等を参考にそれぞれに地域医療ネットワークを組織する団体と協議して取り決める必要がある。

以下に本書作成時点で、医療情報標準化指針として採択されているものを下記する。今後新たに採択される規格等に応じて本書は改訂を検討していくものである。

申請受付番号	提案規格名	提出団体
HS001	医薬品H0Tコードマスター	(財) 医療情報システム開発センター
HS005	ICD10対応標準病名マスター	(財) 医療情報システム開発センター
HS007	患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供)	日本HL7協会
HS008	診療情報提供書(電子紹介状)	日本HL7協会
HS009	IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用指針	日本医療情報学会
HS010	保健医療情報-医療波形フォーマット-第92001部:符号化規則	日本PACS研究会
HS011	医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)	(社) 日本画像医療システム工業会
HS012	JAHIS臨床検査データ交換規約	保健医療福祉情報システム工業会
HS013	標準歯科病名マスター	(財) 医療情報システム開発センター
HS014	臨床検査マスター	(財) 医療情報システム開発センター
HS016	JAHIS放射線データ交換規約	保健医療福祉情報システム工業会
HS017	HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携 指針(JJ1017指針)	(公社) 日本放射線技術学会

図 1.2.2-1 HELICS「医療情報標準化指針」一覧(制定済み)

同様に、以下に本書作成時点で、JAHIS 標準規格について採択されているものを下記する。前記同様に本書と関連する規格等が新たに採択された場合、改訂を検討していくものである。

登録NO	JAHIS標準名	制定年月
11-003	JAHIS病名データ交換規約 Ver2.0	2012年 3月
11-002	JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約Ver1.0	2012年 2月
11-001	JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドライン	
10-007	JAHIS放射線データ交換規約 Ver2.2	2011年 3月
10-006	JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約 Ver1.0	2011年 3月
10-005	JAHIS HPKI電子認証ガイドライン Ver. 1.0	2010年 7月
10-003	JAHIS注射データ交換規約 Ver. 1.0	2010年 6月
10-003	JAHIS注射データ交換規約 Ver. 1.0 正誤表001	2010年 7月
10-002	JAHIS HPKI対応ICカードガイドライン第2版	2010年 6月
10-001	JAHIS内視鏡データ交換規約 Ver. 2.0	2010年 5月
09-003	JAHIS ヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約	2010年 1月
09-002	JAHIS リモートサービスセキュリティガイドライン Ver. 2.0	2009年12月
09-001	JAHIS 保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドライン	
08-004	JAHIS放射線データ交換規約 Ver. 2.1	2008年11月
08-003	JAHIS内視鏡データ交換規約 Ver. 1.0	2008年 8月
08-002	JAHIS HPKI対応ICカードガイドライン	2008年 6月
08-001	JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver3.0	2008年 4月
07-005	JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格	2008年 3月
07-004	JAHIS病名情報データ交換規約 Ver. 1.0	2008年 3月
07-003	JAHIS処方データ交換規約 Ver. 2.0	2008年 3月
07-002	JAHIS生理検査データ交換規約 Ver. 1.0	2007年 8月
07-001	JAHIS 保存が義務付けられた診療録の電子保存ガイドライン	2007年 5月
06-003	JAHIS放射線データ交換規約 Ver. 2.0	2007年 2月
06-002	JAHIS ヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約	2006年12月
06-001	JAHISリモートサービスセキュリティガイドライン	2006年 6月
05-001	JAHIS放射線データ交換規約 Ver. 1.1	2005年 4月
03-002	JAHIS 介護メッセージ仕様	2003年10月
登録NO	JAHIS技術文書	制定年月
11-004	院外処方せん2次元シンボル記録条件規約 Ver1.0	2012年 3月
11-103	基本データセット適用ガイドラインVer2.1	2011年 7月
11-102	処方オーダーシステムに関する共通化仕様ガイドライン	2011年 6月
11-101	地域医療情報連携システム簡易なXML形式の診療データからのHL7CDA文書生成方式	2011年 4月
10-103	地域医療情報連携システムHL7CDAIによる地域連携パスの情報項目及び書式 脳卒中編 (「他疾患への展開ガイド」付)	2011年 3月
10-102	基本データセット適用ガイドライン Ver2.0	2011年 3月
10-101	医療情報システムの患者安全に関するリスクマネジメントガイドライン(解説編)	2010年 9月
09-103	地域医療情報連携システム 運用管理システムのサービス機能	2009年 4月
09-102	地域医療情報連携システム 患者情報管理のためのIHE PIX/PDQ 適用ガイド	2009年 4月
09-101	地域医療情報連携システム 診療情報共有化のためのIHE XDS 適用ガイド	2009年 4月
07-102	JAHIS基本データセット適用ガイドライン Ver1.0	2008年 3月
07-101	Arden Syntaxの調査	2007年 8月
04-102	地域包括ケア情報連携の業務フローモデル	2004年 3月
04-101	リモートサービスセキュリティガイド	2004年 3月
03-101	診療録等の電子保存ガイドライン	2003年11月

図 1. 2. 2-2 JAHIS 文書一覧 (制定済み)

尚、本書に関連する IHE における制定済みの JAHIS 技術文書は以下の 2 点である。

- 09-101 地域医療情報連携システム 診療情報共有化のための IHE XDS 適用ガイド
- 09-102 地域医療情報連携システム 患者情報管理のための IHE PIX/PDQ 適用ガイド

上記 2 文書は 2009 年に JAHIS 技術文書として定められているが、各種標準規格の版の更新や、前書きに記した国内にて急速に進展する地域医療連携情報システム導入の実態などを踏まえ、日本国内特有の制度や社会状況また、各種ガイドラインへの準拠を前提としたネットワーク環境など、国内の現況に則した適用を行うためにユースケースを元に適用に際しての課題を提示し、且つ今後 IHE ITI を地域医療連携情報システムの導入に際して、これに適用するための始点とされるべき新たなガイドを策定することとしたものである。

本書では、IHE ITI (Current Technical Framework - Revision 9.0 August 31, 2012) における 20 の統合プロファイルを対象として、日本国内における地域医療情報連携ネットワークの導入・運用状況などを踏まえ検討を行った。(アルファベット順)

Audit Trail and Node Authentication (ATNA) 監査証跡と機器認証
Basic Patient Privacy Consents (BPPC) 基礎的な患者プライバシー同意
Consistent Time (CT) 時刻同期
Cross-Community Access (XCA) コミュニティ間アクセス
Cross-Enterprise Document Media Interchange (XDM) 施設間文書メディア交換
Cross-Enterprise Document Reliable Interchange (XDR) 施設間信頼文書交換
Cross-Enterprise Document Sharing (XDS.b) 施設間の情報共有
Cross-Enterprise Sharing of Scanned Documents (XDS-SD) 施設間のスキャン文書共有
Cross-Enterprise User Assertion (XUA) 施設間ユーザアサーション
Enterprise User Authentication (EUA) 施設内ユーザ認証
Multi-Patient Queries (MPQ) 複数患者検索
Patient Administration Management (PAM) 個人情報・患者情報管理
Patient Demographics Query 患者基本情報等の問い合わせ
Patient Demographic Query HL7 V3 (PDQ V3) 患者基本情報の問い合わせ (HL7 V3 対応)
Patient Identifier Cross-Referencing (PIX) 患者 ID 相互参照
Patient Identifier Cross-Reference HL7 V3 (PIX V3) 患者 ID 相互参照 (HL7 V3 対応)
Patient Synchronized Applications (PSA) 患者選択の連動
Personnel White Pages (PWP) 医療機関職員録
Request Form Data Capture (RFD) データ出力のためのフォームデータ読み出し
Retrieve Information for Display (RID) 表示のための情報検索取得

IHE ITI については、IHE International において年度毎に見直され更新されているが、更新された内容については、その時の日本国内における制度や社会状況など諸事情を考慮した上で改訂し、改訂履歴を利用して管理していくものとする。

なお、画像等を扱う際に必要となる XDS-i、XCA-i などについては、地域医療連携実現の基盤として重要な技術と考えられるが、IHE ITI に含まれていないことから、今回の検討作業内で網羅するに至っていない。次回改訂の機会などに、画像系の識者からも協力を頂戴しつつ、ガイドへの取り込みを検討していく考えである。

また、各省庁にて策定されたガイドラインや JAHIS を初め、MEDIS-DC、JIRA 等の各諸団体にて検討され提起・提示されている標準規格、コード・文書、ガイドラインなどの改版によっても改訂を検討していくものである。

将来これを取りまとめ、地域医療連携情報システムを内包する医療福祉情報連携システム基盤が検討される際には、本書において整理された内容が内包される事を切望する。

第2章 本書を適用するにあたって

本章においては、現在導入が進む地域医療連携情報システムについて、ネットワーク構成、ID の管理、データベース構成（集中型、分散型、ハイブリッド型）、アクセス権限管理などの視点で整理し、IHE ITI の適用するにあたって課題などを地域医療連携情報システムに関わるインフラ環境や運営体制などの面で改めて認識することにより、本旨である地域医療連携情報ネットワーク同士の接続において適用が期待できるプロファイルについて検討する。

2.1 地域医療連携情報ネットワークの導入の現況

地域医療連携情報システムは、経済産業省による H12 年度補正予算「先進的情報技術活用型医療機関等ネットワーク化推進事業」（通称・電子カルテの共有モデル事業）事業を皮切りに、同経済産業省による地域医療情報連携システムの標準化及び実証や、総務省による地域 ICT 利活用モデルなどの多数の施策の中で、全国に地域医療連携情報システムが実証的に導入されたきた経緯がある。こうした黎明期あるいは導入期の状態から現在、成長期の段階に入っているとと思われる。

この間、厚生労働省により「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」が策定され、セキュアなネットワークを介した接続が可能となり、実証段階から利活用の段階に進んできた。また同様に他の省庁による関連するガイドラインの策定などによって、これらに準拠することによりクラウド型（ASP あるいは SaaS 型）を取る地域医療連携システムなどが生まれてきている。公的医療機関などの原本保存におけるルールに沿うべく、分散型の地域医療連携情報システムの導入が進んだが、これに加えて集中型の地域医療連携情報システムなども生まれつつある。

これら幾つかの仕組みが構築され、今日地域医療再生基金により全国各所で地域医療における課題解決のため地域医療連携情報システムの導入が進む機運となっている。

このように地域医療連携情報システムは、その時々々の予算施策、また医療制度（新医師臨床研修制度の導入による医局の機能低下と地域医療の崩壊）など制度的背景や各種ガイドラインの施行や改版など、新たな規格化（SS-MIX 標準化ストレージ）の流れと浸透など、複数の要因が絡み合いながら地域医療連携情報システムの進化、発展が進んできていると言える。

今般、ガイドの策定に入った理由も、こうした環境変化が目前に迫り二次医療圏同士の接続など、将来顕著になるであろう相互接続について標準化を枠組みの適用を考えるとところである。事実患者の前には医療圏という垣根は無い。早晩実現が必要になるであろう。

2.2 地域医療連携情報ネットワークと地域医療連携情報システムの定義

元来「地域医療連携ネットワーク」とは、地域の医療資源の実情などに応じて、地域に散在する各医療の機関等の役割を明確化させることによって機能分化を進め、これにより円滑な病/病連携、病/診連携を実現し「地域完結型の医療」を提供することを目的とした取り組みといえる。今日では介護との連携などの必要性から医療機関のみならず介護に関連する各機関との連携などが加わる医療介護連携なども進みつつある。

こうした、地域ぐるみのネットワークは、地域に散在する各機関の医療および介護分野に従事する人と人のネットワークで構成されるものであり、IT が必ずしも前提となるものではない。「地域医療連携ネットワーク」とは人と人とのつながりなどをを含む例も多い。

一方で「地域医療連携情報システム」は、こうした人のネットワークを IT が支援する仕組みとしてはじめて存在する。この視点がシステムに反映させる上で大変重要になってくると言える。

つまり、各機関を結ぶ人によるやわらかな結びつきが前提として存在するため、そのつながりを支援するために導入される「地域医療連携情報システム」は、その地域の集合体（協議会等組織）が持つ考え方（ポリシー）に依存して運用が変わることも多い。それが導入される「地域医療連携情報システム」の個性に繋がるケースが多く、医師等の要望により実装される様々な機能と合わせて多種多様な形態を生み出すことになる。

以降、このガイドでは、人のネットワークそのものも取れる「地域医療連携ネットワーク」ではなく、システムそのものを指す「地域医療連携情報システム」でもなく、IT のみならず、その多様性ゆえ多くの課題をもち、人のネットワークを内包する「地域医療連携情報ネットワーク」同士を接続する観点でこの言葉を使う。

改めて整理すると「地域医療連携情報ネットワーク」の相互接続は、システムの構成の差異を標準規格を以て吸収するだけでなく、双方のポリシーの摺り合わせなども必要となってくることについて大いに留意する必要があると言える。

このガイドでは、1.2.1「地域医療連携情報システムの提供範囲」の提供範囲に4つの類型を例示しているが、図 1.2.1-1にあるとおり、三次医療圏（都道府県）、二次医療圏、市町村を問わず、1つの運営主体によるルールによって、個人ID管理、情報共有管理、利用者・施設管理、アクセス制御管理等の機能をが提供する1形態を「地域医療連携情報ネットワーク」の1単位とし、これに対応したドメインと位置づけたい。

なお、地域医療連携情報ネットワークの構成としては、情報提供する病院、情報参照する診療所という機能差がある。、今日では、薬局や介護・福祉機関からも情報参照できるネットワークを構築する傾向があるが、その特性に関わらずひとつのドメインとして捉え、この異なる2つのドメイン（地域医療連携情報ネットワーク）同士の相互接続を検討する。

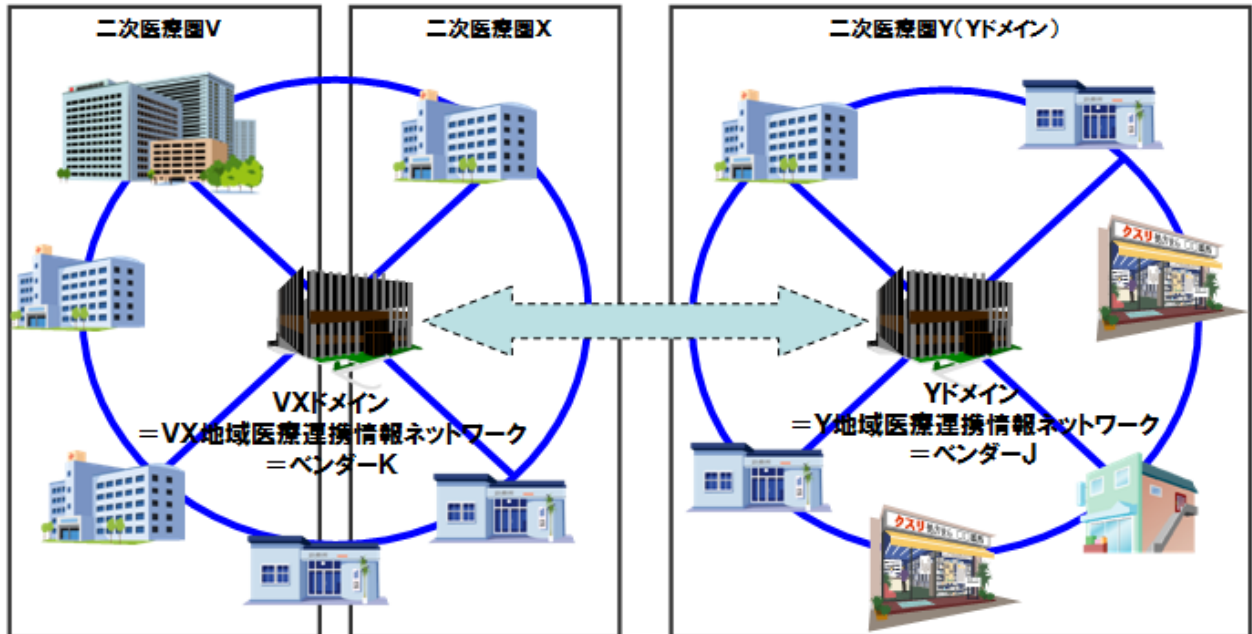


図 2.2-1 2つの地域医療連携情報ネットワークとドメインの考え方

1つの地域医療連携情報ネットワークでは、運営主体のセキュリティ方針に準じて、ネットワーク事業者が各施設間を接続するためにG/Wサーバとデータセンター（データベース）間を接続、またIP-SEC+IKEなどを応用したインターネット経由で診療所のPCとの間にセキュアなネットワークを構築し、1つの地域医療連携システムが導入され運用管理されている。それらの概要は、図 2.2-2の構成を構築している。

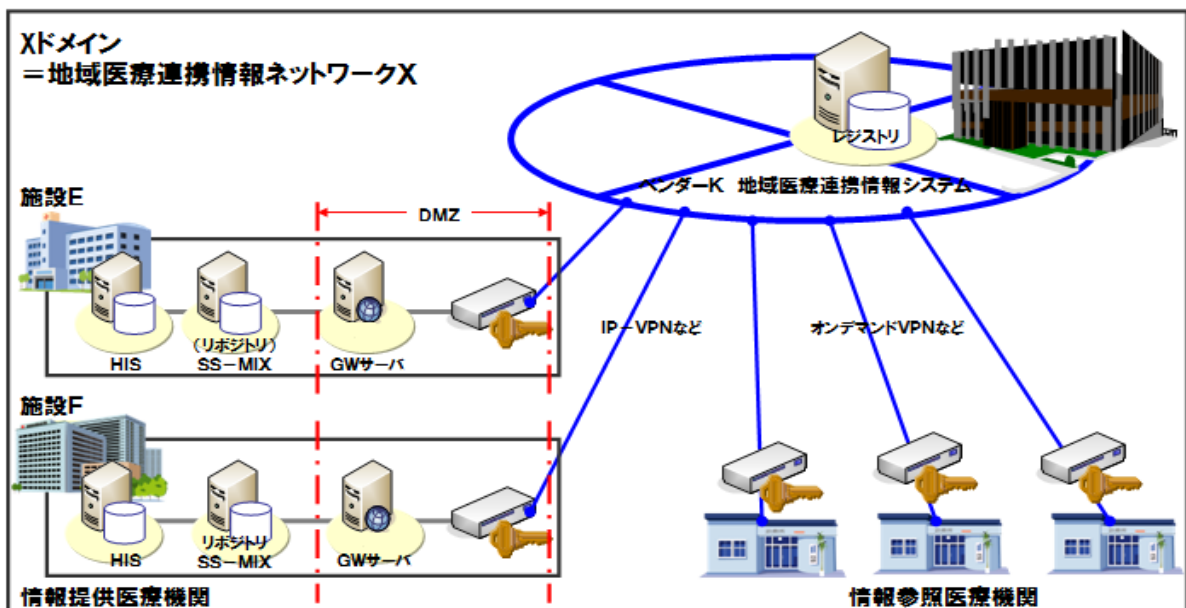


図 2.2-2 地域医療ネットワーク構成

2.2.1 ネットワーク構成

単一ドメインの地域医療連携情報ネットワークとドメイン同士の接続構成としては、概ね以下の通りとなる。

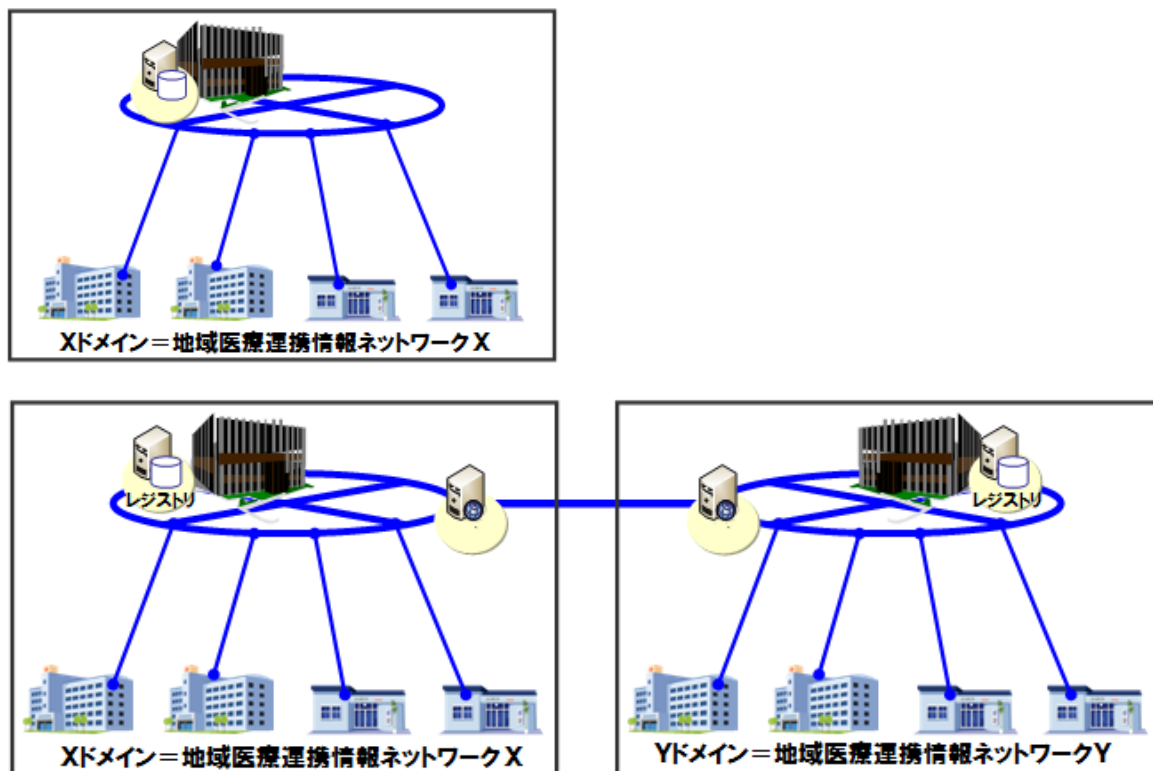


図 2.2.1-1 ネットワーク基本構成パターン

何れのネットワーク構成においても G/W を経由して連携する。また、各ノード間の物理接続に関してもルータ、ハブ等のネットワークデバイスが介在し、各ノード間のエッジについてもキャリア経由での IP-VPN を採用する例や、オンデマンド VPN などを活用している。なお「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」などセキュリティへの配慮のため IP-VPN やインターネット網に IP-SEC+IKE を活用したオンデマンド VPN 網などを採用しているが、回線を提供するキャリア間、また回線およびサービス提供企業間で相互乗り入れが不可能な場合があり、相互接続の際の接続形態について限定的な手法をとる必要が生じている。このため IHE ITI におけるプロファイルの採用についてドメイン間を接続する際には回線の種類について留意が必要となる。なお単一ドメイン内において単一の回線ないし回線サービスで接続される地域医療連携情報ネットワークの場合その限りではない。

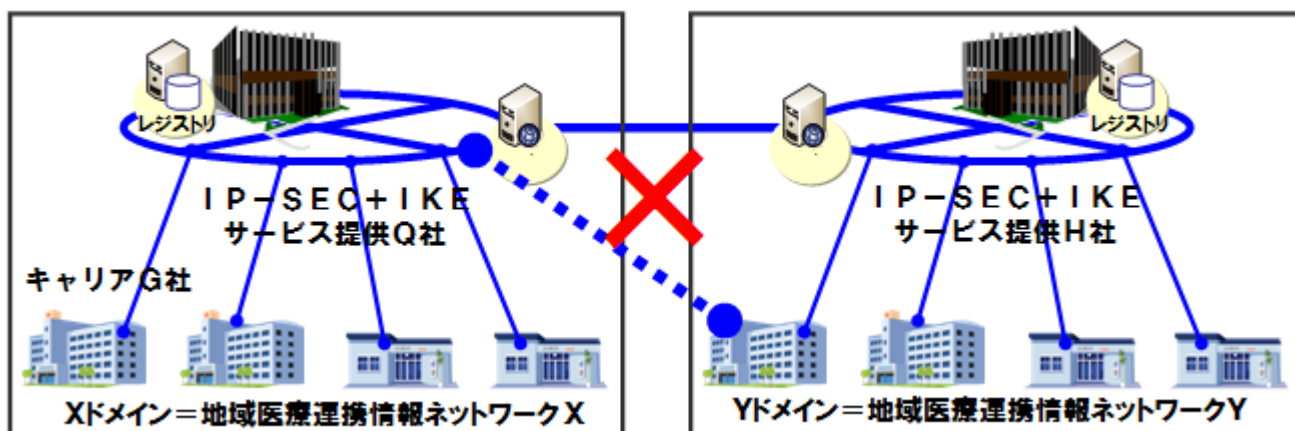


図 2.2.1-2 不可能なネットワークキャリアの相互接続

上記は、XおよびYドメインの地域医療連携ネットワークの運営組織等が持つポリシーに基づいたそれぞれのトラストネットワークの相互接続における合意について考慮されていない。またこの章の後ろの項題で論述するが、それぞれのID紐付け、それぞれのアクセス権の付与の仕方、データベースを考慮に入れていない。こうした諸問題について、ネットワークのキャリアやサービス主体により相互接続が制限されるという面とは別に運営主体同士のネゴシエーションなど合意の形成に向けた考慮が必要となる。

相互乗り入れの可否が、3章以降で説明するXDSなどプロファイルの実装の範囲などにダイレクトに影響を与える点を考慮して、適用ガイドを策定している。

なお、米国等におけるインターネットを活用した相互接続が行われている環境下においては、こうした制限を受けることは無いことについて付記しておく。

2.2.2 ID管理（患者ID管理）

地域医療連携情報ネットワークにおけるID管理については、以下の点について検討をすることが必要であると考える。患者の同意の方法や、IDの紐付けの方法、また同意の撤回への備え、さらに社会制度を背景にした将来のID管理の在り方についても事前に検討しておく必要がある。

これらについては、地域の特性などを考慮し、地域医療連携情報ネットワークの運営主体において適切な方法を選択するのが望ましいといえ、いずれが正しいといえるものでない。ベンダーとしてはITシステム以前にこうした運営主体ベースの理念によりID管理の手法が異なるという背景があり、これを容れたシステムの導入が必要となるということを留意しておくべきである。

ここでは、理解を深めるために同意の範囲などについて下段に例示する。地域医療連携情報ネットワークで同意を得る範囲について、ここでは3種類例示する。

1. 包括同意
医師会や協議会等の団体にて同意を取り、団体に属している機関であれば参照できる仕組み
2. 個別同意
医療機関単位、診療科単位、医師単位など、いずれかの単位で個別に同意を取り、機関で参照できる仕組み
3. 包括・個別同意
医師会や協議会等の団体にて同意を取ることを前提とするが、必要に応じ医療機関ごと個別同意が必要な仕組み

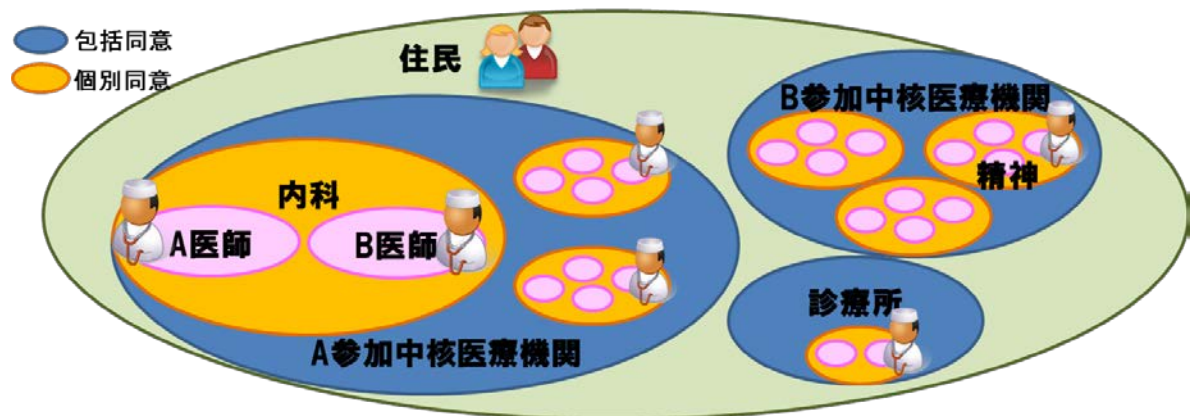


図 2.2.2-1 同意の範囲例

同意の取得方法についても地域医療連携情報ネットワークによる異なる方法がとられるケースがある。これについて以下に2種類の方法を例示する。

1. オプトイン

医療機関単位、診療科単位、医師単位など、いずれかの単位で個別に同意をとる（個別同意で使用）

2. オプトアウト

院内等で掲示し、前提として同意をとることとする方法。参加の意思のない宣言を患者が行うことで参照できない制限をかける

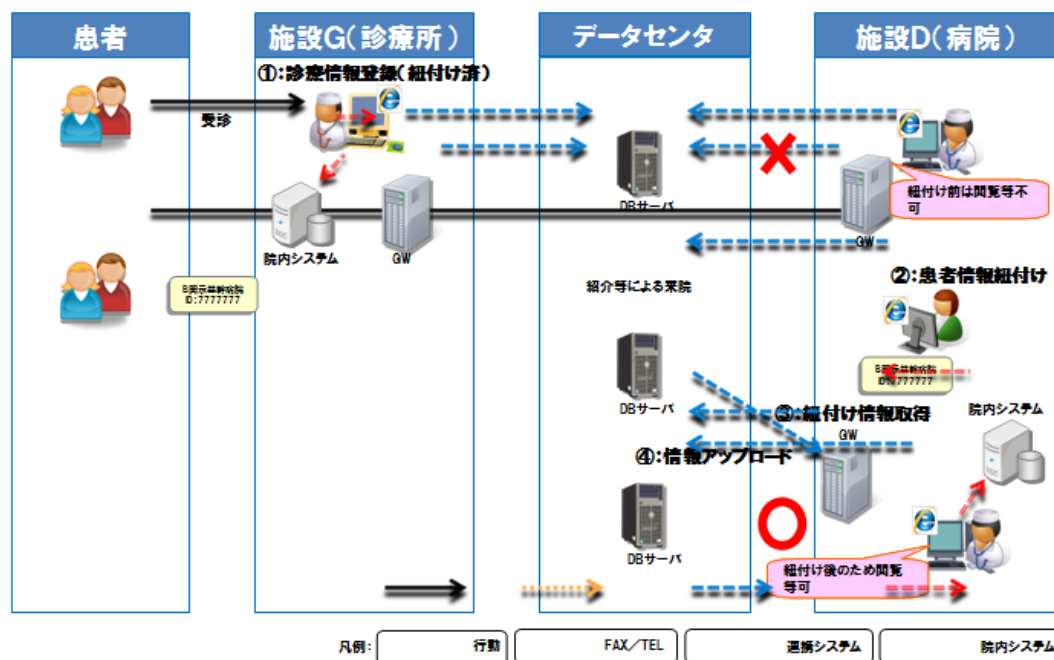


図 2.2.2-2 同意の取得方法（オプトインの例）

上記2要素を組み合わせることにより、その地域にあった同意方法が確立されている。

なお、運営主体の個人情報保護に対する考え方などがシステム設計や運用フローに影響を与える場合があり、患者同意の取得について、ベンダーからの提案以前に意識合わせが行われるケースもあり、ベンダーからの提案や他地域で実績のある運用をそのまま導入できない場合があることにも留意したい。

IDの紐付け方法について、地域医療連携情報ネットワークにおけるID管理の現場においては人為的な作業を含むケースが極めて多い。これは機械的な紐付けにより、万一誤った患者同士の紐付けがされた場合、医療過誤などの危険が生じるからである。そのため、多くの場合、医療従事者の手を煩わせることになる。

IDを紐付ける際の一般的な業務フローについて説明する。IDの紐づけ（名寄せ）が最初になされるのは、情報閲覧を依頼する医療機関の医師が、他医療機関で診療を受けた患者の情報を閲覧する際である。患者から同意書を取得後、情報を提供する医療機関側にFAXまたはネットワークを介して情報の閲覧許可を依頼する。情報を提供する医療機関側としては、医療機関の地域医療連携室または地域医療協議会の事務局等で依頼内容と同意書を確認し、依頼医師のユーザ登録有無を確認の上、患者のIDの紐付け（名寄せ）を行い、情報の閲覧許可を設定する。IDの紐付け（名寄せ）は、病院ID+患者IDを元に行われるケースが多い。

こうした運用上の実態についてもベンダー本位に決定できる範囲に無い場合が多く、運営主体との協議などにより決定されることに留意したい。先の同意の方法などと同様にシステム等の設計など反映されるべき要件となる。

ある患者が診療連携に参加している3つの医療機関を受診している場合の考え方について以下に例示する。

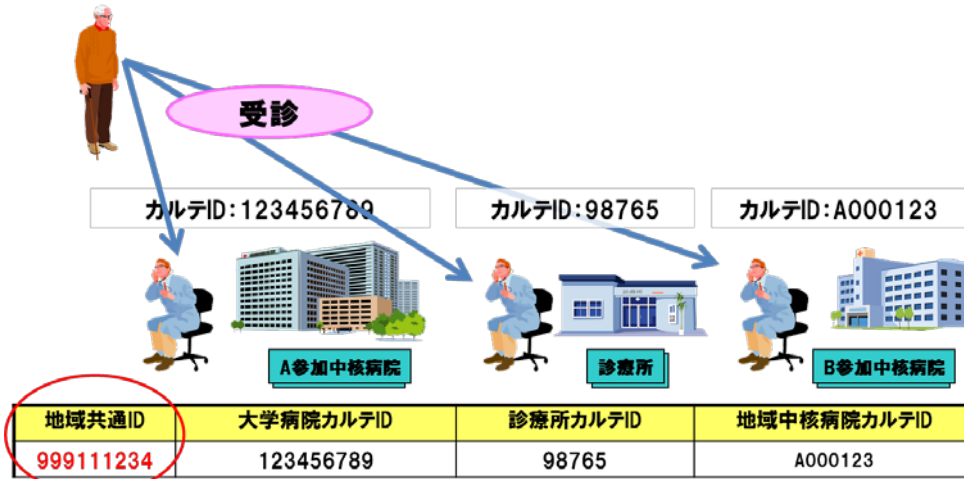


図 2. 2. 2-3 共通 ID の考え方

なお、ユーザIDの管理については、事前にドメイン内の医療従事者を職種別に初期時にまとめて登録し、異動、追加は都度行われることが多い。医師の異動などを考慮した検討も必要となる。

一方、IDの紐付けを配布するかかりつけ医カード（地域診察券）を発行し、これに各医療機関の紐付けをしていくという方法もある。下段に簡単なフローを参考提示する。

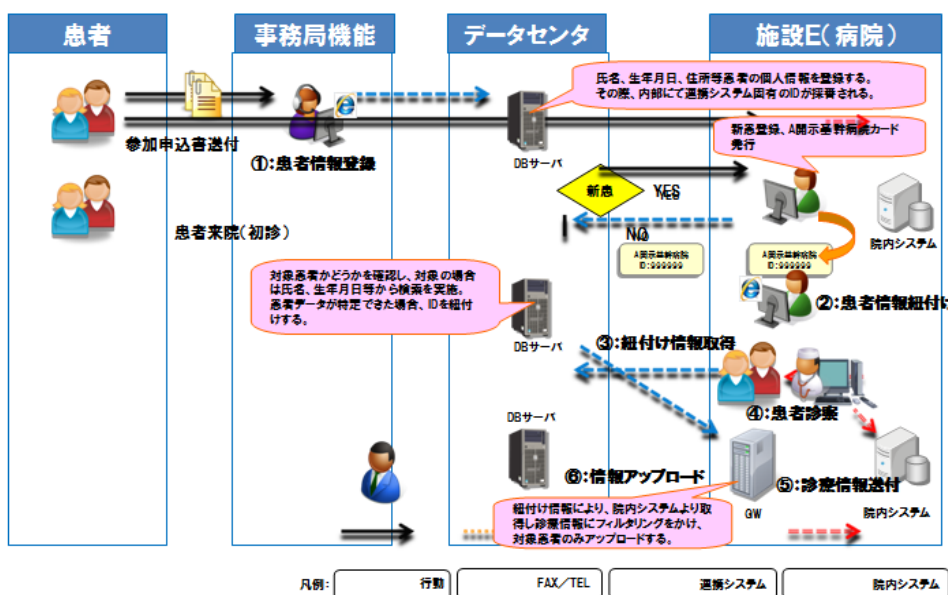


図 2. 2. 2-4 同意の取得方法（ID紐付けの例）

同意における例外処理として同意撤回の方法についても例示する。

前記までの方法を用いて同意を得て集めた情報は、患者の撤回意思表示後、速やかに参照不可の状態にする必要があり、その手順等も事前に検討するのが望ましい。図 2.2.2-5 は、同意方法を組織により管理している場合と、各施設において管理している場合を示す。こうした例外処理について見過ごされがちであるが、地域医療連携の現場においては通常生じるオペレーションとなる。こうした点についても予め留意しておくことが肝要である。

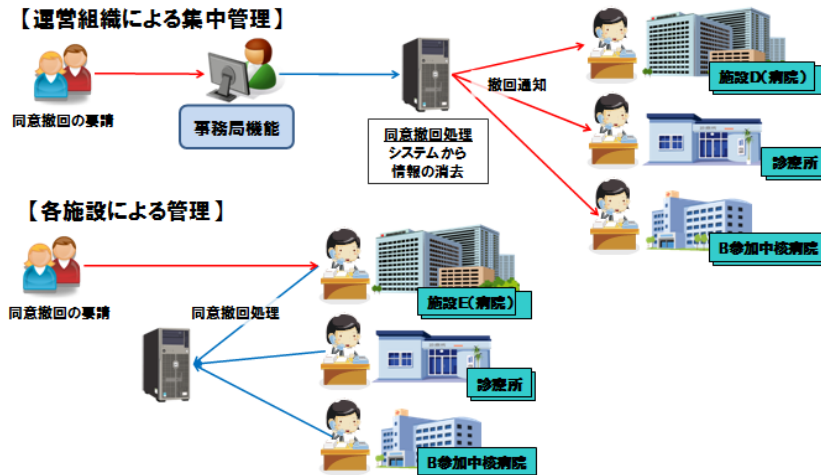


図 2.2.2-5 同意の撤回方法

以上のように、ID の管理、紐付けなどの方法などについても、管理する方法がその地域の議論の経過から多様性を持つに至ることを例示した。今後の ID 管理の在り方として、こうしたポリシーの問題をどのように整理していくかも地域医療連携情報ネットワーク同士の相互接続を行う上で重要となる。

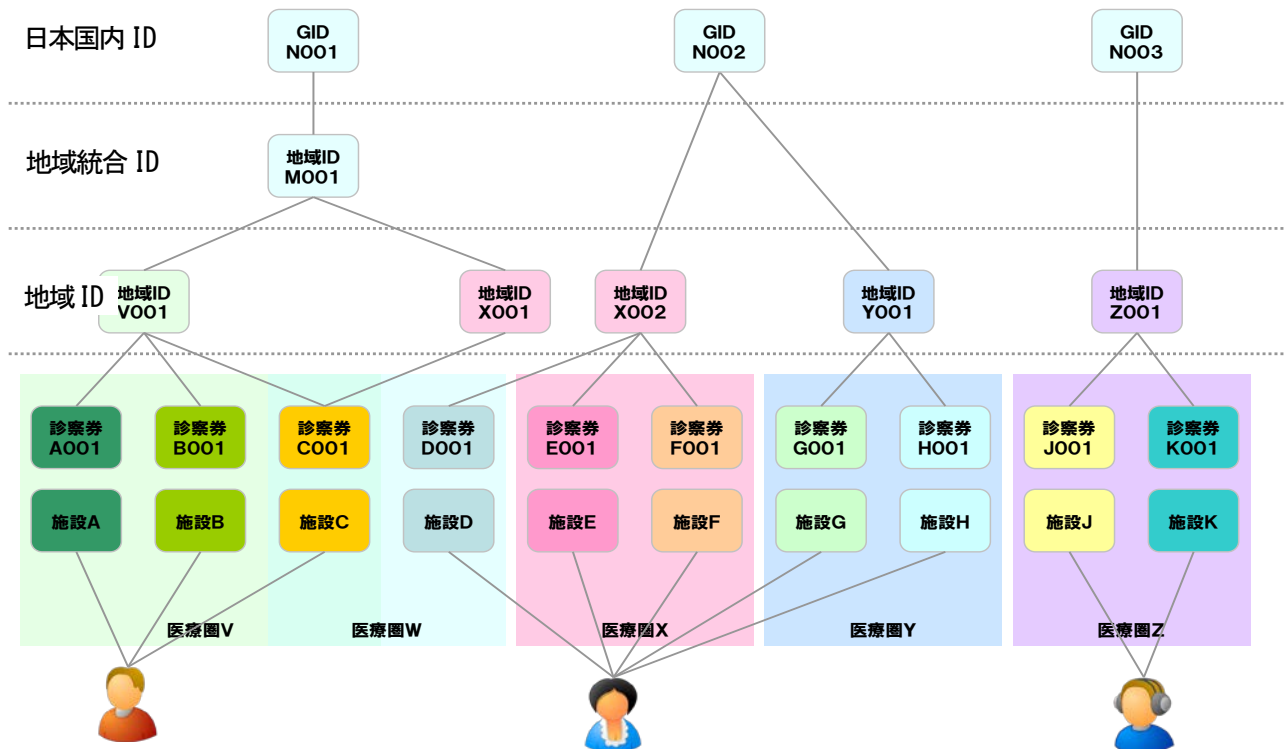


図 2.2.2-6 ID 管理の形態

IDの管理の形態について、地域医療連携情報ネットワーク同士、ドメイン同士の接続を前提としたIDの管理形態のイメージは図 2.2.2-6の通りである。各医療圏またはドメイン内でIDを管理しているケースと各医療圏またはドメインを跨いでIDを管理しているケースがある。例えば医療圏Xと医療圏Wを跨いで管理している地域IDがあり、施設Cは医療圏Vの地域連携システムにも参画しておりそれに管理している地域IDも採番されている。地域IDV001と地域IDX001を統合するためには、その上の地域IDM001で管理するか、地域IDX001または地域IDV001で突き合わせて管理する必要がある。

こうした地域間の接続をキーとしてより広域の接続を想定に入れた場合、PIX統合プロファイルを適用するにあたっては、地域統合のIDの存在や、なんらかの日本国内IDの管理主体などについて公的組織が受け皿になるなど検討が必要となる可能性も想起される。

2.2.3 データ管理（レジストリ、リポジトリ 構成）

データ管理に関しては、各所における運用ポリシーとりわけ公的病院等における院内ポリシーなどに依存する分散型のほか、迅速なレスポンスへの期待、また今日震災など災害対策を前提としたディザスタリカバリなど要望により、以下のような3つの形態に整理されると思われる。

XDS 統合プロファイルでは、レジストリ、リポジトリ、ソースの物理的なロケーションを定めていない。所属する二次医療圏のドメイン内に置くことも可能であり、一方で異なるドメインに設置されていても問題は無い。

しかし前述したとおり、国内には医療機関ごとに多くの個人情報保護のポリシーに様々な種類があり統一されていない。そのため域内で接続可能な医療機関のうちもっとも高いレベルに合わせて、分散管理方式を取るケースや、その一方で、近年、前述した通り災害対策のため集中型を検討する例もある。このように地域医療連携情報ネットワークが取り入れている形態については二次医療圏同士が異なった方式を取っている場合があり、この点も適応を行う際の留意点となる。

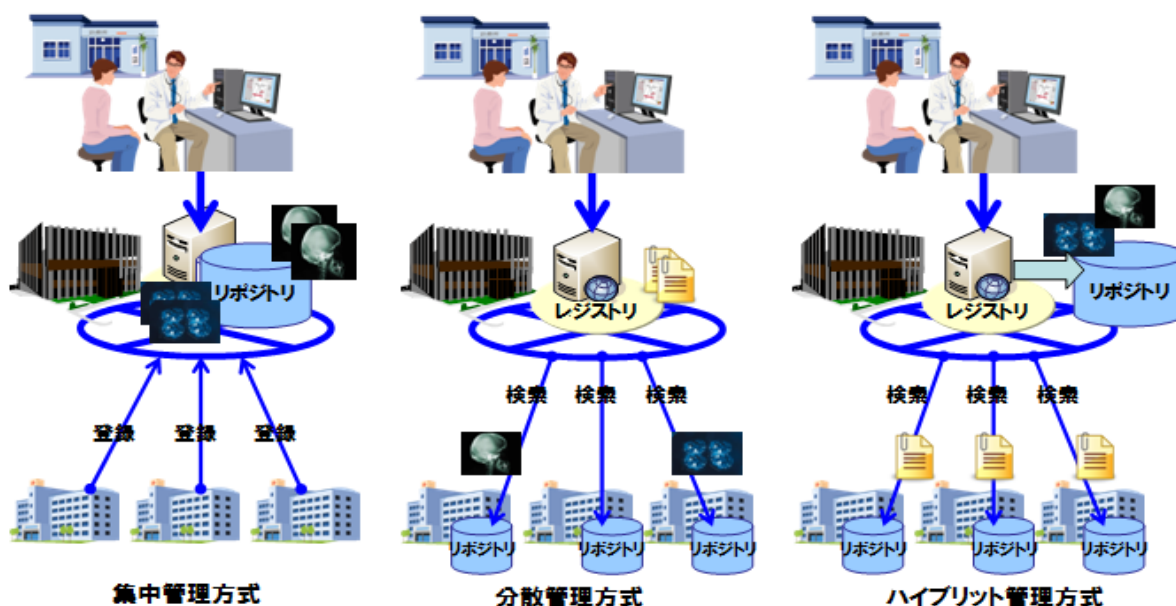


図 2.2.3-1 データ管理の3つの形態

日本国内においては、医療機関の HIS・PACS からデータを取得する際に、診療情報を蓄積するストレージの標準規格として SS-MIX 標準化ストレージ (SS-MIX2 含む、以降 SS-MIX とする) があり、施設内の診療情報を公開するために利活用する動きが急速に広がりを見せている。この場合、SS-MIX を設置し、データセンターのレジストリから、ゲートウェイを介してアクセスするケースが多い。下図は、データの流れの一例である。SS-MIX と XDS 統合プロファイルの関係については、2章で適用が期待されるプロファイルを整理した上での後の章で触れる。

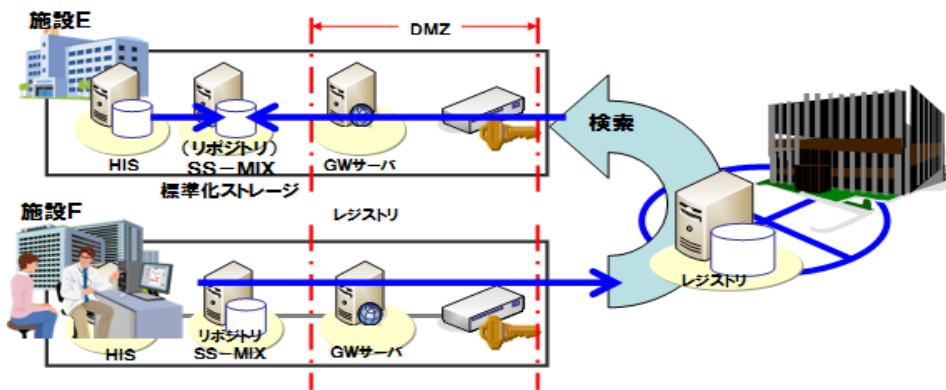


図 2. 2. 3-2 SS-MIX をリポジトリとした際のデータの流れ

2. 2. 4 アクセス権限管理

アクセス権限管理は、地域医療連携ネットワークの運営主体のポリシーにより異なる。地域医療連携情報システムによって、診療文書種別毎に参照権限を付与できるシステムとできないシステムなどが混在していると思われる。一方で、地域医療連携の分野に医療と介護の連携などの要求から多職種による地域包括ケアを理念として取り入れるケースが増えており、職種により縛られる法制度が異なることや、専門性などの観点から診療に関わる各種文書など毎や診療科ごとにアクセス権を設定する要望は今日増加する傾向にあり無視することができない喫緊の課題である。

こうした状況を考慮に入れアクセス権の管理を行う場合、権限設定されたまたは全ての診療情報をドキュメントとして定義し、参照できるか否かのアクセス権限の付与は、医療機関コードと職種コードをメッセージに含めることで制御できるものとして整理し、提供元でアクセス権限の管理を行うことが適当だと思われる。

具体的には、各問合せメッセージの ControlActProcess Query Wrapper に、問合せ実施者情報として、問合せ元の医療機関、及び、職種を示す。問合せに対して情報を応答する PIX Manager や PDQ Supplier といったアクタは、この情報を利用して、それぞれの問合せに対して、応答を返してよいかどうかを判断する仕組みなど検討を行う必要がある。

以上のとおり、隣接するドメイン、それぞれの二次医療圏同士に導入されている地域医療連携情報ネットワーク同士で異なるアクセス管理をしている可能性があることに十分な留意をするべきである。

なお所属する医療機関は、表 2. 2. 4-1 に示す医療機関番号により指定する。医療機関コードを持たない機関の場合、「9」+発番時に使用している電話番号の下9桁」を代用する。

表 2. 2. 4-1 医療機関番号の付番方法

1	都道府県番号。JIS X0401。	2桁
2	機関区分コード。「1」：医科、「3」：歯科、「4」：調剤	1桁
3	機関コード。保健機関コード。チェックデジット1桁を含む。	7桁

職種については、現状では医療従事者の職種を表現する適切なコード体系が存在しないため、本書では利用可能なコードととして ISO17090 で定義された hcRole の資格名を元にした表 2. 2. 4-2 に示す職種コードを一例として示す。hcRole は保健医療福祉分野の国家資格と医療機関等の管理者の資格を表現するものであり、例えば、准看護師や研修医といった職種は含まれていないことに留意する。これらの職種を使用する必要がある場合には、各ドメイン、及び、ドメイン間で適切なコードを定め運用する必要がある。

表 2.2.4-2 職種コード

	コード	表示名
1	MedicalDoctor	医師
2	Dentist	歯科医師
3	Pharmacist	薬剤師
4	MedicalTechnologis	臨床検査技師
5	RadiologicalTechnologist	診療放射線技師
6	GeneralNurse	看護師
7	PublicHealthNurse	保健師
8	MIDwife	助産師
9	PhysicalTherapist	理学療法士
10	OccupationalTherapist	作業療法士
11	Orthoptist	視能訓練士
12	SpeechTherapist	言語聴覚士
13	DentalTechnician	歯科技工士
14	NationalRegisteredDietitian	管理栄養士
15	CertifiedSocialWorker	社会福祉士
16	CertifiedCareWorker	介護福祉士
17	EmergencyMedicalTechnician	救急救命士
18	PsychiatricSocialWorker	精神保健福祉士
19	ClinicalEngineer	臨床工学技士
20	Masseur	あん摩マッサージ指圧師／はり師／きゅう師
21	DentalHygienist	歯科衛生士
22	ProstheticsAndOrthctic	義肢装具士
23	ArtificialLimbFitter	柔道整復師
24	ClinicalLaboratoryTechnician	衛生検査技師
25	CareManager	介護支援専門員
26	DirectorOfHospital	病院長
27	DirectorOfClinic	診療所院長
28	DirectorOfPharmacy	保険薬局の管理責任者
29	Director	その他の保健医療福祉機関の管理責任者

2.3 現況の課題についてまとめ

前項までに既存の地域医療連携情報ネットワークの現況について確認し課題について確認した。解決に向け必要なプロファイルを選択する前にそれぞれの問題点について整理する。

ネットワークの視点

- ・各ドメインにおいて、異なるキャリアでクローズドなネットワーク 環境を構築している際、接続するにあたり、各キャリアおよび回線サービス間で相互接続可能が不可能な場合を留意した検討が必要となる点
- ・各ドメイン間の接続における責任分界点の明確化と運用ルールの制定が必要となる点
- ・各ドメイン間のセキュリティポリシーの擦り合わせと物理的なセキュリティ方式の統合が必要となる点
- ・接続した際のネットワーク運用ルールの制定が必要となる点

ID 管理の視点

- ・PIX マネージャの運用管理する組織（コスト負担）について検討が必要となる点
- ・ドキュメント共有に対する患者の同意ルール（包括同意、個別同意など）の擦り合わせが必要となる点
- ・提供元機関における患者 ID の突き合わせ作業の実施組織等について検討が必要となる点

データ管理の視点

- ・アクタがドキュメントレジストリ、ドキュメントリポジトリにアクセスするためのセキュアなネットワークの構築を必要とする点
- ・ドキュメントレジストリの運用管理する組織（コスト負担）について検討が必要な点
- ・ドキュメントソースをドキュメントリポジトリ経由でドキュメントレジストリに登録するための各ドメインにおいて改修が必要となる点
- ・送受信されるメッセージ（ドキュメント）内のコード、ボキャブラリの整合性などが必要となる点

アクセス権限管理視点

- ・提供元機関におけるアクセス権限設定作業負荷に対する検討が必要となる点（ドキュメント単位とすべきか患者単位とすべきかなど）
- ・各ドメイン毎で異なるアクセス権限設定について、相互に交換する方法やルールの検討などが必要となる点

以上の通りプロファイルの適用を検討する前提となる各種課題などを整理する。

2.4 現況の課題と IHE-ITI 適用による解決策（適用箇所 [範囲]）

以上の整理を経て本書においては、先ず制定されている IHE ITI TF の統合プロファイルの中から、地域医療連携に関わる検討対象を抽出し、本書で解説対象とする統合プロファイルを、下記の4つとした。PIX/PDQ に関しては、Web サービスとの親和性を考慮し HL7 V3 を対象とし、V2.5 については今後各者の意見を取り入れ議論するものとする。

- ・ Cross-Community Access (XCA)
- ・ Cross-Enterprise Document Sharing (XDS.b)
- ・ Patient Demographics Query HL7 V3 (PDQV3)
- ・ Patient Identifier Cross-Referencing HL7 V3 (PIXV3)

これらの統合プロファイルを現在稼働・運用されている地域医療連携情報ネットワーク間の相互接続という目的を前提とした場合、IHE で決められた必須トランザクションの全てを実装することが、必ずしも現実的ではない状況も考えられる。そのため本書では、各統合プロファイルの適用範囲について全体的な方針を示し、その際最低限必須となる実装要件を再整理した。

他のプロファイルについては、以下の理由で今回は対象外としたが、技術文書として改訂を重ねる際の検討対象としたい。

- ① 主に医療機関内での利用に関する統合プロファイル
本書は、主に地域医療連携情報ネットワーク間の連携で使用されるプロファイルを対象として論述することを目的としているため、医療機関内での利用を主とした下記統合プロファイルは対象外とした。
 - ・ Patient Administration Management (PAM)
 - ・ Patient Synchronized Applications (PSA)
 - ・ Personnel White Pages (PWP)
 - ・ Enterprise User Authentication (EUA)
- ② 署名・認証・監査に関する統合プロファイル
既に署名・認証・監査に関する以下の JAHIS 標準文書が存在する。
 - ・ 09-003 JAHIS ヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約 Ver. 1.1
 - ・ 09-002 JAHIS リモートサービスセキュリティガイドライン Ver. 2.0
 - ・ 07-005 JAHIS ヘルスケア PKI を利用した医療文書に対する電子署名規格

以下のプロファイルは、既存の JAHIS 標準文書との関連性を踏まえた十分な議論が必要であるため、今後

の検討課題とし、今回、本書の検討としては対象外とした。

- Audit Trail and Node Authentication (ATNA)
- Basic Patient Privacy Consents (BPPC)
- Consistent Time (CT)
- Cross-Enterprise User Assertion (XUA)

③ ドキュメント交換等に関する統合プロファイル

ドキュメント交換に関するプロファイルについては共通的な課題が発生することが見込まれるため、先行して XDS、XCA を議論し、他のプロファイルについては、今後の議論とする。

- Cross-Enterprise Document Media Interchange (XDM)
- Cross-Enterprise Document Reliable Interchange (XDR)
- Request Form Data Capture (RFD)
- Cross-Enterprise Sharing of Scanned Documents (XDS-SD)

④ その他の統合プロファイル

- Multi-Patient Queries (MPQ)
- Retrieve Information for Display (RID)

MPQ に関しては、複数患者の検索で利用するプロファイルであるが、本プロファイルが対象としている臨床研究や疫学研究における分析等については本書の対象外としている。また、トランザクション処理の負荷を考慮し、対象外とした。RID に関しては、今回は地域医療連携情報ネットワーク間での情報交換を対象としているため、画面表示に関する本プロファイルは検討の対象外とした。

2.5 用語について

3章以降を読み進める上で必要な文言について、過去制定済み技術文書より踏襲し、日本 IHE 協会普及推進委員会編の IHE 用語集 (Ver.2.2) からその一部について補填して整理する。

【IHE 用語】

- IHE (Integrating the Healthcare Enterprise)
医療連携のための情報統合化プロジェクトであり、医療情報の標準化へ向け、業務フローに従った DICOM、HL7 といった標準規格の適用ガイドラインを作成し、ベンダーのシステムへの実装、接続テストを実施する体制を構築している。
- IHE ITI (IHE IT Infrastructure)
医療情報共有を促進するため、情報統合実現を目的に設置された標準の実装方法についてとりまとめた IHE のテクニカルフレームワークの1つ。
- 統合プロファイル (Integration Profiles)
多くの医療機関において利用できる共通のシステム統合モデルであり、アクタ (Actor) とトランザクション (Transaction) で示される。ワークフロー、コンテンツ、インフラを示すものがある。
- アクタ (Actor)
病院業務に関連した情報を作り出し、管理し、操作する情報。システムや情報システムのコンポーネント。
- トランザクション (Transaction)
一般的には、データベースにアクセスする場合の通信処理を指す。IHE の場合、統合プロファイル内の各機能を提供する「アクタ (Actor)」同士の通信処理をこのように呼んでいる。
- PIX (Patient Identifier Cross-reference) [患者 ID 相互参照]
IHE ITI の統合プロファイルの一つ。複数のシステムで別々に管理されている患者識別情報の整合性を確保し、各システムを越えた患者単位の検索を可能とする仕組みを提供する。
- PDQ (Patient Demographics Query) [患者基本情報の問合せ]
IHE ITI の統合プロファイルの一つ。複数の分散されたアプリケーションが、集中管理された患者情報サーバに対し、ユーザが指定する検索基準に基づくクエリを実施、患者の基本情報 (オプションとして来院または来院関連の情報) を直接取り込む仕組みを提供する。
- XDS (Cross Enterprise Document Sharing) [施設間の情報 (文書) 共有]
IHE ITI の統合プロファイルの一つ。施設間で登録方法を共有することで特定の患者の様々な診療情報文書を共有する方法。
- XCS (Cross Community Access) [コミュニティ間アクセス]
IHE ITI の統合プロファイルの一つ。コミュニティ間で診療情報文書を共有する方法を提供する。
- ATNA (Audit Trail and Node Authentication) [監査証跡と機器認証]
患者情報の保護、情報の整合性、使用者の説明責任などの安全性を確保する。保護された医療情報に対する、不正アクセスの検出、データの作成、削除、変更などの監査を行い、またアクセスコントロール、中央ログ保管も含む。
- XDS アフェニティドメイン (XDS Affinity Domain) [連携ドメイン]
診療情報を共有するために、同じポリシー、同じ基盤を使用することを同意した医療機関全体のグループ (コミュニティ) を指す。

- コミュニティ (Community)
 診療文書の共有について共通のポリシーに合意した医療機関の集合。XDS を使用して診療文書を共有する場合、そのコミュニティはXDS アフィニティドメインとも呼ばれる。
- サブミッションセット (Submission Set)
 ドキュメントをレジストリに登録 (提供) する際のドキュメントエン트리およびフォルダに関する情報を含むメタデータの集合。
- ストアドクエリ (Stored Query)
 ドキュメントコンシューマからドキュメントレジストリに発行される、あらかじめドキュメントレジストリに登録されたクエリ。
- ドキュメントエン트리 (Document Entry)
 ドキュメントレジストリが管理する情報で、ドキュメントの主な特徴を説明するメタデータのセットを含む。ドキュメントが検索できるドキュメントリポジトリへのリンクを示す。
- フォルダ (Folder)
 レジストリの中に設けられたドキュメントの所属を識別する仮想的な格納場所。
- ドキュメントソース (Document Source) [文書生成源]
 ITI-XDS プロファイルに於いて、登録すべき文書の原本を持ち、文書の保存庫(DocumentRepository)に文書を送信するアクタ。
- ドキュメントレジストリ (Document Registry) [文書登録簿]
 ITI-XDS プロファイルに於いて、診療情報等の文書が保存されている文書の保存庫(DocumentRepository)での保存場所を登録し、文書の利用者(Document Consumer)からの検索要求に対し検索結果を返すアクタ。
- ドキュメントリポジトリ (Document Repository) [文書の保存庫]
 ITI-XDS プロファイルに於いて、診療情報などの共有文書を保存し、提供するアクタ。
- ドキュメントコンシューマ (Document Consumer) [文書の利用者]
 ITI-XDS プロファイルに於いて診療情報等の文書を利用するためのアクタ。
- XDS アダプタ (XDS Registry Adaptor)
 IHE XDS 統合プロファイルで規定されている機能で、ebXML レジストリ標準では規定されていない追加された機能の処理を行う。
- 患者 ID ドメイン (Patient Identifier Domein)
 患者 ID と患者への ID 割当プロセス、及び、患者 ID の発行機関について共通の機構を共有する、単一のシステムまたは一連の相互接続されたシステム群。ID がどのように定義され、管理されるのかについてポリシーを共有し、ユニークな患者 ID を割り当てる単一のシステム (患者 ID ソースシステム) を持つ。
- 患者 ID ソース (Patient Identity Source)
 患者に対してユニークな患者 ID の供給と維持を行うアクタ。患者 ID の割当と、他のアクタに対して、患者 ID に関連するイベント (生成、更新、マージなど) の通知を行う。
- PIX マネージャ (Patient Identity Cross-reference Manager)
 各患者 ID ドメインの患者 ID ソースから提供される情報に基づき、異なる患者 ID ドメイン間での患者 ID の相互参

照を管理するアクタ。

- PIX コンシューマ (Patient Identity Cross-reference Consumer)
患者 ID ドメイン内のシステムに対して、PIX マネージャが提供するサービスを利用して異なる患者 ID ドメインにおける患者 ID の識別を可能にするアクタ。
- 患者基本情報サプライヤ (Patient Demographics Supplier)
患者基本情報の追加、更新、維持について責務を持つアクタ。患者基本情報コンシューマに対して患者基本情報の作成や更新情報を通知する。
- 患者基本情報コンシューマ (Patient Demographics Consumer)
患者基本情報サプライヤから提供される患者基本情報を利用するアクタ。
- 開始ゲートウェイ (Initiating Gateway)
コミュニティ間アクセスにおいて、コミュニティ外への全てのメッセージ伝送をサポートするアクタ。
- 応答ゲートウェイ (Responding Gateway)
コミュニティ間アクセスにおいて、コミュニティ内への全てのメッセージ伝送をサポートするアクタ。

2.6 記号及び略語

本書では、次の記号および略語の表記を用いる。

- ebMS (OASIS/ebXML Registry Services Specification)
- ebXML (OASIS/ebXML Registry Information Model)
- HL7 (Health Level Seven)
- HL7 V3 (Health Level Seven Version 3)
- IHE (Integrating the Healthcare Enterprise)
- IHE IT TF (IHE IT Infrastructure Technical Framework)
- OID (Object Identifier)
- PIX (Patient Identifier Cross-reference)
- PIXV3 (Patient Identifier Cross-reference HL7 V3)
- PDQ (Patient Demographics Query)
- PDQV3 (Patient Demographics Query HL7 V3)
- SOAP (Simple Object Access Protocol)
- SS-MIX / SS-MIX2 (Standardized Structured Medical record Information eXchange)

- URI (Uniform Resource Identifier)
- UUID (Universally Unique Identifier)
- WSDL (Web Services Description Language)
- XML (eXtensible Markup Language)
- XOP (XML-binary Optimise)

第3章 本書の読み方

本章では、4章以降の章構成と読み方を示す。なお、IHE ITI を実装する際、参考となる文書を「第11章 引用規格・参考URL・参考資料」に掲載した。特に、ePHDS 委員会/日本 PACS 研究会作成、日本 IHE 協会編の「地域医療連携情報システム構築ハンドブック 2011」は、本書では取り扱っていない ATNA や CT といった統合プロファイルの日本語による解説や、XDS.b 実装のための利用可能なオープンソースについて説明された文書であり、あわせて参照することが望ましい。

3.1 本書の構成

本書の4章以降は、IHE ITI テクニカルフレームワークで定義された統合プロファイルのうち、本書が対象とするプロファイルの適用ガイドを記載している。4章以降の章構成を、表 3.1-1 に示す。各章の内容は、IHE ITI テクニカルフレームワークの内容と対応付けることができる。IHE ITI テクニカルフレームワークは、統合プロファイルの概要が書かれた Volume 1 と、統合プロファイルで定義されたトランザクションの詳細が書かれた Volume 2、及び、付属資料から構成される。各章の内容とテクニカルフレームワークとの対応関係は図 3.1-1 に示す通りである。

表 3.1-1 4章以降の章構成

	章番号	章タイトル	概要
1	X.1	概要	統合プロファイルについて、定義されているアクタやトランザクションの概要を説明する。
2	X.2	適用方針	IHE の適用ガイドを地域医療連携情報システム間の情報連携に適用する場合に、必須要件として採用すべきアクタやトランザクションについて説明する。
3	X.3	トランザクション定義	情報交換のユースケースを実現するための一連の IHE ITI のトランザクションをインタラクション図として示す。また、それらのトランザクションを、対応する標準規格で実装したメッセージインタラクションの定義を説明する。 PIXV3 と PDQV3 で使用されるトランザクションは、HL7 Version 3 のメッセージインタラクションとして実装される。一方 XDS.b や XCA では、ebXML によるメッセージインタラクションを使用して実装される。
4	X.4	インターフェース定義	トランザクション定義に示したメッセージインタラクションを、Web サービスで実現する場合の、SOAP と WSDL 文書に基づく Web サービスインターフェース仕様について説明する。
5	X.5	メッセージ定義	SOAP メッセージのメッセージペイロードとなる XML 文書仕様を説明する。
6	X.6	その他実装上の考慮事項	その他の実装上の考慮事項があればそれらを説明する。

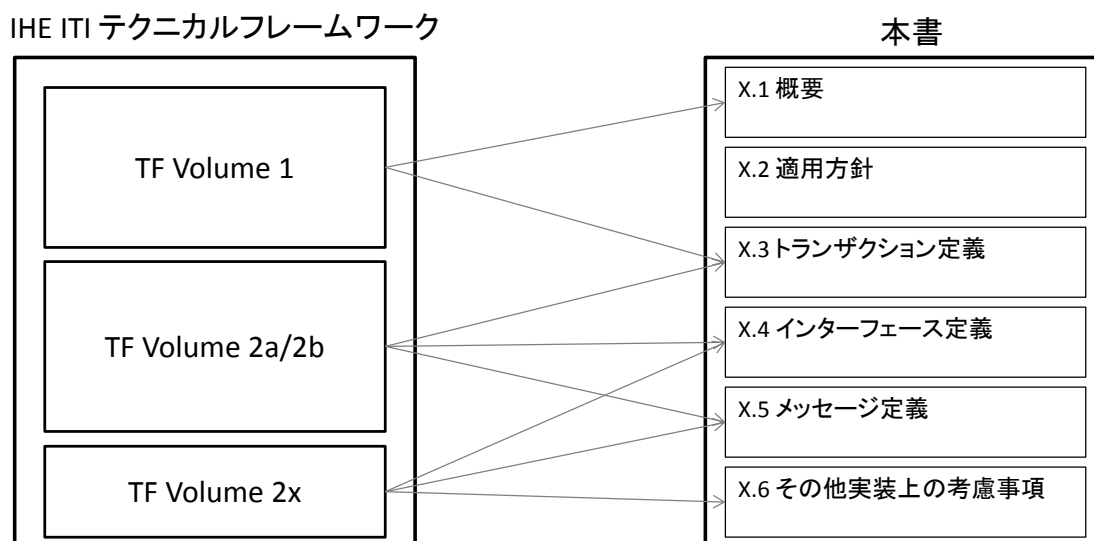


図 3. 1-1 IHE テクニカルフレームワークと本書の章構成の対応関係

3. 2 統合プロフィール適用ガイドの読み方

本書で定義される成果物と、システム開発で使用する成果物の関係を、図 3. 2-1 に示す。

X. 1 章「概要」で示される IHE アクタとトランザクション（図中①）に対して、X. 3 章「トランザクション定義」では、HL7 や ebXML など、トランザクションに対応する標準規格によってそのトランザクションを実現するための一連のメッセージインタラクションをインタラクション図として提供する（図中②）。目的の IHE トランザクションを実現するために、使用する標準規格とメッセージは、インタラクション図を参照して判断することができる。

X. 3 章「トランザクション定義」により IHE アクタ間のメッセージインタラクションが特定されると、X. 4 章「インターフェース定義」では、それらのメッセージインタラクションを Web サービスとして実現するために、IHE アクタに対応した WSDL 定義を示す（図中③）。

X. 5 章「メッセージ定義」では、Web サービスにおいて SOAP メッセージのメッセージボディ内に伝送される XML 形式のメッセージの仕様を定義する。この仕様は表形式で記述され、XML インスタンスの要素や属性に設定する値と方法を、表形式で説明する（図中④）。

Web サービスのコンシューマは、このメッセージ定義に基づき、Web サービスプロバイダに伝送する情報項目を含む XML インスタンスを作成し、X. 4 章「インターフェース定義」で定義される Web サービスのエンドポイントに対して、SOAP メッセージとして送信する（図中⑤）。なお、実装に用いるプログラミング言語やアーキテクチャにも依存するが、X. 4 章「インターフェース定義」で定義される WSDL を利用することで、Web サービスプロバイダで動作するインターフェースの骨組みの生成や、Web サービスコンシューマで動作する Web サービスとの通信を行うクライアントプログラムを生成することが可能である（図中⑥）。

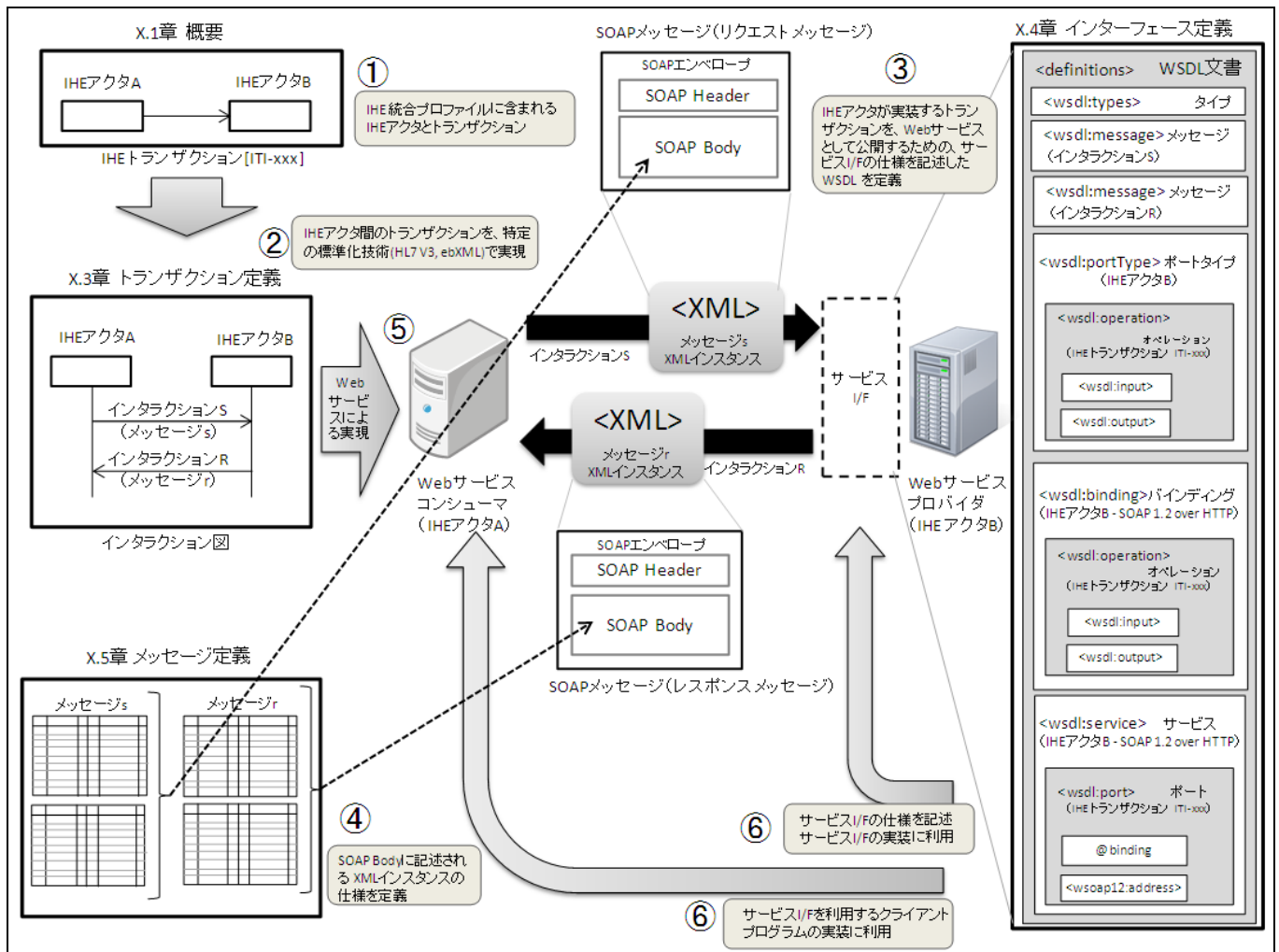


図 3. 2-1 統合プロファイル適用ガイドの構成とシステム開発における成果物の対応関係

3. 2. 1 「X.1 概要」の記載内容

IHE ITIの各統合プロファイルについて、関係するIHEアクタと、IHEアクタ間のトランザクションの概要を記載する。

3. 2. 2 「X.2 適用方針」の記載内容

IHE ITI 統合プロファイルを地域医療連携情報システム間の情報連携に適用する際の、統合プロファイル毎の適用範囲や方針について記載する。

3. 2. 3 「X.3 トランザクション定義」の記載内容内容

IHE アクタ間で実装すべきメッセージインタラクションを記述する。PIXV3 や PDQV3 のように、実装技術としてHL7 Version 3 を用いている統合プロファイルでは、トランザクション定義は、アプリケーションロール間のHL7メッセージインタラクションとして定義される。一方、XDS.b や XCA のようにHL7メッセージを使用しないトランザクションも存在する。例えばXDS.bのストアドクエリでは、IHEのトランザクションがebXMLメッセージとして実装される。

本章を読むことによって、トランザクションを実現するために、どの実装技術のどのメッセージを使用するかを知ることができる。それによって、XML文書の定義や検証に使用するXMLスキーマを特定することができる。

使用する実装技術によって、本章で定義される内容が異なるため、HL7 Version3 と ebXML のそれぞれについて以下に説明する。

3.2.3.1 HL7 V3 メッセージのトランザクション定義

HL7 Version 3 のメッセージは、各メッセージが、インタラクションという単位で定義される。インタラクションを含む各成果物には、表 3.2.3.1-1 に示す成果物識別子が付与されている。また1つのインタラクションは、表 3.2.3.1-2 に示す構成要素から構成される。

表 3.2.3.1-1 HL7 Version 3 メッセージに含まれる成果物識別子の構成

成果物識別子 (UUDD_AAAnnnnnRRvv)	説明
UU	HL7 サブセクション名。例：PR = 診療 (Practice)
DD	HL7 ドメイン名。例：PA = 患者管理 (Patient Administration)
AA	HL7 成果物コード。 IN = インタラクション AR = アプリケーションロール TE = トリガイイベント
nnnnnn	HL7 の各委員会 で割当られた識別子。例：201309
RR	レルム (地域性) コード。例：UV = ユニバーサル
vv	バージョン。例：01

表 3.2.3.1-2 HL7 V3 メッセージインタラクションの構成要素

構成要素	説明	本書の成果物との関係
送信アプリケーションロール	HL7 メッセージの送信者の役割。	トランザクションの送信側の IHE アクタに対応し、WSDL を定義する単位となる。
受信アプリケーションロール	HL7 メッセージの受信者の役割。	トランザクションの受信側の IHE アクタに対応し、WSDL を定義する単位となる。
トリガイイベント	HL7 メッセージを送信するきっかけとなるイベントを定義。	メッセージヘッダ中にトリガイイベントの成果物 ID を指定する。
伝送ラップ	メッセージのヘッダ情報として送信者や受信者、送信時のパラメータを定義。	メッセージ定義のメッセージヘッダ部を構成する。
トリガイイベントコントロールアクトラップ	メッセージのヘッダ情報としてメッセージ送信の理由や送信者の情報を記述する。	メッセージ定義のメッセージヘッダ部を構成する。
ペイロード	メッセージの本文。	照会メッセージのメッセージ定義で、問合せパラメータ情報を示すメッセージ本文を構成する。
受信者責務	当該メッセージインタラクションを受信したアプリケーションが果たすべき責務。	照会メッセージの受信者が送信すべき照会応答メッセージに対応する。
クエリ応答タイプ	照会応答メッセージの場合のみ、ペイロードに相当する問合せ結果情報をペイロードの代わりに示す。	照会応答メッセージのメッセージ定義で、照会結果情報を示すメッセージ本文を構成する。
クエリ定義	照会応答メッセージの場合、対応する照会メッセージを識別する。	照会応答メッセージに対応する照会メッセージの成果物 ID を示す。

3.2.3.2 ebXML メッセージのトランザクション定義

XDS.b と XCA は、実装技術として ebXML レジストリ情報モデル (ebXML RIM) バージョン 3.0 を利用し、文書レジストリが管理する文書のメタデータを記述する。それらのメタデータへの問合せには、ebXML レジストリに関するメッセージプロトコルである ebMS を使用する。さらに、文書リポジトリからの文書の取得メッセージは、MTOM/XOP 仕様形式の添付ファイル付 SOAP メッセージとして実現する。

以下に、XDS.b や XCA で使用される、ebXML に基づく文書のメタデータ情報モデルについて概説する。本内容は、IHE ITI TF Vol.3 「4. Cross-Transaction Specification」の内容を抜粋し解説を加えたものである。

3.2.3.2.1 XDS メタデータ

本章では、次にあげる XDS のメタデータについて概説する。

表 3.2.3.2.1-1 XDS メタデータ

XDS メタデータ	説明	掲載節
XDS Document Entry	文書レジストリが、文書リポジトリ内の文書を表現するために使用する。単一のリポジトリ内の単一の文書への参照を含む。	第3.2.3.2.1.1節
XDS Submission Request	文書レジストリまたは文書リポジトリへ伝送される、一連の情報。XDS Registry Submission Request と XDS Repository Submission Request の2つがある。 XDS Registry Submission Request は、文書リポジトリと文書レジストリの間において伝送される一連のメタデータで、次の情報を含む。 ・新規文書のメタデータ ・生成されるべきフォルダ ・フォルダに追加される文書 XDS Repository Submission Request は、文書ソースと文書リポジトリの間を伝送される一連のメタデータと文書である。次の情報を含む。 ・メタデータ ・0個以上の文書（各文書は XSDocumentEntry オブジェクトとしてメタデータ内で表現される） XDS Submission Request はアトミックな操作でなければならない。	—
XDS Submission Set	XDS SubmissionSet は、1回の文書の登録に関する XDS Document Entry、XDS Folder、Association オブジェクトを束ねる。	第3.2.3.2.1.2節
XDS Folder	複数の XSDocumentEntry オブジェクトを束ねるために使用される。ネストすることはできない。	第3.2.3.2.1.3節
Association	文書間の関係を定義する。HL7 CDA Release 2 で採用されている文書間関係を採用している。	第3.2.3.2.1.4節

XDS や XCA で扱う文書のメタデータは、ebXML レジストリ情報モデル (ebXML RIM) バージョン 3.0 をベースとしている。図 3.2.3.2.1-1 に、ebXML レジストリ情報モデルで定義されたクラスと、XDS の文書モデルのクラスの対応関係を示す。XDS で定義される XSDocumentEntry クラスは、ebXML の ExtrinsicObject クラスから導出されたクラスである。一方、XDS の XDSSubmissionSet クラスと XDSFolder クラスは、ebXML の RegistryPackage クラスから導出されたクラスである。正確には、ebXML は RegistryPackage のサブクラスを許可していないため、ebXML Classification を利用して、XDSSubmissionSet と XDSFolder の両者を識別している。

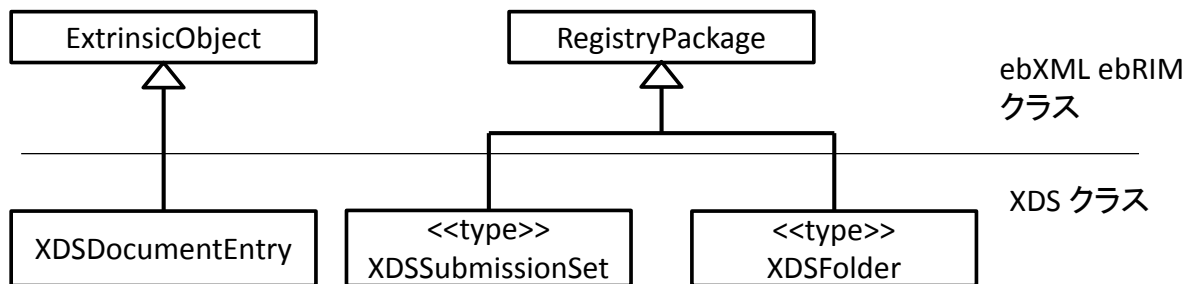


図 3.2.3.2.1-1 ebXML クラスと XDS クラスの対応関係

XDS メタデータの記述は、表 3.2.3.2.1-2に示すデータ型を使用する。一部のデータ型は、HL7 Version 2 からのデータ型が使用されている。HL7 Version 2 のデータ型を使用する場合、HL7 セパレータは、表 3.2.3.2.1-3に示す HL7 のデフォルト値を使用する。

表 3.2.3.2.1-2 XDS メタデータのデータ型

XDS データ型	元となった標準規格	符号化仕様
CX	HL7 V2 識別子	書式：IDNumber^^^&OIDofAA&ISO IDNumber：識別子 OIDofAA：識別子発行機関のOID 例：543797436^^^&1.2.840.113619.6.197&ISO '&' は、XML 文書の中では実体参照を使用して「&」と記述されることに留意する。
DTM	HL7 V2 日時	書式：YYYY[MM[DD[hh[mm[ss]]]] YYYY：西暦 MM：月 DD：日 HH：時間（24 時間） mm：分 ss：秒 レジストリ内の日時は全て UTC で表現する。
OID	ISO オブジェクト識別子	ISO オブジェクト識別子。文字数は 64 文字以内に制限される。 例：1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.7
Field	HL7 V2 メッセージセグメント	HL7 V2 のメッセージセグメント。
SHA1	SHA1 アルゴリズムによる文書のハッシュ値	RFC3174 SHA1 によって計算されたハッシュ値。 [JAHIS] SHA1 の脆弱性の問題から使用が縮小される方向であることから本書では、SHA2 を使用するものとし、SHA1 は使用しない。
SHA2	SHA2 アルゴリズムによる文書のハッシュ値	[JAHIS] RFC5754 SHA2 によって計算されたハッシュ値。本書で追加。SHA1 の説明参照。
URI	URI	RFC2616 URI。
UUID	ユニバーサル固有識別子	DCE Universally Unique Identifier (UUID)。URN 表記を使用する。 例：urn:uuid:9e0110f8-4748-4f1e-b0a8-cecae32209c7
XCN	HL7V2 拡張人名	人名。識別子、姓、名、ミドルネーム、接頭語、接尾語、割当機関を含む。

		名前と識別子のいずれかが存在していなければならない。 ID Number が存在する場合、割当機関も同様に出現する。
XON	HL7 V2 拡張複合組織 ID と名称	施設名。次の成分のみを使用する。 XON.1 : 施設名 (必須) XON.6.2 : 割当機関の ID XON.6.3 : 割当機関の ID 種別 XON.10 : 組織識別子 例 : Some Hospital^^^^&1.2.3.4.5&ISO^^^^45
XTN	HL7 V2 拡張電話番号	電話番号。次の成分のみを使用する。 XTN.3 : 電話番号の種類 XTN.4 : 電話番号 例 ^^Internet^radiology@healthcare.example.org

表 3.2.3.2.1-3 HL7 セパレータ

種別	セパレータ
フィールドセパレータ	
成分セパレータ	^
副成分セパレータ	&
反復セパレータ	~

3.2.3.2.1.1 XDS ドキュメントエントリ

XDS レジストリ内の XSDocumentEntry オブジェクトは、XDS 文書レジストリアクタによって管理され、単一のリポジトリ内にある単一の文書へのリンク情報を含む。XSDocumentEntry はまた、XDS 文書の主要な特徴を記述するメタデータを含む。

表 3.2.3.2.1.1-2 に XSDocumentEntry が持つ属性を示す。「制約」列の凡例は、表 3.2.3.2.1.1-1 に示す通りである。

表 3.2.3.2.1.1-1 制約の定義

コード	定義
R	必須
R2	情報を入手していれば必須
0	任意
P	レジストリは本属性をサポートすることを要求されない
Cp	リポジトリによって設定される。必須。
Cg	レジストリによって設定される。
Cx	レジストリまたは開始ゲートウェイによって設定される。任意。

表 3.2.3.2.1.1-2 XSDocumentEntry の属性

No	XSDocumentEntry 属性	定義	制約
1	author	文書の作成者。 下記 No 1.1~1.5 の副属性を持ち、authorPerson は 0 または 1 つ、その他の副属性は 0 または 1 つ以上を含むことができる。authorPerson、authorTelecommunication、authorInstitution の少なくとも 1 つが含まなければならない。	R2
1.1	authorInstitution	文書の作成者の所属する施設。XON 型で記述する。	R2
1.2	authorPerson	文書の作成者。XCN 型で記述する。	R2
1.3	authorRole	文書の作成者の患者に対する役割。	R2

		[JAHIS] 各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。利用可能なコードとして、コード表 9-1 「職種コード」を示す。	
1.4	authorSpeciality	文書の作成者の診療科。 [JAHIS] 利用可能なコードとして、コード表 9-2 2 「診療科コード」を示す。	R2
1.5	authorTelecommunication	文書の作成者のメールアドレス。	0
2	availabilityStatus	文書の状態。次の2つの状態のいずれかをとる。 Approved : 診療に利用可能。 Deprecated : 廃棄された。	Cg
3	classCode	文書の種類を識別するコード。例えば、「処方箋」や「退院時サマリ」、「レポート」といった文書の大分類に対応する。 [JAHIS] 現状では標準的なボキャブラリがないため、各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。	R
4	classCodeDisplayName	No. 3 文書の種類を識別するコードの表示名	R
5	comments	文書に関連するコメント。フリーテキストで記述する。	0
6	confidentialityCode	文書の守秘レベルを示すコード。 [JAHIS] コード表 9-1 3 「守秘レベルコード」からコードを指定する。	R
7	creationTime	文書の作成日。DTM型で記述する。	R
8	entryUUID	文書レジストリ内で文書を管理するために使用する世界的にユニークな ID。UUID 形式、または、識別名で記述する。識別名で指定された場合は、文書レジストリ内部で UUID を割り当てる。XSDocument の外部参照で使用することを目的としない。 XML 断片例 : <rim :ExtrinsicObject mimeType="application/pdf" id="urn :uuid :a6e06ca8-0c75-4064-9*5c-88b9045a96f6" objectType="urn :uuid :7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1">	R
9	eventCodeList	文書化の対象となっている診療行為を示すコード。 [JAHIS] 各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。	0
10	eventCodeListDisplayName	診療行為を表すコードの表示名。	0(*注 1)
11	formatCode	文書の形式を識別するコード。typeCode とともに文書利用者がある文書を処理することができるかどうかを判断することを可能にする。文書のエンコーディング方式や構造、テンプレートを識別することによって処理や表示を保証することができる程度に具体化されたものでなければならない。 [JAHIS] 各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。利用可能なコードとして、コード表 9-2 3 「文書フォーマットコード」から指定する。	R

12	formatCodeDisplayName	文書の形式を識別するコードの表示名。 [JAHIS] コード表 9-2 3 「文書フォーマットコード」を使用する場合、その表示名を使用する。	R
13	hash	文書レジストリによって計算される文書のハッシュ値。 [JAHIS] IHE ではハッシュアルゴリズムとして SHA1 を使用するが本書では SHA2 を使用する。	Cp
14	healthcareFacilityTypeCode	文書化された診療行為を実施した診療機関の種別を識別するコード。 [JAHIS] 各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。本書では利用可能なコードとして、コード表 9-8 「医療機関の役割コード」を提示する。	R
15	healthcareFacilityTypeCodeDisplayName	診療機関の種別を識別するコードの表示名。 [JAHIS] コード表 9-8 「医療機関の役割コード」を使用する場合、その表示名を使用する。	R
16	homeCommunityId	コミュニティを一意に識別する ID。64 文字以内の OID を URI 形式で指定する。	Cx
17	languageCode	文書の言語コードを指定する。IETF RFC 3066 の言語コードを使用し、日本語の文書であれば「ja-JP」を指定する。	R
18	legalAuthenticator	文書の法的な認証者。XCN 型で記述する。	O
19	contentType	文書の MIME タイプ。 [JAHIS] コード表 9-2 4 「MIME タイプコード」からのコードを指定する。	R
20	patientId	XDS アフィニティドメイン内での患者 ID。患者 ID ドメインを識別する ISO OID と、そのドメインでの患者 ID から構成される。CX 型で記述する。	R
21	practiceSettingCode	文書化対象となった診療行為が実施された診療科。 [JAHIS] 利用可能なコードとしてコード表 9-2 2 「診療科コード」を示す。	R
22	practiceSettingCodeDisplayName	診療科コードの表示名。 [JAHIS] コード表 9-2 2 「診療科コード」を使用する場合、その表示名を設定する。	R
23	repositoryUniqueId	文書リポジトリを一意に識別する ID。文書が文書リポジトリに格納される際に、文書リポジトリによって割り当てられる。	Cp
24	serviceStartTime	文書対象となった診療行為が開始された日時。DTM 型で記述する。	R2
25	serviceStopTime	文書対象となった診療行為が終了した日時。DTM 型で記述する。	R2
26	size	文書リポジトリに格納される文書のバイト長。文書リポジトリが計算する。	Cp
27	sourcePatientId	施設患者 ID。 患者 ID ドメインを識別する ISO OID と、そのドメインでの患者 ID から構成される。CS 型で記述する。	R
28	sourcePatientInfo	患者の基本情報。HL7 V2.5 の PID セグメントの形式で記述す	O

		<p>る。下記を設定する。</p> <p>PID-3:施設患者 ID PID-5:患者名 PID-7:生年月日 PID-8:性別 PID-11:患者の住所 PID-2、PID-4、PID-12、PID-19 は使用しない。 [JAHIS] PID-8 のコードには、コード表 9-10 「性別コード」からのコード指定をする。</p> <p>XML 断片例</p> <pre><rim :Slot name= "sourcePatientInfo" > <rim :ValueList> <rim :Value>PID-3 9999013^^^&1.2.3.4.5&ISO</rim :Value> <rim :Value>PID-5 患者 太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P</rim :Value> <rim :Value>PID-7 19650415</rim :Value> <rim :Value>PID-8 M</rim :Value> <rim :Value>PID-11 ^^^^1050003^B^東京都港区鹿ノ門6-3-3</rim :Value> </rim :ValueList> </rim :Slot></pre>	
29	title	文書タイトル。UTF-8 で最大 128 バイトとする。	0
30	typeCode	<p>文書クラスを細分化するコードとしての文書種別コード。例えば「超音波検査レポート」など。</p> <p>[JAHIS] 文書クラスを細分化するコードとして、各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。</p>	R
31	typeCodeDisplayName	文書種別コードの表示名。	R
32	uniqueId	レジストリ内で文書を一意に識別するための ID。別の文書内で文書を参照するために使用する。最大 128 バイト。format 属性に指定された文書形式に依存し、例えば、DICOM 標準文書の場合、最大 64 桁の UID。HL7 CDA 文書の場合、最大 64 桁の OID と 16 桁の UTF-8 文字の組み合わせとなる (oid^extension。ただし OID のみでコード化される場合には^は省略される。)	R
33	URI	<p>XDM に利用するために、文書内に含まれるファイルを取得する際の URI を指定する。</p> <p>128 文字以下の場合、直接 URI を指定する。</p> <p>128 文字を超える場合、順序プレフィックスと URI をデリミタ () で区切り、複数記述する。URI として利用する際にはプレフィックスを除いた値をプレフィックスで指定された順序で連結する。</p> <p>XML 断片例 (順序プレフィックス有り)</p> <pre><rim :Slot name="URI"> <rim :ValueList> <rim :Value>1 http://www.ihe.net/IHERetrieveDocument ?</pre>	0

	<pre> </rim :Value> <rim :Value>2 requestType=DOCUMENT&documentUID=1.2.3</ rim :Value> <rim :Value>3 &preferredContentType=application%2fpdf< /rim :Value> </rim :ValueList> </rim :Slot> </pre>	
--	--	--

注1) eventCode 属性に値が設定された場合には必須。

3.2.3.2.1.2 XDSサブミッションセット

XDSSubmissionSet は、XDSSubmissionSet と分類される ebXML の RegistryPackage である。XDS 文書が文書ソースアクタによって登録される際に、一連の XDSDocumentEntry、XDSFolder、及び、Association オブジェクトの集合を束ねるために使用される。表 3.2.3.2.1.2-1 に、XDSSubmissionSet の属性を示す。RegistryPackage が XDSSubmissionSet であることを識別するために、RegistryPackage の Classification に指定する UUID は「urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd」である。

表 3.2.3.2.1.2-1 XDSSubmissionSet の属性

No	XDSSubmissionSet 属性	定義	制約
1	author	サブミッションセットの作成者。 下記 No 1.1~1.5 の副属性を持ち、authorPerson は 0 または 1 つ、その他の副属性は 0 または 1 つ以上を含むことができる。 authorPerson、authorTelecommunication、authorInstitution の少なくとも 1 つが含まなければならない。	R2
1.1	authorInstitution	サブミッションセットの作成者の所属する施設。XON 型で記述する。	R2
1.2	authorPerson	サブミッションセットの作成者。XCN 型で記述する。	0
1.3	authorRole	サブミッションセットの作成者の患者に対する役割。 [JAHIS] 各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。本書では利用可能なコードとして、コード表 9-1 「職種コード」を示す。	R2
1.4	authorSpeciality	サブミッションセットの作成者の診療科。 [JAHIS] 利用可能なコードとして、コード表 9-2.2 「診療科コード」を示す。	R2
1.5	authorTelecommunication	サブミッションセットの作成者のメールアドレス。	0
2	availabilityStatus	サブミッションセットの状態。次の 2 つの状態のいずれかをとる。 Submitted : 提出トランザクションは未完了であり診療に利用可能でない。 Approved : 診療に利用可能。	Cg
3	comments	サブミッションセットに関連するコメント。フリーテキストで記述する。	0
4	contentTypeCode	サブミッションセットに含まれる XDSDocument に記述された診療行為の種別を識別する、内容種別コードを指定する。 [JAHIS]	R

		現状では、利用可能な標準的なコードが存在しないため、各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。	
5	contentTypeCodeDisplayName	内容種別コードの表示名。	R
6	entryUUID	文書レジストリ内でサブミッションセットを管理するために使用する世界的にユニークな ID。UUID 形式、または、識別名で記述する。識別名で指定された場合は、文書レジストリ内部で UUID を割り当てる。	R
7	homeCommunityId	コミュニティを一意に識別する ID。64 文字以内の OID を URI 形式で指定する。	Cx
8	intendedRecipient	このサブミッションセットの意図された受領者を示す。XON 型または XCN 型で記述し、複数指定可能である。	0
9	patientId	XDS アフィニティドメイン内の患者 ID。患者 ID ドメインを識別する ISO OID と、そのドメイン内の患者 ID から構成される。CX 型で記述する。	R
10	sourceId	文書ソースを識別する識別子。OID を指定する。	R
11	submissionTime	文書ソースがサブミッションセットを作成し、文書レジストリに登録された時刻。DTM 型で記述する。文章ソースによって提供されなければならない。	R
12	title	サブミッションセットのタイトルを指定する。	0
13	uniqueId	文書ソースによって割り当てられた、サブミッションセットを一意に識別する世界的にユニークな ID。OID 形式で指定する。	R

3.2.3.2.1.3 XDS フォルダ

XDSFolder は、目的に応じて1つ以上の XSDDocumentEntry をグループ化するための論理的なコンテナである。XDSFolder は、階層的に構成することはできない。表 3.2.3.2.1.3-1 に、XDSFolder の属性を示す。RegistryPackage が XDSFolder であることを識別するために、RegistryPackage の Classification に指定する UUID は「urn:uuid:d9d542f3-6cc4-48b6-8870-ea235fbc94c2」である。

表 3.2.3.2.1.3-1 XDSFolder の属性

No	XDSFolder 属性	定義	制約
1	availabilityStatus	フォルダの状態。次の2つの状態のいずれかをとる。 Submitted : 提出トランザクションは未完了であり診療時の情報として利用可能ではない。 Approved : 診療時の情報として利用可能である。	Cg
2	codeList	フォルダに含まれる XSDDocument に記述された診療行為の種別を識別する一連のコードを指定する。 [JAHIS] 各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。	R
3	codeListDisplayName	codeList に指定されるコードの表示名。	R
4	comments	フォルダに関連づけられたコメント。フリーテキストで指定する。	0
5	entryUUID	文書レジストリ内でフォルダを管理するために使用する ID。UUID 形式、または、識別名で記述する。識別名で指定された場合は、文書レジストリ内部で UUID を割り当てる。	R

6	homeCommunityId	コミュニティを一意に識別する ID。64 文字以内の OID を URI 形式で指定する。	Cx
7	lastUpdateTime	文書レジストリ内で、XSDocument が登録され XDSFolder に配置された時刻。DTM 型で記述する。文書レジストリがセットする。	Cg
8	patientId	XDS アフィニティドメイン内の患者 ID。患者 ID ドメインを識別する ISO OID と、そのドメインでの患者 ID から構成される。CX 型で記述する。	R
9	title	フォルダのタイトル。	O
10	uniqueId	文書ソースによって割り当てられた、XDSFolder を一意に識別する世界的にユニークな ID。	R

3.2.3.2.1.4 文書間関係

XDS では、HL7 CDA で定義された文書間関係の定義を採用している。フォルダとフォルダに含まれる DocumentEntry の関係の定義、SubmissionSet とそれに含まれる DocumentEntry または Folder との関係の定義、文書間関係の定義に使用する。

文書を提出する際に、新規の文書 (XSDocumentEntry) と、その文書と既存の文書の関連を提出することで、文書間関係を作成することができる。既存の文書は、レジストリ内で既に承認され利用可能な状態でなければならない。

表 3.2.3.2.1.4-1 関連の属性

No	Association 属性	定義	制約
1	id	Association の ID。文書レジストリでセットする。	Cg
2	sourceObject	サブミッションセットに含まれる XSDocumentEntry の entryUUID。	R
3	targetObject	レジストリ内の既存の文書の entryUUID。	R
4	associationType	関連の種類。表 3.2.3.2.1.4-2 の形式をとる。	R

表 3.2.3.2.1.4-2 関連の種類

関連	associationType	定義
HasMember	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:AssociationType:HasMember	XDSFolder または、XDSSubmissionSet の包含関係を定義する。
APND	urn:ihe:iti:2007:AssociationType:APND	現在の文書は、元文書への追加である。
RPLC	urn:ihe:iti:2007:AssociationType:RPLC	現在の文書は、元文書から置き換えられた文書である。
XFRM	urn:ihe:iti:2007:AssociationType:XFRM	現在の文書は、元文書から変換された文書である。
XFRM_RPLC	urn:ihe:iti:2007:AssociationType:XFRM_RPLC	現在の文書は、元文書から変換され、かつ、置き換えられた文書である。
Signs	urn:ihe:iti:2007:AssociationType:signs	現在の文書は、元文書に対して電子署名が付与されたものである。

3.2.4 「X.4 インターフェース定義」の記載内容

IHE では、SOAP1.2 に基づく Web サービスを使用してトランザクションを実現する。各章のインターフェース定義では、対応する統合プロファイルのトランザクション定義から作成される WSDL 文書の内容を説明する。ここでは、IHE のトランザクション定義からどのようにして WSDL を定義するかについての一般的なルールを示す。本章の内容は、IHE ITI TF Vol.2x 「Appendix V. Web Services for IHE Transactions」の内容を抜粋し解説を加えたものである。

表 3.2.4-1 に、WSDL 文書の構成要素を示す。また、図 3.2.4.2.1-1 には、IHE メッセージと WSDL 文書の構成要素の関係を示す。WSDL 文書は、IHE アクタの単位に定義する。トランザクションを構成するメッセージインタラクションは WSDL message 要素として定義され、WSDL portType 要素の中で WSDL operation の入力メッセージ、出力メッセージとしてそれぞれ参照される。

表 3.2.4-1 WSDL 文書の構成要素

No	構成要素	要素名	説明
1	タイプ	types	本 WSDL 文書で使用されるデータ型定義。
2	メッセージ	message	一度に送受信されるデータの集合を定義。
3	オペレーション	operation	サービスが提供するレポートアクセス可能な手続きを定義。
4	ポートタイプ	portType	複数のオペレーションの集合を定義。
5	バインディング	binding	特定の通信プロトコルにおいて、あるポートタイプが使用するオペレーション名やメッセージがどのようなフォーマットで表現されるかを定義。
6	ポート	port	あるバインディングにアクセスするためのインターネット上のアドレス。
7	サービス	service	複数のポートの集合。

IHE トランザクションを実現するための Web サービスは、SOAP 1.2 をベースとし、Web サービスの実装の適合性を既定した WS-I Basic Profile 1.1 (BP1.1) と Simple SOAP Binding Profile 1.0 (SSBP 1.0) を利用している。また、一部のトランザクションは WS-I Basic Security Profile 1.0 (BSP 1.0) も利用する。さらに、次の Web サービス標準を参照する。

- WS-Addressing : 特定のトランスポートに依存しないメッセージのアドレス指定情報の表現
- MTOM : XOP 機能を利用して SOAP メッセージを処理する仕様
- XOP : XML 文書とバイナリデータとを効率的に XML にシリアル化する方法を提供
- WS-Security : SOAP ヘッダを利用してメッセージレベルのセキュリティを実現するための仕様

本章に示す【IHE-WS[P|A|S|RM]nmn[.e]】という記法で示される識別子は、Web サービスによる実装における IHE の要求事項を示す。P は、WS-I Basic Profile、A は WS-Addressing、S は WS-Security、RM は WS-Reliable Messaging からの要求事項であることを示す。本章の内容は、IHE ITI TF Vol.2x 「Appendix V. Web Services for IHE Transactions」の内容を抜粋し解説を加えたものである。

3.2.4.1 HL7 V3 メッセージを使用するトランザクションに対する要求事項

HL7 V3 メッセージを使用する IHE トランザクションでは、Web サービスプロトコルは、HL7 Web Services Basic, Addressing Security, Reliable Messaging Profile に従う。

3.2.4.1.1 HL7 WS Basic Profile 制約

HL7 WS Basic Profile に対して、次の4つの変更を行っている。

1. HL7 WS Basic Profiler は、SOAP 1.1、SOAP 1.2 またはその両方をサポートすることが選択できるが、IHE 仕様では、SOAP1.2 のサポートを要求する。
2. HL7-WSP200 では、WSDL 文書を HL7 アプリケーションロールごとに作成することが推奨されているが、非 HL7 V3 トランザクションとの整合性を図るために、IHE 仕様では、プロファイル毎のアクタの全トラン

ザクションを1つのWSDL文書とする。

3. HL7-WSP201では、HL7アプリケーションロールIDをWSDL定義の名称に使用することを推奨するのに対し、IHE仕様では、非HL7 V3系トランザクションとの整合性を図るために、トランザクションの受信者のアクタ名をWSDL定義の名前として使用する。
4. HL7-WSP202では、HL7名前空間をWSDL文書の対象名前空間として使用するが、IHE仕様では、HL7 V3系トランザクションと非HL7 V3系トランザクションの両方を使用するアクタに対しても単一のWSDL文書を定義するために、WSDLの対象名前空間は以下のルールとする。

urn:ihe:<committee name>:<profile>:<year>

送信者と受信者は、ともにHL7 WS Addressing Profileに準拠する必要がある。また、IHE仕様書では、送信者と受信者は、HL7 WS Reliable メッセージングプロファイルを実装することは要求しない。

3.2.4.2 HL7 V3 メッセージを使用しないトランザクションに対する要求事項

非HL7 V3系のトランザクションに対するWebサービスの要求事項は、HL7 Web サービスプロファイルを元に、IHEトランザクションと整合性を図ると、以下のように定義される。

3.2.4.2.1 命名規則と名前空間

【IHE-WSP200】WSDL文書は、IHEアクタの単位で記述する。

【IHE-WSP201】WSDLの構成要素は、それぞれ表 3.2.4.2.1-1の命名規則に従う。

「NAME」：IHEアクタ名からスペースを除いた名称。

「Transaction Name」：IHEトランザクション名からスペースを除いた名称。

表 3.2.4.2.1-1 WSDL 成果物の命名規則

	WSDL 構成要素	命名規則	例
1	message request	{Transaction Name}_Message	RegistryStoredQuery_Message
2	message response	{Transaction Name}Response_Message	RegistryStoredQueryResponse_Message
3	portType	{NAME}_PortType	DocumentRegistry_PortType PDQSupplier_PortType
4	operation	{NAME}_{Transaction Name}_{OperationID}	DocumentRegistry_RegistryStoredQuery_Request PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02
5	SOAP1.1 binding	{NAME}_Binding_Soap11	DocumentRegistry_Binding_Soap11
6	SOAP1.1 port	{NAME}_Port_Soap11	DocumentRegistry_Port_Soap11
7	SOAP1.2 binding	{NAME}_Binding_Soap12	DocumentRegistry_Binding_Soap12 PDQSupplier_Binding_Soap12
8	SOAP1.2 port	{NAME}_Port_Soap12	DocumentRegistry_Port_Soap12 PDQSupplier_Port_Soap12

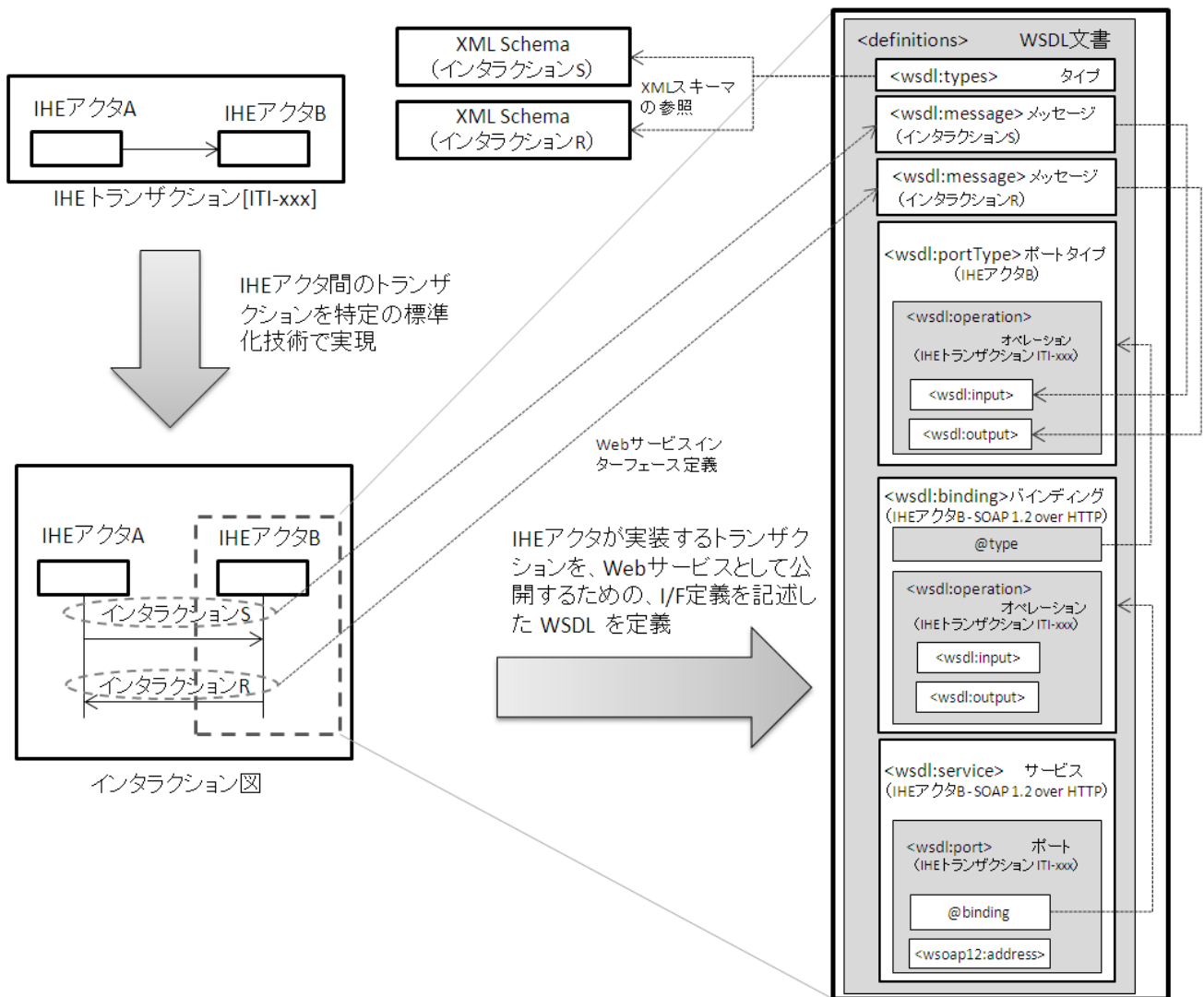


図 3.2.4.2.1-1 IHE トランザクションと WSDL 文書の関係

【IHE-WSP202】「DOMAIN」を IHE ドメイン、すなわち、「iti」、「PROFILE」を IHE 統合プロファイルの頭字語、「YEAR」を対象トランザクションが最初に公表された年、「TYPE」を、他の IHE 仕様で既に使用されている XML 名前空間を使用するためのオプションな拡張子とすると、WSDL 文書の名前空間は、次のように表現される。

	命名規則	例
1	urn:ihe:{DOMAIN}:{PROFILE}:{YEAR}	urn:ihe:iti:xsd-b:2007
2	urn:ihe:{DOMAIN}:{PROFILE}:{YEAR}:{TYPE}	

【IHE-WSP203】WSDL は、トランザクションペイロードの XML スキーマ定義への参照を含まなければならない。

3.2.4.2.2 メッセージ定義とポートタイプ定義

【IHE-WSP205】リクエスト - 応答トランザクションに対して、2つの WSDL message 要素が定義される。

【IHE-WSP206】各メッセージには「Body」と名付けられた単一の WSDL パートが定義される。パートは、IHE-WSP203 で要求される XML スキーマで定義された要素を参照しなければならない。

【IHE-WSP207】WSDL portType/operation 要素で定義された input と output メッセージは、wsaw:Action 属性を含まなければならない。

【IHE-WSP208】 WSDL operation 要素は、次の記法をとる。

	命名規則	例
input	wsdl :operation/wsdl :input/@wsaw :Action= "urn :ihe :{DOMAIN} :{YEAR} :{Transaction Name}"	wsaw :Action="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery"
output	wsdl :operation/wsdl :output/@wsaw :Action= "urn :ihe :{DOMAIN} :{YEAR} :{Transaction Name}Response"	wsaw :Action="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQueryResponse"

3.2.4.2.3 バインディング定義

【IHE-WSP211】 WSDL バインディング定義中の各オペレーションに対して、wsaw :operation/@soapAction 属性が使用され、WSDL ポートタイプ定義で定義された@soapAction 属性と一致しなければならない。

【IHE-WSP215】 IHE 仕様書で提供される WSDL では、特に断りがない限り、「WSDL 1.1 第3章」、及び、「SOAP1.2 のための拡張」に記述された、SOAP 1.2 バインディングを使用する。

【IHE-WSP216】 SOAP1.1 が要求される場合、「WSDL 1.1 第3章」に記述された SOAP1.1 バインディングを使用する。

【IHE-WSP300】 SOAP メッセージと WSDL 文書は、WS-I Basic Profile 1.1 に準拠しなければならない。

3.2.4.2.4 アドレス指定

【IHE-WSA100】 IHE トランザクションで提供される WSDL は、WS-Addressing フレームワークを使用しなければならない。

【IHE-WSA101】 全ての<wsa:Action>要素は mustUnderstand 属性を持ち、その値は「1」に設定されなければならない。

【IHE-WSA102】 開始メッセージには<wsa:ReplyTo>要素が出現しなければならない。<wsa:ReplyTo>要素は、mustUnderstand 属性を持ち、その値は「1」に設定されなければならない。

3.2.4.3 MTOM/XOP 仕様の文書添付方式

MTOM/XOP は、メッセージ最適化送信(MTOM)と XML バイナリ最適パッケージ化(XOP)を使用することにより、SOAP 通信において、XML 文書を効率的な方法で添付することを可能にする。XDS 統合プロファイルの文書セットの読み出し(Retrieve Document Set)、及び、XCA 統合プロファイルのゲートウェイ間読み出し(Cross Gateway Retrieve)では、MTOM/XOP 方式を用いて、リポジトリ内の文書を SOAP 通信で効率的に伝送する。以下に SOAP メッセージの例を示す。

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: Apache-Coyote/1.1
Content-Type: multipart/related;
boundary=MIMEBoundaryurn_uuid_F862C3E04D9E35266C1256303956115;
type="application/xop+xml";
start="0.urn:uuid:F862C3E04D9E35266C1256303956116@apache.org";
start-info="application/soap+xml"; action="urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSetResponse"
Date: Fri, 23 Oct 2009 13:19:11 GMT
```

```

--MIMEBoundaryurn_uuid_F862C3E04D9E35266C1256303956115
Content-Type: application/xop+xml; charset=UTF-8; type="application/soap+xml"
Content-Transfer-Encoding: binary
Content-ID: <0.urn:uuid:F862C3E04D9E35266C1256303956116@apache.org>

<?xml version='1.0' encoding='UTF-8'?>
<soapenv:Envelope xmlns:soapenv="http://www.w3.org/2003/05/soap-envelope"
  xmlns:wsa="http://www.w3.org/2005/08/addressing">
  <soapenv:Header>
    <wsa:Action>urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSetResponse</wsa:Action>
    <wsa:RelatesTo>urn:uuid:DCD262C64C22DB97351256303951276</wsa:RelatesTo>
  </soapenv:Header>
  <soapenv:Body>
    <xdsb:RetrieveDocumentSetResponse xmlns:xdsb="urn:ihe:iti:xds-b:2007">
      <rs:RegistryResponse xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
        status="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success"/>
      <xdsb:DocumentResponse>
        <xdsb:RepositoryUniqueId>1.19.6.24.109.42.1.5</xdsb:RepositoryUniqueId>
        <xdsb:DocumentUniqueId>2009.9.1.1573</xdsb:DocumentUniqueId>
        <xdsb:mimeType>application/pdf</xdsb:mimeType>
        <xdsb:Document>
          <xop:Include
href="cid:1.urn:uuid:F862C3E04D9E35266C1256303956117@apache.org"
          xmlns:xop="http://www.w3.org/2004/08/xop/include"/>
        </xdsb:Document>
      </xdsb:DocumentResponse>
    </xdsb:RetrieveDocumentSetResponse>
  </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>

--MIMEBoundaryurn_uuid_F862C3E04D9E35266C1256303956115
Content-Type: application/octet-stream
Content-Transfer-Encoding: binary
Content-ID: <1.urn:uuid:F862C3E04D9E35266C1256303956117@apache.org>

This is the content of the document.

--MIMEBoundaryurn_uuid_F862C3E04D9E35266C1256303956115--

```

3.2.5 「X.5 メッセージ定義」の記載内容

本章では、メッセージペイロードを記述する XML 文書の仕様を、表 3.2.5-1 に示す表形式で記述する。

PIXV3 や PDQV3 では、HL7 Version3 のメッセージインタラクションとして XML 仕様が定義される。一方、XDS.b では、ebXML (ebRIM、ebRS) を使用して XML メッセージの仕様が定義される。

メッセージ定義表の 1 行目に表示される行 (表 3.2.5-1 では「/PRPA_IN201309UV02」) は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を、表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「XML No」列は、本書中で、項目を相互参照する場合に使用する識別番号である。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合、要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は、XPath の表記に従い「text ()」と示す。

「IHE」及び「JAHIS」列は「M」または「0」の 2 つの制約値をとる。

- M: 要素の存在が必須であり、値の記述が必要。
- 0: 要素の存在は必須でなく、省略が可能。
- N: IHE ではオプションである項目で、本書では使用しない項目。

「IHE」列は、IHE 統合プロファイル上の制約を示しており、「JAHIS」列は、本書で定めた制約を示している。制約値に続けて記述される数値は、その項目の多重度を示す。多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「. .」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」(アスタリスク)で示す。

表 3.2.5-1 の例の場合、id 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、author 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、制約、または、多重度は、その項目の上位の項目が出現した場合の制約や多重度となる。表 3.2.5-1 の例では、id 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である root 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である id 要素自体は省略することが可能であるが、id 要素が出現する場合には、その下位項目である root 属性も必ず出現しなければならないことを意味する。本中では、最小多重度が 1 である項目は太字で示す。表 3.2.5-1 の XML No 2.2、及び、XML No 2.3 は、「JAHIS」列が「N」であり、本書では使用しない項目であることを示す。本書で使用しない項目は、濃灰色で色付けする。

XML 要素の出現順は、XML 仕様表の XML No 順となるが、任意の順序でよい項目も一部存在する。任意の順序でよい項目は仕様表に記載する。また、XML 属性の出現順は、XML 仕様表の出現順には依存せず任意とする。例えば、下記例では、XML No 1.1 と 1.2 の属性は、どちらが先に出現してもよい。

表中の「設定区分」列の「●」または「◆」印は、その行が示す XML 要素または属性に対して、特定の固定値ではなく、個々のアプリケーションで何らかの値を設定しなければならないことを示している。さらに「◆」は、その設定値が検索パラメータの一部であることを示す。設定区分に印が存在しない行は本書で決められた固定値を設定することとなる。

「説明」欄には、IHE のテクニカルフレームワークで書かれている制約事項に加え、元になっている HL7 の仕様上の解説を加えたものについては[解説]というタグで説明を示した。また、特に使用方法について本書で何らかの推奨や限定を加えている箇所については、[JAHIS]というタグでその内容を示した。

本章を読むことにより、SOAP メッセージのボディとして伝送する XML インスタンスの作成方法を得ることができる。

表 3.2.5-1 本書におけるメッセージ定義の表記

/PRPA_IN201309UV02						
XML No	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	0 : 0..1	0 : 0..1		メッセージ ID	
1.1	@root	M : 1..1	M : 1..1	OID/UUID	[解説] root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構	

					成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	
1.2	@extension	M : 1..1	M : 1..1	文字列	メッセージ ID を指定。	●
2	author	M : 1..*	M : 1..*		メッセージ作成者。	
2.1	time	M : 1..1	M : 1..1		メッセージ作成日。	
2.1.1	@value	M : 1..1	M : 1..1	日付	形式 : YYYYMMDD。	●
2.2	modeCode	0 : 0..1	N		[JAHIS] 本書では使用しない。	
2.2.1	@code	M : 1..1	N		[JAHIS] 本書では使用しない。	

「記法」列には、表 3.1-1 の種別を設定する。

表 3.2.5-2 記法の種類と定義

	種別	定義
1	文字列	文字列。(全角半角混在可)
2	コード	コード表で定義されたコード値。
3	数値	[0-9] で指定される半角数字。
4	OID	ISO オブジェクト識別子。
5	UUID	UUID(Universally Unique Identifier) RFC4122。
6	日付	"YYYYMMDDHHMMSS.UUUU" で表現される日付。
7	真偽値	[true false]。

[JAHIS]

文字として日本語を含む場合は、符号化文字集合として、JIS X 0208-1980、または、JIS X 0212-1990 を利用するものとし、半角カナは全ての項目において使用しないこと。文字符号化方式は、他国語環境との整合を考慮し UTF-8 を推奨する。

第4章 患者 ID 相互参照管理方式 (IHE PIX)

4.1 概要

「患者 ID ドメイン」は、単一のシステム、または、共通の ID 体系（識別子と患者への割当処理）と患者 ID の割当機関を共有する一連の相互接続されたシステム群として定義される。PIX 統合プロファイルは、複数の患者 ID ドメイン間での患者 ID の相互参照をサポートするために、次のインタラクションを定義する。

- 患者 ID ソースから PIX マネージャへの患者情報の伝送
- 問合せ/応答、あるいは、更新通知によって、相互参照された患者 ID リストへアクセスする能力

PIX 統合プロファイルには、患者 ID の提供、及び、患者 ID の問合せ/更新通知を実現するために、メッセージフォーマットとして HL7 Version 2 形式メッセージを使用する PIX 統合プロファイルと、HL7 Version 3 形式、及び、SOAP ベースの Web サービスを使用する PIXV3 統合プロファイルの 2 種類の統合プロファイルが存在する。

図 4.1-1 に、PIX 統合プロファイルで定義されたアクタ、及び、トランザクションを示す。また、図 4.1-2 に、PIXV3 統合プロファイルで定義されたアクタ、及び、トランザクションを示す。表 4.1-1 には、PIX、及び、PIXV3 統合プロファイルのアクタの説明を示す。ある PIX マネージャアクタが管理する一連の患者 ID ドメインを、「患者 ID 相互参照ドメイン」と呼ぶ。PIX マネージャアクタは、異なる患者 ID ドメインで別々の ID も持つ患者 ID のリストの生成、維持、提供に責任を持つ。患者 ID 相互参照ドメインにおいては、参加するドメイン間の患者 ID の相互参照に関するポリシーと、ポリシーを管理するためのプロセス、これらのプロセスとポリシーを管理する機関について合意していることが前提となる。

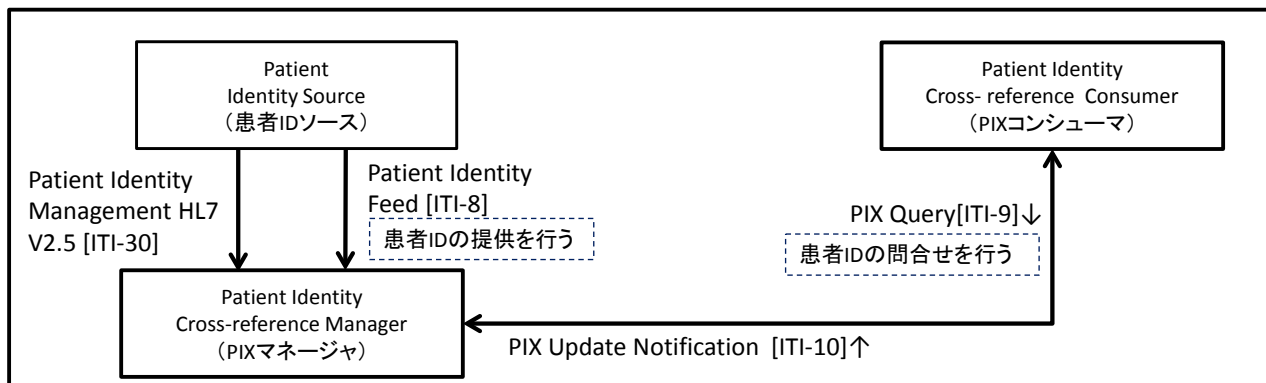


図 4.1-1 PIX 統合プロファイルアクタ図

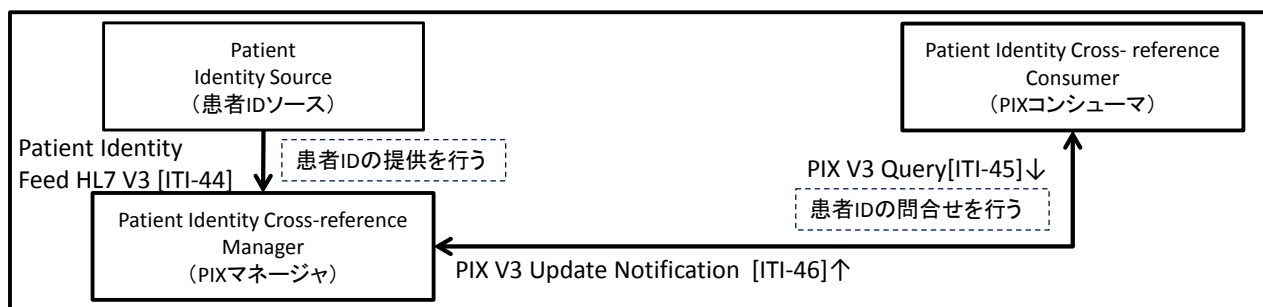


図 4.1-2 PIXV3 統合プロファイルアクタ図

表 4.1-1 PIX/PIXV3 統合プロファイルのアクタ

No	IHE アクタ	説明
1	患者 ID ソース (Patient Identity Source)	PIX マネージャに、患者 ID の生成、更新、マージ等、患者 ID に関するイベントを通知する。
2	PIX マネージャ (Patient Identity	複数の患者 ID ドメインに対して、各患者 ID ドメインの患

	Cross-reference Manager)	者 ID ソースから提供される患者 ID の相互参照を管理する。
3	PIX コンシューマ (Patient Identity Cross-reference Consumer)	PIX マネージャに対して、患者 ID リストに関する問合せを行う。

4.2 適用方針

PIXの2種類の統合プロフィールに対して、本書では、Webサービスの親和性の理由からPIXV3統合プロフィールのみを解説の対象とする。表4.2-1の「解説対象」列に示した「○」は、異なる地域医療連携情報システム間で患者IDの問合せを行う際に適用可能なトランザクションとして、本書で解説するトランザクションであることを示す。「解説対象」列に「－」を記したトランザクションは解説対象外とする。ただし、実装を妨げるものではない。

異なる地域医療連携システム間での情報連携における本統合プロフィールの適用を考えた場合に、他のシステムが管理する情報を更新するようなトランザクションの使用は、「第2章 本書を適用するにあたって」で述べた我が国の地域医療連携の実情を考慮すると、たとえ同一の医療圏内であったとしても現実的でない状況がありえる。そのため、患者ID情報の照会系のトランザクションのみを本書の対象とする。ただし、本書で取り上げない「患者IDソース」アクタや、他のトランザクションの実装を妨げるものではない。

具体的には、異なる地域医療連携情報システム間での患者IDの相互参照を行う場合、患者IDの相互参照を管理するシステムは、「PIXマネージャ」アクタを実装し、情報参照のためのトランザクションとして患者ID相互参照問合せ[ITI-45]トランザクションを受信できなければならない。一方、患者IDの問合せを行うシステムは、「PIXコンシューマ」アクタを実装し、患者ID相互参照問合せ[ITI-45]トランザクションを送信できなければならない。それぞれの地域医療連携情報システムの「PIXマネージャ」が、患者IDの相互参照を行うために「患者IDフィード」トランザクションを使わずに他システムの患者IDとの紐付けをどのように実施するかについて本書では方法を既定しない。方法の一つとして、「第5章 患者基本情報問合せ方式 (IHE PDQ)」で解説するPDQV3統合プロフィールを使用し、患者基本情報を元に取得した結果に基づき、自身のドメイン内の患者IDとの紐付けを行うことが考えられる。

表 4.2-1 PIXV3 統合プロフィールトランザクション一覧

IHE アクタ	解説対象	トランザクション	説明	オプションリテ (IHE)
患者 ID ソース	－	患者 ID フィード (HL7V3 版) (Patient Identity Feed HL7 V3 [ITI-44])	患者 ID の提供を行う。	R
PIX コンシューマ	○	患者 ID 相互参照問合せ (HL7V3 版) (PIXV3 Query [ITI-45])	患者 ID の問合せを行う。	R
	－	患者 ID 相互参照更新通知 (HL7V3 版) (PIX V3 Update Notification [ITI-46])	患者 ID の更新通知を受け る。	O
PIX マネージャ	－	患者 ID フィード (HL7V3 版) (Patient Identity Feed HL7 V3 [ITI-44])	患者 ID の提供を受ける。	R
	○	患者 ID 相互参照問合せ (HL7V3 版) (PIXV3 Query [ITI-45])	患者 ID の問い合わせを受け 応答を返す。	R
	－	患者 ID 相互参照更新通知 (HL7V3 版) (PIX V3 Update Notification [ITI-46])	患者 ID の更新通知を行う。	R

表 4.2-2 に、PIXV3 統合プロフィールの選択可能なオプションを示す。本書の解説対象としたものは該当行の「解説対象」列に「○」、本書対象外にしたものは「－」を記す。本書では、PIXV3 で適用可能なオプションについてはいずれも解説対象とはしない。しかし、これらの適用可能なオプションの実装を妨げるものではない。

表 4.2-2 PIXV3 統合プロフィールで選択可能なオプション

IHE アクタ	オプション	説明	本書
患者 ID ソース	小児基本情報 (Pediatric Demographics)	小児基本情報を含む問合せに使用可能な以下の追加の検索パラメータを提供する。 ・母親の旧姓 ・自宅電話番号 ・多胎児識別子 ・多胎児の出生順位 ・最終更新日時	－

		・最終更新施設	
PIX マネージャ	小児基本情報 (Pediatric Demographics)	小児基本情報を含む問合せに使用可能な以下の追加の検索パラメータを提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・母親の旧姓 ・自宅電話番号 ・多胎児識別子 ・多胎児の出生順位 ・最終更新日時 ・最終更新施設 	—
PIX コンシューマ	患者 ID 相互参照更新通知 (HL7V3 版) (PIXV3 Update Notification Transaction)	患者 ID の更新通知を行う。	—

4.3 トランザクション定義

PIXV3 統合プロファイルを実現するためのトランザクションの具体的な実装仕様を示す。本書では、4.2節の適用方針において示した表 4.3-1のトランザクションのみを解説の対象とする。

表 4.3-1 PIXV3 のトランザクション定義

	アクタ	トランザクション	掲載節
1	PIX コンシューマ	患者 ID 相互参照問合せ (HL7V3 版) (PIXV3 Query [ITI-45])	第4.3.1節
2	PIX マネージャ	患者 ID 相互参照問合せ (HL7V3 版) (PIXV3 Query [ITI-45])	第4.3.1節

4.3.1 患者 ID 相互参照問合せ (HL7 V3 版) [ITI-45]

患者 ID 相互参照問合せ (HL7V3 版) [ITI-45] トランザクションを実装するための参照規格は、HL7 バージョン 3 2008 年 Normative Edition の Patient Administration DSTU, Patient Topic である。図 4.3.1-1 に、本メッセージを実現する HL7 Version 3 メッセージインタラクションを示す。本インタラクションは、PIX コンシューマからの問合せに対応する患者 ID 照会メッセージと、PIX マネージャからの問合せ応答に対応する患者 ID 照会応答メッセージから構成される。患者 ID 照会メッセージの HL7 Version3 メッセージインタラクションを表 4.3.1-1 に示す。患者 ID 照会応答メッセージの HL7 Version3 メッセージインタラクションを表 4.3.1-2 に示す。

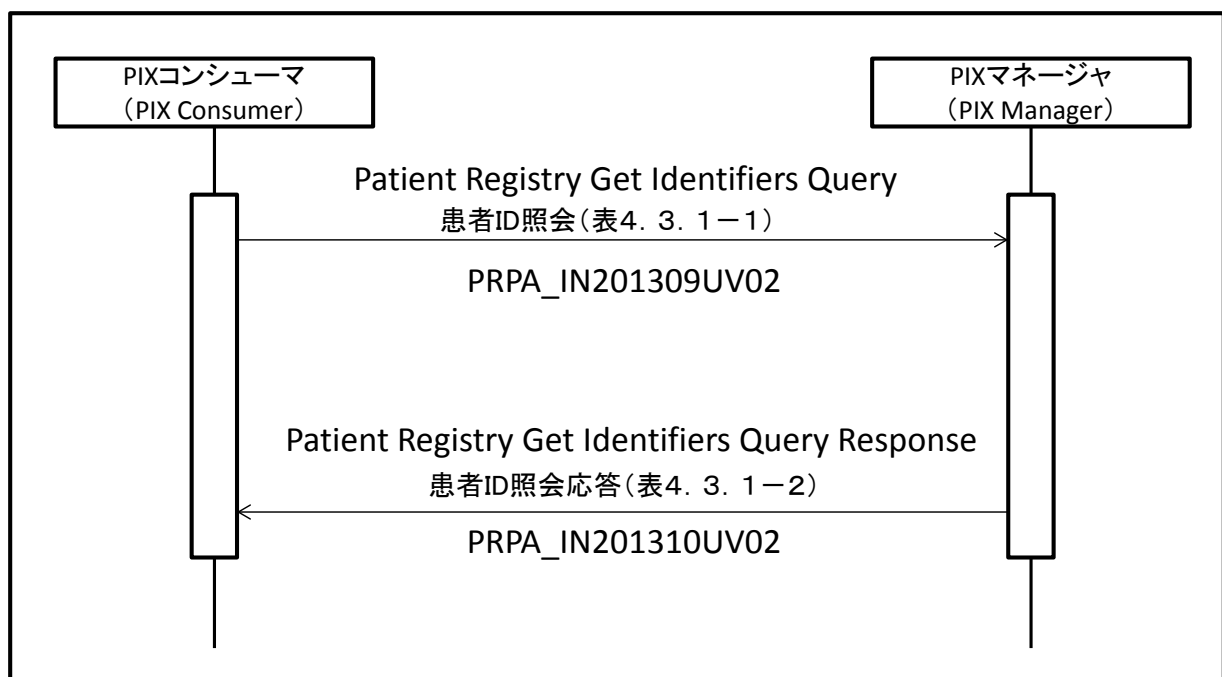


図 4.3.1-1 患者 ID 相互参照問合せメッセージインタラクション

表 4.3.1-1 患者 ID 照会メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
インタラクション	Patient Registry Get Identifiers Query	PRPA_IN201309UV02	照会メッセージのルート要素名となる。 成果物識別子を表 4.5.1.1-2の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	PIX コンシューマアクタに対応する。
受信アプリケーションロー	Patient Registry Query	PRPA_AR201304UV02	PIX マネージャアクタに対応

ル	Filler		する。
トリガイイベント	Patient Registry Get Identifiers Query	PRPA_TE201309UV02	成果物識別子を表 4. 5. 1. 1-2 の XML No 11. 4. 1 に設定する。
伝送ラップ	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、表 4. 5. 1. 1-2 に含まれる。
トリガイイベントコントロールアクトラップ	Query Control Act Request: Query By Parameter	QUQI_MT021001UV01	対応する XML 定義は、表 4. 5. 1. 1-2 に含まれる。
ペイロード	Patient Registry Query By Identifier	PRPA_MT201307UV02	対応する XML 定義は表 4. 5. 1. 1-3 に含まれる。
受信者責務	トリガイイベント	PRPA_TE201310UV02	受信アプリケーションは問合せの応答を返さなければならない。
	インタラクション	PRPA_IN201310UV02	応答メッセージのインタラクション。

表 4. 3. 1-2 患者 ID 照会応答メッセージインタラクション

種別	名前	識別子	備考
インタラクション	Patient Registry Get Identifiers Query Response	PRPA_IN201310UV02	応答メッセージのルート要素名となる。 成果物識別子を表 4. 5. 1. 2-1 の XML No 4. 2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Filler	PRPA_AR201304UV02	PIX マネージャアクタに対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	PIX コンシューマアクタに対応する。
トリガイイベント	Patient Registry Get Identifiers Query Response	PRPA_TE201310UV02	成果物識別子を表 4. 5. 1. 2-1 の XML No 11. 4. 1 に設定する。
伝送ラップ	Application Level Acknowledgement	MCCI_MT000300UV01	対応する XML 定義は、表 4. 5. 1. 2-1 に含まれる。
トリガイイベントコントロールアクトラップ	Master File / Registry Query Response, Role Subject	MFMI_MT700711UV01	対応する XML 定義は、表 4. 5. 1. 2-1 に含まれる。
クエリ応答タイプ	Patient Identifiers	PRPA_MT201304UV02	対応する XML 定義は表 4. 5. 1. 2-3 に含まれる。
クエリ定義	Patient Registry Query By Identifier	PRPA_MT201307UV02	対応する問合せメッセージのペイロードのメッセージ型。

4.4 インターフェース定義

Web サービスインターフェースを実現するための WSDL 文書定義を示す。WSDL は、3.2.4 節に示す要求事項に従って定義される。

4.4.1 患者 ID 相互参照問合せ (HL7 V3 版) [ITI-45]

患者 ID 相互参照問合せ (HL7V3 版) トランザクションの Web サービスインターフェース仕様を、表 4.4.1-1、表 4.4.1-2、及び、表 4.4.1-3 に示す。WSDL の定義例は、付録1 WSDL 「1. 患者 ID 相互参照問合せ」に示す。

表 4.4.1-1 患者 ID 相互参照問合せトランザクションで使用する名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:pixv3:2007
wsoap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsoap	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
hl7	urn:hl7-org:v3

表 4.4.1-2 患者 ID 相互参照問合せトランザクションで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
hl7:PRPA_IN201309UV02	PRPA_IN201309UV02.xsd
hl7:PRPA_IN201310UV02	PRPA_IN201310UV02.xsd

表 4.4.1-3 患者 ID 相互参照問合せトランザクションのインターフェース仕様

WSDL					
PIXManager.wsdl					
ポートタイプ					
PIXManager_PortType					
オペレーション		IN/OUT			
患者 ID 相互参照問合せ	PIXManager_PRPA_IN201309UV02	入力	メッセージ定義	患者 ID 照会メッセージ	tns:PRPA_IN201309UV02_Message
			part	要素	Body hl7:PRPA_IN201309UV02
		アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02		
		出力	メッセージ定義	患者 ID 照会応答メッセージ	tns:PRPA_IN201310UV02_Message
part	要素		Body hl7:PRPA_IN201310UV02		
アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201310UV02				
バインディング (SOAP 1.2 binding)					
PIXManager_Binding_Soap12					
ポートタイプ		PIXManager_PortType			
バインディングスタイル		文書指向 (document)			
トランスポート		HTTP			
オペレーション	PIXManager_PRPA_IN201309UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02		
		input	リテラル形式 (literal)		
		output	リテラル形式 (literal)		

4.5 メッセージ定義

4.5.1 患者 ID 相互参照問合せ (HL7 V3 版) [ITI-45]

本章では、患者 ID 相互参照問合せ (HL7V3 版) トランザクションに使用する XML メッセージ定義を示す。患者 ID 相互参照問合せトランザクションは、照会メッセージとその応答メッセージの2つのメッセージを使用する。患者 ID 照会メッセージの XML 定義を 4.5.1.1 節に示し、患者 ID 照会応答メッセージの XML 定義を 4.5.1.2 節に示す。どちらのメッセージについても、定義表の読みやすさを考慮して、ある単位で定義表を分割して記述する。図 4.5.1-1 に、各メッセージの XML 定義表の関係を示す。メッセージの XML インスタンスの例は、付録 2 の「1. 患者 ID 照会メッセージ」、及び、「2. 患者 ID 照会応答メッセージ」に示す。

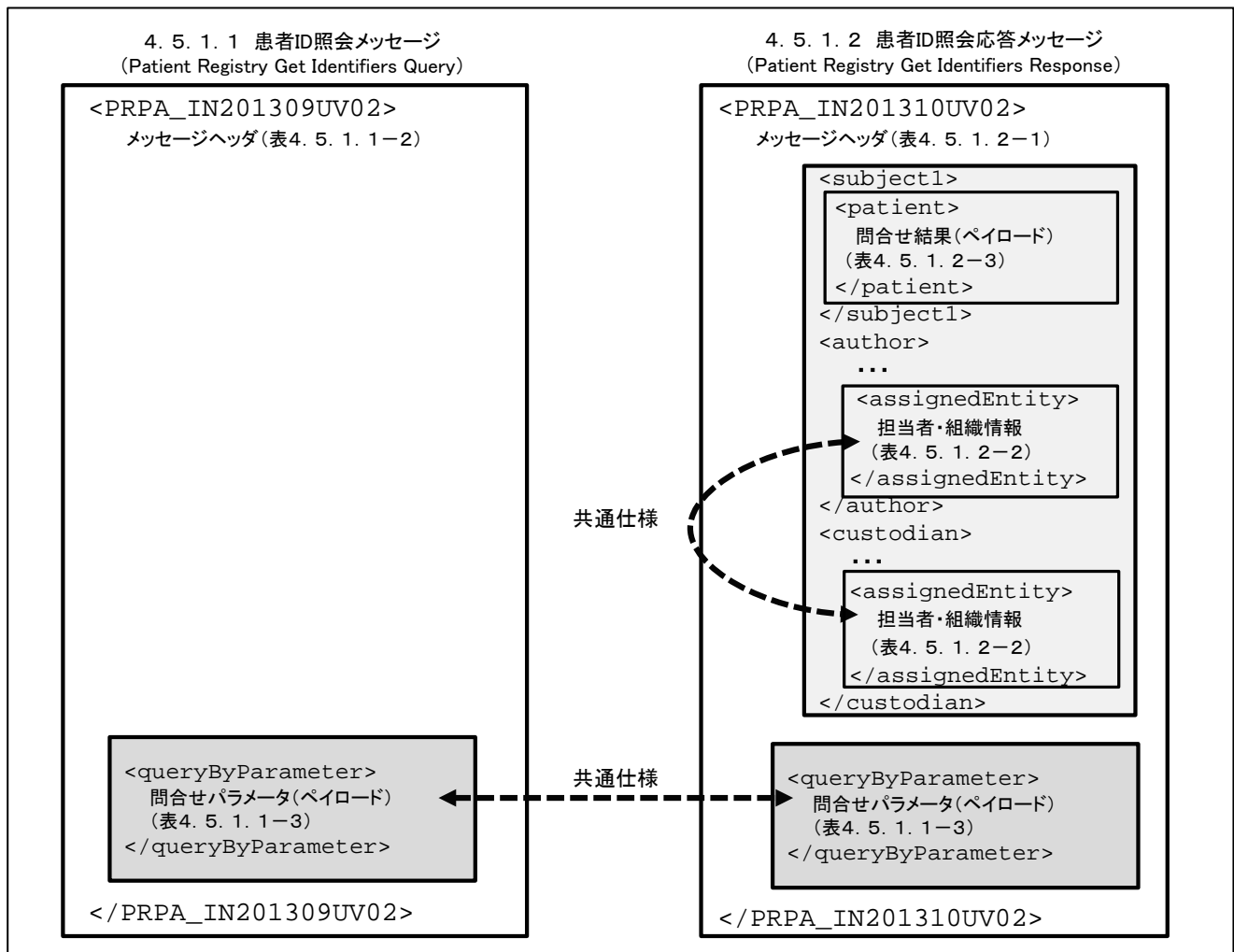


図 4.5.1-1 患者 ID 相互参照問合せメッセージの XML 定義表の関係

4.5.1.1 患者 ID 照会メッセージ (Patient Registry Get Identifiers Query (PRPA_IN201309UV02))

患者ID照会メッセージのXML定義を示す。本メッセージで使用可能な問合せパラメータとその使用方法を、表 4.5.1.1-1に示す。表中の「XML 定義」は、XML 定義表中の該当箇所を示す。また、「パラメータ識別子 (semanticsText)」は、問合せパラメータを識別するためにXML中に設定する文字列を示す。

表 4.5.1.1-1 患者ID照会メッセージの問合せパラメータ

No	パラメータ名	XML 定義	パラメータ識別子 (semanticsText)	説明	必須 / 任意	多重度
1	患者 ID (PatientIdentifier)	表4.5.1.1-3 XML No 4.2	Patient.id	<p>問合せ対象となる患者の識別子を指定する。</p> <p>HL7 V3 データ型 II 型を使用し、root 属性に識別子の名前空間を示す ISO OID、つまり、患者 ID ドメインのOIDを指定する。extension 属性に、そのドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者 ID ドメインのOID : 1.2.3.4.5 患者 ID : 987654 <pre><value root="1.2.3.4.5" extension="987654"/></pre>	必須	1..1
2	データソース (DataSource)	表4.5.1.1-3 XML No 4.1	Datasource.id	<p>患者 ID ドメインの発行組織/発行者を特定するためのパラメータ。データソースパラメータが指定された場合、患者 ID の root 属性のOIDがデータソースの root 属性のOIDに一致する患者 ID のみが返される。</p> <p>複数のデータソースパラメータが指定された場合には、各データソースに対応する患者 ID ドメインについて、該当する患者 ID を返答。</p> <p>データソースパラメータが指定されない場合、患者 ID に指定された ID を持つすべての患者 ID を、全患者 ID ドメインの中から返答する。</p> <p>データソースの指定には HL7 V3 データ型 II 型を使用し、root 属性に患者 ID ドメインを示す ISO OID を指定する。extension 属性は使用してはならない。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者 ID ドメインのOID : 1.2.3.4.5 <pre><value root="1.2.3.4.5"/></pre>	任意	0..*

患者 ID 照会メッセージのメッセージヘッダに相当する部分の XML 定義を表 4.5.1.1-2 に示す。この定義は HL7 V3 メッセージの伝送ラップとトリガイベントコントロールアクトラップに対応する。伝送ラップについては、ITI TF-2x Appendix 0.1.1 Send Message Payload Information Model (MCCI_RM000100IHE) の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えた。また、トリガイベントコントロールアクトラップについては、ITI TF-2x Appendix 0.2.3 Query Control Act Request: Query By Parameter Information Model (QUQI_MT02100IHE) の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えたものである。

表 4.5.1.1-2 XML 定義 (患者 ID 照会メッセージ:メッセージヘッダ)

/PRPA_IN201309UV02						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	M :1..1	M :1..1		メッセージ毎に固有なメッセージ ID。	
1.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID/UUID	メッセージ ID。 [解説] root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	メッセージ ID。 [解説] root 属性のみでユニークな ID を構成できない場合、root 属性と extension 属性を組み合わせてユニークな ID とする。	●
2	creationTime	M :1..1	M :1..1		メッセージの作成日時のタイムスタンプ。	
2.1	@value	M :1..1	M :1..1	日付	メッセージの作成日時。 書式: YYYYMMDDHHMSS	●
3	versionCode	0 :0..1	0 :0..1		使用する HL7 のバージョンを指定するコード。	
3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 ボキャブラリ HL7StandardVersionCode から「V3PRI」を設定。	
4	interactionId	M :1..1	M :1..1		HL7 のメッセージインタラクション ID。	
4.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 の成果物を識別する OID である「2.16.840.1.113883.1.6」を設定。	
4.2	@extension	M :1..1	M :1..1	文字列	本メッセージのインタラクション ID である「PRPA_IN201309UV02」を設定。	
5	processingCode	M :1..1	M :1..1		処理コード。	
5.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	送信システムの状態と関連したメッセージの処理目的。HL7V3 ボキャブラリ ProcessingID からコードを設定する。 ・デバギング:「D」、 ・本系 (プロダクション):「P」、 ・トレーニング:「T」 [JAHIS] 「本系」を示す「P」を設定。	
6	processingModeCode	M :1..1	M :1..1		HL7 メッセージの処理モード。	
6.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	メッセージの処理モード。HL7V3 ボキャブラリ	

					ProcessingMode からコードを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・アーカイブモード：「A」 ・イニシャルロードモード：「I」 ・現在処理中：「T」 ・アーカイブからの復帰「R」 [JAHIS] 「現在処理中」を表す「T」を設定。
7	acceptAckCode	M :1..1	M :1..1		応答条件区分。
7.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	応答メッセージが要求されるかどうかを示す。 HL7V3 ボキャブラリ AcknowledgementCondition からコードを指定。 <ul style="list-style-type: none"> ・常に必要：「AL」 ・エラーまたは拒否時のみ：「ER」 ・応答しない：「NE」 [JAHIS] 常に応答を返すことを意味する「AL」を設定。
8	sequenceNumber	0 :0..1	N		[JAHIS] シーケンス番号プロトコルを使用する際に使用するシーケンス番号。本書では使用しない。
9	receiver	M :1..1	M :1..1		メッセージの受信者の情報。
9.1	@typeCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ CommunicationFunction から、メッセージの受信者を示す「RCV」を設定。
9.2	device	M :1..1	M :1..1		メッセージの受信装置（アプリケーション）の情報。
9.21	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から、装置を表す「DEV」を設定。
9.22	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から、個別のインスタンスを表す「INSTANCE」を設定。
9.23	id	M :1..1	M :1..1		受信装置（アプリケーション）を識別する識別子。 extension 属性は使用してはならない。
9.231	@root	M :1..1	M :1..1	OID	受信装置を示す ISO OID。extension 属性は指定しないため、OID のみで装置を識別できる必要がある。
9.24	name	0 :0..*	0 :0..*		受信装置の名称。8.3節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。
9.25	telecom	0 :0..*	0 :0..*		受信装置のネットワークアドレス。
9.251	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	受信装置のネットワークアドレス。 例えば、受信装置の URL を設定する。
9.26	manufacturerModelName	0 :0..1	0 :0..1		受信アプリケーションの製品名。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用しない。
9.261	@code	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。
9.262	@codeSystem	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。
9.263	@codeSystemName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。
9.264	@displayName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。

9265	text()	0:0..1	0:0..1	文字列	製品名称。	●
927	softwareName	0:0..1	0:0..1		受信アプリケーションのソフトウェア名称。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用しない。	
9271	@code	0:0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9272	@codeSystem	0:0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9273	@codeSystemName	0:0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9274	@displayName	0:0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9275	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	受信アプリケーションのソフトウェア名称。	●
928	asAgent	0:0..1	0:0..1		受信アプリケーションが所属する施設の情報。	
9281	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「AGNT」を設定。	
9282	representedOrganization	M:1..1	M:1..1		受信施設情報。	
92821	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から組織を表す「ORG」を設定。	
92822	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
92823	id	M:1..*	M:1..*		施設の識別子。extension 属性は使用してはならない。	
928231	@root	M:1..1	M:1..1	OID	組織の識別子を表す ISO OID。 [JAHIS] 受信施設が固有の OID を持っている場合は、その OID を指定する。受信施設が保険医療機関の場合、保険医療機関コードの OID 「1.2.392.200119.6.102.」の末尾に「[1]+保険医療機関番号(10桁)」を指定する。保険医療機関コードを持たない場合、「[9]+当該施設の電話番号下9桁」を保険医療機関コードとする。 例：保険医療機関コード「1312345670」の場合「1.2.392.200196.102.11312345670」	●
92824	name	0:0..*	0:0..*		受信施設の組織名称。8.3節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
92825	teleocm	0:0..*	0:0..*		受信施設の連絡先電話番号。8.7節 共通データ仕様「電話番号」を使用する。	●
10	sender	M:1..1	M:1..1		メッセージの送信者の情報。	
101	@typeCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ CommunicationFunction から、メッセージの送信者を示す「SND」を設定。	
102	device	M:1..1	M:1..1		メッセージの送信装置(アプリケーション)の情報。	
1021	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から、装置を表す「DEV」を設定。	
1022	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から、個別のインスタンスを表す「INSTANCE」を設定。	
1023	id	M:1..1	M:1..1		送信装置(アプリケーション)を識別する識別子。	

					extension 属性は使用してはならない。	
I0231	@root	M:1.1	M:1.1	OID	送信装置を示す ISO OID。extension 属性は指定しないため、OID のみで装置を識別できる必要がある。	●
I024	name	0:0.1	0:0.1		送信装置の名称。8.3 節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
I025	telecom	0:0.1	0:0.1		送信装置のネットワークアドレス。	
I0251	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	送信装置のネットワークアドレス。 例えば、送信装置の URL を設定する。	●
I026	manufacturerModelName	0:0.1	0:0.1		送信アプリケーションの製品名。	
I0261	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	製品名称。	●
I027	softwareName	0:0.1	0:0.1		送信アプリケーションのソフトウェア名称。	
I0271	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	送信アプリケーションのソフトウェア名称。	●
I028	asAgent	0:0.1	0:0.1		送信アプリケーションが所属する施設の情報。	
I0281	@classCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「AGNT」を指定。	
I0282	representedOrganization	M:1.1	M:1.1		送信施設情報。	
I02821	@classCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から組織を表す「ORG」を設定。	
I02822	@determinerCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
I02823	id	M:1.*	M:1.*		施設の識別子。extension 属性は使用しない。	
I028231	@root	M:1.1	M:1.1	OID	組織の識別子を表す ISO OID。 [JAHIS] 送信施設が固有の OID を持っている場合は、その OID を指定する。送信施設が保険医療機関の場合、保険医療機関コードの OID 「1.2.392.200119.6.102。」の末尾に「[1]+保険医療機関番号(10桁)」を指定する。保険医療機関コードを持たない場合、「[9]+当該施設の電話番号下9桁」を保険医療機関コードとする。 例：保険医療機関コード「1312345670」の場合「1.2.392.200196.102.11312345670」	●
I02824	name	0:0.*	0:0.*		送信施設の組織名称。8.3 節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
I02825	telecom	0:0.*	0:0.*		送信施設の連絡先電話番号。8.7 節 共通データ仕様「電話番号」を使用する。	
I1	controlActProcess	M:1.1	M:1.1		トリガイベントコントロールアクトラップ	
I1.1	@classCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ActClass から「CACT」を設定。	
I1.2	@moodCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ActMood から「EVN」を設定。	
I1.3	id	0:0.*	N		[JAHIS] トリガイベントコントロールアクトラップの識別子。本書では使用しない。	
I1.4	code	0:0.1	0:0.1		HL7 トリガイベントコード。	
I1.41	@code	M:1.1	M:1.1	コード	本メッセージのトリガイベントの成果物 ID を示す「PRPA_TE201309UV02」を設定。	
I1.42	@codeSystem	M:1.1	M:1.1	OID	HL7 トリガイベントコードのコード体系を識別する OID 「2.16.840.1.113883.1.18」を設定。	

11.5	effectiveTime	0 :0..1	0 :0..1		メッセージ送信のタイムスタンプ。 [JAHIS] IHE では、IVL<TS>型として日時の期間を指定することができるが、本書では単一の日時として指定する。	
11.5.1	center	M :1..1	M :1..1	日付	タイムスタンプ。	
11.5.1.1	@value	M :1..1	M :1..1	日付	書式 : YYYYMMDD[HH[MM[SS[.U[U[U[U]]]]]]]	●
11.6	languageCode	0 :0..1	0 :0..1		言語コード。 [JAHIS] RFC5646 を使用する。	
11.6.1	@code	M :1..1	M :1..1	半角英字	[JAHIS] IEFT3066 (RFC5646) で表現される言語コード。 日本語の場合「 ja-JP 」を設定する。	●
11.6.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	RFC5646 の言語コードを識別する OID 「 2.16.840.1.113883.6.121 」を設定する。	
11.6.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称として「 IEFT3066 」を設定する。	
11.6.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	言語コードの表示名を設定する。	●
11.7	authorOrPerformer	0 :0..*	M :1..*		照会メッセージの作成者または実施者。 [JAHIS] IHE では、人の情報または装置の情報として記録できるが、本書では、人の情報としてのみ記録をする。また、アクセス制御を行うために、本情報は必須とする。	
11.7.1	@typeCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ParticipationType から、実施者を示す「 PRF 」を設定する。	
11.7.2	@contextControlCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ContextControl から、「 AP 」を設定する。	
11.7.3	time	0 :0..1	0 :0..1		問合せを作成または実行した時刻を指定する。 [JAHIS] IHE では、IVL<TS>型を使用し時間間隔として指定可能であるが、本書では、ある時点の時刻として指定する。	
11.7.3.1	center	M :1..1	M :1..1		問合せを作成または実行した時刻。	
11.7.3.1.1	@value	M :1..1	M :1..1	日付	問合せを作成または実行した時刻。 書式 : YYYYMMDDHHMMSS	●
11.7.4	modeCode	0 :0..1	0 :0..1		参加形態を示すコードを指定する。	
11.7.4.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	[JAHIS] コード表 9-5 「参加形態コード」の使用を推奨するが、ドメイン内、及び、ドメイン間の協議の上、他のコードを使用してもよい。	●
11.7.4.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	参加形態コードのコード体系を示す OID を設定する。	●
11.7.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	参加形態コードのコード体系名称を設定する。	●
11.7.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	参加形態コードのコードの表示名を設定する。	●
11.7.5	assignedPerson	0 :0..1	M :1..1		照会実施者。XML No 11.7.5 か 11.7.6 のいずれかが出現する。 [JAHIS] XML No. 11.7.6 は使用しないため、11.7.5 のみ出現する。	
11.7.5.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から、「 ASSIGNED 」	

					を設定する。	
11.7.5.2	id	M :1..1	M :1..1		照会メッセージの実施者の識別子。 [角括弧] 設定する必要がない場合には nullFlavor 属性を使用することも可能である。その場合には XML No 11.7.5.2.3 のみを使用し、XML No 11.7.5.2.1 と、11.7.5.2.2 は出現してはならない。	
11.7.5.2.1	@root	0 :0..1	0 :0..1	OID	識別子の名前空間の OID。	●
11.7.5.2.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子文字列	●
11.7.5.2.3	@nullFlavor	0 :0..1	0 :0..1	コード	設定する場合がないときに使用する。HL7V3 ボキャブラリ NullFlavor より、該当する値がないことを示す「NA」を指定する。	
11.7.5.3	code	0 :0..1	M :1..1		[JAHIS] アクセス制御に使用する、問合せ実施者の職種。現状、我が国で標準的に使用されている保健医療分野の職種コードが存在しないことから、本書では例としてコード表 9-1「職種コード」を提示する。これは ISO/TS17090 で既定された hcRole 属性に指定可能な国家資格をコード化したものである。ただし、hcRole は国家資格でない「准看護師」や「研修医」等の職種を表現することはできないことに留意する。ドメイン内、及び、ドメイン間で協議の上、コード体系の拡張、及び、他のコード体系の利用も可能である。 もし複数の職種を記述する必要がある場合、XML No. 11.7.5.4.4 に繰り返して複数のコードを記述することができる。受信アプリケーションは、XML No. 11.7.5.4.4 に指定されたコードと本コードの両方を考慮してアクセス制御を行う。	
11.7.5.3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	[JAHIS] 職種コードのコード値。	●
11.7.5.3.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	[JAHIS] 職種コードのコード体系を識別する OID を指定する。	●
11.7.5.3.3	@codeSystemName	0 :1..1	0 :0..1	文字列	[JAHIS] 職種コードのコード体系名称を指定する。	●
11.7.5.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	[JAHIS] 職種コードの表示名を指定する。	●
11.7.5.4	assignedPerson	0 :0..1	M :1..1		問合せ実施者の個人情報。 [JAHIS] アクセス制御のための資格	
11.7.5.4.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から、人を表す「PSN」を設定する。	
11.7.5.4.2	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定する。	
11.7.5.4.3	name	M :1..*	M :1..*		問合せ実施者の氏名。 8.2節 共通データ仕様「氏名(漢字・カナ・ローマ字)」から、最低1種類を設定する。	●
11.7.5.4.4	asLicensedEntity	0 :0..*	0 :0..*		問合せ実施者の資格情報。 [JAHIS]	

					もし複数の職種を記載する場合は本要素を使用して繰り返し記載する。受信アプリケーションは、XML No. 11.7.5.3 に指定されたコードと本コードの両方を考慮してアクセス制御を行う。	
11.7.5.4.4.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「LIC」を設定する。	
11.7.5.4.4.2	code	0:1..1	M:1..1		[JAHIS] アクセス制御に使用する、問合せ実施者の職種。現状、我が国で標準的に使用されている保健医療分野の職種コードが存在しないことから、本書では例としてコード表 9-1「職種コード」を提示する。これは ISO/TS17090 で既定された hcRole 属性に指定可能な国家資格をコード化したものである。ただし、hcRole は国家資格でない「准看護師」や「研修医」等の職種を表現することはできないことに留意する。ドメイン内、及び、ドメイン間で協議の上、コード体系の拡張、及び、他のコード体系の利用も可能である。	
11.7.5.4.4.2.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	[JAHIS] 職種コードのコード値。	●
11.7.5.4.4.2.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	[JAHIS] 職種コードのコード体系を識別する OID を指定する。	●
11.7.5.4.4.2.3	@codeSystemName	0:1..1	0:0..1	文字列	[JAHIS] 職種コードのコード体系名称を指定する。	●
11.7.5.4.4.2.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	[JAHIS] 職種コードの表示名を指定する。	●
11.7.5.5	representedOrganization	M:1..1	M:1..1		[JAHIS] アクセス制御に使用する、問合せ実施者が所属する医療機関の情報。表 2.2.4-1 に示す保険医療機関番号を設定する。	
11.7.5.5.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「ORG」を設定	
11.7.5.5.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定	
11.7.5.5.3	id	0:0..1	0:0..1		[JAHIS] 保険医療機関番号	
11.7.5.5.3.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID	[JAHIS] 保険医療機関番号を示す OID「1.2.392.200119.6.102」を指定する。	
11.7.5.5.3.2	@extension	M:1..1	M:1..1	文字列	[JAHIS] 保険医療機関番号。 表 2.2.4-1 の仕様に従い設定する。 都道府県コード (2 桁) + 種別区分 (1 桁) + 保険機関コード (7 桁)	●
11.7.6	assignedDevice	0:0..1	N		[JAHIS] 本書では使用しない。	
11.8	queryByParameter	M:1..1	M:1..1		照会メッセージのペイロード (表 4.5.1.1-3 参照)。	

患者 ID 照会メッセージの問合せパラメータを記述する XML 定義を、表 4.5.1.1-3 に示す。この定義は ITI TF-2b 3.45.4.1.2.2 Message Information Model of the Patient Registry Query by Identifier Message の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えたものである。

表 4.5.1.1-3 XML 定義 (患者 ID 照会メッセージ:ペイロード)

/PRPA_IN201309UV02/controlActProcess/queryByParameter						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	queryId	M:1..1	M:1..1		問合せに対するユニークな識別子	
1.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID/UUID	[解説] 問合せシステムが発番する問合せに対するユニークな ID。 root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0:0..1	0:0..1	文字列	[解説] 問合せに対するユニークな ID。root 属性のみでユニークな ID を構成できない場合、root 属性と extension 属性を組み合わせてユニークな ID とする。	●
2	statusCode	M:1..1	M:1..1		問合せ状態コード。	
2.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ QueryStatusCode から新規問合せを示す「new」を設定。	
3	responsePriorityCode	M:1..1	M:1..1		応答優先度コード。	
3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ QueryPriority から即時応答を表す「I」を設定。	
4	parameterList	M:1..1	M:1..1		問合せパラメータリスト	
4.1	dataSource	0:0..*	0:0..*		表 4.5.1.1-1 に示す検索パラメータのうち、患者 ID の発行機関 (患者 ID ドメイン) を表す ISO OID を指定する。複数指定された場合、応答する PIX マネージャは、各患者 ID ドメインについて、一致する患者 ID を返却しなければならない。	
4.1.1	value	M:1..1	M:1..1		患者 ID ドメインを表す ISO OID。extension 属性は使用しない。	
4.1.1.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID	患者 ID ドメインを表す ISO OID。	◆
4.1.2	semanticsText	M:1..1	M:1..1		検索パラメータを識別する文字列	
4.1.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	「DataSource.id」を設定。	
4.2	patientIdentifier	M:1..1	M:1..1		表 4.5.1.1-1 に示す検索パラメータのうち患者 ID を指定する。1 つの ID が必ず指定されなければならない。複数指定された場合は、エラーとする。	
4.2.1	value	M:1..1	M:1..1		検索対象の患者 ID。	
4.2.1.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID	患者 ID ドメイン (発行機関) を表す ISO OID。	◆
4.2.1.2	@extension	M:1..1	M:1..1	文字列	患者 ID ドメイン内でユニークな患者 ID の識別子。	◆
4.2.1.3	@assigningAuthorityName	0:0..1	0:0..1	文字列	患者 ID の発行機関の名称。	◆

4214	@displayable	0 :0..1	0 :0..1	真偽値	人が解釈可能な識別子の場合「true」を設定する。 機械処理のための識別子の場合「false」を設定する。	◆
422	semanticsText	M :1..1	M :1..1		検索パラメータを識別する文字列。	
4221	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	「Patient. id」を設定。	

4.5.1.2 患者 ID 照会応答メッセージ (Patient Registry Get Identifiers Response (PRPA_IN201310UV02))

患者 ID 照会応答メッセージの XML 定義を示す。まず、応答メッセージのメッセージヘッダの XML 定義を表 4.5.1.2-1 に示す。この定義は HL7 V3 メッセージの伝送ラップとトリガイメントコントロールアクトラップに対応する。伝送ラップについては、ITI TF-2x Appendix 0.1.3 Send Application Acknowledgement Information Model (MCCI_RM000300IHE) の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えた。また、トリガイメントコントロールアクトラップについては、ITI TF-2x Appendix 0.2.2 Master File/Registry Query Response Control Act (Role Subject) Information Model (MFMI_MT700711IHE) の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えたものである。

表 4.5.1.2-1 XML 定義 (患者 ID 照会応答メッセージ:メッセージヘッダ)

/PRPA_IN201310UV02						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	M :1..1	M :1..1		メッセージ毎に固有なメッセージ ID。	
1.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID/UUID	メッセージ ID。 [解説] root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性に OID を使用する場合など、root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	メッセージ ID。 [解説] root 属性のみでユニークな ID を構成できない場合、root 属性と extension 属性を組み合わせるとユニークな ID とする。	●
2	creationTime	M :1..1	M :1..1		メッセージの作成日時のタイムスタンプ。	
2.1	@value	M :1..1	M :1..1	日付	メッセージの作成日時。 書式: YYYYMMDDHHMMSS	●
3	versionCode	0 :0..1	0 :0..1		使用する HL7 のバージョンを指定するコード。	
3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ HL7StandardVersionCode から「V3PRI」を指定	
4	interactionId	M :1..1	M :1..1		HL7 のメッセージインタラクション ID。	
4.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 の成果物を識別する OID である 「2.16.840.1.113883.1.6」を設定	
4.2	@extension	M :1..1	M :1..1	文字列	本メッセージのインタラクション ID である 「PRPA_IN201310UV02」を設定	
5	processingCode	M :1..1	M :1..1		処理コード。	
5.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	送信システムの状態と関連したメッセージの処理目的。HL7V3 ボキャブラリ	

					ProcessingID からコードを設定する。 ・デバギング：「D」 ・本系（プロダクション）：「P」 ・トレーニング：「T」 [JAHIS] 「本系」を示す「P」を設定。	
6	processingModeCode	M:1..1	M:1..1		HL7 メッセージの処理モード。	
6.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	メッセージの処理モード。HL7V3 ポキャプ ラリドメインProcessingMode からコードを 設定する。 ・アーカイブモード：「A」 ・イニシャルロードモード：「I」 ・現在処理中：「T」 ・アーカイブからの復帰：「R」 [JAHIS] 「現在処理中」を表す「T」を設定。	
7	acceptAckCode	M:1..1	M:1..1		応答条件区分。	
7.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	応答メッセージが要求されるかどうかを示 す。HL7V3 ポキャプ ラリ AcknowledgementCondition から、応答を返 さないことを意味する「NE」を設定。	
8	receiver	M:1..1	M:1..1		メッセージの受信者の情報。	
8.1	@typeCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ポキャプ ラリ CommunicationFunction から、メッセージの受信者を示す「RCV」を 設定。	
8.2	device	M:1..1	M:1..1		メッセージの受信装置（アプリケーション） の情報。	
8.2.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ポキャプ ラリ EntityClass から、装置 を表す「DEV」を設定。	
8.2.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ポキャプ ラリ EntityDeterminer から、 個別のインスタンスを表す「INSTANCE」を 設定。	
8.2.3	id	M:1..1	M:1..1		受信装置（アプリケーション）を識別する 識別子。extension 属性は使用してはならな い。	
8.2.3.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID	受信装置を示す ISO OID。extension 属性は 指定しないため、OID のみで装置を識別でき る必要がある。	●
8.2.4	name	0:0..*	0:0..*		受信装置の名称。8.3節 共通データ仕様 「単純名称」を使用する。	●
8.2.5	telecom	0:0..*	0:0..*		受信装置のネットワークアドレス。	
8.2.5.1	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	受信装置のネットワークアドレス。 例えば、受信装置の URL を設定する。	●
8.2.6	manufacturerModelName	0:0..1	0:0..1		受信アプリケーションの製品名。	
8.2.6.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	製品名称。	●
8.2.7	softwareName	0:0..1	0:0..1		受信アプリケーションのソフトウェア名 称。	
8.2.7.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	受信アプリケーションのソフトウェア名 称	●
8.2.8	asAgent	0:0..1	0:0..1		受信アプリケーションが所属する施設の情	

					報	
8281	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「AGNT」を指定。	
8282	representedOrganization	M:1..1	M:1..1		受信施設情報。	
82821	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から組織を表す「ORG」を設定。	
82822	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
82823	id	M:1..*	M:1..*		施設の識別子。extension 属性は使用してはならない。	
828231	@root	M:1..1	M:1..1	OID	組織の識別子を表す ISO OID。 [JAHIS] 受信施設が固有のOIDを持っている場合は、そのOIDを指定する。受信施設が保険医療機関の場合、保険医療機関コードのOID「1.2.392.200119.6.102.」の末尾に「[1]+保険医療機関番号(10桁)」を指定する。保険医療機関コードを持たない場合、「[9]+当該施設の電話番号下9桁」を保険医療機関コードとする。 例：保険医療機関コード「1312345670」の場合「1.2.392.200196.102.11312345670」	
82824	name	0:0..*	0:0..*		受信施設の組織名称。8.3節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
82825	teleocm	0:0..*	0:0..*		受信施設の連絡先電話番号。8.7節 共通データ仕様「電話番号」を使用する	●
9	sender	M:1..1	M:1..1		メッセージの送信者の情報。	
91	@typeCode	M:1..1	M:1..1	コード	H7V3 ボキャブラリ CommunicationFunction から、メッセージの送信者を示す「SND」を設定。	
92	device	M:1..1	M:1..1		メッセージの送信装置(アプリケーション)の情報。	
921	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から、装置を表す「DEV」を設定。	
922	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から、個別のインスタンスを表す「INSTANCE」を設定。	
923	id	M:1..1	M:1..1		送信装置(アプリケーション)を識別する識別子。extension 属性は使用してはならない。	
9231	@root	M:1..1	M:1..1	OID	送信装置を示す ISO OID。extension 属性は指定しないため、OIDのみで装置を識別できる必要がある。	●
924	name	0:0..1	0:0..1		送信装置の名称。8.3節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
925	telecom	0:0..1	0:0..1		送信装置のネットワークアドレス。	
9251	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	送信装置のネットワークアドレス。例えば、送信装置のURLを設定する。	●
926	manufacturerModelName	0:0..1	0:0..1		送信アプリケーションの製品名。	

9261	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	製品名称	●
927	softwareName	0:0..1	0:0..1		送信アプリケーションのソフトウェア名称。	
9271	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	送信アプリケーションのソフトウェア名称	●
928	asAgent	0:0..1	0:0..1		送信アプリケーションが所属する組織の情報。	
9281	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「AGENT」を指定。	
9282	representedOrganization	M:1..1	M:1..1		送信施設情報。	
92821	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から組織を表す「ORG」を設定。	
92822	@determinerCode	0:0..1	0:0..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
92823	id	M:1..*	M:1..*		施設の識別子。extension 属性は使用しない。	
928231	@root	M:1..1	M:1..1	OID	組織の識別子を表す ISO OID。 [JAHIS] 送信施設が固有のOIDを持っている場合は、そのOIDを指定する。送信施設が保険医療機関の場合、保険医療機関コードのOID「1.2.392.200119.6.102。」の末尾に「[1]+保険医療機関番号(10桁)」を指定する。保険医療機関コードを持たない場合、「[9]+当該施設の電話番号下9桁」を保険医療機関コードとする。 例：保険医療機関コード「1312345670」の場合「1.2.392.200196.102.11312345670」	●
92824	name	0:0..*	0:0..*		送信施設の組織名称。8.3節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
92825	teleocm	0:0..*	0:0..*		受信施設の連絡先電話番号。8.7節 共通データ仕様「電話番号」を使用する。	●
10	acknowledgement	0:0..*	0:0..*			
101	@typeCode	M:1..1	M:1..1	コード	コード表 9-2「アプリケーション応答コード」より、いずれかのコードを指定する。 [解説] コードの使用方法については4.6.1節「PIX マネージャに期待されるアクション」も参考にすること。 [JAHIS] アプリケーションレベル応答として、「AA」、「AE」、「AR」のいずれかのコードを指定する。	●
102	@expectedSequenceNumber	0:0..1	N	数値	[JAHIS] 本書ではシーケンスナンバープロトコルは使用しないため本項目は使用しない。	
103	targetMessage	M:1..1	M:1..1		応答対象となるメッセージ。	
1031	id	M:1..1	M:1..1			
10311	@root	M:1..1	M:1..1	OID/UUID	応答対象となる照会メッセージのメッセー	●

					識別子の UID、OID または UUID。表 4.5.1.1-2 の XML No 1.1 を設定する。	
I0312	@extension	0:0..1	0:0..1	文字列	応答対象となる照会メッセージのメッセージ識別子。表 4.5.1.1-2 の XML No 1.2 を設定する。	●
I04	acknowledgementDetail	0:0..*	0:0..*		エラー情報の詳細	
I041	@typeCode	M:1..1	M:1..1	コード	コード表 9-3 「詳細応答区分」より、いずれかのコードを指定する。 ・エラー: 「E」 ・警告: 「W」 ・情報: 「I」 [解説] コードの使用方法については 4.6.1 節「PIX マネージャに期待されるアクション」も参考にすること。	●
I042	code	0:0..1	0:0..1		補足的なエラーコード。 [JAHIS] HL7 で決められているコード表 9-4 「詳細応答コード」のコードを使用することも可能であるが、各ドメイン間の合意の上で、より詳細なエラーコードを決めてもよい。	
I0421	@code	M:1..1	M:1..1	文字列	エラーコードのコード値。	●
I0422	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	エラーコードのコード体系を識別する OID。	●
I0423	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	エラーコードのコード体系名。	●
I0424	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	エラーコードの表示名。	●
I043	text	0:0..1	0:0..1		補足的なエラー内容の説明。	
I0431	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	エラー内容の説明。	●
I044	location	0:0..*	0:0..*		エラー箇所を識別する XPATH。	
I0441	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	XPATH 文字列	●
I1	controlActProcess	M:1..1	M:1..1		トリガイイベントコントロールアクトラップ。	
I1.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ActClass から「CACT」を設定。	
I1.2	@moodCode	M:1..1	M:1..1	半角英字	HL7V3 ボキャブラリ ActMood から「EVN」を設定。	
I1.3	id	0:0..*	N		トリガイイベントコントロールラップの識別子。本書では使用しない。	
I1.4	code	0:0..*	0:0..*		HL7 トリガイイベントコード。	
I1.41	@code	M:1..1	M:1..1	文字列	本メッセージのトリガイイベントの成果物 ID を示す「PRPA_TE201310UV02」を設定。	
I1.42	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「2.16.840.1.113883.1.18」を設定。	
I1.5	effectiveTime	0:0..1	0:0..1		メッセージ送信のタイムスタンプ。 [JAHIS] IHE では、IVL<TS>型として日時の期間を指定することができるが、本書では単一の日時として指定する。	
I1.51	center	0:0..1	0:0..1		タイムスタンプ。	
I1.511	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	書式: YYYYMMDD[HH[MM[SS[, U[U[U[U]]]]]]	●
I1.6	languageCode	0:0..1	0:0..1		言語コード。 [JAHIS]	

					RFC5646 を使用する。	
11.6.1	@code	M : 1..1	M : 1..1	コード	[JAHIS] IEFT3066 (RFC5646) で表現される言語コード。日本語の場合「ja-JP」を設定する。	●
11.6.2	@codeSystem	M : 1..1	M : 1..1	OID	[JAHIS] RFC5646 の言語コードを識別する OID 「2.16.840.1.113883.6.121」を設定する。	
11.6.3	@codeSystemName	0 : 0..1	0 : 0..1	文字列	[JAHIS] コード体系名称「ISO639-1」を設定する。	
11.6.4	@displayName	0 : 0..1	0 : 0..1	文字列	言語コードの表示名を設定する。	●
11.7	authorOrPerformer	0 : 0..1	N		応答メッセージの作成者または実施者。IHE では、人の情報または装置の情報として記録できるが、本書では使用しない。	
11.8	subject	0 : 0..1	0 : 0..1		患者情報の登録イベント。照会結果が 0 件の場合、本要素は出現しない。	
11.8.1	@typeCode	M : 1..1	M : 1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ActRelationshipType から「SUBJ」を設定する。	
11.8.2	@contextConductionInd	M : 1..1	M : 1..1	真偽値	ControlAct の文脈を下位に伝播させないことを示す「false」を設定する。	
11.8.3	registrationEvent	M : 1..1	M : 1..1			
11.8.3.1	@classCode	M : 1..1	M : 1..1	半角英字	HL7V3 ボキャブラリ ActClass から「REG」を設定する。	
11.8.3.2	@moodCode	M : 1..1	M : 1..1	半角英字	HL7V3 ボキャブラリ ActMood から「EVN」を設定する。	
11.8.3.3	id	0 : 0..*	0 : 0..*		患者情報の登録イベントを識別する ID。 [解説] 必須ではないが、指定する場合には、8.1.1 節 共通データ仕様「人が読解可能でない識別子」、あるいは、8.1.3 節「人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子）」に従って設定する。	●
11.8.3.4	statusCode	M : 1..1	M : 1..1		登録状態を表すコード。	
11.8.3.4.1	@code	M : 1..1	M : 1..1	半角英字	「active」を設定。	
11.8.3.5	effectiveTime	0 : 0..1	0 : 0..1		登録イベントが発生したタイムスタンプ。 [IHE 制約]：値が設定された場合 XML No. 11.8.3.7.3 と同じ時間を設定すること。 [JAHIS] IHE では、IVL<TS>型として日時の期間を指定することができるが、本書では単一の日時として指定する。	
11.8.3.5.1	center	0 : 0..1	0 : 0..1		単一の日付を指定する。	
11.8.3.5.1.1	@value	M : 1..1	M : 1..1	日付	書式：YYYYMMDD[HH[MM[SS[U[U[U[U]]]]]]]	●
11.8.3.6	subject1	M : 1..1	M : 1..1			
11.8.3.6.1	@typeCode	M : 1..1	M : 1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ParticipationType から「SBJ」を設定する。	
11.8.3.6.2	patient	M : 1..1	M : 1..1		応答結果を表す、応答メッセージのペイロードのルート要素。表 4.5.1.2-3 参照。	
11.8.3.7	author	0 : 0..1	0 : 0..1		登録イベントの作成者または作成装置の情報。	

11.8.3.7.1	@typeCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ポキャプラリーParticipationTypeから「AUT」を設定する。	
11.8.3.7.2	@contextControlCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 ポキャプラリーContextControl から「AP」を設定する。	
11.8.3.7.3	time	0 :0..1			登録イベントが作成されたタイムスタンプ。 [IHE 制約] : 値が設定された場合、XML No 11.8.3.5 と同じ時間を設定すること。 [JAHIS] IHE では、IVL<TS>型として日時の期間を指定することができるが、本書では単一の日時として指定する。	
11.8.3.7.3.1	center	0 :0..1	0 :0..1		タイムスタンプ。	
11.8.3.7.3.1.1	@value	M :1..1	M :1..1	日付	書式: YYYYMMDD[HH[MM[SS[U[U[U[U]]]]]]]	●
11.8.3.7.4	modeCode	0 :0..1	0 :0..1		参加形態コード	
11.8.3.7.4.1	@code	M :1..1	M :1..1	文字列	[JAHIS] コード表 9-5 「参加形態コード」の使用を推奨するが、ドメイン内、及び、ドメイン間の協議の上、他のコードを使用してもよい。	●
11.8.3.7.4.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	参加形態コードのコード体系を示す OID を設定する。	●
11.8.3.7.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	参加形態コードのコード体系の名称を設定する。	●
11.8.3.7.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名を設定する。	●
11.8.3.8	assignedEntity	M :1..1	M :1..1		登録者・登録装置・登録組織情報。 表 4.5.1.2-2 担当者・組織情報の XML 定義表を参照。	
11.8.4	custodian	M :1..1	M :1..1		登録の責任者・責任組織情報。	
11.8.4.1	@typeCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ポキャプラリーParticipationTypeから「CST」を設定。	
11.8.4.2	@contextControlCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ポキャプラリーContextControl から「AP」を設定。	
11.8.4.3	assignedEntity	M :1..1	M :1..1		登録の責任者・責任組織情報。 表 4.5.1.2-2 担当者・組織情報の XML 定義表を参照。	
11.8.5	replacementOf	N	N		本メッセージでは使用しない。	
11.9	queryAck	0 :0..1	0 :0..1		問合せメッセージの情報。	
11.9.1	queryId	M :1..1	M :1..1		対応する問合せメッセージの識別子。	
11.9.1.1	@root	M :1..1	M :1..1	UID	対応する問合せメッセージの識別子の名前空間を示す UUID、または、OID。 照会メッセージの表 4.5.1.1-2 XML No 1.1 を設定。	●
11.9.1.2	@extension	M :1..1	M :1..1	文字列	対応する問合せメッセージの識別子。 照会メッセージの表 4.5.1.1-2 XML No 1.2 を設定。	●
11.9.2	statusCode	0 :0..1	0 0..1		問合せ状態コード。	
11.9.2.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	コード表 9-6 「問合せ状態コード」からのコードを指定する。 ・応答が返却された: 「deliveredResponse」	●

					<ul style="list-style-type: none"> ・中断された：「aborted」 ・実行中：「executing」 ・新規：「new」 ・継続問合せ応答待機中：「waitContinuedQueryResponse」 	
11.9.3	queryResponseCode	M:1..1	M:1..1		問合せ応答コード。	
11.9.3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	<p>コード表 9-7 「問合せ結果コード」からのコードを指定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションエラー：「AE」 ・返却値存在：「OK」 ・返却値なし：「NF」 ・問合せパラメータエラー：「QE」 ゆう[解説] <p>コードの使用方法については4.6.1節「PIX マネージャに期待されるアクション」も参考にすること。</p>	●
11.9.4	resultTotalQuantity	0:0..1	0 0..1		返却されたレコード数。	
11.9.4.1	@value	M:1..1	M:1..1	数値	レコード数	●
11.9.5	resultCurrentQuantity	0:0..1	0 0..1		このメッセージで伝送されるレコード数。	
11.9.5.1	@value	M:1..1	M:1..1	数値	本メッセージの伝送レコード数。	●
11.9.6	resultRemainingQuantity	0:0..1	0 0..1		まだ伝送されていないレコード数。問合せ継続の場合に使用する。	
11.9.6.1	@value	M:1..1	M:1..1	数値	未転送のレコード数。	●
11.10	queryByParameter	0:0..1	0 0..1		対応する問合せメッセージのパラメータのコピー。表 4.5.1.1-3のXML定義表参照。	

表 4.5.1.2-2に、応答メッセージのメッセージヘッダの中で使用される、担当者・組織情報を表すXML定義を示す。

表 4.5.1.2-2 XML定義 (患者ID照会応答メッセージ: 担当者・組織情報)

/PRPA_IN201310UV02/controlActProcess/subject/registrationProcess/author/ /PRPA_IN201310UV02/controlActProcess/subject/registrationProcess/custorian						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	assignedEntity	M:1..1	M:1..1		人または装置または組織。 表 4.5.1.2-1のXML No 11.8.3.8から使用される場合には、患者ID情報の登録プロセスの作成者(または装置、あるいは組織)を表現する。 表 4.5.1.2-1のXML No 11.8.4.3から使用される場合には、患者IDソースに責任を持つアプリケーションまたは組織を表現する。	
1.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7ボキャブラリRoleClassから「ASSIGNED」を設定。	
1.2	id	M:1..*	M:1..*		人または装置または組織の識別子。8.1.1節 共通データ仕様「人が読解可能な識別子」、あるいは、8.1.2節「人が読解可能な識別子(PIX) マネージャによる患者ID」のいずれかを使用する。	●
1.3	code	0:0..1	0:0..1		XML No 1.3.10で示される組織の中での役割を示すコード。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務職員、といった役割を識別する。 任意のコードが使用可能であり、ドメイン内、または、ドメイン間で合意の上、コードを決めて使用すること。 コード表 9-1「職種コード」を使用してもよい。	
1.3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	役割コードのコード値。	●
1.3.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	役割コードのコード体系を識別するOID。	●
1.3.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	役割コードのコード体系名称。	●
1.3.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	役割コードの表示名。	●
1.3.5	addr	0:0..*	0:0..*		人または装置または組織の住所。 8.6節 共通データ仕様「住所」参照。	●
1.3.6	telecom	0:0..*	0:0..*		人または装置または組織の電話番号。 8.7節 共通データ仕様「電話番号」を使用。	●
1.3.7	assignedPerson	0:0..1	0:0..1		関係者の情報。XML No. 1.3.7、1.3.8、1.3.9は選択構造であり、いずれか1つのみが関連する。	
1.3.7.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7ボキャブラリEntityClassから「PSN」を設定。	
1.3.7.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7ボキャブラリEntityDeterminerから	

					「INSTANCE」を設定。	
1.373	name	0 :0..*	0 :0..*		氏名。8. 2節 共通データ仕様「氏名 (漢字・カナ・ローマ字)」を使用する。	●
1.38	assignedDevice	0 :0..1	0 :0..1		関係する装置の情報。XML No. 1. 3. 7、1. 3. 8、1. 3. 9 は選択構造であり、いずれか1つのみが関連する。	
1.381	@classCode	M :1..1	M :1..1	半角英字	HL7 ボキャブラリ EntityClass から「DEV」を設定。	
1.382	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	半角英字	HL7 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.383	id	0 :0..*	0 :0..*		装置の識別子。8. 1. 1節共通データ仕様「人が読解可能でない 識別子」、あるいは、8. 1. 3節「人が読解可能な識別子 (他のアクタによる 識別子)」を使用する。	●
1.384	manufacturerModelName	0 :0..1	0 :0..1		モデル名。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用しない。	
1.3841	@code	0 :0..1	N	コード	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.3842	@codeSystem	0 :0..1	N	OID	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.384.3	@codeSystemName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.3844	@displayName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.3845	text()	0 :0..1	0 :0..1	文字列	モデル名称のフリーテキスト。	●
1.385	softwareName	0 :0..1	0 :0..1		ソフトウェア製品名。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用しない。	
1.3851	@code	0 :0..1	N	コード	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.3852	@codeSystem	0 :0..1	N	OID	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.3853	@codeSystemName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.3854	@displayName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.3855	text()	0 :0..1	0 :0..1	文字列	製品名称のフリーテキスト。	●
1.39	assignedOrganization	0 :0..1	0 :0..1		関係組織の情報。XML No. 1. 3. 7、1. 3. 8、1. 3. 9 は選択構造であり、いずれか1つのみが関連する。	
1.391	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「ORG」を設定。	
1.392	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.393	name	M :1..*	M :1..*		組織名称。8. 3節共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
1.310	representedOrganization	0 :0..1	0 :0..1		ML No. 1. 3. 7、1. 3. 8、1. 3. 9 の人、装置、組織	

					が所属する組織の情報。	
1.3.10.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「ORG」を設定。	
1.3.10.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.3.11	id	M:1..*	M:1..*		組織の識別子情報。8.1.1節 共通データ仕様「人が読解可能でない識別子」、あるいは、8.1.3節「人が読解可能な識別子（他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.3.12	code	0:0..1	0:0..1		組織の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 9-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.3.12.1	code	M:1..1	M:1..1	コード	コード値。	●
1.3.12.2	codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	コード体系を識別する OID。	●
1.3.12.3	codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.3.12.4	displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.3.13	name	0:0..*	0:0..*		組織名称。8.3節 共通データ仕様「単純名称」を使用する。	
1.3.14	contactParty	M:1..*	M:1..*		組織の担当者情報。	
1.3.14.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「CON」を設定。	
1.3.14.2	id	0:0..*	0:0..*		担当者の識別子情報。 使用する場合、8.1.1節 共通データ仕様「人が読解可能でない識別子」、あるいは、8.1.3節「人が読解可能な識別子（他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.3.14.3	code	0:0..1	0:0..1		担当者の役割コード。 使用する場合、ドメイン内、及び、ドメイン間での合意の上、任意のコードを使用することが可能。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務職員、といった組織内での役割を識別する。コード表 9-1「職種コード」を使用してもよい。	
1.3.14.3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	役割コードのコード値。	●
1.3.14.3.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	役割コードのコード体系を示す OID。	●
1.3.14.3.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	役割コードのコード体系名称。	●
1.3.14.3.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	役割コードの表示名。	●
1.3.14.4	addr	0:0..*	0:0..*		担当者の住所。8.1.8 共通データ仕様「住所」参照。 XML No. 1.3.14.4 住所、XML No. 1.3.14.5 電話番号、XML No. 1.3.14.6 担当者の個人情報のいずれかまたは出現しなければならない。	●
1.3.14.5	telecom	0:0..*	0:0..*		担当者の連絡先電話番号。8.7 共通データ仕	●

					様「電話番号」を使用。 XML No. 1.3.14.4 住所、XML No. 1.3.14.5 電話番号、XML No. 1.3.14.6 担当者の個人情報のいずれかは出現しなければならない。	
1.3.14.6	contactPerson	0:0..1	0:0..1		担当者の個人情報 XML No. 1.3.14.4 住所、XML No. 1.3.14.5 電話番号、XML No. 1.3.14.6 担当者の個人情報のいずれかは出現しなければならない。	
1.3.14.6.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「PSN」を設定。	
1.3.14.6.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.3.14.6.3	name	M:1..*	M:1..*		担当者の氏名。8.2節 共通データ仕様「氏名(漢字・カナ・ローマ字)」を使用する。	●

表 4.5.1.2-3に、応答メッセージのペイロードとなる、問合せ結果の XML 定義を示す。この定義は ITI TF-2b 3.45.4.2.2 Message Information Model of the Patient Identifiers Message の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えたものである。

表 4.5.1.2-3 XML 定義 (患者 ID 照会応答メッセージ: ペイロード)

/PRPA_IN201311UV02/controlActProcess/subject/registrationEvent/subject1						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	patient	M:1.1	M:1.1		患者識別情報。	
1.1	@classCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「PAT」を設定。	
1.1.1	id	M:1.*	M:1.*		患者 ID。8.1.2節 共通データ仕様「人が読解可能な識別子 (PIX マネージャによる患者 ID)」を使用。 providerOrganization 要素が存在する場合、本 id には、当該組織が発行した ID のみが指定されなければならない。また、本 ID の root 属性と、providerOrganization.id の root 属性とは一致しなければならない。	●
1.1.2	statusCode	M:1.1	M:1.1		当該レコードの状態を表すコード。	
1.1.2.1	@code	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleStatus から「active」を設定。他の値は使用してはならない。	
1.1.3	patientPerson	M:1.1	M:1.1		患者個人情報。	
1.1.3.1	@classCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「PSN」を設定。	
1.1.3.2	@determinerCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.1.3.3	id	0:0.*	N		[JAHIS]	
1.1.3.4	name	M:1.1	M:1.1		患者氏名。8.2節 共通データ仕様「氏名 (漢字・カナ・ローマ字)」を使用。。	●
1.1.3.5	asOtherIDs	0:0.*	0:0.*		患者が持つ他の識別子。例えば、運転免許証番号や被保険者証番号など。	
1.1.3.5.1	@classCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「ROL」もしくはその下位のコードを設定。 ID が患者 ID の場合、RoleClass から「PAT」を設定。	
1.1.3.5.2	id	M:1.*	M:1.*		患者が持つ他の識別子。	
1.1.3.5.2.1	@root	M:1.1	M:1.1	OID/UUID	識別子の名前空間を示す UID または OID。 XML No 1.1.3.5.3.3.1 scopingOrganization の root 属性と一致しなければならない。	●
1.1.3.5.2.2	@extension	0:0.1	0:0.1	文字列	識別子文字列。	●
1.1.3.5.3	scopingOrganization	M:1.1	M:1.1		識別子を発行した組織。	
1.1.3.5.3.1	@classCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「ORG」を設定。	
1.1.3.5.3.2	@determinerCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から	

					「INSTANCE」を設定。	
1.1.3.5.3.3	id	M:1..*	M:1..*		組織の識別子。	
1.1.3.5.3.3.1	@root	M:1..1	M:1..1	UID	識別子の名前空間を示す UID または OID。 XMLNo 1.1.3.5.2.1 に指定される識別子と一致しなければならず、本 ID の extension 属性は指定されてはならない。	
1.1.3.5.3.4	code	0:0..1	0:0..1		組織の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 9-8 「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.1.3.5.3.4.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	組織の役割コード。	●
1.1.3.5.3.4.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	コード体系を示す OID。	●
1.1.3.5.3.4.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.1.3.5.3.4.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.1.3.5.3.5	name	0:0..*	0:0..*		組織名。8.3 節共通データ仕様「単純名称」を使用。	●
1.1.3.5.3.6	addr	0:0..*	0:0..*		住所。8.6 節共通データ仕様「住所」仕様。	●
1.1.4	providerOrganization	0:0..1	0:0..1		患者 ID を発行した発行機関の情報。	
1.1.4.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「ORG」を設定。	
1.1.4.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.1.4.3	id	M:1..*	M:1..*		組織の識別子。	
1.1.4.3.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID/UUID	組織の識別子の名前空間を示す UUID または OID。 [IHE 制約] もし患者 ID の発行機関が指定された場合、XML No 1.1.1 に指定される患者 ID は、当該発行機関が発行した識別子に限られる。また、その root 属性と、本項目に指定される OID は一致しなければならず、本 id 要素の extension 属性は使用してはならない。	●
1.1.4.4	code	0:0..1	0:0..1		組織の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 9-8 「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.1.4.4.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	組織の役割コード。	●
1.1.4.4.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	コード体系を示す OID。	●
1.1.4.4.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.1.4.4.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.1.4.5	name	0:0..*	0:0..*		組織名称	
1.1.4.5.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	組織名称文字列。	●

1.1.4.5.2	contactParty	M:1..*	M:1..*		連絡先担当者情報。	
1.1.4.5.2.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「CON」を設定。	
1.1.4.5.2.2	id	0:0..*	0:0..*		担当者の識別子情報。	
1.1.4.5.2.2.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID/UUID	識別子の名前空間を示す UUID または OID。	●
1.1.4.5.2.2.2	@extension	0:0..1	0:0..1	文字列	識別子文字列。	●
1.1.4.5.2.3	code	0:0..1	0:0..1		連絡先担当者の役割コード。使用する場合、ドメイン内、及び、ドメイン間での合意の上、任意のコードを使用することが可能。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務職員、といった組織内での役割を識別する。コード表 9-1 「職種コード」を使用してもよい。	
1.1.4.5.2.3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	役割コード値。	●
1.1.4.5.2.3.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	コード体系を表す OID	●
1.1.4.5.2.3.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.1.4.5.2.3.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	役割コードの表示名称。	●
1.1.4.5.2.4	addr	0:0..*	0:0..*		担当者の住所。8.6節 共通データ仕様「住所」を使用。	●
1.1.4.5.2.5	telecom	0:0..*	0:0..*		担当者の連絡先情報。8.7節 共通データ仕様「電話番号」を使用。	●
1.1.4.5.2.6	contactPerson	0:0..1	0:0..1		担当者個人情報。	
1.1.4.5.2.6.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「PSN」を設定。	
1.1.4.5.2.6.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.1.4.5.2.6.3	name	M:1..*	M:1..*		担当者氏名。8.2節 共通データ仕様「氏名(漢字・カナ・ローマ字)」を使用。	●

4.6 その他実装上の考慮事項

4.6.1 PIX マネージャに期待されるアクション

問合せに対して応答する PIX マネージャの、期待される振る舞いは次の通りである。本節は ITI TF -2b 3.45.4.2.3 「Expected Actions - Patient Identifier Cross-reference Manager」の内容を解説したものである。

表 4.6.1-1 PIX マネージャに期待されるアクション

No	ユースケース	Acknowledgement.typeCode	QueryAck. queryResponseCode	AcknowledgementDetail	登録イベント	問合せパラメータ
		表 4.5.1.2-1 XML No. 10.1	表 4.5.1.2-1 XML No. 11.9.3.1	表 4.5.1.2-1 XML No. 10.4	表 4.5.1.2-1 XML No. 11.8.3	
1	PIX マネージャは、PIX コンシューマから送られた患者 ID を認識し、指定された患者ドメインの少なくとも1つにおいて、該当患者の患者 ID が存在した。	AA(application accept)	OK(data found, no errors)	-	要求されたドメインに属すると PIX マネージャが認識したうちの少なくとも1つの患者 ID が、Patient.id で返却され、対応する登録イベントが返却される。他の ID がもしあれば、Patient.id か、または、OtherIDs.id のいずれかで返却される。	問合せに使用した患者 ID は、QueryByParameter により問合せパラメータにのみ含まれ、返却される。
2	PIX マネージャは、PIX コンシューマから送られた患者 ID を認識した。患者ドメインは指定されていない。PIX マネージャが知っている、他の患者ドメインの少なくとも1つで、該当する患者 ID が存在した。	AA(application accept)	OK(data found, no errors)	-	PIX マネージャが、問合せに使用された ID のドメインとは異なるドメインに属すると認識した患者 ID が Patient.id で返却され、対応する登録イベントが返却される。他の ID がもしあれば、Patient.id または OtherIDs.id のいずれかで返却される。	問合せに使用した患者 ID は、QueryByParameter により問合せパラメータにのみ含まれ、返却される。
3	PIX マネージャは、PIX コンシューマから送られてきた患者 ID を認識した。指定された患者ドメインに属する患者 ID が存在しなかった。	AA(application accept)	NF(no data found, no errors)		登録イベントは返却されない。	問合せに使用した患者 ID は、QueryByParameter により問合せパラメータにのみ含まれ、返却される。
4	PIX マネージャは、PatientIdentifier.value に指定された患者 ID を認識し	AE(application error)	AE(application error)	typeCode: E(Error) code: 詳細応	登録イベントは返却されない。	問合せに使用した患者 ID は、QueryByParameter により問合せ

	なかった。			答コード location: 患者 ID パラメータの要素の XPATH 表現		パラメータにのみ含まれ、返却される。
5	PIX マネージャは 1 つまたはそれ以上の指定された患者ドメインを認識しなかった。	AE(application error)	AE(application error)	認識されなかった各患者ドメインに対して、AcknowledgementDetail を返信。 typeCode: E (Error) code: 詳細応答コード location: データソースパラメータの要素の XPATH 表現 (パラメータの繰り返しの数を含む)	登録イベントは返却されない。	問合せに使用した患者 ID は、QueryByParameter により問合せパラメータにのみ含まれ、返却される。
6	PIX マネージャは、PIX コンシューマから送られた患者 ID を認識し、指定された患者ドメインの少なくとも 1 つにおいて、該当患者の患者 ID が存在した。少なくとも 1 つの要求された患者ドメインで、複数の ID が存在する。	AA(application accept)	OK(data found, no errors)	-	要求されたドメインに属すると PIX マネージャが認識したうちの少なくとも 1 つの患者 ID が、Patient.id で返却され、対応する登録イベントが返却される。他の ID がもしあれば、Patient.id か、または、OtherIDs.id のいずれかで返却される。もし、PIX マネージャが、同一のドメインに関連する複数の識別子を返却することを選択した場合は、OtherIDs クラスの単一のインスタンスに含めるか、同一の組織に対する患者情報の Patient.id の繰り返りで表現する。	問合せに使用した患者 ID は、QueryByParameter により問合せパラメータにのみ含まれ、返却される。

第5章 患者基本情報問合せ方式 (IHE PDQ)

5.1 概要

患者基本情報問合せ (PDQ) 統合プロファイルは、複数の分散されたアプリケーションが、患者情報サーバに対してユーザが指定する検索基準に基づき患者リストを照会し、患者基本情報、及び、患者の受診情報を取得する方法を提供する。PDQ 統合プロファイルには、PIX と同様に、メッセージフォーマットとして HL7 Version 2 形式メッセージを使用する PDQ 統合プロファイルと、HL7 Version 3 形式、及び、SOAP ベースの Web サービスを使用する PDQV3 統合プロファイルの 2 種類の統合プロファイルが存在する。図 5.1-1 に、PDQ 統合プロファイルで定義されたアクタ、及び、トランザクションを示す。図 5.1-2 に、PDQV3 統合プロファイルで定義されたアクタ、及び、トランザクションを示す。

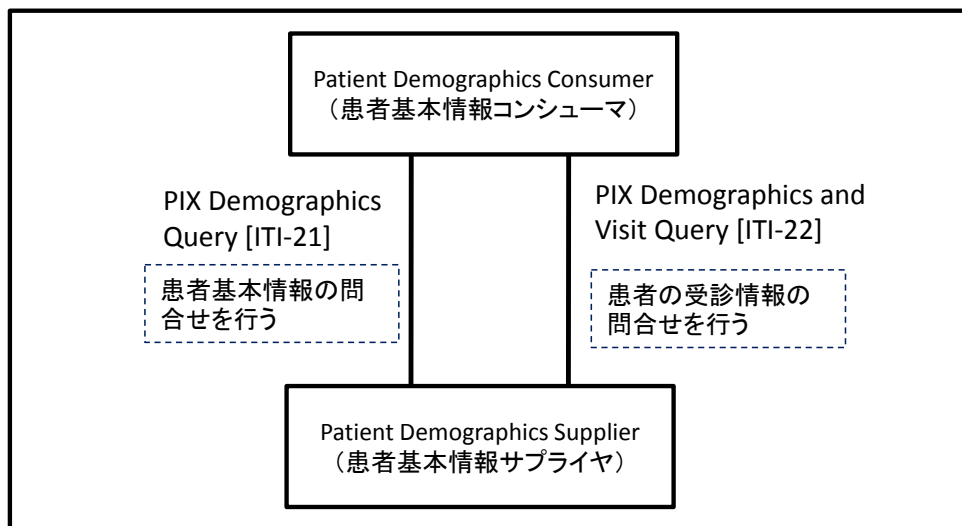


図 5.1-1 PDQ 統合プロファイルアクタ図

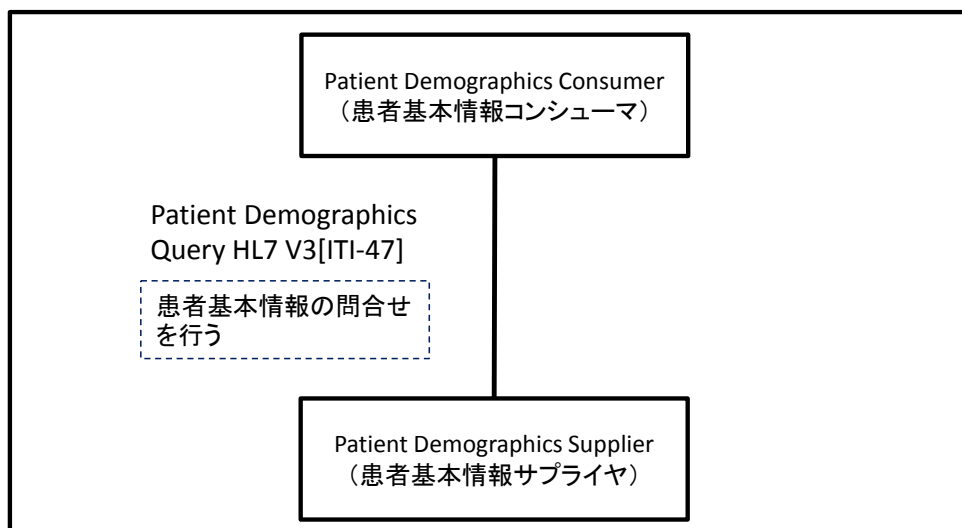


図 5.1-2 PDQV3 統合プロファイルアクタ図

表 5.1-1 PDQ/PDQV3 統合プロファイルのアクタ

No	アクタ	説明
1	患者基本情報コンシューマ	検索パラメータを使用して患者基本情報を検索する。
2	患者基本情報サプライヤ	患者基本情報利用者からの問い合わせに対して、検索条件にマッチした患者基本情報を返す。

5.2 適用方針

PDQ の統合プロファイルのバージョンは2種類存在するが、本書では、PIX と同じく、Web サービスへの親和性を考慮してPDQV3のプロファイルを本書の解説対象とする。表 5.2-1 にPDQV3統合プロファイルのトランザクションの一覧を示す。

表 5.2-1 PDQV3 統合プロファイルトランザクション一覧

アクタ	解説対象	トランザクション	説明	オプションリテ (IHE)
患者基本情報コンシューマ	○	患者基本情報問合せ (HL7V3 版) (Patient Demographics Query HL7 V3[ITI-47])	患者基本情報の問合せを行う。	R
患者基本情報サプライヤ	○	患者基本情報問合せ (HL7V3 版) (Patient Demographics Query HL7 V3[ITI-47])	患者基本情報の問合せを受け応答を返す。	R

表 5.2-2 に、統合プロファイルの選択可能なオプションを示す。本書の解説対象としたものは該当行の「解説対象」列に「○」、対象外にしたものは「-」を記す。本書では、PIXV3 で適用可能なオプションについてはいずれも解説対象とはしない。しかし、これらの適用可能なオプションの実装を妨げるものではない。

本書本書

表 5.2-2 PDQV3 統合プロファイルで選択可能なオプション

アクタ	解説対象	オプション	説明
患者基本情報コンシューマ	-	継続オプション (Continuation Option)	問合せとその応答を、1回のインタラクションではなく、複数のメッセージインタラクションで実現する。
	-	小児基本情報 (Pediatric Demographics)	小児基本情報を含む問合せに使用可能な以下の追加の検索パラメータを提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・母親の旧姓 ・自宅電話番号 ・多胎児識別子 ・多胎児の出生順位 ・最終更新日時 ・最終更新施設
患者基本情報サプライヤ	-	継続オプション (Continuation Option)	問合せとその応答を、1回のインタラクションではなく、複数のメッセージインタラクションで実現する。
	-	小児基本情報 (Pediatric Demographics)	小児基本情報を含む問合せに使用可能な以下の追加の検索パラメータを提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・母親の旧姓 ・自宅電話番号 ・多胎児識別子 ・多胎児の出生順位 ・最終更新日時 ・最終更新施設

5.3 トランザクション定義

PDQV3 統合プロフィールを実現するトランザクションの具体的な実装仕様を示す。

表 5.3-1 PDQV3 のトランザクション定義

	アクタ	トランザクション	掲載節
1	患者基本情報コンシューマ	患者基本情報問合せ (HL7V3 版) (PIX Demographics Query HL7 V3[ITI-47])	第5. 3. 1節
2	患者基本情報サプライヤ	患者基本情報問合せ (HL7V3 版) (PIX Demographics Query HL7 V3[ITI-47])	第5. 3. 1節

5.3.1 患者基本情報問合せ (HL7 V3 版) [ITI-47]

患者基本情報問合せ (HL7 V3 版) [ITI-47] トランザクションを実装するための参照規格は、HL7 バージョン 3 2008 年 Normative Edition の Patient Administration DSTU, Patient Topic である。図 5.3.1-1 に、本メッセージを実現する HL7 Version3 メッセージインタラクションを示す。本インタラクションは、患者基本情報コンシューマからの問い合わせに対応する患者基本情報照会メッセージと、患者基本情報サプライヤからの問合せ応答に対応する患者基本情報照会応答から構成される。患者基本情報照会メッセージの HL7 Version3 メッセージインタラクションを表 5.3.1-1 に示す。患者基本情報照会応答メッセージの HL7 Version3 メッセージインタラクションを表 5.3.1-2 に示す。

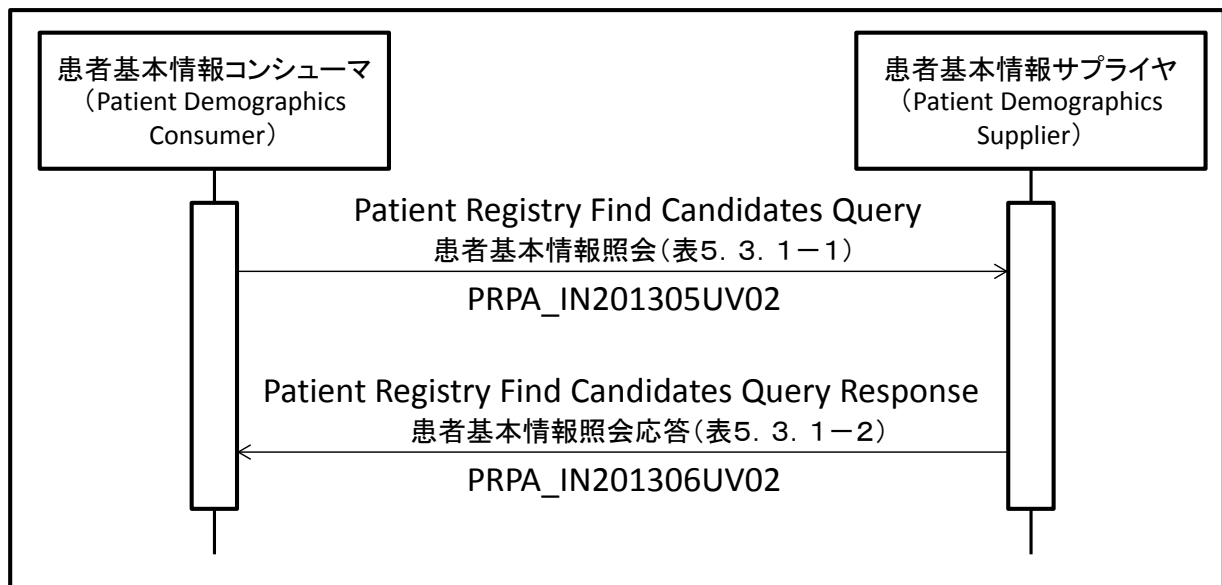


図 5.3.1-1 患者基本情報問合せメッセージインタラクション

表 5.3.1-1 患者基本情報照会メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
インタラクション	Patient Registry Find Candidates Query	PRPA_IN201305UV02	照会メッセージのルート要素名となる。成果物識別子を表 5.5.1.1-2 の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	患者基本情報コンシューマアクタに対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Query Filler	PRPA_AR201304UV02	患者基本情報サプライヤアクタに対応する。

トリガイイベント	Patient Registry Find Candidates Query	PRPA_TE201309UV02	成果物識別子を表 5. 5. 1. 1-2 の XML No 11. 4. 1 に設定する。
伝送ラップ	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、表 5. 5. 1. 1-2 に含まれる。
トリガイイベントコントロールアクトラップ	Query Control Act Request: Query By Parameter	QUQI_MT021001UV01	対応する XML 定義は、表 5. 5. 1. 1-2 に含まれる。
ペイロード	Patient Registry Query By Demographics	PRPA_MT201306UV02	対応する XML 定義は、表 5. 5. 1. 1-3 に含まれる。
受信者責務	トリガイイベント	PRPA_TE201306UV02	受信アプリケーションは問合せの応答を返さなければならない。
	インタラクション	PRPA_IN201306UV02	応答メッセージのインタラクション。

表 5. 3. 1-2 患者基本情報照会応答メッセージインタラクション

種別	名前	識別子	備考
インタラクション	Patient Registry Find Candidates Query Response	PRPA_IN201306UV02	応答メッセージのルート要素名となる。 成果物識別子を表 5. 5. 1. 2-1 の XML No 4. 2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Filler	PRPA_AR201304UV02	患者基本情報サプライヤアクタに対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	患者基本情報コンシューマアクタに対応する。
トリガイイベント	Patient Registry Find Candidates Query	PRPA_TE201307UV02	成果物識別子を表 5. 5. 1. 2-1 の XML No 11. 4. 1 に設定する。
伝送ラップ	Application Level Acknowledgement	MCCI_MT000300UV01	対応する XML 定義は、表 5. 5. 1. 2-1 に含まれる。
トリガイイベントコントロールアクトラップ	Master File / Registry Query Response, Role Subject	MFMI_MT700711UV01	対応する XML 定義は、表 5. 5. 1. 2-1 に含まれる。
クエリ応答タイプ	Patient Registry Find Candidates Response	PRPA_MT201310UV02	対応する XML 定義は、表 5. 5. 1. 2-2 に含まれる。
クエリ定義	Patient Registry Query By Demographics	PRPA_MT201306UV02	対応する問合せメッセージのメッセージ型。

5.4 インターフェース定義

5.4.1 患者基本情報問合せ (HL7 V3版) [ITI-47]

患者基本情報問合せ (HL7V3版) トランザクションのWeb サービスインターフェース仕様を、表 5.4.1-1、及び、表 5.4.1-3、表 5.4.1-3に示す。WSDL の定義例は、付録1「2. 患者基本情報問合せ」に示す。

表 5.4.1-1 患者基本情報問合せトランザクションで使用する名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:pdqv3:2007
wsoap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsoap11	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
hl7	urn:hl7-org:v3

表 5.4.1-2 患者基本情報問合せトランザクションで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
hl7:PRPA_IN201305UV02	PRPA_IN201305UV02.xsd
hl7:PRPA_IN201306UV02	PRPA_IN201306UV02.xsd

表 5.4.1-3 患者基本情報問合せトランザクションのインターフェース仕様

WSDL							
PDQSupplier.wsdl							
ポートタイプ							
PDQSupplier_PortType							
オペレーション		IN/OUT					
患者基本情報問合せ	PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02	入力	メッセージ定義	患者基本情報照会メッセージ	tns:PRPA_IN201305UV02_Message		
			part	Body	要素	hl7:PRPA_IN201305UV02	
		アクション		urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02			
		出力	メッセージ定義	患者基本情報照会応答メッセージ	tns:PRPA_IN201306UV02_Message	part	Body
要素	hl7:PRPA_IN201306UV02		アクション				
urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201306UV02							
バインディング (SOAP 1.2 binding)							
PDQSupplier_Binding_Soap12							
ポートタイプ		PDQSupplier_PortType					
バインディングスタイル		文書指向 (document)					
トランスポート		HTTP					
オペレーション		PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02			
			input	リテラル形式 (literal)			
			output	リテラル形式 (literal)			

5.5 メッセージ定義

5.5.1 患者基本情報問合せ (HL7 V3 版) [ITI-47]

本章では、患者基本情報問合せトランザクションに使用する XML 定義を示す。患者基本情報問合せトランザクションは、照会メッセージと応答メッセージの2つのメッセージを使用する。患者基本情報照会メッセージのXML 定義を5.5.1.1節に示し、患者基本情報照会応答メッセージのXML 定義を5.5.1.2節に示す。どちらのメッセージについても、定義表の読みやすさを考慮して、ある単位で定義表を分割して記述する。図 5.5.1-1に、2つのメッセージとXML 定義表の関係を示す。メッセージのXML インスタンスの例は、付録2の「3. 患者基本情報照会メッセージ」、及び、「4. 患者基本情報照会応答メッセージ」に示す。

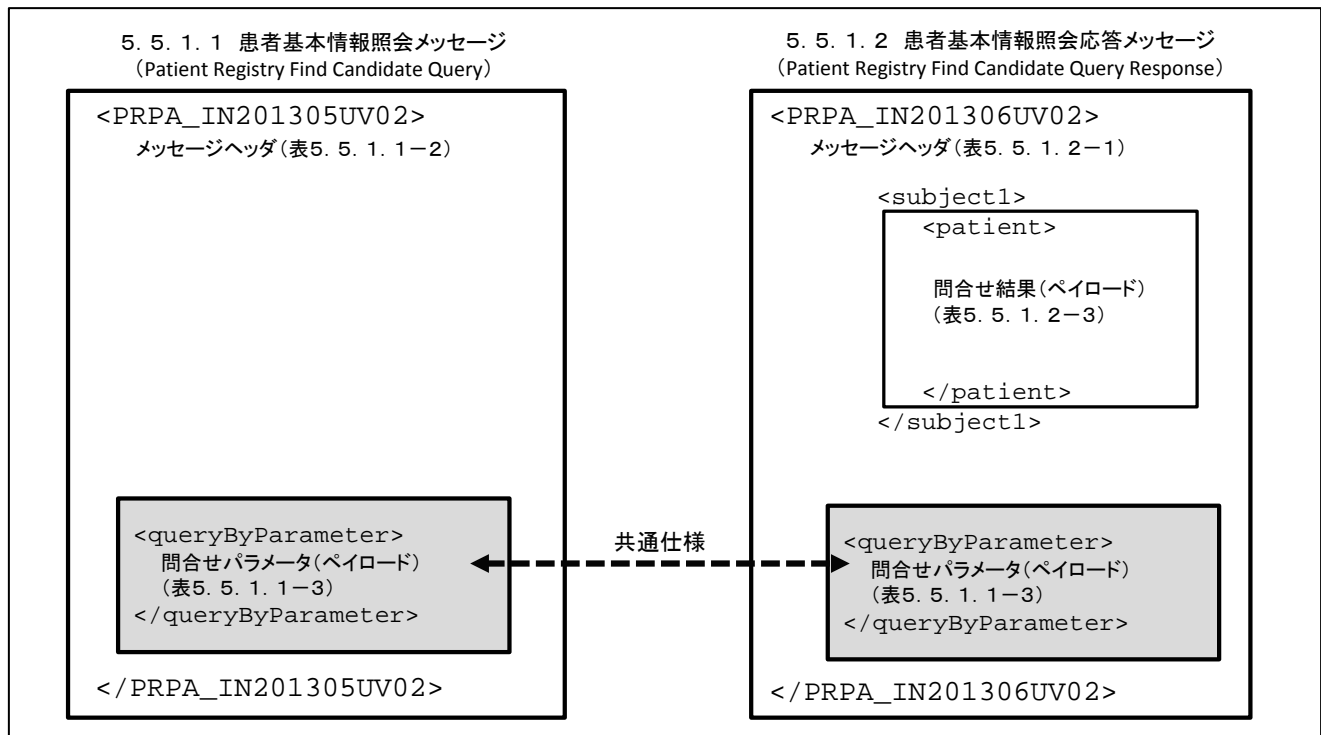


図 5.5.1-1 患者基本情報問合せメッセージのXML 定義表の関係

5.5.1.1 患者基本情報照会メッセージ (Patient Registry Find Candidates Query

(PRPA_IN201305UV02))

患者基本情報の照会メッセージで本メッセージで使用可能な問合せパラメータとその使用方法を表 5.5.1.1-1に示す。表中の、「XML 定義」は、XML 定義表中の該当箇所を示す。また、「パラメータ識別子 (semanticsText)」は、問合せパラメータを識別するためにXML 中に設定する文字列を示す。本問合せを使用する前提として、患者情報サプライヤに登録されている患者基本情報には、少なくとも、患者 ID、患者氏名 (漢字)、患者氏名 (カナ)、性別、生年月日の5項目が必須項目として登録されていることが望ましい。パラメータ「母親の旧姓」と「患者電話番号」は、本書では使用しない。

表 5.5.1.1-1 患者基本情報照会メッセージの問合せパラメータ

No	パラメータ名	XML 定義	パラメータ識別子 (semanticsText)	説明	必須 / 任意	多重度

1	患者氏名 (LivingSubjectName)	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.4	LivingSubject .name	<p>問合せ対象となる個人の氏名を表すパラメータ。単一のHL7 V3データ型PN型を使用する。</p> <p>1) 姓のみ、2) 名のみ、3) 姓名を指定、4) 姓名区別なし、の4つの方法でパラメータを設定することができる。また use 属性にコード表 9-9 「名前使用コード」を使うことで、漢字氏名、カナ氏名、ローマ字の3種類を指定することができる。</p> <p>もし完全一致検索ではなく部分一致検索で照会する場合には、use 属性に「SRCH」を指定する。</p> <p>「SRCH」を指定した場合の検索方法は、表 5.5.1.1-3 の XML No.6.1.1.1 に指定されたマッチングアルゴリズムに従う。複数の属性値を指定する場合は、例4)のように半角スペースで区切る。</p> <p>1) 姓のみ指定 <value use=" SYL" > <family>ヤマダ</family> </value></p> <p>2) 名のみ指定 <value use=" SYL" > <given>タロウ</given> </value></p> <p>3) 姓名を指定 <value use=" SYL" > <family>ヤマダ</family> <given>タロウ</given> </value></p> <p>4) 姓名区別なし、部分一致検索 <value use=" SYL SRCH" >ヤマダタロウ</name></p>	任意	0..*
2	患者性別 (LivingSubjectAdministrativeGender)	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.1	LivingSubject .administrativeGender	<p>問合せ対象となる個人の性別を表すパラメータ。コード表 9-10 「性別コード」からのコードを指定する。</p> <p>1) 男性 <value code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1" /></p> <p>2) 女性</p>	任意	0..1

				<value code="F" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1" />		
3	患者生年月日 (LivingSubjectBirthTime)	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.2	LivingSubject .birthTime	<p>問合せ対象となる個人の生年月日、及び、時間を表す。1) 特定の日付または時刻、2) 日付の期間、3) おおよその日付を示すことができる。期間を指定する場合には、inclusive 属性で開始または終了を検索範囲に含むか否かを指定することができる。</p> <p>1) 1960年1月1日 03:00 <value @xsi:type="TS" value="196001010300" /></p> <p>2) 1959年12月1日～1960年3月31日 <value> <low value="19591201" inclusive="true" /> <high value="19600331" inclusive="true" /> </value></p> <p>3) 1960年1月 <value @xsi:type="TS" value="196001" /></p>	任意	0..1
4	患者住所 (PatientAddress)	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.7	Patient.addr	<p>問合せ対象となる個人に関連する1つ以上の住所を表す。1) 国コード、郵便番号、都道府県、市区郡部、町村丁字番地等を構造化して指定する場合と、2) 非構造化文字列として指定する場合の2通りの指定が可能。</p> <p>1) 構造化指定 <value> <postalCode>1110000</postalCode> </value> <state>東京都</state> <city>港区</city> <streetAddressLine>新橋9-8-7</streetAddressLine> </value></p> <p>2) 非構造化指定 <value>東京都港区新橋9-8-7</value></p>	任意	0..1
5	患者ID (LivingSubjectId)	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.3	LivingSubject .id	<p>問合せ対象となる患者IDを表す。複数のIDが指定された場合には、全てのIDがマッチする必要がある。</p>	任意	0..*

				例) <value root=" 1.2.3.4" extension=" 1234" />		
6	その他の ID OtherIDsScopingOrganizationParameter	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.6	OtherIDs.scopingOrganization.id	問合せ対象となる患者 ID の患者 ID ドメイン (割当機関) を表すパラメータ。 HL7 V3 データ型 II 型を使用し、割当機関を示す ISO OID を指定する。 本パラメータが指定された場合、患者 ID またはその他の ID として返却される ID は、指定された患者 ID ドメインのみの ID となる。本パラメータが指定されなかった場合、患者基本情報サブライヤが知りうる全ての患者 ID ドメインの ID を返す。 例) <value root=" 1.2.3.4" />	任意	0..1
7	母親の旧姓 (MothersMaidenName)	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.5	Person.MothersMaidenName	問合せ対象となる個人の母親の旧姓を指定する任意パラメータ。 「Patient Demographics」オプションをサポートする場合のみ使用可能。指定方法は、LivingSubjectName と同様である。	未使用	—
8	患者電話番号 (PatientTelecom)	表 5.5.1.2-2 XMLNo 7.8	Patient.telecom	問合せ対象となる個人の電話番号またはメールアドレスを指定する任意パラメータ。 「Patient Demographics」オプションをサポートする場合のみ使用可能。 1) 電話番号、2) FAX 番号、3) 電子メールアドレスを指定することができる。 1) 電話番号 <value value=" tel:03-1111-2222" /> 2) FAX 番号 <value value=" fax:03-1111-9999" /> 3) 電子メールアドレス <value value=" mailto:test@tmporg.jp" />	未使用	—

問合せメッセージのメッセージヘッダ部については、PIXV3 とほぼ同様の仕様であるため、表 4.5.1.1-2 との差分のみを示す。

表 5.5.1.1-2 XML 定義 (患者基本情報照会メッセージ:メッセージヘッダ)

/PRPA_IN201305UV02						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
~						
4	interactionId	M :1..1	M :1..1		HL7 のメッセージインタラクション ID。	
41	@root	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 の成果物を識別する OID である 「2.16.840.1.113883.1.6」を設定。	
42	@extension	M :1..1	M :1..1	文字列	本メッセージのインタラクション ID である 「PRPA_IN201305UV02」を設定	
~						
11.4	code	M :1..1	M :1..1		HL7 トリガイベントコード	
11.41	@code	M :1..1	M :1..1	コード	本メッセージのトリガイベントの成果物 ID を示す 「PRPA_TE201309UV0」を設定。	
11.42	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 トリガイベントコードのコード体系を識別する OID 「2.16.840.1.113883.1.18」を設定。	
~						
11.8	queryByParameter	M :1..1	M :1..1		問合せメッセージのペイロード。表 5.5.1.1-3 参照。	

照会メッセージの本文 (ペイロード部) の XML 定義を表 5.5.1.1-3 に示す。この定義は ITI TF-2b 3.47.4.1.2.2 Message Information Model of the Patient Registry Query by Demographics Message の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えたものである。

表 5.5.1.1-3 XML 定義 (患者基本情報照会メッセージ:ペイロード)

/PRPA_IN201305UV02/controlActProcess/queryByParameter						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	queryId	M :1..1	M :1..1		問合せに対するユニークな識別子。応答メッセージとの対応付けに使用する。	
1.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID/UUID	問合せシステムが発番する問合せに対するユニークな ID。root 属性には UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性のみではユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	問合せに対するユニークな ID。root 属性のみではユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
2	statusCode	M :1..1	M :1..1		問合せ状態コード。	
2.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ QueryStatusCode から新規問合せ	

					を示す「new」を設定。	
3	responsePriorityCode	M:1..1	M:1..1		応答優先度コード。	
3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキヤブラリ QueryPriority から即時応答を表す「I」を設定。	
4	initialQuantity	0:0..1	0:0..1		問合せ要求上限。	
4.1	@value	M:1..1	M:1..1	数値	問合せ元のアプリケーションが許容可能な応答の最大サイズ。整数値で設定する。	●
5	initialQuantityCode	0:0..1	0:0..1		問合せ要求上限単位。	
5.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	問合せ元のアプリケーションが許容可能な応答の最大サイズの単位。コード表 9-1 1 「問合せ要求上限コード」から「レコード」を表す「RD」を指定する。デフォルト値は「RD」。	
6	matchCriterionList	0:0..1	0:0..1		照合条件リスト。	
6.1	matchAlgorithm	0:0..1	0:0..1		マッチングアルゴリズム。	
6.1.1	value	M:1..1	M:1..1		マッチングアルゴリズムを識別する値。	
6.1.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	マッチングアルゴリズムを識別する文字列。 [解説] マッチングアルゴリズムとして完全一致としない場合、前方一致、中間一致、後方一致等のアルゴリズムをドメイン内、及び、ドメイン間で協議の上使用する。 [JAHIS] 本書でも参考として、コード表 9-1 2 「検索アルゴリズムコード」にコードを示すが、これ以外にも、同一漢字で異なる読みを一致とみなす、などが考えられるため、本コードに限定するわけではない。	●
6.1.2	semanticsText	M:1..1	M:1..1		パラメータ識別子。	
6.1.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	「MatchAlgorithm」を設定。	
6.2	minimumDegreeMatch	0:0..1	0:0..1		最小関連度。	
6.2.1	value	M:1..1	M:1..1		最小関連度を示す値。	
6.2.1.1	@value	M:1..1	M:1..1	数値	照会結果をフィルタリングする際に使用する関連度の最小値を表す。整数値を指定する。 [JAHIS] 関連度の定義については、ドメイン内、及び、ドメイン間で協議の上決定すること。	●
6.2.2	semanticsText	M:1..1	M:1..1		パラメータ識別子。	
6.2.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	「MinimumDegreeMatch」を設定。	
7	parameterList	M:1..1	M:1..1		問合せパラメータ値のリスト。	
7.1	livingSubjectAdministrativeGender	0:0..1	0:0..1		問合せパラメータ (性別)	
7.1.1	value	M:1..1	M:1..1		問合せパラメータ値。	
7.1.1.1	@xsi:type	M:1..1	M:1..1	文字列	コード型を表す「CE」を設定。	
7.1.1.2	@code	M:1..1	M:1..1	コード	性別コード。 [JAHIS] コード表 9-1 0 「性別コード」を指定する。	◆
7.1.1.3	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	性別コードのコード体系を識別する OID。 [JAHIS] 「2.16.840.1.113883.12.1」を設定。	
7.1.2	semanticsText	M:1..1	M:1..1		パラメータ識別子。	
7.1.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	「LivingSubject.administrativeGender」を設定。	

7.2	livingSubjectBirthTime	0 : 0..*	0 : 0..*		問合せパラメータ (生年月日)	
7.21	value	M : 1..1	M : 1..1		生年月日。 [角罫] 日付の区間で指定する場合、XMLNo 7.2.12、7.2.13 を使用する。単一の日時で指定する場合、XMLNo 7.2.2 を使用する。日付だけでなく時間も指定することがで きる。	
7.2.1.1	@xsi : type	M : 1..1	M : 1..1	半角文字列	日付区間値型を表す「IVL<TS>」を設定。	
7.2.1.2	low	0 : 0..1	0 : 0..1		検索条件を範囲で指定する場合の下限値	
7.2.1.2.1	@value	M : 1..1	M : 1..1	日付	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]]	◆
7.2.1.2.2	@inclusive	0 : 0..1	0 : 0..1	真偽値	境界値を含むかどうかを示す。true の場合、境界値を 含む。指定されない場合は、true とみなす。	◆
7.2.1.3	high	0 : 0..1	0 : 0..1		検索条件を範囲で指定する場合の上限値	
7.2.1.3.1	@value	M : 1..1	M : 1..1	日付	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]]	◆
7.2.1.3.2	@inclusive	0 : 0..1	0 : 0..1	真偽値	境界値を含むかどうかを示す。true の場合、境界値を 含む。指定されない場合は、true とみなす。	◆
7.2.1.4	center	0 : 0..1	0 : 0..1		検索条件を単一の日時で指定する場合	
7.2.1.4.1	@value	M : 1..1	M : 1..1	日付	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]]	◆
7.2.2	semanticsText	M : 1..1	M : 1..1		パラメータ識別子。	
7.2.2.1	text ()	M : 1..1	M : 1..1	文字列	[LivingSubject. birthTime] を設定。	
7.3	livingSubjectId	0 : 0..1	0 : 0..1		問合せパラメータ (患者 ID)	
7.3.1	value	M : 1..1	M : 1..1		問合せパラメータ値	
7.3.1.1	@xsi : type	M : 1..1	M : 1..1	文字列	文字列型を表す「ST」を設定。	
7.3.1.2	text ()	M : 1..1	M : 1..1	文字列	患者 ID。	◆
7.3.2	semanticsText	M : 1..1	M : 1..1		パラメータ識別子。	
7.3.2.1	text ()	M : 1..1	M : 1..1	文字列	[LivingSubject. id] を設定。	
7.4	livingSubjectName	0 : 0..*	0 : 0..*		問合せパラメータ (患者氏名) 2 つ以上のパラメータが指定された場合、指定された パラメータの「OR」検索を行う。	
7.4.1	value	M : 1..1	M : 1..1		患者氏名。条件として指定可能な名前構成要素は family と given の 2 種類とし、両方指定された場合に は、「AND」検索を行う。	
7.4.1.1	@xsi : type	M : 1..1	M : 1..1	文字列	人名型を表す「PN」を設定。	
7.4.1.2	@use	0 : 0..1	0 : 0..1	半角英字	完全一致検索でない場合は「SRCH」を指定する。指定 しない場合は完全一致として検索する。 [JAHIS] 条件を漢字で指定する場合「IDE」を設定する。 条件をカナで指定する場合「SYL」を設定する。 条件をローマ字で指定する場合「ABC」を設定する。 複数の属性値は半角スペースで連結する。	◆
7.4.1.3	text ()	0 : 0..1	0 : 0..1	文字列	姓名を区別しない場合の氏名。	◆
7.4.1.4	family	0 : 0..1	0 : 0..1		氏名姓。	
7.4.1.4.1	text ()	M : 1..1	M : 1..1	文字列	検索条件に使用する氏名の姓。	◆
7.4.1.5	given	0 : 0..1	0 : 0..1		氏名名。	
7.4.1.5.1	text ()	M : 1..1	M : 1..1	文字列	検索条件に使用する氏名の名。	◆
7.4.2	semanticsText	M : 1..1	M : 1..1		パラメータ識別子。	
7.4.2.1	text ()	M : 1..1	M : 1..1	文字列	[LivingSubject. name] を設定。	
7.5	mothersMaidenName	0 : 0..1	N		問合せパラメータ (母親の旧姓) 「Patient Demographics」オプションをサポートする	

					場合に限り使用可能。本書では使用しない。	
7.6	otherIDsScopingOrganization	0:0..*	0:0..*		問合せパラメータ (その他の ID)	
7.6.1	value	M:1..1	M:1..1		その他の ID。	
7.6.1.1	@xsi:type	M:1..1	M:1..1	文字列	識別子型を示す「II」を指定。	
7.6.1.2	@root	M:1..1	M:1..1	OID	患者 ID ドメインの割当機関を識別する ISO OID を指定する。extension 属性は使用しない。	◆
7.6.2	semanticsText	M:1..1	M:1..1		パラメータ識別子。	
7.6.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	「OtherIDs.scopingOrganization.id」を設定。	
7.7	patientAddress	0:0..*	0:0..*		問合せパラメータ (患者住所)	
7.7.1	value	M:1..1	M:1..1		条件として指定可能な住所構成要素は streetAddressLine、city、state、postalCode、country の5種類とし、2つ以上の構成要素が指定された場合には「AND」検索を実施する。	
7.7.1.1	@xsi:type	M:1..1	M:1..1	文字列	住所型を表す「AD」を設定。	
7.7.1.2	text()	0:0..1	0:0..1	文字列	住所を構成要素に分解しない場合	
7.7.1.3	country	0:0..1	0:0..1		国名	
7.7.1.3.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	検索条件に使用する国名。 [JAHIS] ISO3166-1からのコードを使用する。	◆
7.7.1.4	postalCode	0:0..1	0:0..1		郵便番号	
7.7.1.4.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	[JAHIS] 比較時には、ハイフンが含まれていても、含まれていないものとして比較する。	◆
7.7.1.5	state	0:0..1	0:0..1		都道府県	
7.7.1.5.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	都道府県名称。	◆
7.7.1.6	city	0:0..1	0:0..1		市区郡	
7.7.1.6.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	市区郡部名称。	◆
7.7.1.7	streetAddressLine	0:0..1	0:0..1		丁字番地等	
7.7.1.7.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	丁字番地等名称。	◆
7.7.2	semanticsText	M:1..1	M:1..1		パラメータ識別子。	
7.7.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	半角英字	「Patient.addr」を指定。	
7.8	patientTelecom	0:0..1	N		検索パラメータ (患者電話番号) 「Patient Demographics」オプションをサポートする場合に限り使用することが可能。本書では使用しない。	

5.5.1.2 患者基本情報照会応答メッセージ (Patient Registry Find Candidates Query Response)

(PRPA_IN201306UV02)

患者基本情報の応答メッセージのXML定義を示す。表 5.5.1.2-1に、応答メッセージのメッセージヘッダのXML定義を示す。メッセージヘッダ部は、PIXV3の患者基本情報照会応答メッセージのメッセージヘッダとほぼ同様の仕様のため、表 4.5.1.2-1との差分のみを示す。

表 5.5.1.2-1 XML 定義 (患者基本情報照会応答メッセージ:メッセージヘッダ)

/PRPA_IN201306UV02						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
~						
4	interactionId	M:1.1	M:1.1		HL7のメッセージインタラクションID。	
41	@root	M:1.1	M:1.1	OID	HL7の成果物を識別するOIDである「2.16.840.1.113883.1.6」を設定。	
42	@extension	M:1.1	M:1.1	文字列	本メッセージのインタラクションのIDである「PRPA_IN201305UV02」を設定。	
~						
11.4	code	M:1.1	M:1.1		HL7トリガイベントコード。	
11.41	@code	M:1.1	M:1.1	コード	本メッセージのトリガイベントの成果物IDを示す「PRPA_TE201309UV02」を設定。	
11.42	@codeSystem	M:1.1	M:1.1	OID	HL7トリガイベントコードのコード体系を識別するOID「2.16.840.1.113883.1.18」を設定。	
~						
11.8.3.6	subject1	M:1.1	M:1.1			
11.8.3.6.1	@typeCode	M:1.1	M:1.1	コード	HL7V3ボキャブラリParticipationTypeから「SBJ」を設定。	
11.8.3.6.2	patient	0:0.1	0:0.1		応答結果を表す、応答メッセージのペイロードのルート要素。表 5.5.1.2-2参照。	
~						
13	queryByParameter	M:1.1	M:1.1		対応する問合せメッセージのパラメータのコピー。問合せメッセージの表 5.5.1.1-3のXML定義表参照。	

表 5.5.1.2-2に、応答メッセージのペイロードとなる、問合せ結果の XML 定義を示す。この定義は ITI TF-2b 3.47.4.2.2 Message Information Model of the Patient Registry Find Candidates Response Message の XML 仕様に対して必要に応じて解説を加えたものである。

表 5.5.1.2-2 XML 定義 (患者基本情報照会応答メッセージ: ペイロード)

/PRPA_IN201306UV02/controlActProcess/subject/registrationEvent/subject1						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	patient	M :1..1	M :1..1		患者識別情報	
1.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「PAT」を設定。	
1.2	id	M :1..*	M :1..*		患者 ID。 異なる患者 ID ドメインの ID も本要素、または、OtherIDs.id のいずれかに含むことができるが、同一の ID を両方に設定してはならない。 8.1.3節 共通データ型「人が読解可能な識別子 (その他のアクタによる識別子)」を使用する。最低1つの患者 ID が指定されなければならない。	●
1.3	statusCode	M :1..1	M :1..1		当該レコードの状態を表すコード。	
1.3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 ボキャブラリ RoleStatus から「active」を設定。	
1.4	confidentialityCode	0 :0..*	0 :0..*		守秘レベルコード。	
1.4.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	コード表 9-13 「守秘レベルコード」からコードを設定。 ドメイン内、及び、ドメイン間の協議により他のコードを使用することも可能である。	●
1.4.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	「守秘レベルコード」のコード体系を識別するOIDを設定。コード表 9-13 を使用する場合には「2.16.840.1.113883.5.25」を設定。他のコードを使用する場合は、そのコード体系を識別するOIDを指定する。	●
1.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「守秘レベルコード」のコード体系名称を指定する。コード表 9-13 を使用する場合には「Confidentiality」を設定する。	●
1.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「守秘レベルコード」の表示名を設定。	●
1.5	veryImportantPersonCode	0 :0..1	0 :0..1		VIP 区分	
1.5.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	コード表 9-14 「VIP コード」からのコードを設定。ドメイン内、またはドメイン間の協議の上、他のコードを利用することも可能。	●
1.5.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	コード表 9-14 を使用する場合、	●

					「VIP コード」のコード体系を示すOID「2.16.840.1.113883.5.1075」を設定。その他のコードを使用する場合は、そのコード体系を識別するOIDを設定。	
1.5.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	コード表 9-14を使用する場合、「VIP コード」のコード体系名称として「PatientImportance」を設定。その他のコードを使用する場合は、そのコード体系の名称を設定。	●
1.5.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	コードの表示名を設定。	●
1.6	patientPerson	M:1..1	M:1..1		患者。	
1.6.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「PSN」を設定。	
1.6.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.6.3	name	M:1..*	M:1..*		患者氏名。8.2節 共通データ型「氏名(漢字・カナ・ローマ字)」を参照。	●
1.6.4	telecom	0:0..*	0:0..*		患者の連絡先。8.7節 共通データ型「電話番号」を参照。	●
1.6.5	administrativeGenderCode	0:0..1	0:0..1		患者の性別。8.4節 共通データ型「性別」参照。	●
1.6.6	birthTime	0:0..1	0:0..1		患者の生年月日。8.5節 共通データ型「生年月日」参照。	●
1.6.7	deceasedInd	0:0..1	0:0..1		患者の死亡区分。	
1.6.7.1	@value	M:1..1	M:1..1	真偽値	「true」または「false」を設定。	●
1.6.8	deceasedTime	0:0..1	0:0..1		患者の死亡日時。	
1.6.8.1	@value	M:1..1	M:1..1	日付	書式: YYYY[MM[DD[HH[MM[SS]]]]]	●
1.6.9	multipleBirthInd	0:0..1	N		多生児区分 [JAHIS] JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.6.10	multipleBirthOrderNumber	0:0..1	N		多生児の出生順位 [JAHIS] JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.6.11	addr	0:0..*	0:0..*		患者の住所。8.6節 共通データ型「住所」参照。	●
1.6.12	maritalStatusCode	0:0..1	0:0..1		患者の婚姻状況。	
1.6.12.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	婚姻状況を表すコード。 コード表 9-15「婚姻状況コード」参照。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議により他のコードを使用することも可能。	●
1.6.12.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	コード体系を識別するOID。コード表 9-15を使用する場合は「2.16.840.1.113883.12.2」を設定。	●
1.6.12.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	コード体系の名称。コード表 9-15を使用する場合は「HL70002」を設定。	●

1.6.12.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.6.13	religiosAffiliationCode	0:0..1	N		宗教区分。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.6.14	raceCode	0:0..*	N		人種コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.6.15	ethnicGroupCode	0:0..*	N		民族コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.6.16	asOtherIDs	0:0..*	0:0..*		その他の患者 ID。XML No 1.2 の説明も参照すること。	
1.6.16.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「ROL」もしくはその下位のコードを設定。 ID が患者 ID の場合、RoleClass から「PAT」を設定。	
1.6.16.2	id	M:1..*	M:1..*		8.1.3節 共通データ型「人が読解可能な識別子(その他のアクタによる識別子)」を使用する。	●
1.6.16.3	scopingOrganization	M:1..1	M:1..1		その他の患者 ID の患者 ID ドメイン(割当機関)の情報。	
1.6.16.3.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	半角英字	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「ORG」を設定。	
1.6.16.3.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	半角英字	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.6.16.4	id	M:1..*	M:1..*		患者 ID ドメイン(割当機関)を識別する識別子。root 属性のみを指定する。XML No 1.6.16.2 の root 属性と同じ値が指定されなければならぬ。	●
1.6.16.4.1	@root	M:1..1	M:1..1	OID	患者 ID ドメイン(割当機関)を識別する OID を設定。 XML No 1.6.16.2 に設定される ID の root 属性と同じ値が設定されなければならない。	●
1.6.16.5	code	0:0..1	0:0..1		患者 ID ドメイン(割当機関)の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 9-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.6.16.5.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	「施設区分コード」のコード値を設定。	●

					定。	
1.6.16.5.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「施設区分コード」のコード体系を識別するOIDを設定。	●
1.6.16.5.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	「施設区分コード」のコード体系名称を設定。	●
1.6.16.5.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	「施設区分コード」の表示名を設定。	●
1.6.16.6	name	0:0..*	0:0..*		割当施設の名称。8.3節 共通データ定義「単純名称」を使用。	●
1.6.16.7	addr	0:0..*	0:0..*		割当施設の住所。8.6節 共通データ型「住所」参照。	●
1.6.17	personalRelationship	0:0..*	0:0..*		患者と他の個人との関係	
1.6.17.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「PRS」を設定。	
1.6.17.2	id	0:0..*	0:0..*		関係を識別するID。 使用する場合には、8.1.3節 共通データ定義「人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.6.17.3	code	M:1..1	M:1..1		関係を識別するコード。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議により任意のコードが使用可能。 [JAHIS] 本書では参考としてコード表 9-16 「関係区分コード」を提示する。その他にも、PHR データ交換規格で定義されたコード表 9-17 「続柄コード」などを使用可能。	
1.6.17.3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	「関係区分」のコード値を設定。	●
1.6.17.3.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「関係区分」のコード体系を識別するOIDを設定。	●
1.6.17.3.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	「関係区分」のコード体系名称を設定。	●
1.6.17.3.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	「関係区分」のコードの表示名を設定。	●
1.6.17.4	relationshipHolder	M:1..1	M:1..1		関係者情報	
1.6.17.4.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7 ボキャブラリ EntityClass から「PSN」を設定。	
1.6.17.4.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.6.17.5	id	0:0..*	0:0..*		関係者を識別するID。使用する場合には、8.1.3節 共通データ定義「人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.6.17.6	name	0:0..*	0:0..*		関係者の氏名。8.2節 共通データ型「氏名（漢字・カナ・ローマ字）」を参照。	●
1.6.17.7	desc	0:0..1	0:0..1		関係者に対する説明。	
1.6.17.7.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	関係者の説明。	●
1.6.17.8	statusCode	0:0..1	0:0..1		関係者の状態コード。	
1.6.17.8.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityStatus か	●

					らのコードを指定。 ・有効:「active」 ・無効:「inactive」 ・削除された;「nullified」	
1.6.17.9	administrativeGenderCode	0:0..1	0:0..1		関係者の性別。8.4節 共通データ型「性別」参照。	●
1.6.17.10	birthTime	0:0..1	0:0..1		関係者の生年月日。8.5節 共通データ型「生年月日」参照。	●
1.6.17.11	deceasedInd	0:0..1	0:0..1		関係者の死亡区分。	
1.6.17.11.1	@value	M:1..1	M:1..1	真偽値	「true」または「false」を設定。	●
1.6.17.12	deceasedTime	0:0..1	0:0..1		関係者の死亡日時。	
1.6.17.12.1	@value	M:1..1	M:1..1	日時	書式:YYYY[MM[DD[HH[MM[SS]]]]]	●
	multipleBirthInd	0:0..1	N		関係者の多生児区分。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
	multipleBirthOrderNumber	0:0..1	N		関係者の出生順序。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
	organDonorInd	0:0..1	N		関係者のドナー区分。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
	maritalStatusCode	0:0..1	N		関係者の婚姻状況。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
	religiousAffiliationCode	0:0..1	N		関係者の宗教コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
	raceCode	0:0..1	N		関係者の人種コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
	ethnicGroupCode	0:0..1	N		関係者の民族コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.18	citizen	0:0..*	N		患者の市民権情報。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.19	employee	0:0..*	0:0..*		患者の雇用関係情報。	
1.6.19.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleClass から「EMP」を設定。	
1.6.19.2	statusCode	0:0..1	0:0..1		雇用状態。	
1.6.19.2.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	コード表 9-18「役割状態コード」からのコード値を設定。	●

1.6.19.3	occupationCode	0:0..1	0:0..1		職業区分。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議に基づき任意のコードを使用可能。 [JAHIS] 本書ではコード表 9-19「職業区分コード」を提示する。	
1.6.19.3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	「職業区分コード」からのコード値を設定。	●
1.6.19.3.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「職業区分コード」のコード体系を識別するOID。	●
1.6.19.3.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	「職業区分コード」のコード体系名称	●
1.6.19.3.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	「職種区分コード」の表示名。	●
1.6.19.4	employerOrganization	M:1..1	M:1..1		雇用者組織情報。	
1.6.19.4.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリー EntityClass から「ORG」を設定。	
1.6.19.4.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリー EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.6.19.4.3	id	0:0..*	0:0..*		雇用者組織を識別する ID。使用する場合には 8.1.3 節 共通データ定義「人が読解可能な識別子 (その他のアクタによる識別子)」を使用する。	●
1.6.19.4.4	code	0:0..1	0:0..1		組織区分コード。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議に基づき任意のコードを使用可能。 [JAHIS] 本書ではコード表 9-20「組織区分コード」を提示する。	
1.6.19.4.4.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	「組織区分コード」からのコード値を設定。	●
1.6.19.4.4.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「組織区分コード」のコード体系を識別するOIDを設定。	●
1.6.19.4.4.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	「組織区分コード」のコード体系名称を設定。	●
1.6.19.4.4.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	「組織区分コード」のコードの表示名を設定。	●
1.6.19.4.5	name	0:0..*	0:0..*		雇用者組織の名称。8.3 節 共通データ定義「単純名称」を使用。	●
1.6.19.4.6	contactParty	M:1..*	M:1..*		雇用者組織の連絡先担当者情報	
1.6.19.4.6.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリー RoleClass から「CON」を設定。	
1.6.19.4.6.2	id	0:0..*	0:0..*		連絡先担当者を識別する ID。 使用する場合には 8.1.3 節 共通データ定義「人が読解可能な識別子 (その他のアクタによる識別子)」を使用する。	●
1.6.19.4.6.3	code	0:0..1	0:0..1		連絡先担当者の区分を識別するコード。使用する場合には、ドメイン内、及び、ドメイン間で協議の上、任意の	

					コードを使用可能。	
1.6.19.4.6.3.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	「担当者区分コード」からのコード値を設定。	●
1.6.19.4.6.3.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「担当者区分コード」のコード体系を識別するOID。	●
1.6.19.4.6.3.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	「担当者区分コード」のコード体系名称を設定。	●
1.6.19.4.6.3.4	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	「担当者区分コード」の表示名称を設定。	●
1.6.19.4.6.4	addr	0:0..*	0:0..*		連絡先担当者の住所。8.6節 共通データ型「住所」参照。	●
1.6.19.4.6.5	telecom	0:0..*	0:0..*		連絡先担当者の電話番号。8.7節 共通データ型「電話番号」を参照。	●
1.6.19.4.6.6	contactPerson	0:0..1	0:0..1		連絡先担当者個人情報	
1.6.19.4.6.6.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリー EntityClass から「PSN」を設定。	
1.6.19.4.6.6.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリー EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.6.19.4.6.6.3	name	M:1..*	M:1..*		氏名情報。8.2節 共通データ仕様「氏名（漢字・カナ・ローマ字）」を使用する。	●
1.6.20	languageCommunication	0:0..*	N		患者のコミュニケーション言語情報。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.7	providerOrganization	M:1..1	M:1..1		患者 ID の割当施設の情報。	
1.7.1	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリー EntityClass から「ORG」を設定。	
1.7.2	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリー EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.7.3	id	M:1..*	M:1..*		割当施設の識別子。8.1.3節 共通データ定義「人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.7.4	code	0:0..1	0:0..1		組織の種類や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 9-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.7.4.1	@code	M:1..1	M:1..1	コード	「役割コード」のコード値を設定。	●
1.7.4.2	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「役割コード」のコード体系を識別するOIDを設定。	●
1.7.4.3	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	「役割区分コード」のコード体系名称を設定。	●

1.7.44	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	「組織区分コード」のコードの表示名を設定。	●
1.7.5	name	0:0..*	0:0..*			
1.7.6	contactParty	M:1..*	M:1..*		連絡先担当者情報。	
1.7.61	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ RoleCass から「CON」を設定。	
1.7.62	id	0:0..*	0:0..*		連絡先担当者を識別する ID。使用する場合には8. 1. 3節 共通データ定義「人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.7.63	code	0:0..1	0:0..1		連絡先担当者の役割コード。使用する場合、ドメイン内、及び、ドメイン間での合意の上、任意のコードを使用することが可能。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務職員、といった組織内での役割を識別する。	
1.7.631	@code	M:1..1	M:1..1	コード	「役割コード」からのコード値を設定。	●
1.7.632	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	「役割コード」のコード体系を識別するOID。	●
1.7.633	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	「役割コード」のコード体系名称を設定。	●
1.7.634	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	「役割コード」の表示名称を設定。	●
1.7.64	addr	0:0..*	0:0..*		連絡先担当者の住所。8. 6節 共通データ型「住所」参照。	●
1.7.65	telecom	0:0..*	0:0..*		連絡先担当者の電話番号。8. 7節 共通データ型「電話番号」を参照。	●
1.7.66	contactPerson	0:0..1	0:0..1		連絡先担当者個人情報。	
1.7.661	@classCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityClass から「PSN」を設定。	
1.7.662	@determinerCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.7.663	name	M:1..*	M:1..*		担当者氏名。8. 2節 共通データ仕様「氏名（漢字・カナ・ローマ字）」を使用。	●
1.8	subjectOf1	M:1..*	M:1..*		検索結果の確度を示す情報。	
1.8.1	@typeCode	M:1..1	M:1..1	コード	HL7V3 ボキャブラリ ParticipationType 「SBJ」を設定。	
1.8.2	queryMatchObservation	M:1..1	M:1..1		検索結果の確度情報。	
1.8.21	@classCode	M:1..1		コード	HL7V3 ボキャブラリ ActClass から「OBS」を設定。	
1.8.22	@moodCode	M:1..1		コード	HL7V3 ボキャブラリ ActMood から「EVN」を設定。	
1.8.23	code	M:1..1	M:1..1		検索結果の確度を表すことを示すコード。ドメイン内、及び、ドメイン間で協議の上、任意のコードを使用可能。	

					[JAHIS] 例としてコード表 9-2 1「検索確度 区分」を提示する。	
1.8231	@code	M:1..1	M:1..1	コード	検索確度を示すコードを設定。	●
1.8232	@codeSystem	M:1..1	M:1..1	OID	検索確度を示すコードのコード体系 を識別するOID。	●
1.8233	@codeSystemName	0:0..1	0:0..1	文字列	検索確度を示すコードのコード体系 名称を設定。	●
1.8234	@displayName	0:0..1	0:0..1	文字列	検索確度を示すコードの表示名を設 定。	●
1.824	value	M:1..1	M:1..1		検索結果の確度値。問合せメッセージ 表 5.5.1.1-3のXML No 6.2.1.1 で指定された基準に対応した確度を 設定する。	
1.8241	@xsi:type	M:1..1	M:1..1	文字列	最小関連度のデータ型を表す「INT」 を設定。	
1.8242	@value	M:1..1	M:1..1	数値	問合せで指定された「最小関連度」に 対応した結果の確度。整数値で指定。	●

5.6 その他実装上の考慮事項

5.6.1 患者基本情報サプライヤに期待されるアクション

問合せに対して応答する患者基本情報サプライヤに対して期待される振る舞いは次の通りである。本節は、ITI TF-2b 3.47.4.2.3 Expected Actions の内容を解説したものである。

表 5.6.1-1 患者基本情報サプライヤに期待されるアクション

No	ユースケース	Acknowledgement.typeCode	QueryAck. query ResponseCode	AcknowledgementDetail	登録イベント
		表 5.5.1.2-1 XML No. 10.1	表 5.5.1.2-1 XML No. 12.3.1	表 5.5.1.2-1 XML No. 10.4	表 5.5.1.2-1 XML No. 11.8.3
1	患者基本情報サプライヤは、送られた問合せパラメータの条件にマッチする少なくとも 1 件の患者記録を見つけた。 OtherIDsScopingOrganization パラメータは指定されなかった。	AA (application accept)	OK (data found, no errors)	-	各患者記録に対して、1 つの登録イベントが返却される。
2	患者基本情報サプライヤは、送られた問合せパラメータの条件にマッチする少なくとも 1 件の患者記録を見つけた。 1 つ以上の OtherIDsScopingOrganization パラメータが指定された。	AA(application accept)	OK (data found, no errors)	-	各患者記録に対して、1 つの登録イベントが返却される。 各患者に対して、OtherIDsScopingOrganization パラメータによって要求された患者 ID ドメインが Patient.id 属性または OtherIDs.id 属性のいずれかで返却される。 もし要求された患者 ID ドメインの患者 ID を提供できない場合は、OtherIDs.id 属性に Null 値を設定し、関連する ScopingOrganization クラスにより患者 ID ドメインを示す。
3	患者基本情報サプライヤは OtherIDsScopingOrganization パラメータで表現される 1 つまたはそれ以上の指定された患者ドメインを認識しなかった。	AE (application error)	AE (application error)	認識されなかった各患者ドメインに対して、AcknowledgementDetail を返信。 typeCode: E (Error)	登録イベントは返却されない。

				<p>code: 詳細応答コード</p> <p>location: データソースパラメータの要素の XPATH 表現 (パラメータの繰り返しの数を含む)</p>	
--	--	--	--	--	--

第6章 施設間文書共有方式 (IHE XDS.b)

6.1 概要

XDS.b 統合プロファイルは、同一のドメインに属する複数の医療機関の間で、患者の診療記録を文書として共有する仕組みを提供する。本統合プロファイルは、ebXML レジストリ標準と SOAP 仕様に基づく。図 6.1-1 に、XDS.b 統合プロファイルで使用する IHE アクタとトランザクションを示す。アクタの概要は、表 6.1-1 に示す通りである。

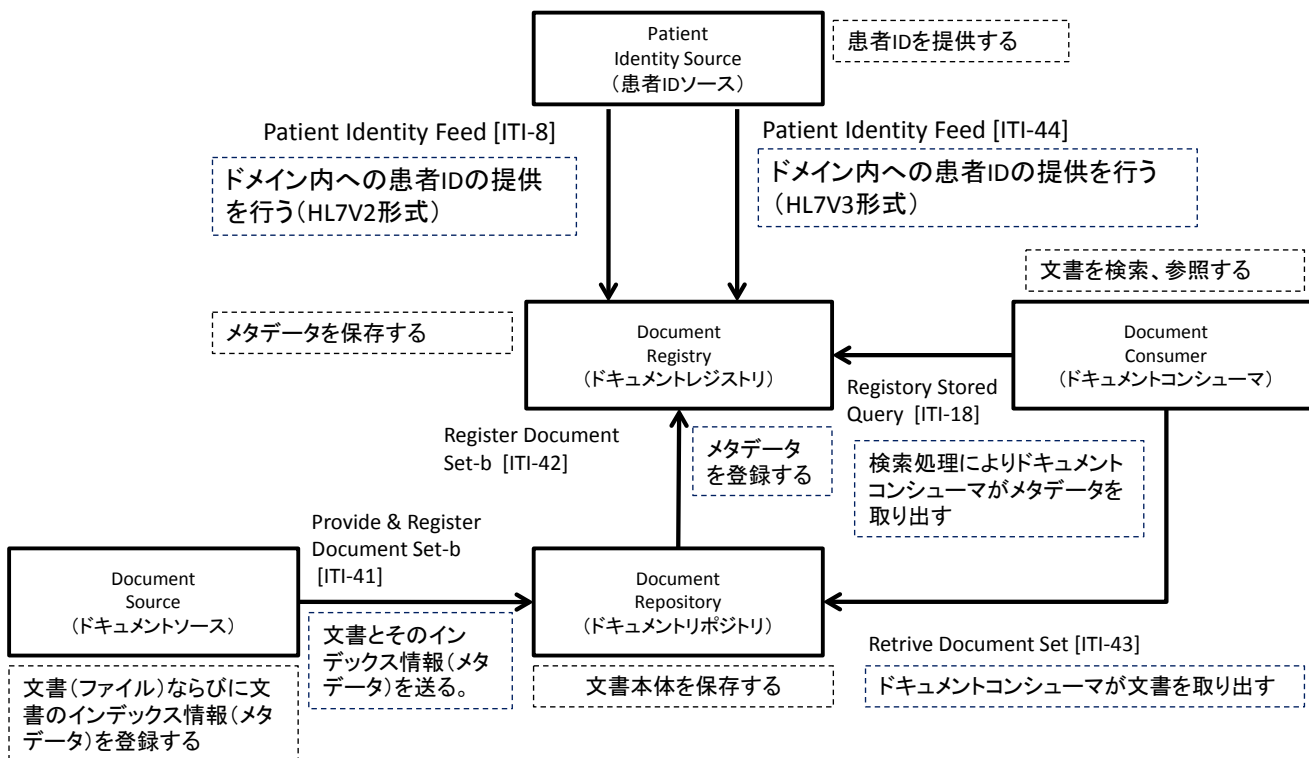


図 6.1-1 XDS.b 統合プロファイルアクタ図

表 6.1-1 XDS.b 統合プロファイルのアクタ

No	アクタ	説明
1	ドキュメントソース	文書及び文書のメタデータを提供する。
2	ドキュメントリポジトリ	文書を保管する。
3	ドキュメントレジストリ	文書のメタデータを保管する。
4	ドキュメントコンシューマ	文書の利用者。文書レジストリに対して文書の問合せを行ない、文書リポジトリから文書を読みだす。
5	患者 ID ソース	ドメイン内の文書に対するユニークな患者 ID を提供する。

XDS.b には、①文書と文書のメタデータを登録する、②文書のメタデータを検索する、③文書を取得する、という 3 つの基本的な処理がある。ここでは各処理を概説し、表 6.1-1 のアクタが各処理でどのような役割を果たすかを示す。

① 文書と文書のメタデータの登録

1. 文書ソースは、文書リポジトリに登録するための文書を選択し、文書のメタデータを作成する。文書の登録には、文書リポジトリが属する XDS アフィニティドメインの患者 ID の情報が必要となる。PIX 統合プロファイルを利用する場合、PIX コンシューマは、対象となる XDS アフィニティドメインの PIX

マネージャに対して XDS アフィニティドメインの患者 ID を問い合わせ、図 6.1-2 の例の場合、患者 ID Px を得る (PIX V3 Query [ITI-45])

2. 文書ソースは、文書リポジトリに対して、文書と文書のメタデータを送信する (Provide and Register Document Set-b [ITI-41])。
3. 文書リポジトリは文書を保存する。このとき、文書のハッシュ値 (XSDocumentEntry.hash) と文書サイズ (XSDocumentEntry.size) を計算する。、さらに、文書リポジトリが持つリポジトリ ID (XSDocumentEntry.repositoryUniqueId) を付与する。更新されたメタデータを、文書レジストリに送信する (Register Document Set-b [ITI-42])。文書レジストリは、メタデータの検証を行い、レジストリを更新し、結果ステータスを応答メッセージとして返答する。メタデータの検証には、メタデータに付与された患者 ID が、当該 XDS アフィニティドメインの患者 ID であるかどうかの検証や、必須項目の検証、コード化項目の検証が含まれる。

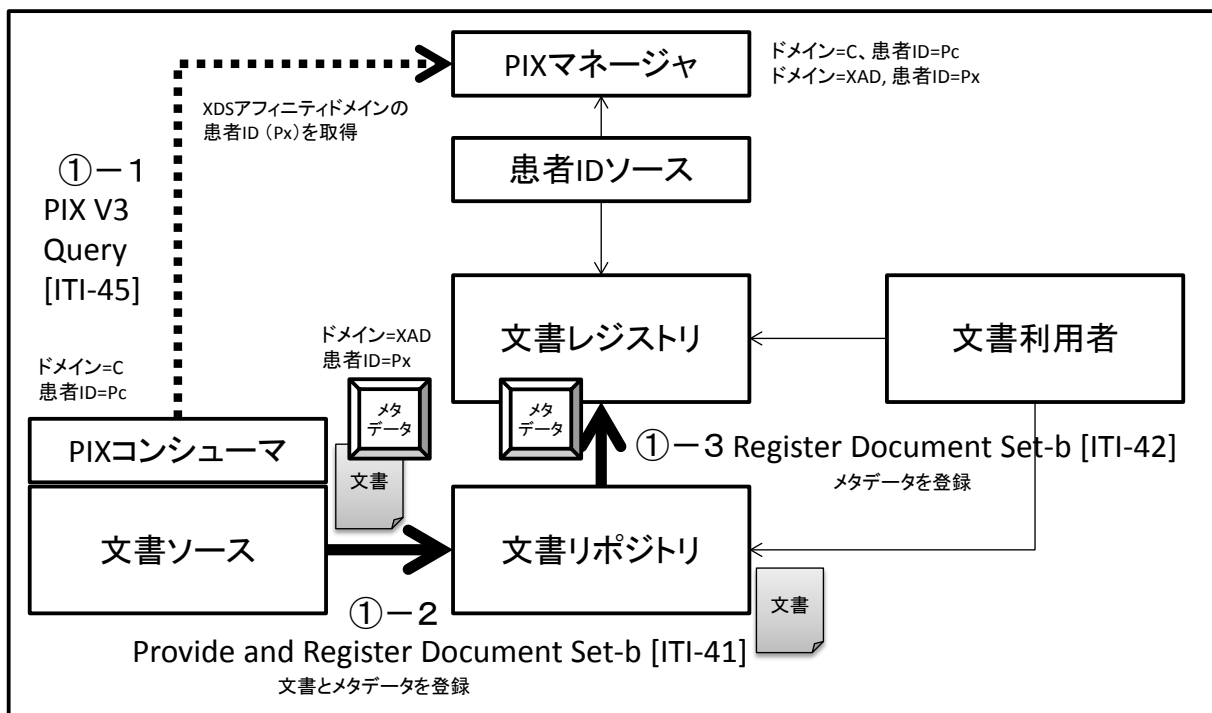


図 6.1-2 文書と文書のメタデータの登録

② 文書のメタデータの検索

1. 文書利用者は、文書レジストリからメタデータを取得するために、XDS アフィニティドメインの患者 ID が必要である。その患者 ID を得るために、PIX 統合プロファイルを利用し、XDS アフィニティドメインの PIX マネージャに患者 ID を問合せ、図 6.1-3 の例の場合、患者 ID Px を得る (PIX V3 Query [ITI-45])。
2. 文書利用者は、文書レジストリに対して、患者 ID Px を使ってストアドクエリにより検索要求を送信する (Registry Stored Query [ITI-48])。

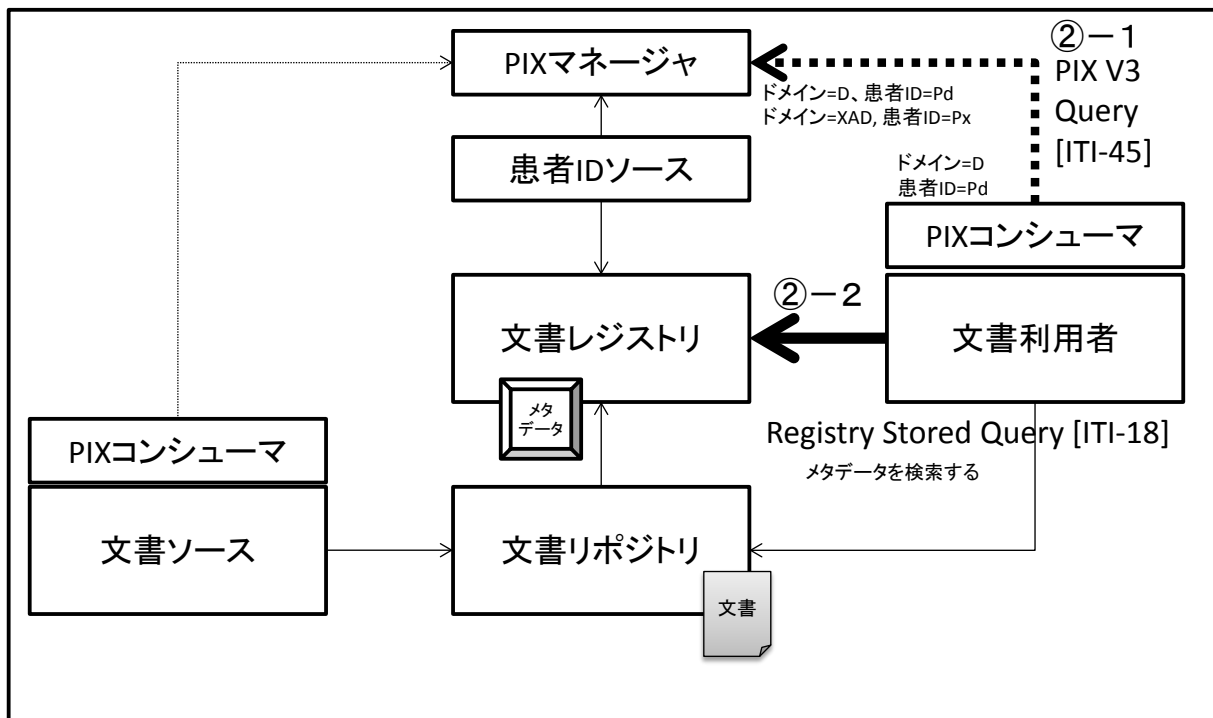


図 6.1-3 文書のメタデータの検索

③ 文書の取得

- ②で取得したメタデータから、文書利用者は、求める文書が存在するリポジトリを得ることができる。文書利用者はその情報を利用し、該当する文書リポジトリに対して文書の読み出し要求を送信する。文書リポジトリは、応答として要求された文書を返送する (Retrieve Document Set)。

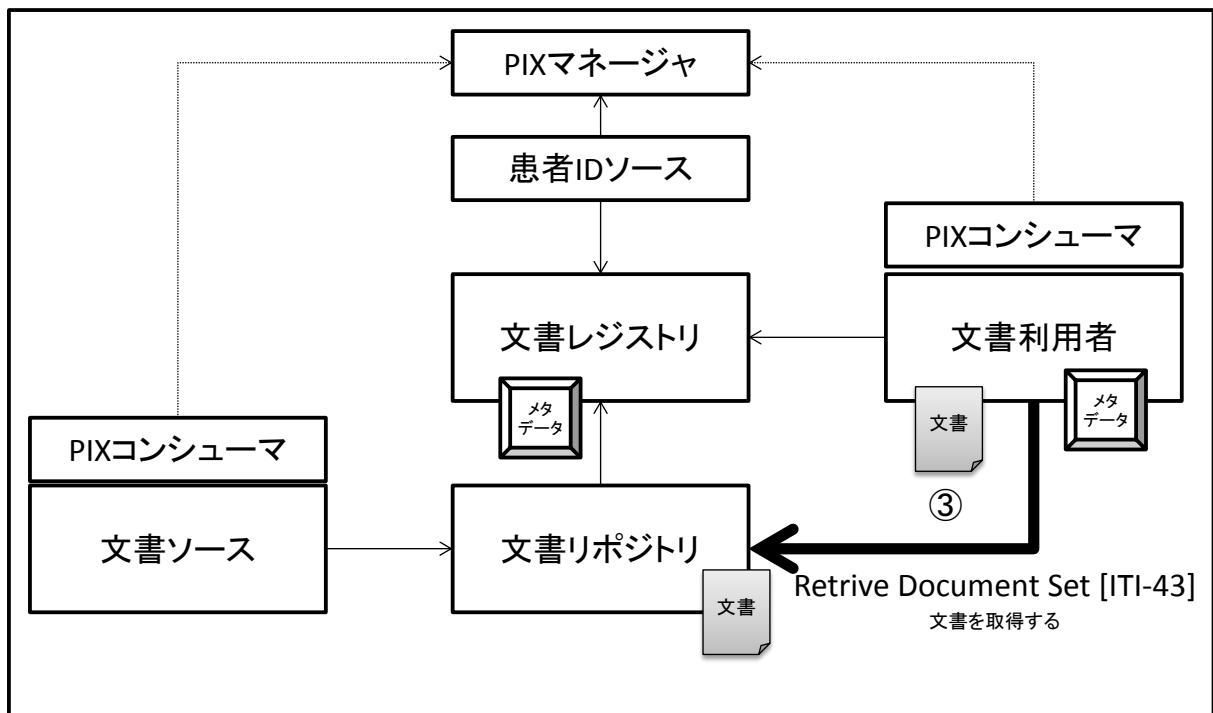


図 6.1-4 文書の取得

6.2 適用方針

XDS. b 統合プロフィールを地域医療連携に適用するにあたり、XDS. b 統合プロフィールがサポートする IHE トランザクションのうち、他システムへの文書の照会、及び、応答メッセージに関連するアクタ、及び、トランザクションのみを本書の対象とする。すなわち、文書利用者は、文書の検索を行う「ストアドクエリ [ITI-18]」と、検索結果から特定された文書リポジトリから文書を取得する「文書セットの読み出し [ITI-43]」を実装する。一方、文書リポジトリアクタは、文書利用者から要求された文書を返送するために、「文書セットの読み出し [ITI-43]」を実装する。文書レジストリは、文書利用者からの問合せを受けるために「ストアドクエリ [ITI-18]」を実装する。これらは、6.1 に記載した、②文書のメタデータの検索、及び、③文書の取得に対応し、7 章で述べる XCA 統合プロフィールにおいて、開始ゲートウェイ、及び、応答ゲートウェイを実装するために使用されるトランザクションである。これらのトランザクションを適用することにより、本書が目的とする異なる地域の地域医療連携情報システム間での診療文書の問合せと診療文書の読出しを実現することができる。ある 1 つの医療圏において異なるベンダーの地域医療連携情報システムを用いて診療文書の共有を実現する場合には、表 6.2-1 に掲げた全ての IHE アクタ、及び、トランザクションが必要であり、それらの実装については、IHE ITI テクニカルフレームワーク Volume2 の該当箇所を参照すること。

本書において、XDS. b 統合プロフィールを適用するための前提条件は、次の通りである。

- 文書リポジトリに登録されている文書は、ユニークな文書 ID が割り当てられていること。
- 文書リポジトリに登録されている文書のメタデータが、文書レジストリに登録されていること。メタデータは、XDS. b メタデータ仕様に従っていること。
- ドメイン内のユニークな患者 ID を管理する仕組みが存在すること。
- 文書リポジトリに登録されているすべての文書は、ドメインのユニークな患者 ID に関連づけられていること。
- 文書リポジトリに格納された文書に対するアクセスポリシーは、ドメイン内で合意された方法で管理されており、文書の読出し要求時には、文書リポジトリ側のアクセスポリシーに従って、文書の公開・非公開の制御が行われること。

他施設と共有するための診療情報を、SS-MIX (SS-MIX2) 標準化/拡張ストレージを利用して管理している施設においては、要求された IHE アクタを実装することで、その SS-MIX (SS-MIX2) ストレージを文書ソース（または文書ソースと文書リポジトリの複合アクタ）として利用することが可能となる。IHE アクタの実装にあたっては、SS-MIX ストレージ内に格納された文書の公開・非公開を管理するゲートウェイを活用することも考えられる。

表 6.2-1 XDS. b 統合プロフィールの適用方針

IHE アクタ	解説対象	トランザクション	説明	オプションリティ (IHE)
文書利用者	○	ストアドクエリ (Registry Stored Query [ITI-18])	問合せによりメタデータを取得する	R
	○	文書セットの読み出し (Retrieve Document Set [ITI-43])	リポジトリから文書を取得する	R
文書ソース	—	文書セットの提供と登録 (Provide and Register Document Set-b [ITI-41])	リポジトリへ文書とそのメタデータを送信する	R
文書リポジトリ	—	文書セットの提供と登録 (Provide and Register Document Set-b [ITI-41])	ドキュメントソースから文書を受け取る	R
	—	文書セットの登録 (Register Document Set-b [ITI-42])	レジストリへメタデータを登録する	R
	○	文書セットの読み出し (Retrieve Document Set [ITI-43])	コンシューマから要求された文書を返却する	R
文書レジスト	—	文書セットの登録	リポジトリからのメタデータ	R

リ		(Register Document Set-b [ITI-42])	を登録する	
	○	ストアドクエリ (Registry Stored Query [ITI-18])	メタデータへの問合せを受ける	R
	—	患者 ID 供給 (Patient Identity Feed [ITI-8])	患者 ID の提供を受ける (HL7 V2 形式)	0
	—	患者 ID 供給 (HL7 V3 版) (Patient Identity Feed HL7 V3 [ITI-44])	患者 ID の提供を受ける (HL7 V3 形式)	0

6.3 トランザクション定義

XDS. b 統合プロファイルを実現するためのトランザクションの具体的な実装仕様を示す。本トランザクションの実装には、OASIS/ebXML Registry Information Model v3.0、及び、OASIS/ebXML Registry Services Specifications v3.0 を参照規格とする。本書では、6.2 節の適用方針において示した、表 6.3-1 のトランザクションのみを解説の対象とする。

表 6.3-1 XDS. b のトランザクション定義

	アクタ	トランザクション	掲載節
1	文書利用者	ストアドクエリ (Registry Stored Query [ITI-18])	第6.3.1 節
		文書セットの読出し (Retrieve Document Set-b [ITI-43])	第6.3.2 節
2	文書リポジトリ	文書セットの読出し (Retrieve Document Set-b [ITI-43])	第6.3.2 節
3	文書レジストリ	ストアドクエリ (Registry Stored Query [ITI-18])	第6.3.1 節

6.3.1 ストアドクエリ [ITI-18]

ストアドクエリ [ITI-18] は、文書利用者から文書レジストリへの問合せ要求である。文書利用者から文書レジストリへのストアドクエリメッセージと、文書レジストリから文書利用者へのストアドクエリ応答メッセージから構成される。これらは、ebXML Registry version 3.0 の Ad Hoc Query プロトコルを使用して実現される。

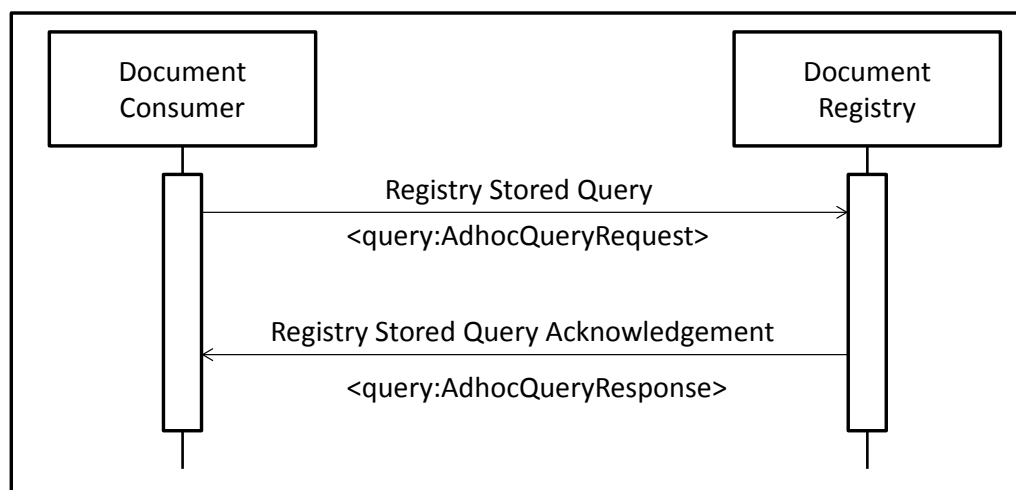


図 6.3.1-1 ストアドクエリのインタラクション図

表 6.3.1-1 ストアドクエリのメッセージインタラクション

メッセージインタラクション	説明
Registry Stored Query	レジストリに対する問合せメッセージ。Adhoc Query Request メッセージを使用する。
Registry Sotred Query Aknowledgement	問合せに対する応答メッセージ。Adhoc Query Response メッセージを使用する。

6.3.2 文書セットの読出し[ITI-43]

文書セットの読出し[ITI-43]は、文書利用者から文書リポジトリに対する文書セットの読み出し要求メッセージと、文書リポジトリから文書利用者への、文書セットの読み出し応答メッセージから構成される。本トランザクションの実装は、Web サービスを使って実現される。SOAP メッセージにおいて文書を添付する方法として MTOM/XOP を使用する。文書リポジトリは、MTOM/XOP 形式の文書セットの読み出し要求メッセージを受理し、MTOM/XOP 形式で文書セットの読み出し応答メッセージを生成できなければならない。また、文書利用者は、MTOM/XOP 形式の文書セット読み出し要求メッセージを生成し、かつ、MTOM/XOP 形式の文書セット読み出し応答メッセージを受理できなければならない。

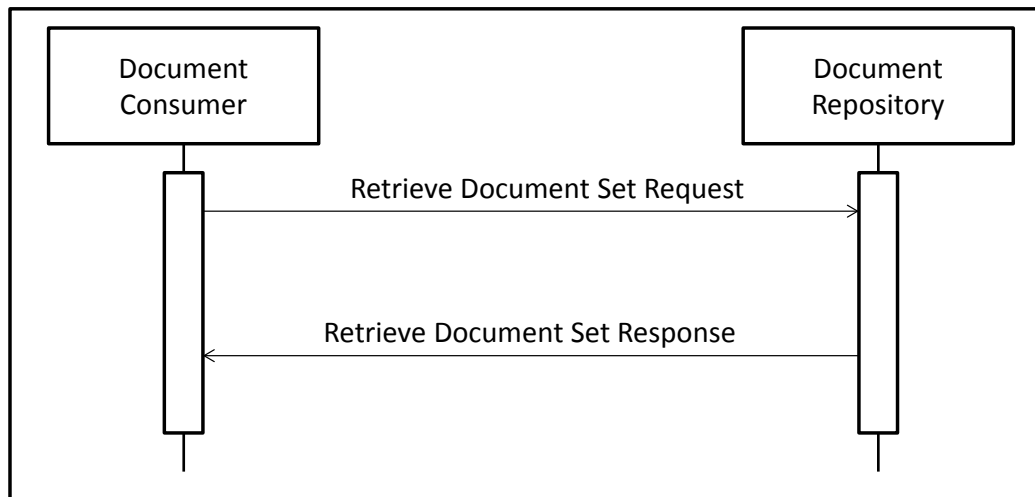


図 6.3.2-1 文書セットの読出しのインタラクション図

表 6.3.2-1 文書セットの読出しメッセージインタラクション

メッセージインタラクション	説明
Retrieve Document Set Request	文書リポジトリに対する文書セットの取得要求メッセージ。
Retrieve Document Set Response	文書リポジトリから文書利用者への文章セットの取得応答メッセージ

6.4 インターフェース定義

XDS. b 統合プロファイルの Web サービスインターフェースを実現するための WSDL 文書定義を示す。WSDL は、3. 2. 4 節に示す要求事項に従って定義される。

6.4.1 ストアドクエリ [ITI-18]

ストアドクエリトランザクションの Web サービスインターフェース仕様を、表 6.4.1-1、表 6.4.1-2、及び、表 6.4.1-3 に示す。WSDL の定義例は、付録1 「3. ストアドクエリ」に示す。文書レジストリアクタは、SOAP メッセージ形式のストアドクエリメッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式のレジストリクエリ応答メッセージを応答できなければならない。文書利用者アクタは、SOAP メッセージ形式のストアドクエリメッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式のストアドクエリ応答メッセージを受理できなければならない。

表 6.4.1-1 ストアドクエリトランザクションで使用する名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:xds-b:2007
soap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
query	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0
lcm	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0

表 6.4.1-2 ストアドクエリトランザクションで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
AdhocQueryRequest AdhocQueryResponse ResponseOption	query.xsd
AdhocQuery Slot ValueList Value RegistryObjectList ExtrinsicObject	rim.xsd
	rs.xsd
	lcm.xsd

表 6.4.1-3 ストアドクエリトランザクションのインターフェース仕様

WSDL						
XDS. b_DocumentRegistry.wsdl						
ポートタイプ						
DocumentRegistry_PortType						
オペレーション		IN/OUT				
ストアドク エリ	DocumentRegist ry_RegistrySto redQuery	入 力	メッセージ定義	ストアドクエ リメッセージ	ihe:RegistryStoredQuery_Message	
			part		body	
		要素	query:AdhocQueryRequest			
		アクション	urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery			
出 力		メッセージ定義	ストアドクエ リ応答メッセ ージ	ihe:RegistryStoredQueryResponse_ Message		
		part		body		

				要素	query:AdhocQueryResponse
			アクション	urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQueryResponse	
バインディング (SOAP 1.2 binding)					
DocumentRegistry_Binding_Soap12					
ポートタイプ		ihe:DocumentRegistry_PortType			
バインディングスタイル		文書指向 (document)			
トランスポート		HTTP			
オペレーション		DocumentRegistry_Regis tryStoredQuery	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery	
			input	リテラル形式 (literal)	
			output	リテラル形式 (literal)	

6.4.2 文書セットの読出し [ITI-43]

文書セットの読出しトランザクションで使用する Web サービスインターフェース仕様を、表 6.4.2-1、表 6.4.2-2、及び、表 6.4.2-3に示す。WSDL の例は、付録1「4. 文書セットの読出し」に示す。

表 6.4.2-1 文書セットの読出しトランザクションで使用する名前空間

プレフィックス	名前空間
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
rs	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0
lcm	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0
query	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0

表 6.4.2-2 文書セットの読出しトランザクションで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	スキーマ
RetrieveDocumentSetRequest RetrieveDocumentSetResponse	XDS.b.DocumentRepository.xsd
	rs.xsd
	lcm.xsd
	rim.xsd

表 6.4.2-3 文書セットの読出しトランザクションのインターフェース仕様

WSDL					
XDS.b.DocumentRepository.wsdl					
ポートタイプ					
DocumentRepository_PortType					
オペレーション		IN/OUT			
文書セットの読み出し	DocumentRepository_RetrievedocumentSet	入力	メッセージ定義	文書セットの読み出し要求メッセージ	ihe:RetrieveDocumentSet_Message
			part	body	要素
	アクション	urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSet			
	出力	メッセージ定義	メッセージ定義	文書セットの読み出し要求応答メッセージ	ihe:RetrieveDocumentSetResponse_Message
part			body	要素	ihe:RetrieveDocumentSetResponse
アクション		urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSetResponse			
バインディング (SOAP 1.2 binding)					
DocumentRepository_Binding					
ポートタイプ	ihe:DocumentRepository_PortType				
バインディングスタイル	文書指向 (document)				
トランスポート	HTTP				
オペレーション	DocumentRepository_RetrieveDocumentSet	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSet		
		input	リテラル形式 (literal)		
		output	リテラル形式 (literal)		

6.5 メッセージ定義

6.5.1 ストアドクエリメッセージ [ITI-18]

本章では、ドキュメントコンシューマからドキュメントレジストリに対する文書の照会メッセージであるストアドクエリのメッセージのXML定義を示す。照会メッセージのXML定義を6.5.1.1節に示し、応答メッセージのXML定義を6.5.1.2節に示す。

6.5.1.1 ストアドクエリ照会メッセージ (Registry Stored Query)

ストアドクエリ照会メッセージは、あらかじめ定義されたクエリ（問合せ文）を使用して、さまざまな種類の問合せを発行することができる。各問合せ文には、パラメータが定義されており、ストアドクエリ照会メッセージでは、使用するクエリ、及び、そのクエリで定義された各パラメータのパラメータ値を指定する。クエリの指定は、各クエリに割り当てられたUUIDを使用する。ストアドクエリ照会メッセージで使用可能なクエリIDの一覧を表6.5.1.1-1に示す。サポートされないクエリIDが指定された場合には、エラーが返されるべきである。

表 6.5.1.1-1 クエリID

クエリ名	説明	クエリID
FindDocuments	指定された患者に関する XSDDocumentEntry を検索する。	urn:uuid:14d4debf-8f97-4251-9a74-a90016b0af0d
FindSubmissionSets	指定された患者に関する XDSSubmissionSet を検索する。	urn:uuid:f26abbcb-ac74-4422-8a30-edb644bbc1a9
FindFolders	指定された患者に関する XDSFolder を検索する。	urn:uuid:958f3006-baad-4929-a4def1114824431
GetAll	指定された患者に関する レジストリ内の全内容を取得する。	urn:uuid:10b545ea-725c-446d-9b95-8aeb444eddf3
GetDocuments	entryUUID または uniqueId で指定された XSDDocumentEntry を取得する。	urn:uuid:5c4f972b-d56b-40ac-a5fcc8ca9b40b9d4
GetFolders	entryUUID または uniqueId で指定された XDSFolder を取得する。	urn:uuid:5737b14c-8a1a-4539-b659-e03a34a5e1e4
GetAssociations	UUID で指定された Association を取得する。	urn:uuid:a7ae438b-4bc2-4642-93e9-be891f7bb155
GetDocumentsAndAssociations	entryUUID または uniqueId で指定された XSDDocumentEntry とその関連 (Association) を取得する。	urn:uuid:bab9529a-4a10-40b3-a01ff68a615d247a
GetSubmissionSets	UUID で指定された XSDDocumentEntry と XDSFolder を含む XDSSubmissionSet を取得する。	urn:uuid:51224314-5390-4169-9b91-b1980040715a
GetSubmissionSetAndContents	entryUUID または	urn:uuid:e8e3cb2c-e39c-46b9-99e4-c12f57260b83

	uniqueId で指定された XDSSubmissionSet とその内容を取得する。	
GetFolderAndContents	entryUUID または uniqueId で指定された XDSFolder とその内容を取得する。	urn:uuid:b909a503-523d-4517-8acf-8e5834dfc4c7
GetFoldersForDocument	entryUUID または uniqueId で指定された XSDocumentEntry を含む XDSFolder を取得する。	urn:uuid:10cae35a-c7f9-4cf5-b61efc3278ffb578
GetRelatedDocuments	entryUUID または uniqueId で指定された XSDocumentEntry に Association で関連する XSDocumentEntry を取得する。	urn:uuid:d90e5407-b356-4d91-a89f-873917b4b0e6

returnType 要素には、「ObjectRef」または「LeafClass」のいずれかの値を設定することができる。表 6.5.1.1-2 に示す。

表 6.5.1.1-2 返却タイプの設定値

returnType の設定値	説明	備考
LeafClass	問合せにマッチした ebXML オブジェクトを返却する。	
ObjectRef	問合せにマッチしたオブジェクトへの参照を UUID のリストとして返却する。	返却される結果が膨大な場合に、最初に参照リストを返却し、2 回目以降の問合せで、LeafClass のオブジェクトを返却する。XSDocumentEntry や XDSSubmissionSet など単一のオブジェクトを返却する問合せで使用する場合に有用である。

6.5.1.1.1 クエリパラメータの指定方法

クエリパラメータは、表 6.5.1.1.1-1 の仕様に従って、各クエリの説明の中で示す。

表 6.5.1.1.1-1 クエリパラメータ

項目	説明
パラメータ名	問合せのパラメータを識別するパラメータ名。「\$」で開始される。
属性	対応するメタデータの属性
制約	このパラメータが必須か任意かを示す。必須パラメータは「R」、任意パラメータは「O」で示す。
複数指定区分	複数の値を指定可能なパラメータは「M」で示す。

1) 日付型パラメータの指定方法

クエリパラメータで指定する日付値は、開始日を含み、終了日を含まない。つまり、From <= 対象項目値 < To と解釈される。開始日または終了日は省略される可能性もある。

2) コード型パラメータの指定方法

HL7 Version 2.5 の CE 型の表記法を使用し、CE 型の第 1 成分であるコード値と第 3 成分であるコード体系を指定する。第 2 成分は使用しない。また両方の値が必須である。複数のパラメータを指定する場合には、次の例のようにカンマ(,)で区切って複数指定することができる。

```
<value>( 'code1^^coding-scheme1', 'code2^^coding-scheme2' )</value>
```

3) その他のルール

数値はクォートなし。文字列はシングルクォートで表現する。シングルクォート中のシングルクォートは、シングルクォートでエスケープする。文字列検索には、SQL の LIKE 演算子と同様のワイルドカードを使用可能である。具体的には、アンダスコア('_')は、0 文字以上の任意の文字と一致し、パーセント('%')は、任意の 1 文字とマッチする。

4) 複数の値の指定方法

同一の Value の中での繰り返しは、カンマ(,)で連結し、OR 条件と解釈する。

```
(value, value, value, . . .)
```

例えば、

```
<rim:Slot name=" $XDSDocumentEntryEventCodeList" >
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>( 'a', 'b' )</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
```

は、「\$XDSDocumentEntryEventCodeList の値が 'a' または 'b' 」という検索条件として解釈する。

5) 複数条件の指定方法

単一の Slot に対して、複数の Value 要素は、OR 条件と解釈する。例えば、

```
<rim:Slot name=" $XDSDocumentEntryEventCodeList" >
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>( 'a' )</rim:Value>
    <rim:Value>( 'b' )</rim:Value>
  </rim:ValueList>
```

は、「\$XDSDocumentEntryEventCodeList の値が 'a' または 'b' 」と解釈する。
一方、同一の Slot を複数記載する場合は、AND 条件と解釈する。例えば、

```
<rim:Slot name=" $XDSDocumentEntryEventCodeList" >
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>( 'a' )</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name=" $XDSDocumentEntryEventCodeList" >
```



```

<rim:ValueList>
  <rim:Value>( 'b' )</rim:Value>
</rim:ValueList>
</rim:Slot>

```

は、「\$XDSDocumentEntryEventCodeList の値が 'a' かつ 'b' 」と解釈する。

6) 文書ステータスの指定方法

XDS で使用する Registry Object のステータス値は

```

urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Submitted
urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Approved
urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Deprecated

```

の3種類である。もし上記以外のステータスを Document Registry が受理した場合、値が設定されていないものとして処理を実行する。\$XDSDocumentEntryStatus は必須パラメータのため、すべての値が解釈できない場合にはエラーとなる。

例として、次のメタデータ検索条件は以下のように指定される。

- 患者 ID : 87654321
- 患者 ID の発行機関の OID : 1.2.3.4.5
- 文書ステータス : 承認済み
- 診療開始日 : 20130315
- 診療終了日 : 20130315

```

<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryPatientId">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>87654321^^^&1.2.3.4.5&ISO</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryStatus">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>( 'urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Approved' )</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryServiceStartTimeFrom">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>20130315</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryServiceStartTimeTo">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>20130315</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>

```

6.5.1.1.2 クエリパラメータ

6.5.1.1.2.1 文書の検索クエリ (FindDocuments)

本クエリは、指定された status 属性に一致する、指定された患者 ID を持つレジストリ内のドキュメント (XSDocumentEntry オブジェクト) を検索するものである。

戻り値	検索条件と一致した XSDocumentEntry オブジェクト
-----	----------------------------------

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XSDocumentEntryPatientId	XSDocumentEntry.patientId	R	—
2	\$XSDocumentEntryClassCode (*注 1	XSDocumentEntry.classCode	0	M
3	\$XSDocumentEntryTypeCode (*注 1	XSDocumentEntry.typeCode	0	M
4	\$XSDocumentEntryPracticeSettingCode (*注 1	XSDocumentEntry.practiceSettingCode	0	M
5	\$XSDocumentEntryCreationTimeFrom	XSDocumentEntry.creationTime の下限	0	—
6	\$XSDocumentEntryCreationTimeTo	XSDocumentEntry.creationTime の上限	0	—
7	\$XSDocumentEntryServiceStartTimeFrom	XSDocumentEntry.serviceStartTime の下限	0	—
8	\$XSDocumentEntryServiceStartTimeTo	XSDocumentEntry.serviceStartTime の上限	0	—
9	\$XSDocumentEntryServiceStopTimeFrom	XSDocumentEntry.serviceStopTime の下限	0	—
10	\$XSDocumentEntryServiceStopTimeTo	XSDocumentEntry.serviceStopTime の上限	0	—
11	\$XSDocumentEntryHealthcareFacilityTypeCode (*注 1	XSDocumentEntry.healthcareFacilityTypeCode	0	M
12	\$XSDocumentEntryEventCodeList	XSDocumentEntry.eventCodeList (*注 2	0	M
13	\$XSDocumentEntryConfidentialityCode (*注 1	XSDocumentEntry.confidentialityCode (*注 2	0	M
14	\$XSDocumentEntryAuthorPerson (*注 4	XSDocumentEntry.author	0	M
15	\$XSDocumentEntryFormatCode (*注 1	XSDocumentEntry.formatCode	0	M
16	\$XSDocumentEntryStatus	XSDocumentEntry.status	R	M

注1) コード値の表記方法は、6.5.1.1.1節の2) に示す。

注2) 複数条件の AND / OR の指定方法は、6.5.1.1.1節の4)、及び、5) に従う。

注3) SQL の LIKE 演算子の表記法に従い、ワイルドカード(%)または()が使用可能である。6.5.1.1.1節の3) に従う。

6.5.1.1.2.2 サブミッションセット検索クエリ (FindSubmissionSets)

本クエリは、指定された status 属性に一致する、指定された患者 ID を持つサブミッションセット (XDSSubmissionSet オブジェクト) を検索する。

戻り値	検索条件と一致した XDSSubmissionSet オブジェクト
-----	-----------------------------------

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSSubmissionSetPatientId	XDSSubmissionSet.patientId	R	—
2	\$XDSSubmissionSetSourceId	XDSSubmissionSet.sourceId	0	M
3	\$XDSSubmissionSetSubmissionTimeFrom	XDSSubmissionSet.submissionTime の下限値	0	—
4	\$XDSSubmissionSetSubmissionTimeTo	XDSSubmissionSet.submissionTime の上限値	0	—
5	\$XDSSubmissionSetAuthorPerson (*注1	XDSSubmissionSet.authorPerson	0	—
6	\$XDSSubmissionSetContentType (*注2	XDSSubmissionSet.contentTypeCode	0	M
7	\$XDSSubmissionSetStatus	XDSSubmissionSet.status	R	M

注1) SQL の LIKE 演算子の表記法に従い、ワイルドカード(%)または() が使用可能である。6.5.1.1.1節の3)に従う。

注2) コード値の表記方法は、6.5.1.1.1節の2)に示す。

6.5.1.1.2.3 フォルダ検索クエリ (FindFolders)

本クエリは、指定された status 属性に一致する、指定された患者 ID を持つレジストリ内のフォルダ (XDSFolder オブジェクト) を検索するものである。

戻り値	検索条件と一致した XDSFolder オブジェクト
-----	----------------------------

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSFolderPatientId	XDSFolder.patientId	R	—
2	\$XDSFolderLastUpdateTimeFrom	XDSFolder.lastUpdateTime の下限値	0	—
3	\$XDSFolderLastUpdateTimeTo	XDSFolder.lastUpdateTime の上限値	0	—
4	\$XDSFolderCodeList (*注1、注2	XDSFolder.codeList	0	M
5	\$XDSFolderStatus	XDSFolder.status	R	M

注1) コード値の表記方法は、6.5.1.1.1節の2)に示す。

注2) 複数条件の AND / OR の指定方法は、6.5.1.1.1節の4)、及び、5)に従う。

6.5.1.1.2.4 全内容取得クエリ (GetAll)

本クエリは、指定された患者の、指定されたステータス、フォーマットコード、及び、守秘レベルコードを持つ全てのレジストリ内容を取得する。

戻り値	\$patientId パラメータと patientId 属性が一致した XDSSubmissionSet、XDSDocumentEntry、XDSFolder オブジェクト、及び、これらのオブジェクトと sourceObject 属性や targetObject 属性に関連するオブジェクト。
-----	---

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$patientId	XDSFolder.patientId, XDSSubmissionSet.patientId XDSDocumentEntry.patientId	R	—
2	\$XDSDocumentEntryStatus	XDSDocumentEntry.status	R	M
3	\$XDSSubmissionSetStatus	XDSSubmissionSet.status	R	M
4	\$XDSFolderStatus	XDSFolder.status	R	M
5	\$XDSDocumentEntryFormatCode (*注2)	XDSDocumentEntry.formatCode	0	M
6	\$XDSDocumentEntryConfidentialityCode(*注1、注2)	XDSDocumentEntry.confidentialityCode (*注1)	0	M

注1) 複数条件の AND / OR の指定方法は、6.5.1.1.1節の4)、及び、5) に従う。

注2) コード値の表記方法は、6.5.1.1.1節の2) に示す。

6.5.1.1.2.5 文書の取得クエリ (GetDocuments)

本クエリは、entryUUID または uniqueId 属性のいずれかによって指定された XDSDocumentEntry オブジェクトを取得する。

戻り値	要求された XDSDocumentEntry オブジェクト
-----	-------------------------------

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSDocumentEntryEntryUUID(*注3)	XDSDocumentEntry.entityUUID	0(*注1)	M
2	\$XDSDocumentEntryUniqueID(*注3)	XDSDocumentEntry.uniqueID	0(*注1)	M
3	\$homeCommunityId	なし	0(*注2)	—

注1) \$XDSDocumentEntryEntryUUID と \$XDSDocumentEntryUniqueID のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) Document Consumer アクタは、以前の Registry Stored Query 応答に EntryUUID か UniqueID が指定された

場合、AdhocQuery 要素の home 属性に homeCommunityId を指定する。

注3) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、文書レジストリアクタは、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその検証に失敗した場合、XDSResultNotSinglePatient エラーが返却され、メタデータは返却されてはならない。

6.5.1.1.2.6 フォルダの取得クエリ (GetFolders)

本クエリは、entryUUID 属性または uniqueId 属性のいずれかによって指定された XDSFolder オブジェクトの集合を取得する。

戻り値		要求された XDSFolder オブジェクト		
No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSFolderEntryUUID(*注3)	XDSFolder.entityUUID	0(*注1)	M
2	\$XDSFolderUniqueId(*注3)	XDSFolder.uniqueID	0(*注1)	M
3	\$homeCommunityId	なし	0(*注2)	—

注1) \$XDSFolderEntryUUID と \$XDSFolderUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) Document Consumer アクタは、以前の Registry Stored Query 応答に EntryUUID か UniqueID が指定された場合、AdhocQuery 要素の home 属性に homeCommunityId を指定する。

注3) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、文書レジストリアクタは、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその検証に失敗した場合、XDSResultNotSinglePatient エラーが返却され、メタデータは返却されてはならない。

6.5.1.1.2.7 関連の取得クエリ (GetAssociations)

本クエリは、\$uuid パラメータと一致する sourceObject または targetObject 属性を持つ Association オブジェクトを取得する。

戻り値		Association オブジェクト		
No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$uuid	なし	R	M
2	\$homeCommunityId	なし	0(*注1)	—

注1) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、文書レジストリアクタは、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその

検証に失敗した場合、XDSResultNotSinglePatient エラーが返却され、メタデータは返却されてはならない。

6.5.1.1.2.8 文書と関連の取得クエリ (GetDocumentsAndAssociations)

本クエリは、entryUUID 属性、又は、uniqueID 属性のいずれかで指定された XDSDocumentEntry オブジェクトと、それに関連する Association オブジェクトを取得する。これは、GetDocuments クエリと GetAssociations クエリの両方を単一のクエリで実施するものである。

戻り値	XDSDocumentEntry オブジェクト、及び、このオブジェクトと sourceObject 属性や targetObject 属性で関連するオブジェクト。
-----	---

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSDocumentEntryEntryUUID(*注3)	XDSDocumentEntry.entryUUID	0(*注1)	M
2	\$XDSDocumentEntryUniqueId(*注3)	XDSDocumentEntry.uniqueId	0(*注1)	M
3	\$homeCommunityId	なし	0(*注2)	—

注1) \$XDSDocumentEntryEntryUUID と \$XDSDocumentEntryUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) Document Consumer アクタは、以前の Registry Stored Query 応答に EntryUUID か UniqueID が指定された場合、AdhocQuery 要素の home 属性に homeCommunityId を指定する。

注3) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、文書レジストリアクタは、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその検証に失敗した場合、XDSResultNotSinglePatient エラーが返却され、メタデータは返却されてはならない。

6.5.1.1.2.9 サブミッションセットの取得クエリ (GetSubmissionSets)

本クエリは、\$uuid パラメータで指定された XSDocumentEntry オブジェクトまたは XDSFolder オブジェクトの提出に使用された XDSSubmissionSet オブジェクトを取得する。

戻り値	下記の条件を満たす Association オブジェクトを持つ XDSSubmissionSet オブジェクト <ul style="list-style-type: none"> • Type の値が HasMember をとる • \$uuid パラメータで指定された UUID の 1 つを targetObject に含む • XDSSubmissionSet オブジェクトを sourceObject 属性で参照する
-----	--

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$uuid (*注2)	XSDocumentEntry.entryUUID と XDSFolder.entityUUID	R	M
2	\$homeCommunityId	なし	0 (*注1)	—

注1) Document Consumer アクタは、以前の Registry Stored Query 応答に EntryUUID か UniqueID が指定された場合、AdhocQuery 要素の home 属性に homeCommunityId を指定する。

注2) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、文書レジストリアクタは、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその検証に失敗した場合、XDSResultNotSinglePatient エラーが返却され、メタデータは返却されてはならない。

6.5.1.1.2.10 サブミッションセットと内容の取得クエリ (GetSubmissionSetAndContents)

本クエリは、entryUUID または uniqueId のいずれかで指定された SubmissionSet とその内容を取得する。

もし、\$XDSDocumentEntryConfidentialityCode パラメータが指定された場合、このパラメータに一致する Document Entry のみが返却されなければならない。

もし、\$XDSDocumentEntryFormatCode パラメータが指定された場合、このパラメータに一致する Document Entry のみが返却されなければならない。

戻り値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 識別された SubmissionSet ・ HasMember 関連で SubmissionSet に関連する、上記の条件を満たす DocumentEntry と本ルールで識別された HasMember 関連 ・ HasMember 関連で SubmissionSet に関連する Folder と本ルールで識別された HasMember 関連 ・ 結果セットの中に存在する2つのオブジェクトに関連する Association のうち、HasMember 関連で SubmissionSet に関連する Association と、本ルールで識別された HasMember 関連
-----	--

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSSubmissionSetEntryUUID(*注5)	XDSSubmissionSet.entryUUID	0(*注1)	—
2	\$XDSSubmissionSetUniqueId(*注5)	XDSSubmissionSet.uniqueId	0(*注1)	—
3	\$XDSDocumentEntryFormatCode(*注4)	XDSDocumentEntry.formatCode	0	M
4	\$XDSDocumentEntryConfidentialityCode(*注4)	XDSDocumentEntry.confidentialityCode(*注2)	0	M
5	\$homeCommunityId	なし	0(*注3)	—

注1) \$XDSSubmissionSetEntryUUID と \$XDSSubmissionSetUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) 複数条件の AND / OR の指定方法は、6.5.1.1.1節の4)、及び、5) に従う。

注3) Document Consumer アクタは、以前の Registry Stored Query 応答に EntryUUID か UniqueID が指定された場合、AdhocQuery 要素の home 属性に homeCommunityId を指定する。

注4) コード値の表記方法は、6.5.1.1.1節の2) に示す。

注5) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、文書レジストリアクタは、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその検証に失敗した場合、XDSErrorNotSinglePatient エラーが返却され、メタデータは返却されてはならない。

6.5.1.1.2.11 フォルダと内容の取得クエリ (GetFolderAndContents)

本クエリは、フォルダとその内容を取得する。フォルダオブジェクトは、entryUUID または uniqueId 属性のいずれかによって選択される。

戻り値	<p>識別されたフォルダオブジェクト。 フォルダと HasMember 関連によってリンクされる DocumentEntry オブジェクト。下記条件を満たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> HasMember 関連オブジェクト。 \$XDSFolderEntryConfidentialityCode パラメータが設定された場合、XDSFolderEntry の confidentialityCode が条件を満たすもののみが選択される \$XDSFolderEntryFormatCode パラメータが設定された場合、XDSFolderEntry の fomratCode が条件を満たすもののみが選択される。
-----	--

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSFolderEntryUUID	XDSFolder.entryUUID	0	—
2	\$XDSFolderUniqueId	XDSFolder.uniqueId	0	—
3	\$XDSFolderEntryFormatCode	XDSFolderEntry.formatCode	0	M
4	\$XDSFolderEntryConfidentialityCode	XDSFolderEntry.confidentialityCode	0	M
5	\$homeCommunityId	なし	0	—

6.5.1.1.2.12 文書に関連するフォルダの取得クエリ (GetFoldersForDocument)

本クエリは、entryUUID または uniqueId 属性で指定された XDSFolderEntry オブジェクトを含む XDSFolder オブジェクトを取得する。

戻り値	<p>指定された XDSFolderEntry オブジェクトを含む XDSFolder オブジェクト。 つまり、HasMember 関連のうち、targetObject 属性が、XDSFolderEntry オブジェクトを参照し、sourceObject の種別が XDSFolder であるところの XDSFolder オブジェクト。</p>
-----	--

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XDSFolderEntryEntryUUID	XDSFolderEntry.entryUUID	0(*注1)	—
2	\$XDSFolderEntryUniqueId	XDSFolderEntry.uniqueId	0(*注1)	—
3	\$homeCommunityId	なし	0(*注2)	—

注1) \$XSDocumentEntryEntryUUID と \$XSDocumentEntryUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) Document Consumer アクタは、以前の Registry Stored Query 応答に EntryUUID か UniqueID が指定された場合、AdhocQuery 要素の home 属性に homeCommunityId を指定する。

6.5.1.1.2.13 関連する文書の取得クエリ (GetRelatedDocuments)

本クエリは、UUID または UniqueID で指定されたドキュメントに関連する XSDocumentEntry オブジェクトとその Association オブジェクトを取得する。

Association オブジェクトは、以下の4つの条件を全て満たす。

- sourceObject 属性または targetObject 属性が、指定された XSDocumentEntry を参照する
- sourceObject 属性と targetObject 属性の両方が XSDocumentEntry を参照する
- Association の associationType 属性が、\$AssociationType パラメータに含まれる値に一致する
- 上記に一致する Association オブジェクトの targetObject 属性または sourceObject 属性から参照される XSDocumentEntry オブジェクト

戻り値	与えられた XSDocumentEntry オブジェクトと関連の種別に対して、上記を満たす Association オブジェクトと、それに関連する XSDocumentEntry オブジェクト
-----	--

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	\$XSDocumentEntryEntryUUID	XSDocumentEntry.entryUUID	0(*注1)	—
2	\$XSDocumentEntryUniqueId	XSDocumentEntry.uniqueId	0(*注1)	—
3	\$AssociationTypes	Not a named attribute	R	M
4	\$homeCommunityId	なし	0(*注2)	—

注1) \$XSDocumentEntryEntryUUID と \$XSDocumentEntryUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) Document Consumer アクタは、以前の Registry Stored Query 応答に EntryUUID か UniqueID が指定された場合、AdhocQuery 要素の home 属性に homeCommunityId を指定する。

6.5.1.1.3 ストアドクエリ照会メッセージのメッセージ定義

ストアドクエリ照会メッセージのメッセージ定義を表 6.5.1.1.3-1に示す。

表 6.5.1.1.3-1 XML 定義 (ストアドクエリ照会メッセージ)

/AdhocQueryRequest						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@federated	0:0..1	N	半角英字	使用しない	
1.2	@federation	0:0..1	N	URI	使用しない	
1.3	@startIndex	0:0..1	0:0..1	数値	検索結果の開始位置を指定する。デフォルト値は0。	●
1.4	@maxResults	0:0..1	0:0..1	数値	検索結果を返却する最大数。もしこの属性値が指定されない場合は全結果を返さなければならない。	●
2	ResponseOption	M:1..1	M:1..1		結果の形式を指定する	
2.1	@returnComposedObjects	0:0..1	0:0..1	真偽値	構成要素のオブジェクトを全て返却するかどうかを指定する。「true」を指定する。	
2.2	@returnType	0:0..1	0:0..1	コード	「LeafClass」または「ObjectRef」を指定する。表 6.5.1.1-2を参照。	●
3	AdhocQuery	M:1..1	M:1..1		ストアドクエリ	
3.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	クエリの種類を識別するストアドクエリ ID。設定値は、表 6.5.1.1-1参照。	●
3.2	Slot	0:0..*	0:0..*		クエリパラメータ。 複数のSlotの繰り返しはAND条件とみなす。	
3.2.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	クエリパラメータ名。設定値は各クエリによって異なる。6.5.1.1.2節に記載されたクエリ毎の説明を参照。	●
3.2.2	ValueList	M:1..1	M:1..1		パラメータリスト。	
3.2.2.1	Value	0:0..*	0:0..*		複数のValue要素はOR条件とみなす。	
3.2.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	パラメータ値。設定方法は、6.5.1.1.1節を参照	◆

6.5.1.2 ストアドクエリ応答メッセージ (RegistryStoredQueryResponse)

ストアドクエリに対する応答メッセージのXML定義を、表 6.5.1.2-1 XML定義(ストアドクエリ応答メッセージ)に示す。

表 6.5.1.2-1 XML定義(ストアドクエリ応答メッセージ)

/AdhocQueryResponse						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@status	M:1.1	M:1.1	コード	「Success」:成功 「Failuer」:失敗 「Partial Success」:部分成功 「Unabailable」:利用不可	●
1.2	@requestId	0:0.1	0:0.1	URI	対応する要求メッセージのid。	●
1.3	@startIndex	0:0.1	0:0.1	数値	本結果セットの最初の結果の開始インデックスを示す。デフォルトは0。	●
1.4	@totalResultCount	0:0.1	0:0.1	数値	レジストリ中で検索条件にマッチした全結果数	●
2	RegistryErrorList	0:0.1	0:0.1		エラーリスト。 エラーが発生した場合に使用する。	
2.1	@highestSeverity	0:0.1	0:0.1	URI	エラーリストの中で最も重大なエラーのseverityを設定する。	
2.2	RegistryError	M:1.*	M:1.*		エラー	
2.2.1	@severity	0:0.1	0:0.1	URI	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ErrorSeverityType:Error または urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ErrorSeverityType:Warning 設定値がなければ urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ErrorSeverityType:Error をデフォルト値とする。	●
2.2.2	@codeContext	M:1.1	M:1.1	文字列	errorCodeを補足するテキスト。	●
2.2.3	@errorCode	M:1.1	M:1.1	文字列	エラーコード。	●
2.2.4	@location	0:0.1	0:0.1	文字列	エラーが発生した箇所を示す文字列。	●
3	RegistryObjectList	M:1.1	M:1.1		検索にマッチしたRegistryObjectを含む。 詳細は、XDSメタデータの以下の各表に示す。	

XSDDocumentEntryのrepositoryUniqueId、entryUUID、availabilityStatus、mimeType、titleのXML定義を表6.5.1.2-2に示す。

表 6.5.1.2-2 XML定義(XSDDocumentEntry 1)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分

1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	XSDocumentEntry.entryUUID。UUIDのURN。	●
1.2	@objectType	M:1..1	M:1..1	UUID	XSDocumentEntry ClassificationNodeを表す UUIDのURN。 [urn:uuid:7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1]を設定。	
1.3	@mimeType	M:1..1	M:1..1	コード	コード表 9-24「MIMEタイプコード」からの コードを指定。	●
1.4	@isOpaque	M:1..1	M:1..1	真偽値	「true」「false」を設定。 「true」の場合、ExtrinsicObjectインスタ ンスがレジストリによって判読可能でないこと を表す。	●
1.5	@status	M:1..1	M:1..1	コード	XSDocumentEntry.availabilityStatus。 ・Approved (承認された): [urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:Sta tusType:Approved] ・Deprecated (破棄された): [urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:Sta tusType:Deprecated]	●
2	rim:Name	0:0..1	0:0..1		XSDocumentEntry.title。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	@charset	M:1..1	M:1..1	文字列	[UTF-8]を指定。	●
2.1.2	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDocumentEntry.title。UTF-8。最大128バ イト。	●
3	rim:Slot	M:1..1	M:1..1		XSDocumentEntry.repositoryUniqueId。	
3.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「repositoryUniqueId」を設定。	
3.2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1			
3.2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
3.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	OID	XSDocumentEntry.repositoryUniqueId。OID を設定する。	●

XSDocumentEntryのuniqueIdのXML定義を表6.5.1.2-3に示す。

表 6.5.1.2-3 XML 定義 (XSDocumentEntry.uniqueId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設 定 区 分
1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	本オブジェクトを識別するUUID。	●
1.2	@identificationScheme	M:1..1	M:1..1	UUID	XSDocumentEntry uniqueId ExternalIdentifierを表すUUIDのURN。 [urn:uuid:2*82c1f6-a085-4c72-9da3-8640a 32e42ab]を設定。	
1.3	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDocumentEntry.uniqueId。	●
1.4	@registryObject	M:1..1	M:1..1	UUID	本DocumentEntryのrepositoryUniqueIdを設 定	●
1.5	@objectType	M:1..1	M:1..1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:Ob jectType:RegistryObject:ExternalIdentif	

					ier」を設定。	
2	rim :Name	0 :0..1	0 :0..1		XSDocumentEntry.uniqueId,	
2.1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	@charset	0 :0..1	0 :0..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	「XSDocumentEntry.uniqueId」を設定。	

XSDocumentEntry.patientIdのXML定義を表 6.5.1.2-4に示す。

表 6.5.1.2-4 XML 定義 (XSDocumentEntry.patientId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	本オブジェクトを識別するUUID。	●
1.2	@identificationScheme	M :1..1	M :1..1	UUID	XSDocumentEntry.patientId ExternalIdentifier を表すUUIDのURN。 [urn :uuid :58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffe ff98427]を設定。	
1.3	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	XSDocumentEntry.patientId, CX 型で指定する。	●
1.4	@registryObject	M :1..1	M :1..1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.5	@objectType	M :1..1	M :1..1	コード	「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :Object Type :RegistryObject :ExternalIdentifier」を設定。	
2	rim :Name	0 :0..1	0 :0..1		XSDocumentEntry.patientId,	
2.1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	@charset	0 :0..1	0 :0..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	「XSDocumentEntry.patientId」を設定。	

XSDocumentEntryのsourcePatientIdのXML定義を表 6.5.1.2-5に示す。

表 6.5.1.2-5 XML 定義 (XSDocumentEntry.sourcePatientId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「sourcePatientId」を設定。	●
2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1		XSDocumentEntry.sourcePatientId,	
2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	text ()	M :1..1	M :1..1	文字列	XSDocumentEntry.sourcePatientId, CX 型で指定する。	●

XSDocumentEntryのsourcePatientInfoのXML定義を表 6.5.1.2-6に示す。

表 6.5.1.2-6 XML 定義 (XSDDocumentEntry.sourcePatientInfo)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「sourcePatientInfo」を設定。	
2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1		XSDDocumentEntry.sourcePatientInfo。	
2.1	rim :Value	M :1..*	M :1..*		HL7 V2.5 の PID セグメント形式で設定する。 1 フィールドにつき 1 つの Value 要素を繰り返す。	
2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	記述方法は、表 3.2.3.2.1.1-2 の sourcePatientInfo 参照。	●

XSDDocumentEntry の classCode の XML 定義を表 6.5.1.2-7 に示す。

表 6.5.1.2-7 XML 定義 (XSDDocumentEntry.classCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim :Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M :1..1	M :1..1	UUID	XSDDocumentEntry classCode External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn :uuid :41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a]を設定。	
1.3	@classifiedObject	M :1..1	M :1..1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M :1..1	M :1..1	コード	「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M :1..1	M :1..1	コード	XSDDocumentEntry.classCode を設定。	●
2	rim :Name	M :1..1	M :1..1		XSDDocumentEntry.classCodeDisplayName。	
2.1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	@charset	M :1..1	M :1..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	XSDDocumentEntry.classCodeDisplayName を設定。	●
3	rim :Slot	M :1..1	M :1..1		classCode のコード体系。	
3.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
3.2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
3.2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XSDDocumentEntry の typeCode の XML 定義を表 6.5.1.2-8 に示す。

表 6.5.1.2-8 XML 定義 (XSDDocumentEntry.typeCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim :Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設

						定 区 分
1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M:1..1	M:1..1	UUID	XSDocumentEntry typeCode External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn :uuid :f0306f51-975f-434e-a61c-c5965 1d33983]を設定。	
1.3	@classifiedObject	M:1..1	M:1..1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M:1..1	M:1..1	コード	「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :Object Type :RegistryObject :Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M:1..1	M:1..1	コード	XSDocumentEntry. typeCode を設定。	●
2	rim :Name	M:1..1	M:1..1		XSDocumentEntry. typeCodeDisplayName。	
2.1	rim :LocalizedString	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	@charset	M:1..1	M:1..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDocumentEntry. typeCodeDisplayName を設定。	●
3	rim :Slot	M:1..1	M:1..1		typeCode のコード体系。	
3.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim :ValueList	M:1..1	M:1..1			
3.2.1	rim :Value	M:1..1	M:1..1			
3.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XSDocumentEntry の eventCodeList の XML 定義を表 6.5.1.2-9 に示す。

表 6.5.1.2-9 XML 定義 (XSDocumentEntry.eventCodeList)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim :Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設 定 区 分
1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M:1..1	M:1..1	UUID	XSDocumentEntry eventCodeList External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn :uuid :2c6b8cb7-8b2a-4051-b291-b1ae6 a575ef4]を設定。	
1.3	@classifiedObject	M:1..1	M:1..1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M:1..1	M:1..1	コード	「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :Object Type :RegistryObject :Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M:1..1	M:1..1	コード	XSDocumentEntry. eventCodeList を設定。	●
2	rim :Name	M:1..1	M:1..1		XSDocumentEntry. eventCodeListDisplayName。	
2.1	rim :LocalizedString	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	@charset	M:1..1	M:1..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDocumentEntry. eventCodeListDisplayName	●

					を設定。	
3	rim :Slot	M :1.1	M :1.1		eventCodeList のコード体系。	
3.1	@name	M :1.1	M :1.1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim :ValueList	M :1.1	M :1.1			
3.2.1	rim :Value	M :1.1	M :1.1			
3.2.1.1	text ()	M :1.1	M :1.1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XSDocumentEntry の confidentialityCode の XML 定義を表 6.5.1.2-10 に示す。

表 6.5.1.2-10 XML 定義 (XSDocumentEntry.confidentialityCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim :Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1.1	M :1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M :1.1	M :1.1	UUID	XSDocumentEntry confidentialityCode External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn :uuid :f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705-394840f]を設定。	
1.3	@classifiedObject	M :1.1	M :1.1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M :1.1	M :1.1	コード	「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M :1.1	M :1.1	コード	XSDocumentEntry.confidentialityCode を設定。	●
2	rim :Name	M :1.1	M :1.1		confidentialityCode の表示名。	
2.1	rim :LocalizedString	M :1.1	M :1.1			
2.1.1	@charset	M :1.1	M :1.1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M :1.1	M :1.1	文字列	confidentialityCode の表示名を設定。	●
3	rim :Slot	M :1.1	M :1.1		confidentialityCode のコード体系。	
3.1	@name	M :1.1	M :1.1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim :ValueList	M :1.1	M :1.1			
3.2.1	rim :Value	M :1.1	M :1.1			
3.2.1.1	text ()	M :1.1	M :1.1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XSDocumentEntry の creationTime の XML 定義を表 6.5.1.2-11 に示す。

表 6.5.1.2-11 XML 定義 (XSDocumentEntry.creationTime)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M :1.1	M :1.1	文字列	「creationTime」を設定。	
2	rim :ValueList	M :1.1	M :1.1		XSDocumentEntry.creationTime。	
2.1	rim :Value	M :1.1	M :1.1			

2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	XSDocumentEntry.creationTime を DTM 型で設定。	●
-------	--------	-------	-------	-----	--	---

XSDocumentEntry の serviceStartTime の XML 定義を表 6.5.1.2-12 に示す。

表 6.5.1.2-12 XML 定義 (XSDocumentEntry.serviceStartTime)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「serviceStartTime」を設定。	
2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1		XSDocumentEntry.serviceStartTime。	
2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	XSDocumentEntry.serviceStartTime を DTM 型で設定。	●

XSDocumentEntry の serviceStopTime の XML 定義を表 6.5.1.2-13 に示す。

表 6.5.1.2-13 XML 定義 (XSDocumentEntry.serviceStopTime)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「serviceStopTime」を設定。	
2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1		XSDocumentEntry.serviceStopTime。	
2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	XSDocumentEntry.serviceStopTime を DTM 型で設定。	●

XSDocumentEntry の size の XML 定義を表 6.5.1.2-14 に示す。

表 6.5.1.2-14 XML 定義 (XSDocumentEntry.size)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「size」を設定。	
2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1		XSDocumentEntry.size。	
2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	数値	XSDocumentEntry.size をバイト値で設定。	●

XSDocumentEntry の author の XML 定義を表 6.5.1.2-15 に示す。

表 6.5.1.2-15 XML 定義 (XSDocumentEntry.author)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim:Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設

						定 区 分
1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M:1..1	M:1..1	UUID	XSDocumentEntry author External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn:uuid:93606bcf-9494-43ec-9b4e-a7748d1a838d] を設定。	
1.3	@classifiedObject	M:1..1	M:1..1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M:1..1	M:1..1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M:1..1	M:1..1	コード	ブランク。	
2	rim:Slot	M:1..1	M:1..1		XSDocumentEntry.authorPerson。	
2.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「authorPerson」を設定。	
2.2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1			
2.2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
2.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDocumentEntry.authorPerson を XCN 型で設定。	●
3	rim:Slot	M:1..*	M:1..*		XSDocumentEntry.authorInstitution。	
3.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「authorInstitution」を設定。	
3.2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1			
3.2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
3.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDocumentEntry.authorRole を XON 型で設定。	●
4	rim:Slot	M:1..*	M:1..*		XSDocumentEntry.authorRole	
4.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「authorRole」を設定。	
4.2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1			
4.2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
4.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	コード	XSDocumentEntry.authorRole からのコードで設定。	●
5	rim:Slot	M:1..*	M:1..*		XSDocumentEntry.authorSpeciality	
5.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「authorSpeciality」を設定。	
5.2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1			
5.2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
5.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	コード	XSDocumentEntry.authorSpeciality からのコードで設定。	●
6	rim:Slot	M:1..1	M:1..1		XSDocumentEntry.authorTelecommunication	
6.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「authorTelecommunication」を設定。	
6.2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1			
6.2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
6.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	コード	XSDocumentEntry.authorTelecommunication からのコードで設定。	●

XSDocumentEntry の comments の XML 定義を表 6.5.1.2-16 に示す。

表 6.5.1.2-16 XML 定義 (XSDocumentEntry.comments)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Description						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	rim :LocalizedString	M :1.1	M :1.1		XSDocumentEntry.comments。	
1.1	@value	M :1.1	M :1.1	文字列	XSDocumentEntry.comments を設定。	●

XSDocumentEntry の legalAuthenticator の XML 定義を表 6.5.1.2-17 に示す。

表 6.5.1.2-17 XML 定義 (XSDocumentEntry.legalAuthenticator)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M :1.1	M :1.1	文字列	「legalAuthenticator」を設定。	
2	rim :ValueList	M :1.1	M :1.1		XSDocumentEntry.legalAuthenticator。	
2.1	rim :Value	M :1.1	M :1.1			
2.1.1	text ()	M :1.1	M :1.1	文字列	XSDocumentEntry.legalAuthenticator を XCN 型で設定。	●

XSDocumentEntry の healthcareFacilityTypeCode の XML 定義を表 6.5.1.2-18 に示す。

表 6.5.1.2-18 XML 定義 (XSDocumentEntry.healthcareFacilityTypeCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim :Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1.1	M :1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M :1.1	M :1.1	UUID	XSDocumentEntry healthcareFacilityTypeCode External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn :uuid :f33fb8ac-18af-42cc-ae0e-ed0b0bd91e1] を設定。	
1.3	@classifiedObject	M :1.1	M :1.1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M :1.1	M :1.1	コード	「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M :1.1	M :1.1	コード	XSDocumentEntry.healthcareFacilityTypeCode を設定。	●
2	rim :Name	M :1.1	M :1.1		XSDocumentEntry.healthcareFacilityTypeCodeDisplayName。	
2.1	rim :LocalizedString	M :1.1	M :1.1			

2.1.1	@charset	M:1.1	M:1.1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XSDocumentEntry.healthcareFacilityTypeCodeDisplayNameを設定。	●
3	rim:Slot	M:1.1	M:1.1		healthcareFacilityTypeCodeのコード体系。	
3.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1			
3.2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
3.2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XSDocumentEntry の practiceSettingCode の XML 定義を表 6.5.1.2-19 に示す。

表 6.5.1.2-19 XML 定義 (XSDocumentEntry.practiceSettingCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim:Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1.1	M:1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M:1.1	M:1.1	UUID	XSDocumentEntry.practiceSettingCode External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn:uuid:cccf5598-8b07-4b77-a05e-ae952c785ead]を設定。	
1.3	@classifiedObject	M:1.1	M:1.1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M:1.1	M:1.1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M:1.1	M:1.1	コード	XSDocumentEntry.practiceSettingCode を設定。	●
2	rim:Name	M:1.1	M:1.1		XSDocumentEntry.practiceSettingCodeDisplayName。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	@charset	M:1.1	M:1.1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XSDocumentEntry.practiceSettingCodeDisplayNameを設定。	●
3	rim:Slot	M:1.1	M:1.1		practiceSettingCode のコード体系。	
3.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1			
3.2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
3.2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XSDocumentEntry の languageCode の XML 定義を表 6.5.1.2-20 に示す。

表 6.5.1.2-20 XML 定義 (XSDocumentEntry.languageCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分

						分
1.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「languageCode」を設定。	
2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1		XSDSDocumentEntry.languageCode。	
2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDSDocumentEntry.languageCode を RFC 3066 の識別子として設定。日本語の場合[ja-JP]。	●

XSDSDocumentEntry の formatCode の XML 定義を表 6.5.1.2-21 に示す。

表 6.5.1.2-21 XML 定義 (XSDSDocumentEntry.formatCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim:Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M:1..1	M:1..1	UUID	XSDSDocumentEntry formatCode External Classification Scheme を表す UUID の URN。[urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d]を設定。	
1.3	@classifiedObject	M:1..1	M:1..1	UUID	本 DocumentEntry の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M:1..1	M:1..1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M:1..1	M:1..1	コード	XSDSDocumentEntry.formatCode を設定。	●
2	rim:Name	M:1..1	M:1..1		XSDSDocumentEntry.formatCodeDisplayName。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	@charset	M:1..1	M:1..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDSDocumentEntry.formatCodeDisplayName を設定。	●
3	rim:Slot	M:1..1	M:1..1		formatCode のコード体系。	
3.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1			
3.2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
3.2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XSDSDocumentEntry の hash の XML 定義を表 6.5.1.2-22 に示す。

表 6.5.1.2-22 XML 定義 (XSDSDocumentEntry.hash)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M:1..1	M:1..1	文字列	「hash」を設定。	
2	rim:ValueList	M:1..1	M:1..1		XSDSDocumentEntry.hash。	
2.1	rim:Value	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	XSDSDocumentEntry.hash を設定。	●

					[JAHIS] SHA2 値を設定する。	
--	--	--	--	--	-------------------------	--

XSDDocumentEntry の URI の XML 定義を表 6.5.1.2-23 に示す。

表 6.5.1.2-23 XML 定義 (XSDDocumentEntry. URI)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「URI」を設定。	
2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1		XSDDocumentEntry. URI。	
2.1	rim :Value	M :1..*	M :1..*			
2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	XSDDocumentEntry. URI を設定。 128 文字より長くなる場合は、Value 要素を複数繰り返し、次のプレフィックスを付与する。 ordering-prefix := digit vertical-bar digit := '1' '2' '3' '4' '5' '6' '7' '8' '9' vertical-bar := ' '	●

XDSSubmissionSet の entryUUID、availabilityStatus、title の XML 定義を表 6.5.1.2-24 に示す。

表 6.5.1.2-24 XML 定義 (XDSSubmissionSet. entryUUID)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/RegistryPackage						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	XDSSubmissionSet. entryUUID。UUID の URN。	●
1.2	@status	M :1..1	M :1..1	コード	XDSSubmissionSet. availabilityStatus。 ・ Approved (承認された) : [urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :StatusType :Approved] ・ Deprecated (破棄された) : [urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :StatusType :Deprecated]	●
1.3	@mimeType	M :1..1	M :1..1	コード	コード表 9-24 「MIME タイプコード」からのコードを指定。	●
2	rim :Name	0 :0..1	0 :0..1		XDSSubmissionSet. title。	
2.1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	@charset	M :1..1	M :1..1	文字列	[UTF-8]を指定。	●
2.1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	XDSSubmissionSet. title。UTF-8。最大 128 バイト。	●

XDSSubmissionSet の uniqueId の XML 定義を表 6.5.1.2-25 に示す。

表 6.5.1.2-25 XML 定義 (XDSSubmissionSet.uniqueId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@identificationScheme	M:1..1	M:1..1	UUID	XDSSubmissionSet uniqueId ExternalIdentifier を表す UUID の URN。 [urn:uuid:96fdda7c-d067-4183-912a-bf5ee74998a8] を設定。	
1.3	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	XDSSubmissionSet.uniqueId。	●
1.4	@registryObject	M:1..1	M:1..1	UUID	本 XDSSubmissionSet の repositoryUniqueId を設定。	●
1.5	@objectType	M:1..1	M:1..1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:ExternalIdentifier」を設定。	
2	rim:Name	0:0..1	0:0..1		XDSSubmissionSet.uniqueId。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	@charset	0:0..1	0:0..1	文字列	[UTF-8] を指定。	
2.1.2	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	「XDSSubmissionSet.uniqueId」を設定。	

XDSSubmissionSet の patientId の XML 定義を表 6.5.1.2-26 に示す。

表 6.5.1.2-26 XML 定義 (XDSSubmissionSet.patientId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1..1	M:1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@identificationScheme	M:1..1	M:1..1	UUID	XDSSubmissionSet patientId ExternalIdentifier を表す UUID の URN。 [urn:uuid:6b5aeala-874d-4603-a4bc-96a0a7b38446] を設定。	
1.3	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	XDSSubmissionSet.patientId。CX 型で指定する。	●
1.4	@registryObject	M:1..1	M:1..1	UUID	本 XDSSubmissionSet の repositoryUniqueId を設定。	●
1.5	@objectType	M:1..1	M:1..1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:ExternalIdentifier」を設定。	
2	rim:Name	0:0..1	0:0..1		XDSSubmissionSet.patientId。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1..1	M:1..1			
2.1.1	@charset	0:0..1	0:0..1	文字列	[UTF-8] を指定。	
2.1.2	@value	M:1..1	M:1..1	文字列	「XDSSubmissionSet.patientId」を設定。	

XDSSubmissionSet の sourceId の XML 定義を表 6.5.1.2-27 に示す。

表 6.5.1.2-27 XML 定義 (XDSSubmissionSet.sourceId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1.1	M:1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@identificationScheme	M:1.1	M:1.1	UUID	XDSSubmissionSet sourceId ExternalIdentifier を表す UUID の URN。 [urn:uuid:554ac39e-e3fe-47fe-b233-965d2a147832] を設定。	
1.3	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSSubmissionSet.sourceId.CX 型で指定する。	●
1.4	@registryObject	M:1.1	M:1.1	UUID	本 XDSSubmissionSet の repositoryUniqueId を設定。	●
1.5	@objectType	M:1.1	M:1.1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:ExternalIdentifier」を設定。	
2	rim:Name	0:0.1	0:0.1		XDSSubmissionSet.sourceId。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	@charset	0:0.1	0:0.1	文字列	[UTF-8] を指定。	
2.1.2	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	「XDSSubmissionSet.sourceId」を設定。	

XDSSubmissionSet の author の XML 定義を表 6.5.1.2-28 に示す。

表 6.5.1.2-28 XML 定義 (XDSSubmissionSet.author)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim:Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1.1	M:1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M:1.1	M:1.1	UUID	XDSSubmissionSet author External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn:uuid:a7058bb9-b4e4-4307-ba5b-e3f0ab85e12d] を設定。	
1.3	@classifiedObject	M:1.1	M:1.1	UUID	本 XDSSubmissionSet の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M:1.1	M:1.1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M:1.1	M:1.1	コード	ブランク。	
2	rim:Slot	M:1.1	M:1.1		XDSSubmissionSet.authorPerson。	
2.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「authorPerson」を設定。	
2.2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1			
2.2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
2.2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSSubmissionSet.authorPerson を XC/N 型で設定。	●

3	rim :Slot	M :1..*	M :1..*		XDSSubmissionSet.authorInstitution _s	
3.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「authorInstitution」を設定。	
3.2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
3.2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
3.2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	XDSSubmissionSet.authorRole を XON 型で設定。	●
4	rim :Slot	M :1..*	M :1..*		XDSSubmissionSet.authorRole	
4.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「authorRole」を設定。	
4.2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
4.2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
4.2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	コード	XDSSubmissionSet.authorRole からのコードで設定。	●
5	rim :Slot	M :1..*	M :1..*		XDSSubmissionSet.authorSpeciality	
5.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「authorSpeciality」を設定。	
5.2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
5.2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
5.2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	コード	XDSSubmissionSet.authorSpeciality からのコードで設定。	●
6	rim :Slot	M :1..1	M :1..1		XDSSubmissionSet.authorTelecommunication	
6.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「authorTelecommunication」を設定。	
6.2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
6.2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
6.2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	コード	XDSSubmissionSet.authorTelecommunication からのコードで設定。	●

XDSSubmissionSet の submissionTime の XML 定義を表 6.5.1.2-29 に示す。

表 6.5.1.2-29 XML 定義 (XDSSubmissionSet.submissionTime)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「submissionTime」を設定。	
2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1		XDSSubmissionSet.submissionTime _s	
2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	XDSSubmissionSet.submissionTime を DTM 型として設定。	●

XDSSubmissionSet の comments の XML 定義を表 6.5.1.2-30 に示す。

表 6.5.1.2-30 XML 定義 (XDSSubmissionSet.comments)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Description						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1		XDSSubmissionSet.comments _s	

1.1	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSSubmissionSet.comments を設定。	●
-----	--------	-------	-------	-----	--------------------------------	---

XDSSubmissionSet の contentTypeCode の XML 定義を表 6.5.1.2-31 に示す。

表 6.5.1.2-31 XML 定義 (XDSSubmissionSet.contentTypeCode)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim:Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1.1	M:1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M:1.1	M:1.1	UUID	XDSSubmissionSet contentTypeCode External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn:uuid:aa543740-bdda-424e-8c96-df4873be8500] を設定。	
1.3	@classifiedObject	M:1.1	M:1.1	UUID	本 XDSSubmissionSet の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M:1.1	M:1.1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M:1.1	M:1.1	コード	XDSSubmissionSet.contentTypeCode を設定。	●
2	rim:Name	M:1.1	M:1.1		XDSSubmissionSet.contentTypeCodeDisplayName。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	@charset	M:1.1	M:1.1	文字列	[UTF-8] を指定。	
2.1.2	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSSubmissionSet.contentTypeCodeDisplayName を設定。	●
3	rim:Slot	M:1.1	M:1.1		contentTypeCode のコード体系。	
3.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1			
3.2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
3.2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XDSFolder の entryUUID、availabilityStatus、title の XML 定義を表 6.5.1.2-32 に示す。

表 6.5.1.2-32 XML 定義 (XDSFolder.entryUUID)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/RegistryPackage						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1.1	M:1.1	UUID	XDSFolder.entryUUID。UUID の URN。	●
1.2	@status	M:1.1	M:1.1	コード	XDSFolder.availabilityStatus。 <ul style="list-style-type: none"> Approved (承認された): [urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Approved] Deprecated (破棄された): [urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Deprecated] 	●

1.3	@mimeType	M:1.1	M:1.1	コード	コード表 9-24 「MIME タイプコード」からのコードを指定。	●
2	rim:Name	0:0.1	0:0.1		XDSFolder.title。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	@charset	M:1.1	M:1.1	文字列	[UTF-8]を指定。	●
2.1.2	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSFolder.title, UTF-8, 最大128バイト。	●

XDSFolder の uniqueId の XML 定義を表 6.5.1.2-33 に示す。

表 6.5.1.2-33 XML 定義 (XDSFolder.uniqueId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1.1	M:1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@identificationScheme	M:1.1	M:1.1	UUID	XDSFolder uniqueId ExternalIdentifier を表す UUID の URN。 [urn:uuid:75df8f67-9973-4fbc-a900-df66cefecc5a]を設定。	
1.3	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSFolder.uniqueId。	●
1.4	@registryObject	M:1.1	M:1.1	UUID	本 XDSFolder の repositoryUniqueId を設定。	●
1.5	@objectType	M:1.1	M:1.1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:ExternalIdentifier」を設定。	
2	rim:Name	0:0.1	0:0.1		XDSFolder.uniqueId。	
2.1	rim:LocalizedString	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	@charset	0:0.1	0:0.1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	「XDSFolder.uniqueId」を設定。	

XDSFolder の patientId の XML 定義を表 6.5.1.2-34 に示す。

表 6.5.1.2-34 XML 定義 (XDSFolder.patientId)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M:1.1	M:1.1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@identificationScheme	M:1.1	M:1.1	UUID	XDSFolder patientId ExternalIdentifier を表す UUID の URN。 [urn:uuid:f64ffdf0-4b97-4e06-b79f-a52b38ec2f8a]を設定。	
1.3	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSFolder.patientId, CX型で指定する。	●
1.4	@registryObject	M:1.1	M:1.1	UUID	本 XDSFolder の repositoryUniqueId を設定。	●
1.5	@objectType	M:1.1	M:1.1	コード	「urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:ExternalIdentifier」を設定。	

2	rim :Name	0 :0..1	0 :0..1		XDSFolder.patientId。	
2.1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	@charset	0 :0..1	0 :0..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	「XDSFolder.patientId」を設定。	

XDSFolder の comments の XML 定義を表 6.5.1.2-35に示す。

表 6.5.1.2-35 XML 定義 (XDSFolder.comments)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim :Description						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1		XDSFolder.comments。	
1.1	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	XDSFolder.comments を設定。	●

XDSFolder の codeList の XML 定義を表 6.5.1.2-36に示す。

表 6.5.1.2-36 XML 定義 (XDSFolder.codeList)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/rim :Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	本オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M :1..1	M :1..1	UUID	XDSFolder codeList External Classification Scheme を表す UUID の URN。 [urn :uuid :1ba97051-7806-41a8-a48b-8fce7af683c5]を設定。	
1.3	@classifiedObject	M :1..1	M :1..1	UUID	本 XDSFolder の repositoryUniqueId を設定。	●
1.4	@objectType	M :1..1	M :1..1	コード	「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :Object :RegistryObject :Classification」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M :1..1	M :1..1	コード	XDSFolder.codeList を設定。	●
2	rim :Name	M :1..1	M :1..1		XDSFolder.codeListDisplayName。	
2.1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	@charset	M :1..1	M :1..1	文字列	[UTF-8]を指定。	
2.1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	XDSFolder.codeListDisplayName を設定。	●
3	rim :Slot	M :1..1	M :1..1		contentTypeCode のコード体系。	
3.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「codingScheme」を設定。	
3.2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
3.2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
3.2.1.1	text ()	M :1..1	M :1..1	文字列	コード体系の表示名を設定。	●

XDSFolder の lastUpdateTime の XML 定義を表 6.5.1.2-37 に示す。

表 6.5.1.2-37 XML 定義 (XDSFolder.lastUpdateTime)

/AdhocQueryResponse/RegistryObjectList/ExtrinsicObject/rim:Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M:1.1	M:1.1	文字列	「lastUpdateTime」を設定。	
2	rim:ValueList	M:1.1	M:1.1		XDSFolder.lastUpdateTime。	
2.1	rim:Value	M:1.1	M:1.1			
2.1.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列	XDSFolder.lastUpdateTime を DTM 型として設定。	●

6.5.2 文書セットの読出しメッセージ [ITI-48]

本章では、文書セットの読出しメッセージのメッセージ定義を示す。

6.5.2.1 文書セットの読出し要求メッセージ (Retrieve Document Set)

ドキュメントコンシューマは、目的とするドキュメントの uniqueId を取得すると、ドキュメントリポジトリに対してドキュメントセットの取得要求メッセージを実行することで、ドキュメントを取得する。

表 6.5.2.1-1 XML 定義 (文書セットの読み出し要求メッセージ)

/RetrieveDocumentSetRequest						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	DocumentRequest	M:1..*	M:1..*			
1.1	HomeCommunityId	0:0..1	0:0..1			
1.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	UUID	この文書を保持しているコミュニティの ID。 XSDocumentEntry が homeCommunity 属性を含む場合には設定しなければならない。	●
1.1	RepositoryUniqueId	M:1..1	M:1..1			
1.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	UUID	文書の取得先となるリポジトリを識別する ID。 ストアクエリで取得した XSDocumentEntry.repositoryUniqueId に対応する。	●
1.2	DocumentUniqueId	M:1..1	M:1..1			
1.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	UUID	リポジトリないの文書を識別する ID。 ストアクエリで取得した XSDocumentEntry.uniqueId に対応する。	●

6.5.2.2 文書セットの読出し要求応答メッセージ (Retrieve Document Set Response)

文書セットの読出し要求応答メッセージのメッセージ定義を示す。

表 6.5.2.2-1 文書セットの読出し要求応答メッセージ

/RetrieveDocumentSetResponse						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	RegistryResponse	M:1..*	M:1..*			
1.1	@status	M:1..1	M:1..1	URI	以下の①～③のいずれかの値をとる。 ① urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success ② urn:ihe:iti:2007:ResponseStatusType:PartialSuccess ③	●

					urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Failure	
1.2	RegistryErrorList	0:0..*	0:0..*			
1.2.1	@highestSeverity	0:0..1	0:0..1			●
1.2.2	RegistryError	M:1..1	M:1..1		エラー時にエラー情報を記録する。	
1.2.1.1	@codeContext	M:1..1	M:1..1	文字列	エラーメッセージ	●
1.2.1.2	@errorCode	M:1..1	M:1..1	文字列	エラーコード	●
1.2.1.3	@severity	M:1..1	M:1..1	URI	エラー時に、エラーレベル。 警告： urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ErrorSeverityType:Warning エラー： urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ErrorSeverityType:Error	●
1.2.1.4	@location	0:0..1	0:0..1	文字列	エラー時に、要求された DocumentUniqueId。	●
2	DocumentResponse	M:1..*	M:1..*			
2.1	HomeCommunityId	0:0..1	0:0..1			
2.1.1	text()	M:1..1	M:1..1	UUID	RetrieveDocumentSetRequest メッセージに homeCommunityId が存在する場合、同一の値を指定。	●
2.2	RepositoryUniqueId	M:1..1	M:1..1		文書の取得先のリポジトリを識別する ID。	
2.2.1	text()	M:1..1	M:1..1	UUID	文書の取得先のリポジトリを識別する ID。 RetrieveDocumentSetRequest メッセージの RepositoryUniqueId と同一の値を指定。	●
2.3	DocumentUniqueId	M:1..1	M:1..1		文書を識別する ID。	
2.3.1	text()	M:1..1	M:1..1	UUID	文書を識別する ID。 RetrieveDocumentSetRequest メッセージの DocumentUniqueId と同一の値を指定。	●
2.4	NewRepositoryUniqueId	N	N		オンデマンドドキュメントの取得時に使用する。 本トランザクションでは使用しない。	
2.5	NewDocumentUniqueId	N	N			
2.6	mimeType	M:1..1	M:1..1			
2.6.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	文書の MIME タイプを指定。	●
2.7	Document	M:1..1	M:1..1			
2.7.1	Include	M:1..1	M:1..1			
2.7.1.1	@href	0:0..1	0:0..1		XOP infoset	●
2.7.1.2	text()	0:0..1	0:0..1		文書の base64 バイナリ符号化データ	

6.6 その他実装上の考慮事項

6.6.1 homeCommunityId の使用について

ストアドクエリは、コミュニティ内のデータへアクセスを提供する Web サービスのエンドポイントを得るために、コミュニティを世界的にユニークに識別する homeCommunityId を利用する。homeCommunityId は、64 文字以内の OID として構成される。

homeCommunityId の使用について以下の注意点がある。

1. スストアドクエリとゲートウェイ間問合せトランザクションに対する応答の中で返却される。、ExtrinsicObject、RegistryPackage、ObjectRef 要素の ebRIM' home' 属性の中に明示されることで、応答とコミュニティとの関連を示す。
2. EntryUUID または UniqueID によるストアドクエリメッセージや文書セットの読み出しメッセージにおいて、オプションパラメータとして、どのコミュニティに要求メッセージを出せばよいのかを明示するために使用される。
3. スストアドクエリが開始ゲートウェイに対して処理されようとしている場合に、文書利用者は過去に患者 ID を含み、EntryUUID または uniqueID を含む要素に対して homeCommunityId が保存されたストアドクエリを開始ゲートウェイに送信している可能性がある。そうでない場合は、文書利用者は、他の手段を使って、正しい homeCommunityId にアクセスしなければならない。
4. 文書利用者が、homeCommunityId を含む過去のストアドクエリの応答で EntryUUID または uniqueID を受信した場合、その文書利用者は、homeCommunityId パラメータを明示しなければならない。
5. homeCommunityId の値はストアドクエリにおいて、AdhocQuery 要素の home 属性に明示される。
6. クエリは、複数の homeCommunityId 値を持つことができない。もし文書利用者が複数の entryUUID または uniqueID を指定する場合は、それらは全て同一の homeCommunityId に属していなければならない。異なる homeCommunityId に関連したデータを取得する場合は、複数のクエリを個別に使用することになる。

6.6.2 大量の検索結果の扱い

ebXML Version 3.0 では、検索結果のページング機能がサポートされている。しかしながら、ストアドクエリとクエリ応答の間のインタラクションで、両者を一緒に使用することは推奨されない。代替の方法として、次のように、文書利用者が、問合せにおいてページング機能を実装することを推奨する。

具体的には、大量の検索結果が予想される問合せでは、ストアドクエリの returnType の指定を「ObjectRef」とすることで、完全なオブジェクトの代わりに UUID のリストが問合せの結果として返却される。この結果から、2 回目以降のクエリでは、returnType を「LeafClass」に設定したストアドクエリを使用して、UUID のリストの一部分に対して、完全な文書を取得するクエリを発行する。

例えば、(1) returnType を「ObjectRef」と設定した FindDocuments クエリで、UUID のリストを取得し、(2) returnType を「LeafClass」に設定した GetDocument クエリで、リストの 1 ページを構成するオブジェクトを取得する。あるいは、(2') として、returnType を「LeafClass」に設定した GetDocumentsAndAssociations クエリを発行し、UUID のリストの一部分に対して、1 ページのリストを構成する文書の詳細を返却する。関連オブジェクトを取得することにより、文書の置換や変換、修正に関する情報も表示することができる。

6.6.3 期待されるアクション

文書レジストリアクタに期待されるアクションは次の通りである。本章は ITI TF-2a 3.18.4.1.3 Expected Actions の解説である。

1. AdhocQueryRequest メッセージによるパラメータ化されたクエリを受理する。
2. クエリに含まれる必須パラメータを検証する。6.5.1.1.2 節に各クエリ別に示した説明の中で、特別なルールが記載されている場合はそのルールも検証する。
3. 次の条件でエラーを返す。ITI TF-3 4.1.13 Error Reporting にエラーコードの完全なリストが掲載されて

いるので参照すること。

(ア) クエリ ID が不明な場合 (エラーコード: XDSUnknownStoredQuery)

(イ) 必須パラメータが欠損している場合 (エラーコード: XDSStoredQueryParamNumber)

4. クエリを適切に処理する。

(ア) 文書レジストリアクタ

- ① クエリ要求によって指定されたクエリ ID に基づいてクエリの内部実装を呼び出し、6. 5. 1. 1. 2 節のクエリ別の説明に示した適切なパラメータを代入してクエリを実行する。ストアドクエリに homeCommunityId が指定された場合は、文書レジストリはその値を受理しなければならない。もしパラメータとして指定されたある患者 ID を文書レジストリが見つけない場合は、要素のない正常な応答として返却しなければならない。

(イ) 開始ゲートウェイアクタ

- ① 患者 ID によるストアドクエリを受信した場合

ゲートウェイ間問合せにおいて、要求をどの応答ゲートウェイに送信し、どの患者 ID を使用するかを決定しなければならない。これらの方法は IHE では既定されていないが、PIX または PDQ を利用可能である。識別された各応答ゲートウェイに対して、各応答ゲートウェイのコミュニティにおける患者 ID を用いて、応答ゲートウェイに対してゲートウェイ間問合せトランザクションを実行する。

- ② entryUUID または uniqueID によるストアドクエリを受信した場合

homeCommunityId が指定されていることを検証する。もし欠損している場合は、XDSMissingHomeCommunityId エラーコードとともに、「Failuer」状態として応答を返却する。もし homeCommunityId は指定されているが、認識できない場合は、「Failuer」または「PartialSuccess」状態として XDSUnknownCommunity エラーコードとともに返却する。homeCommunityId を使って、問合せを行う応答ゲートウェイの Web サービスのエンドポイントを取得する。開始ゲートウェイは、entryUUID または uniqueId によるゲートウェイ間問合せにおいて、応答ゲートウェイに関連するコミュニティを識別するために、homeCommunityId を指定しなければならない。

5. AdhocQueryResponse メッセージにより XML 形式でメタデータを返却する。

(ア) 文書レジストリは、必要に応じて、homeCommunityId を指定してもよい。

(イ) 開始ゲートウェイは、全ての適切な要素に homeCommunityId を指定しなければならない。

(ウ) もし returnType が「LeafClass」の場合、ExtrinsicObject と RegistryPackage 要素は home 属性を含む。

(エ) もし returnType が「ObjectRef」の場合、ObjectRef 要素は home 属性を含む。

(オ) 開始ゲートウェイが、選択された応答ゲートウェイから適切な応答が得られなかった場合には、文書利用者への応答に、XDSUnavailableCommunity エラーコードを含む応答を返さなければならない。

6. 文書利用者が、開始ゲートウェイからの問合せ応答を受信した場合、次の 2 点を考慮する必要がある。

(ア) homeCommunityId が指定されている。

(イ) 文書利用者リポジトリ ID 値を文書リポジトリに対して直接マッピングしてはならない。XCA は、例えば、全コミュニティは同意に関する共通のボキャブラリを利用しているといった、共通のコード・ボキャブラリが全てのコミュニティで利用されていることを仮定する。そのため、文書利用者は、開始ゲートウェイとの今後の相互作用のために、homeCommunityId の値を保持しなければならない。

トランザクションは、1 つの AdhocQueryResponse メッセージの中に、結果値の返却とエラーの両方を含んでもよい。その場合、AdhocQueryResponse メッセージは、RegistryObjectList 要素と RegistryErrorList 要素の両方を含むことになる。詳細は、ITI TF-3 4.1.13 を参照のこと。

6. 6. 4 XDS におけるアクセス権について

XDS は、XDS アフィニティドメイン内での運用を前提としており、アクセス権に関しては他のプロファイルに委ねられている。それらのプロファイルにはBPPCやXUAなどが該当するが、現在日本国内で実際に運用されている患者同意及びアクセス権付与の形態を踏まえると、検討すべき事項が多い。

解決手段の参考として以下の考え方をあげる。ただし、これらの実装については、関係団体と協議の上、さらなる議論が必要である。

- XDS 及び XCA のクエリを拡張し、アクセス権の制御に必要な情報を受け渡す
- SAML を用いて属性情報を受け渡す

第7章 コミュニティ間文書共有方式 (IHE XCA)

7.1 概要

Cross-Community Access (XCA) 統合プロフィールは、他の「コミュニティ」によって管理されている患者の診療情報を問合せ、取得するための手段を提供する。「コミュニティ」は、診療情報を共有するために、共通の規約のもとに連携することに合意した医療機関の集合を意味する。「コミュニティ」は、homeCommunityId と呼ばれる識別子で世界的に一意に識別されることが前提条件である。「コミュニティ」内では、必ずしも XDS 統合プロフィールを用いて診療情報が共有されていることを仮定してはおらず、内部の文書共有の仕組みは隠ぺいされる。図 7.1-1 に XCA 統合プロフィールで定義されたアクタ、及び、トランザクションを示す。また、表 7.1-1 にアクタの説明を示す。

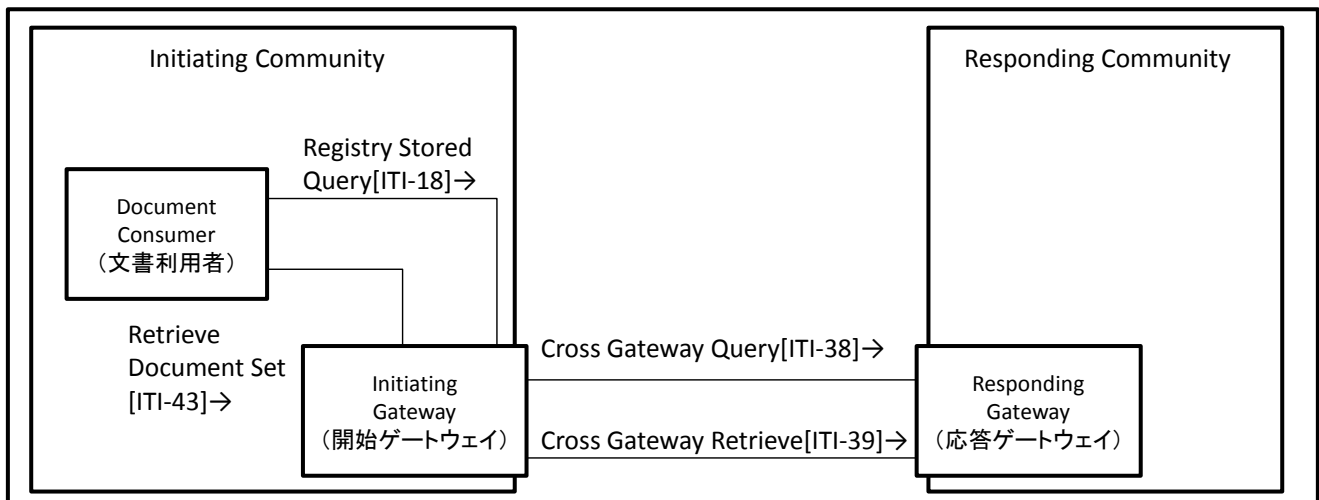


図 7.1-1 XCA 統合プロフィールアクタ図

表 7.1-1 XCA 統合プロフィールのアクタ

No	IHE アクタ	説明
1	開始ゲートウェイ (Initiating Gateway)	コミュニティ内の文書利用者を代表し、他のコミュニティの応答ゲートウェイに対して文書取得のための問合せを行う。
2	応答ゲートウェイ (Responding Gateway)	他のコミュニティの開始ゲートウェイからの文書問合せまたは読み出し要求に応答する。

7.2 適用方針

本書における XCA 統合プロファイルの適用方針は、共通方針に従い、ドメイン間の問合せ、及び、問合せに対する応答を対象とする。ドメイン内の文書共有の実現方法は、XDS. b であることは要求しない。しかしながら、XDS. b を使用して実現する場合には、本書の「第6章 施設間文書共有方式 (IHE XDS.b)」を参照すること。

本書において、XCA 統合プロファイルを適用するにあたり前提となる条件は以下の通りである。

- 文書リポジトリに登録されている文書は、ユニークな文書 ID が割り当てられていること。
- 文書リポジトリに登録されている文書のメタデータが、文書レジストリに登録されていること。メタデータは、XDS. b メタデータ仕様に従っていること。
- 連携するコミュニティは、homeCommunityId でユニークな識別が可能なこと。
- ゲートウェイ間問合せメッセージを発行するシステムは、対象患者の診療情報を保持するコミュニティを何らかの方法で特定できていること。
- ゲートウェイ間問合せメッセージを発行するシステムは、対象患者のドメイン患者 ID を何らかの方法で取得していること。可能な方法としては、本書に記載した PIXV3 や PDQV3 がある。
- ドメイン内のユニークな患者 ID を管理する仕組みが存在すること。
- 他コミュニティからの患者 ID の問合せに対して応答できる仕組みを持つこと。例えば本書に記載した PDQV3 統合プロファイルを実装することで可能になる。
- 文書リポジトリに登録されているすべての文書は、ドメインのユニークな患者 ID に関連づけられていること。
- 文書リポジトリに格納された文書に対するアクセスポリシーは、ドメイン内で合意された方法で管理されていること。また、文書の読み出し要求時には、文書リポジトリ側のアクセスポリシーに従って、文書の公開・非公開の制御が行われること。

表 7.2-1 XCA 統合プロファイルの適用方針

IHE アクタ	解説対象	トランザクション	説明	オプションリテイ (IHE)
開始ゲートウェイ	○	ゲートウェイ間問合せ (Cross Gateway Query [ITI-38])	他ドメインのレジストリからメタデータを取得する	R
	○	ゲートウェイ間読み出し (Cross Gateway Retrieve [ITI-39])	他ドメインのリポジトリから文書を取得する	R
	—	ストアドクエリ (Registry Stored Query [ITI-18])	問合せによりメタデータを取得する	0
	—	文書セットの読み出し (Retrieve Document Set [ITI-4])	リポジトリから文書を取得する	0
応答ゲートウェイ	○	ゲートウェイ間問合せ (Cross Gateway Query [ITI-38])	他ドメインからのメタデータの検索要求を受ける	R
	○	ゲートウェイ間読み出し (Cross Gateway Retrieve [ITI-39])	他ドメインからのリクエストを受け文書を返却する	R

XCA 統合プロファイルの選択可能なオプションを表 7.2-2 示す。「解説対象」列の「○」は本書における解説対象とすることを意味し「—」は対象外であることを意味する。

表 7.2-2 XCA 統合プロフィールで選択可能なオプション

アクタ	トランザクション	説明	解説 対象
開始ゲートウェイ	XDS Affinity Domain Option	ローカルの Document Consumer (文書利用者) に代わって、Registry Stored Query と Retrieve Document Set を実行する。	—
	Asynchronous Web Service Exchange	非同期 Web サービスオプション。	○
応答ゲートウェイ	なし		

7.3 トランザクション定義

XCA 統合プロファイルを実現するためのトランザクションの具体的な実装仕様を示す。

表 7.3-1 XCA 統合プロファイルのトランザクション

	アクタ	トランザクション	掲載節
1	開始ゲートウェイ	ゲートウェイ間問合せ (Cross Gateway Query [ITI-38])	第7.3.1節
		ゲートウェイ間文書読み出し (Cross Gateway Retrieve [ITI-39])	第7.3.2節
2	応答ゲートウェイ	ゲートウェイ間問合せ (Cross Gateway Query [ITI-38])	第7.3.1節
		ゲートウェイ間文書読み出し (Cross Gateway Retrieve [ITI-39])	第7.3.2節

7.3.1 ゲートウェイ間問合せ[ITI-38]

ゲートウェイ間問合せを実現するインタラクションを示す。本メッセージは、「6.3.1 ストアドクエリ [ITI-18]」に基づいているが、ストアドクエリと次の点で異なる。

1. 開始ゲートウェイと応答ゲートウェイ間のトランザクションである。
2. 開始ゲートウェイは、患者 ID を含まない全てのコミュニティ間の問合せにおいて、homeCommunityId 属性を指定しなければならない。
3. homeCommunityId 属性は、全ての適切な要素にセットされ、返却されなければならない。
4. 応答ゲートウェイは非同期 Web サービスオプションをサポートしなければならない。
5. 非同期 Web サービスは、開始ゲートウェイのオプションである。
6. コミュニティがサポートしていない概念 (関連やフォルダ、サブミッションセット) に依存するストアドクエリに対して、応答ゲートウェイは、エントリを含まない応答を返してもよい。

参照規格は、OASIS/ebXML Registry Information Model v3.0、及び、OASIS/ebXML Registry Services Specification v3.0 である。

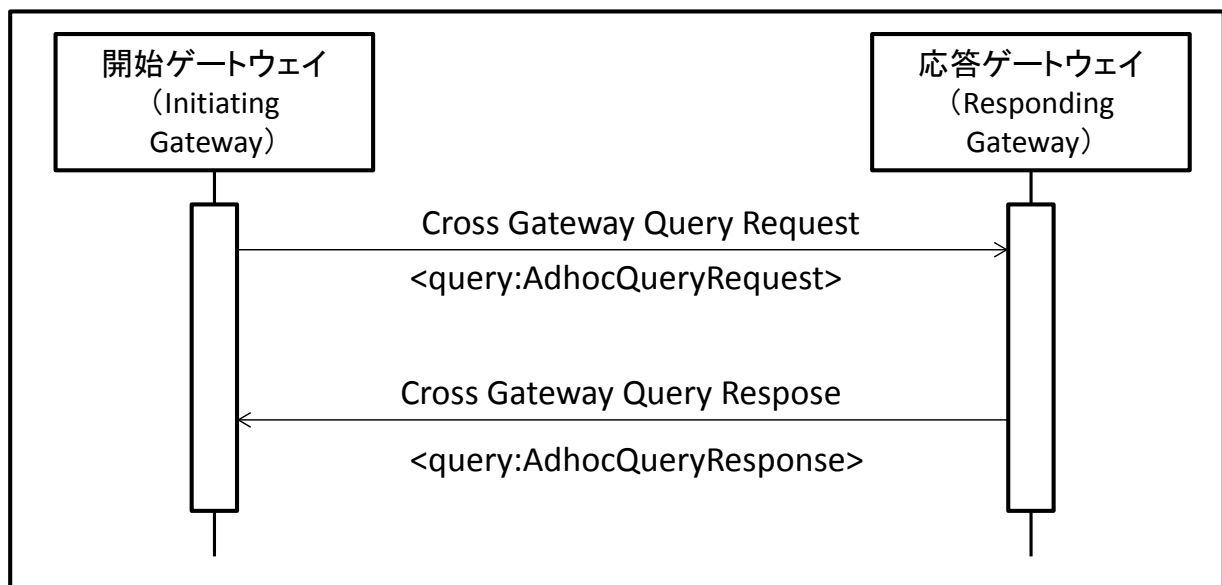


図 7.3.1-1 ゲートウェイ間問合せメッセージインタラクション

7.3.2 ゲートウェイ間文書読出し [ITI-39]

ゲートウェイ間読出しトランザクションを実現するメッセージインタラクションを図 7.3.2-1に示す。本メッセージは、「6.3.2 文書セットの読出し [ITI-43]」に基づいているが、以下の点で異なる。

1. 開始ゲートウェイと応答ゲートウェイ間のトランザクションである。
2. homeCommunityId パラメータは必須である。
3. 応答ゲートウェイは非同期 Web サービスオプションをサポートしなければならない。
4. 非同期 Web サービスは、開始ゲートウェイのオプションである。

参照規格は、OASIS/ebXML Registry Information Model v3.0、及び、OASIS/ebXML Registry Services Specification v3.0 である。また、文書の添付方法に関して、MTOM (SOAP Message Transmission Optimization Mechanism) を参照する。

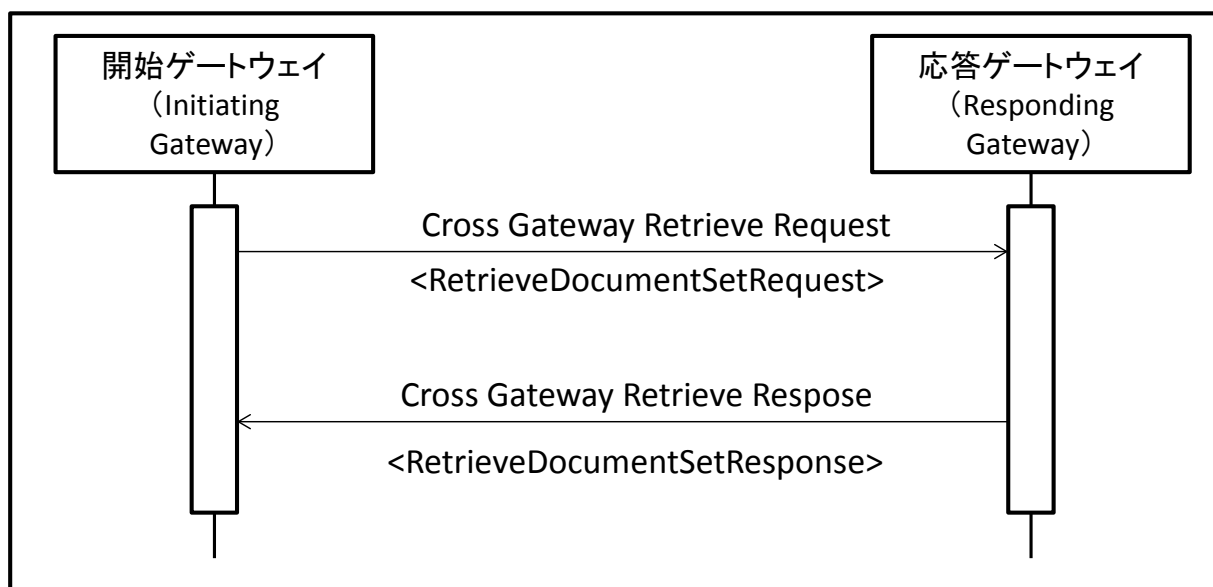


図 7.3.2-1 ゲートウェイ間文書読出しメッセージインタラクション

7.4 インターフェース定義

7.4.1 ゲートウェイ間問合せ [ITI-38]

ゲートウェイ間問合せの Web サービスインターフェース仕様を、表 7.4.1-1、表 7.4.1-2、及び、表 7.4.1-3に示す。WSDL の定義例は、付録1 WSDL 「5. ゲートウェイ間問合せ」に示す。

表 7.4.1-1 ゲートウェイ間問合せメッセージで使用する名前空間

プレフィックス	名前空間
soap	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/
soap12	http://wchemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl/
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
rs	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0
lcm	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0
query	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0

表 7.4.1-2 ゲートウェイ間問合せメッセージで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
AdhocQueryRequest AdhocQueryResponse ResponseOption	query.xsd
	XDS.b_DocumentRepository.xsd
	rs.xsd

表 7.4.1-3 ゲートウェイ間問合せメッセージのインターフェース仕様

WSDL					
XCARespondingGatewayQuery.wsdl					
ポートタイプ					
RespondingGatewayQuery_PortType					
オペレーション		IN/OUT			
ゲートウェイ間問合せ	RespondingGateway_CrossGatewayQuery	入力	メッセージ定義	ストアドキュメントメッセージ	ihe:CrossGatewayQuery_Message
			part	body	
		要素	query:AdhocQueryRequest		
		アクション	urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayQuery		
出力		メッセージ定義	ストアドキュメント応答メッセージ	ihe:CrossGatewayQueryResponse_Message	
			part	body	
		要素	query:AdhocQueryResponse		
		アクション	urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayQueryResponse		
バインディング (SOAP 1.2 binding)					
RespondingGatewayQuery_Binding_Soap12					
ポートタイプ	ihe:RespondingGatewayQuery_PortType				
バインディングスタイル	文書指向 (document)				
トランスポート	HTTP				
オペレーション	RespondingGateway_CrossGatewayQuery	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayQuery		
		input	リテラル形式 (literal)		
		output	リテラル形式 (literal)		

7.4.2 ゲートウェイ間文書読出し [ITI-39]

ゲートウェイ間文書読出しトランザクションの Web サービスインターフェース仕様を、表 7.4.2-1、表 7.4.2-2、及び、表 7.4.2-3、に示す。WSDL の定義例は、付録1 WSDL「6. ゲートウェイ間文書読出し」に示す。

表 7.4.2-1 ゲートウェイ間文書読出しメッセージで使用する名前空間

プレフィックス	名前空間
soap	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/
soap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl/
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
rs	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0
lcm	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0

query	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0
-------	---

表 7.4.2-2 ゲートウェイ間文書読出しメッセージで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
AdhocQueryRequest AdhocQueryResponse ResponseOption	query.xsd
	XDS.b.DocumentRepository.xsd
	rs.xsd

表 7.4.2-3 ゲートウェイ間文書読出しメッセージのインターフェース仕様

WSDL						
XCARespondingGatewayRetrieve.wsdl						
ポートタイプ						
RespondingGatewayRetrieve_PortType						
オペレーション		IN/OUT				
ゲートウェイ間文書読出し	RespondingGateway_CrossGatewayRetrieve	入力	メッセージ定義	ストアドクエリメッセージ	ihe:CrossGatewayRetrieve_Message	
			part	body	要素	ihe:RetrieveDocumentSetRequest
		アクション	urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayRetrieve			
		出力	メッセージ定義	ストアドクエリ応答メッセージ	ihe:CrossGatewayRetrieveResponse_Message	
part	body		要素	ihe:RetrieveDocumentSetResponse		
アクション	urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayRetrieveResponse					
バインディング (SOAP 1.2 binding)						
RespondingGatewayRetrieve_Binding_Soap12						
ポートタイプ	ihe:RespondingGatewayRetrieve_PortType					
バインディングスタイル	文書指向 (document)					
トランスポート	HTTP					
オペレーション	RespondingGateway_CrossGatewayRetrieve	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayRetrieve			
		input	リテラル形式 (literal)			
		output	リテラル形式 (literal)			

7.5 メッセージ定義

7.5.1 ゲートウェイ間問合せメッセージ [ITI-38]

本章では、開始ゲートウェイから応答ゲートウェイに対する文書のメタデータの照会メッセージであるゲートウェイ間問合せメッセージのXML定義を示す。

7.5.1.1 homeCommunityId の使用について

homeCommunityIdは、コミュニティを全世界的にユニークに識別する識別子である。homeCommunityIdは、64文字に制限されたOIDであり、URI シンタックスで表現される。ゲートウェイ間問合せメッセージでは、患者IDが指定されていない全ての問合せについて、homeCommunityId 属性が必須で要求される。

7.5.1.2 ゲートウェイ間問合せメッセージ (Cross Gateway Query)

クロスゲートウェイクエリメッセージは、ストアドクエリメッセージ[ITI-18]によって定義された事前定義された問合せと、問合せに対するパラメータを指定する。問合せパラメータは、ストアドクエリトランザクションで定義されたパラメータを使用する。患者の識別子を指定しない場合、全てのストアドクエリで、homeCommunityId 属性は必須で指定されなければならない。メッセージ定義は、表 6.5.1.1.3-1を参照のこと。

7.5.1.3 ゲートウェイ間問合せ応答メッセージ (Cross Gateway Query Response)

本メッセージはクロスゲートウェイクエリの応答メッセージである。メッセージ仕様は、ストアドクエリ応答メッセージと同様である。メッセージ定義は、表 6.5.1.2-1を参照のこと。

7.5.2 ゲートウェイ間文書読み出しメッセージ [ITI-39]

本章では、開始ゲートウェイから応答ゲートウェイに対する文書の取得メッセージであるクロスゲートウェイ文書取得メッセージのXML定義を示す。

7.5.2.1 ゲートウェイ間文書読み出し要求メッセージ (Cross Gateway Retrieve Request)

クロスゲートウェイ文書取得要求メッセージのメッセージ仕様は、文書セットの読み出し要求メッセージと同一である。メッセージ定義は、表 6.5.2.1-1を参照のこと。

7.5.2.2 ゲートウェイ間文書読み出し応答メッセージ (Cross Gateway Retrieve Response)

クロスゲートウェイ文書取得応答メッセージのメッセージ仕様は、文書セットの読み出し応答メッセージと同一である。メッセージ定義は、表 6.5.2.2-1を参照のこと。

7.6 その他実装上の考慮事項

7.6.1 XCAにおける患者ID管理について

本書では、XCA 統合プロフィールを利用してある患者の診療文書を共有する場合、問合せ先のドメインが確定していること、及び、問合せ先ドメインのドメイン患者 ID を取得していることを前提とする。問合せ先のドメイン内患者 ID を知る方法は、(1) PDQ を使用して患者基本情報からドメイン患者 ID を取得する方法、(2) 該当のドメイン患者 ID を管理する PIXV3 を利用して、ドメイン患者 ID を取得する方法、(3) XCPD 統合プロフィールを利用する方法、の3通りである。PIX を利用する場合は、患者 ID の相互参照情報を、問合せ先のドメインの PIX マネージャが管理していることが前提となる。

XCPD は、コミュニティ間での患者診療情報の検索と、同一の診療情報を持つコミュニティ間で患者 ID の変換を支援するプロフィールである。XCPD を使用することにより、コミュニティ内の患者の基本情報を、外部のコミュニティに問合せ、問合せ先のコミュニティ内の患者 ID を取得することができる。XCPD は現在 IHE の中で試験実装の状態であり、今後正式なプロフィールになることが予想されるため、XCPD の詳細は本書の将来の版で記載する予定である。

第8章 共通データ仕様

本章では、本書内で共通的に使用するデータのXML仕様を定義する。

8.1 識別子

8.1.1 人が読解可能でない識別子

UUIDを使用する場合など、人が解釈することを意図していない識別子を表す。extension属性は使用しない。

表 8.1.1-1 人が読解可能でない識別子のXML定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	M:1.1	M:1.1		識別子	
1.1	@root	M:1.1	M:1.1	UID	人が読解可能でない識別子は、root属性にUUIDまたはOIDを設定する。	●
1.2	@extension	0:0.1	N		使用しない。	
1.3	@assignedAuthorityName	0:1.1	0:1.1	文字列	識別子の発行機関名称。	●
1.4	@displayable	0:1.1	0:1.1	真偽値	読解可能でないことを示す「false」を設定。	

<XML断片例>

```
<id root="2220c1c4-87ef-11dc-b865-3603d6866807" assigningAuthorityName="ABC 病院" displayable="false"/>
```

8.1.2 人が読解可能な識別子 (PIX マネージャによる患者 ID)

人が解釈可能な識別子のうち、PIX マネージャアクタで使用する識別子を表す。assigningAuthorityName が必須となり省略することはできない。

表 8.1.2-1 人が読解可能な識別子 (PIX マネージャによる患者 ID) のXML定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	M:1.1	M:1.1		患者 ID。	
1.1	@root	M:1.1	M:1.1	OID	患者 ID ドメインを識別する ISO OID を指定する。	●
1.2	@extension	M:1.1	M:1.1	文字列	患者 ID ドメインでユニークとなる患者 ID を指定する。	●
1.3	@assignedAuthorityName	M:1.1	M:1.1	文字列	識別子の発行機関名称。患者 ID ドメインを表す。(本属性は、人が識別子を理解することを助けるためのものであり、機械処理に使用してはならない。)	●
1.4	@displayable	0:0.1	0:0.1	真偽値	読解可能であることを示す「true」を設定。	

<XML断片例>

```
<id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.3412" extension="123456789" assigningAuthorityName="ABC コンソーシアム" displayable="true"/>
```

8.1.3 人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子）

人が解釈可能な識別子のうち、PIX マネージャアクタ以外のアクタで使用する識別子を表す。assigningAuthorityName を省略してもよい。

表 8.1.3-1 人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子）のXML定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	id				識別子。	
1.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID/UUID	識別子。root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子。root 属性のみでユニークな ID を構成できない場合は、root 属性と extension 属性を組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.3	@assigningAuthorityName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子の発行機関名称。	●
1.4	@displayable	0 :0..1	0 :0..1	真偽値	読解可能であることを示す「true」を設定。	

<XML 断片例>

```
<id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.3412" extension="123456789" assigningAuthorityName="ABC コンソーシアム" displayable="true"/>
```

8.2 氏名（漢字・カナ・ローマ字）

HL7 Version 3 データ型 PN 型で記述する。use 属性によって、漢字氏名、カナ氏名、ローマ字氏名を区別する。複数の種別を記述する場合は、name 要素を繰り返す。

表 8.2-1 氏名（漢字・カナ・ローマ字）

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	name				患者氏名。	
1.1	@use	M :1..1	M :1..1	コード	「IDE」：漢字氏名 「SYL」：カナ氏名 「ABC」：ローマ字氏名	●
1.2	text()	0 :0..1	0 :0..1		姓名を区別しない場合。	●
2	family	0 :0..1	0 :0..1		患者の姓。	

2.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	姓。	●
3	given	0:0..*	0:0..*		患者の名。ミドルネームを表現する場合には、given要素を複数使用する。その場合、最後のgivenを名とし、それ以外のgivenはミドルネームとして扱う。	
3.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	名。	●

<XML断片例1>

```
<name use="SYL">
  <family>ヤマダ</family>
  <given>タロウ</given>
</name>
```

<XML断片例2>

```
<name use="IDE">
  <family>山田</family>
  <given>太郎</given>
</name>
```

<XML断片例3>

```
<name use="IDE">
  <family>山田</family>
  <given>ミドルネーム</given>
  <given>太郎</given>
</name>
```

8.3 単純名称

HL7 Version 3 データ型 ON型で記述する。

表 8.3-1 単純名称のXML定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	name				名称。	
1.1	text()	M:1..1	M:1..1	文字列	名称テキスト。	●

<XML断片例>

```
<name>ABC病院</name>
```

8.4 性別

他の JAHIS 標準規格にあわせて HL7 Version3 の性別コードではなく、HL7 Version 2 の HL7 表 0001 を使用する。コード表 9-10 「性別コード」を参照のこと。

表 8.4-1 性別のXML定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設
-------	---------	-----	-------	----	----	---

						定 区 分
1	administrativeGenderCode					
1.1	@code	M:1.1	M:1.1	コード	性別コード。 [A]：両性具有 [M]：男性 [F]：女性 [N]：適応外 [O]：その他 [U]：未知	●
1.2	@codeSystem	M:1.1	M:1.1	OID	「2.16.840.1.113883.12.1」	
1.3	@codeSystemName	0:0.1	0:0.1	文字列	性別コードのコード体系。 HL70001。	
1.4	@displayName	0:0.1	0:0.1	文字列	性別コードの表示名。	●

<XML断片例>

```
<administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1" codeSystemName="HL70001"
displayName="男性"/>
```

8.5 生年月日

HL7 Version3 データ型 の TS 型で記述する。

表 8.5-1 生年月日のXML定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設 定 区 分
1	birthTime				生年月日。	
1.1	@value	M:1.1	M:1.1		書式 YYYYMMDD	●

<XML断片例>

```
<birthTime value="19630713"/>
```

8.6 住所

HL7 Version3 データ型 AD 型で記述する。

表 8.6-1 住所のXML定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設 定 区 分
1	addr	0:0..*	0:0..*		住所。	
1.1	@use	M:1.1	M:1.1	コード	[HP]：自宅 [WP]：勤務先	●
2	country	0:0.1	0:0.1		国。	

2.1	text()	M:1.1	M:1.1	半角英字	「ISO3166-1」	●
3	postalCode	0:0.1	0:0.1		郵便番号。	
3.1	text()	M:1.1	M:1.1	半角数字		●
4	state	0:0.1	0:0.1		都道府県。	
4.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列		●
5	city	0:0.1	0:0.1		市区郡。	
5.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列		●
6	streetAddressLine	0:0.1	0:0.1		丁字番地等。	
6.1	text()	M:1.1	M:1.1	文字列		●

<XML 断片例>

```

<addr>
  <country>JP</country>
  <postalCode>105-0004</postalCode>
  <state>東京都</state>
  <city>港区</city>
  <streetAddressLine>新橋2丁目5-5</streetAddressLine>
</addr>

```

8.7 電話番号

HL7 Version3 データ型 TEL 型で記述する。

表 8.7-1 電話番号の XML 定義

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHS	記法	説明	設定区分
1	telecom	0:0.*	0:0.*			
1.1	@use	M:1.1	M:1.1	コード	「HP」: 自宅電話番号 「WP」: 勤務先電話番号 「MC」: 携帯電話 「EMG」 緊急連絡先	●
1.2	@value	M:1.1	M:1.1	文字列	電話番号、FAX 番号、電子メールアドレスのいずれかを指定する。 スキーマ識別子「tel:」に続けて電話番号を指定する。(ハイフンや括弧などのセパレータを含んでもよい) スキーマ識別子「fax:」に続けて FAX 番号を指定する。(ハイフンや括弧などのセパレータを含んでもよい) スキーマ識別子「mailto:」に続けて電子メールアドレスを指定する。	●

<XML 断片例>

```

<telecom value="tel:03-1234-5678" use="HP" />

```

第9章 コード表

本章に掲載しているコードのうち適用区分が「拡張可能」であるものは、参考として利用可能なコードを示したものであり、ドメイン内、及び、ドメイン間の協議において他のコードを使用することや、本コード表を拡張しコードを追加することが可能である。一方「拡張不能」であるものは使用が強制されるものであり、他のコード体系を代用することや、新たなコードの追加は認められない。コード体系 OID は、本書のルート OID の下に、HL7 での OID 管理の方法に従い、枝番号 5 を使用して 1 から順に採番した。将来、本書のルート OID が正式に決定した際には、その OID に置き換えられる。

< 1. 職種コード >

種別：適用ガイド個別コード

コード体系：JHSITI0001

コード体系 OID: [本書のルートOID]. 5. 1

適用区分：拡張可能

表 9-1 職種コード

コード	表示名	内容
MedicalDoctor	医師	
Dentist	歯科医師	
Pharmacist	薬剤師	
MedicalTechnologis	臨床検査技師	
RadiologicalTechnologist	診療放射線技師	
GeneralNurse	看護師	
PublicHealthNurse	保健師	
MIDwife	助産師	
PhysicalTherapist	理学療法士	
OccupationalTherapist	作業療法士	
Orthoptist	視能訓練士	
SpeechTherapist	言語聴覚士	
DentalTechnician	歯科技工士	
NationalRegisteredDietitian	管理栄養士	
CertifiedSocialWorker	社会福祉士	
CertifiedCareWorker	介護福祉士	
EmergencyMedicalTechnician	救急救命士	
PsychiatricSocialWorker	精神保健福祉士	
ClinicalEngineer	臨床工学技士	
Masseur	あん摩マッサージ指圧師 はり師/きゅう師	
DentalHygienist	歯科衛生士	
ProstheticsAndOrthctic	義肢装具士	
ArtificialLimbFitter	柔道整復師	
ClinicalLaboratoryTechnician	衛生検査技師	
CareManager	介護支援専門員	
DirectorOfHospital	病院長	
DirectorOfClinic	診療所院長	
DirectorOfPharmacy	保険薬局の管理責任者	
Director	その他の保健医療福祉機 関の管理責任者	

< 2. アプリケーション応答コード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系: AcknowledgementType

コード体系 OID : 2.16.840.1.113883.5.18

適用区分: 拡張不能

表 9-2 アプリケーション応答コード

コード	表示名	内容
AA	アプリケーション応答 受理	メッセージの処理が正常に終了した。
AE	アプリケーション応答 エラー	メッセージには何らかのエラーが発見され、追加のエラー情報とともにエラー応答を返した。
AR	アプリケーション応答 リジェクト	メッセージは内容とは関係のない理由で受理されなかった。送信者はメッセージを自動的に再送するかどうかを決めなければならない。
CA	アクセプト応答受理	メッセージ処理サービスは、メッセージを受理し、受信アプリケーションにメッセージを渡した。
CE	アクセプト応答エラー	メッセージ処理サービスは、メッセージを受理することができなかった。
CR	アクセプト応答リジェ クト	メッセージ処理サービスは、インタラクション ID、または、バージョン、処理モードが受信アプリケーションの対応範囲外であるために、メッセージを棄却した。

< 3. 詳細応答区分 >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系: AcknowledgementDetailType

コード体系 OID : 2.16.840.1.113883.5.1082

適用区分: 拡張不能

表 9-3 詳細応答区分

コード	表示名	内容
E	エラー	要求の正常な処理を妨げるエラーであることを示す。
I	情報	要求の正常処理とは無関係な情報であることを示す。
W	警告	要求は処理されたが、理想的または期待された効果が発生していないことを示す。

< 4. 詳細応答コード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系: AcknowledgementDetailCode

コード体系 OID : 2.16.840.1.113883.5.1100

適用区分: 拡張可能

表 9-4 詳細応答コード

コード	表示名	内容
NS200	サポートされていない インタラクション	
NS202	サポートされていない 処理 ID	
NS203	サポートされていない バージョン ID	

NS250	サポートされていない 処理モード	
NS260	不明な送信者	
NS261	不明なアテンションラ イン	
INTERR	内部エラー	
NOSTORE	ストレージスペース不 足	
RTEDEST	エラー：受信者に到達 できない	
RTUDEST	エラー：不明な受信者	
RTWDEST	警告：受信者に一時的 に到達できない	
SYN	構文エラー	
SYN100	必須関連がない	
SYN101	必須属性がない	
SYN102	データ型エラー	
SYN103	コードがコード体系内 に見つからない	
SYN104	コード指定エラー	
SYN110	関連の繰り返し数が上 限を超えている	
SYN112	属性の繰り返し数が上 限を超えている	

< 5. 参加形態コード >

種別：HL7 Version 3 コード

コード体系： ParticipationMode

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1064

適用区分：拡張可能

表 9-5 参加形態コード

コード	表示名	内容
ELECTRONIC		
PHYSICAL		
REMOTE		
VERBAL		
Dictate		
FACE		
PHONE		
VIEOCONF		
WRITTEN		
EMAILWRIT		
FAXWRIT		
HANDWRIT		
TYPEWRIT		

< 6. 問合せ状態コード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary
 コード体系: QueryStatusCode
 コード体系OID: 2.16.840.1.113883.5.103
 適用区分: 拡張不能

表 9-6 問合せ状態コード

コード	表示名	内容
aborted	中断された	
deliveredResponse	応答が返却された	
executing	実行中	
new	新規	
waitContinuedQueryResponse	継続問合せ応答待機中	

< 7. 問合せ結果コード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary
 コード体系: QueryResponse
 コード体系OID: 2.16.840.1.113883.5.1067
 適用区分: 拡張不能

表 9-7 問合せ結果コード

コード	表示名	内容
AE	アプリケーションエラー	
NF	データは見つからなかった	
OK	データは見つかった	
QE	問合せパラメータエラー	

< 8. 医療機関の役割コード >

種別: 適用ガイド個別コード
 コード体系: JHSITI0002
 コード体系OID: [本書のルートOID]. 5.2
 適用区分: 拡張可能

表 9-8 医療機関の役割コード

コード	表示名	内容
01	急性期病院	
02	地域医療支援病院	
03	特定機能病院	
04	一般病院 (一般病床)	
05	一般病院 (療養病床)	
06	一般病院 (回復期リハビリ病棟)	
07	一般病院 (介護型療養病床)	
08	在宅療養支援診療所	
09	無床診療所	
10	有床診療所	
11	介護老人保健施設	
12	その他医療機関	

< 9. 名前使用コード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系: EntityNameUse

コード体系OID: 2.16.840.1.113883.5.45

適用区分: 拡張不能

表 9-9 名前使用コード

コード	表示名	内容
ABC	Alphabetic	ローマ字
IDE	Ideographic	漢字
SYL	Syllabic	カナ
SRCH	search	検索用 (PDQV3 で、完全一致検索でないことを意味するために使用)

< 10. 性別コード >

種別: HL7 Version 2.5 HL7 表

コード体系: HL70001

コード体系OID: 2.16.840.1.113883.12.1

適用区分: 拡張可能

表 9-10 性別コード

コード	表示名	内容
A	両性具有	
M	男性	
F	女性	
N	適応外	
O	その他	
U	未知	

< 11. 問合せ要求上限コード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系: QueryRequestLimit

コード体系OID: 2.16.840.1.113883.5.1112

適用区分: 拡張可能

表 9-11 問合せ要求上限コード

コード	表示名	内容
RD	レコード	検索にマッチしたインスタンス数。

< 12. 検索アルゴリズムコード >

種別: 適用ガイド個別コード

コード体系: JHSITI0003

コード体系OID: [本書のルートOID].5.3

適用区分: 拡張可能

表 9-12 検索アルゴリズムコード

コード	表示名	内容
PFXM	前方一致	
MDLM	中間一致	
SFXM	後方一致	
REGEX	正規表現	

CIM	大文字・小文字を区別しない	
-----	---------------	--

< 1 3. 守秘レベルコード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary
 コード体系: Confidentiality
 コード体系OID: 2.16.840.1.113883.5.25
 適用区分: 拡張可能

表 9-1 3 守秘レベルコード

コード	表示名	内容
N	Normal	通常レベルのアクセスを許す
R	Restricted	限定されたアクセスを許す
V	Very Restricted	極めて限定されたアクセス許す

< 1 4. VIP コード >

種別: HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary
 コード体系: Patient Importance
 コード体系OID: 2.16.840.1.113883.5.1075
 適用区分: 拡張可能

表 9-1 4 VIP コード

コード	表示名	内容
BM	Board Member	医療機関の理事
DFM	Physician Family Member	医師の家族
DR	Staff Physician	医療機関の医師
FD	Financial Donor	医療機関に対する財政的な寄贈者
FOR	Foreign Dignitary	医療機関に関係のある海外の高官
GOT	Government Dignitary	医療機関に関係のある政府高官
SFM	Staff Family Member	医療機関のスタッフの家族
STF	Staff Member	医療機関のスタッフ
VIP	Very Important Person	医療機関に関係のあるVIP

< 1 5. 婚姻状況コード >

種別: 出典: HL7 Version 2 使用者定義表
 コード体系: HL70002
 コード体系OID: 2.16.840.1.113883.12.2
 適用区分: 拡張可能

表 9-1 5 婚姻状況コード

コード	表示名	内容
A	Separated	別居
D	Divorced	離婚
M	Married	既婚
S	Single	独身
W	Widowed	未亡人
C	Common law	法的
G	Living togher	同居・同棲
P	Domestic partner	配偶者
R	Registered domestic partner	登録された配偶者

E	Legally Separated	法的な別居
N	Annuled	婚姻取消・無効
I	Interlocutory	裁判中・調停中
B	Unmarried	未婚
U	Unknown	不明
O	Other	その他
T	Unreported	未報告

< 16. 関係区分コード >

種別：適用ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0004

コード体系OID： [本書のルートOID]. 5. 4

適用区分： 拡張可能

表 9-16 関係区分コード

コード	表示名	内容
01	本人	
02	本人 (主)	
03	本人 (副)	
04	子	
05	父	
06	母	
07	配偶者	
08	兄弟	
09	父方祖父	
10	父方祖母	
11	母方祖父	
12	母方祖母	
13	孫	
14	他同居	
15	その他	
16	不明	

< 17. 続柄コード >

種別：適用ガイド個別コード (出典：PHR データ交換規約)

コード体系： 続柄コード

コード体系OID： 1. 2. 392. 200119. 9. 12. 15

適用区分： 拡張可能

表 9-17 続柄コード

コード	表示名	内容
Bn	男の子供の n 番目	男の子供の n 番目 (不明時は n を省略可)
Cn	n 番目に出産した子供	n 番目に出産した子供 (不明時は n を省略可)
F	父	父
Gn	女の子供の n 番目	女の子供の n 番目 (不明時は n を省略可)
H	夫	夫
Ln	n 人上の姉	n 人上の姉 (不明時は n を省略可)
ln	n 人下の妹	n 人下の妹 (不明時は n を省略可)
M	母	母

P	親（母または父）	親（母または父）
Rn	n 人上の兄	n 人上の兄（不明時はn を省略可）
rn	n 人下の弟	n 人下の弟（不明時はn を省略可）
J	本人	本人
W	妻	妻
N	内縁の関係	内縁の関係（直後のコードの人物と内縁の関係にあることを示す）
V	親戚	親戚（単独で用いる）
D	共同生活者	共同生活者
K	後見人	後見人
Q	介護者	介護者
S	民生委員	民生委員
T	隣人	隣人
Y	友人	友人
U	不明	不明（単独で用いる）
O	その他	その他（単独で用いる）

上記以外の続柄は、これらのコードを組み合わせてコードとすることができる。

（例：父方の祖父=FF、父方の祖母=FM、祖父=PF、祖父または祖母=PP、孫=CC、父の兄=FR、長女の夫=G1H 等）

内縁の関係（N）は、単独で使われるものではなく、その直後に記載されたコードの人物と内縁の関係にあることを示す形容詞として利用する。

（例：兄の内縁の妻=RNW）

下記のコードについては単独で用い、他のコードとの組み合わせは不可とする。

V（親戚）、U（不明）、O（その他）

< 18. 役割状態コード >

種別：HL7 Version 3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：RoleStatus

コード体系OID：2.16.840.1.113883.5.1068

適用区分：拡張不能

表 9-18 役割状態コード

コード	表示名	内容
normal	normal	nullified 以外の状態をさす
active	active	
cancelled	cancelled	
pending	pending	
suspended	suspended	
terminated	terminated	
nullified	nullified	

< 19. 職業区分コード >

種別：適用ガイド個別コード

コード体系：JHSITI0005

コード体系OID：[本書のルートOID].5.5

適用区分：拡張可能

出典：厚生労働省編職業分類（平成23年改定）

表 9-19 職業区分コード

コード	表示名	内容
A	管理的職業	管理的公務員、法人・団体の役員、管理職員、その他の管理的職業
B	専門的・技術的職業	研究者、農林水産技術者、建築・土木・測量技術者、開発・製造技術者、医師・歯科医師・獣医師・薬剤師・その他医療技術者、社会福祉の専門的職業、情報処理・通信技術者、法務の職業、音楽家・舞台芸術家、著述者・記者・編集者、教育の職業、宗教家
C	事務的職業	一般事務、会計事務、生産関連事務、営業・販売関連事務、外勤事務、運輸・通信事務、事務用機器操作
D	販売の職業	商品販売、販売類似の職業、営業
E	サービスの職業	家庭生活支援サービス、介護サービス、保険医療サービス、生活衛生サービス、飲食物調理、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、その他サービス
F	保安の職業	自衛官、司法警察職員、その他保安の職業
G	農林漁業の職業	農業、林業、漁業
H	生産工程の職業	生産設備制御・監視、金属材料製造、金属加工、溶接・溶断、機械組立・整備・修理・検査、生産関連・生産類似の職業
I	輸送・機械運転の職業	鉄道運転、自動車運転、船舶・航空機運転、その他の輸送、定置・建設機械運転
J	建設・採掘の職業	土木、採掘、建設、電気工事
K	運搬・清掃・包装等の職業	郵便・荷役等の運搬・配達、清掃、包装
F	保安の職業	自衛官、司法警察職員、その他保安の職業

< 20. 組織区分コード >

種別：適用ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0006

コード体系OID：[本書のルートOID]. 5.6

適用区分：拡張可能

表 9-20 組織区分コード

コード	表示名	内容
01	民営	
02	個人	
03	法人	
04	法人（会社）	
05	法人（独立行政法人等）	
06	国	
07	都道府県	
08	市区町村	
09	地方公共団体	

< 21. 検索確度区分 >

種別：適用ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0007

コード体系OID：[本書のルートOID]. 5.7

適用区分：拡張可能

表 9-21 検索確度区分

コード	表示名	内容
DOM	検索確度	

< 2.2. 診療科コード >

種別：適用ガイド個別コード（レセプト電算処理「別表10 診療科名コード」）

コード体系：JHSITI0008

コード体系OID：[本書のルートOID]. 5.8

適用区分：拡張可能

表 9-22 診療科コード

コード	表示名	内容
01	内科	
02	精神科	
03	神経科	
04	神経内科	
05	呼吸器科	
06	消化器科	
07	胃腸科	
08	循環器科	
09	小児科	
10	外科	
11	整形外科	
12	形成外科	
13	美容外科	
14	脳神経外科	
15	呼吸器外科	
16	心臓血管外科	
17	小児外科	
18	皮膚泌尿器科	
19	皮膚科	
20	泌尿器科	
21	性病科	
22	肛門科	
23	産婦人科（産科または婦人科）	
24	産科	
25	婦人科	
26	眼科	
27	耳鼻咽喉科	
28	気管食道科	
30	放射線科（放射線診断科または放射線治療科）	
31	麻酔科	
33	心療内科	
34	アレルギー科	
35	リウマチ科	
36	リハビリテーション科	

37	病理診断科	
38	臨床検査科	
39	救急科	

< 2 3. 文書フォーマットコード >

種別：適用ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0010

コード体系OID：[本書のルートOID]. 5. 9

適用区分：拡張可能

表 9-2 3 文書フォーマットコード

コード	表示名	内容
TEXT	テキスト形式	
PDF	PDF 形式	
XML	XML 形式	
HL7CDAR2	HL7 CDA R2 形式	
HL7V2	HL7 V2 形式	
HL7V3	HL7 V3 形式	

< 2 4. MIME タイプコード >

種別：HL7 Version 3

コード体系： mediaType

コード体系OID：2. 16. 840. 1. 113883. 5. 79

適用区分：拡張可能

表 9-2 4MIME タイプコード

コード	表示名	内容
application/dicom	DICOM	
application/msword	Microsoft Word 形式	
application/pdf	PDF	
audio/basic	オーディオデータ	
audio/k32adpcm	K32ADPCM オーディオデータ	
audio/mpeg	MPEG audio layer 3(MP3)形式	
image/g3fax	G3Fax 画像	
image/gif	GIF 画像	
image/jpeg	JPEG 画像	
image/png	PNG 画像	
image/tiff	TIFF 画像	
model/vrml	VRML モデル	
multipart/x-hl7-cda-level-one	HL7 CDA Level1 MIME パッケージ	
text/html	HTML テキスト	
text/plain	通常のテキスト	
text/rtf	RTF テキスト	
text/sgml	SGML テキスト	
text/x-hl7-ft	HL7 テキスト	
text/x-hl7-text+xml	HL7 Narrative Block	
text/xml	XML テキスト	

video/mpeg	MPEG ビデオ	
video/x-avi	X-AVI ビデオ	

第10章 オブジェクト識別子 (OID) 一覧

本書で使用するオブジェクト識別子 (OID) の一覧を示す。本書で定義するコードや識別子を管理するために、本書のOIDを取得することを想定し、そのルートOIDの下に定義する。本書では仮に xxx.yyyy.zzzzz と表記するが、将来、何らかのOIDが割り当てられた場合には、そのOIDと置き換えられるものとする。また、各ドメインにおいても、コミュニティや文書レジストリ、文書リポジトリを識別するために個別のOIDが必要となる。現状、我が国において管理されたレジストリが存在しないため、各ドメインにおいてOIDを取得しドメイン間で連携を行う場合には、それらが適切に公開される必要がある。我が国では、下記に示すように、総務省総務省と日本情報経済社会推進協会がそれぞれITU-T系、ISO系のOIDの申請窓口となっている。どちらの窓口で申請してもOIDの4階層目は同じ値が割り当てられ、3階層目までが、「0.2.440」(ITU-T系)となるか「1.2.392」(ISO系)となるかの違いとなる。また、MEDIS-DCや日本医療情報学会、日本HL7協会が既にOIDを取得していることから、プロジェクトによってはそれらの下位にOIDを割り当てることも考えられる。

○総務省

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/hyojun/object.html

○日本情報経済社会推進協会

<http://www.jipdec.or.jp/dupc/project/business/osi-object/index.html>

区分	OID	説明
OID Root	xxx.yyyy.zzzzz	本書のルートOID
コード体系	xxx.yyyy.zzzzz.5.1	職種コードのコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.2	医療機関の役割コードのコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.3	検索アルゴリズムコードのコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.4	関係区分コードのコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.5	職業区分コードのコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.6	組織コードのコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.7	検索確度区分のコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.8	診療科コードのコード体系を識別するOID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.9	文書フォーマットコードのコード体系を識別するOID

第 1 1 章 引用規格・参考 URL・参考資料

1 1. 1 引用規格

- IT Infrastructure Technical Framework – Revision 9.0, August 31, 2012, Final Text
http://www.ihe.net/Technical_Framework/index.cfm#IT
 - ◇ Vol. 1 (ITI TF-1): Integration Profiles
 - ◇ Vol. 2a (ITI TF-2a): Transactions Part A - Sections 3.1 - 3.28
 - 3.18 Registry Stored Query
 - ◇ Vol. 2b: (ITI TF-2b): Transactions Part B - Section 3.29 - 3.51
 - 3.38 Cross Gateway Query
 - 3.39 Cross Gateway Retrieve
 - 3.43 Retrieve Document Set
 - 3.45 PIXV3 Query
 - 3.46 PIXV3 Update Notification
 - 3.47 Patient Demographics Query HL7 V3
 - ◇ Vol. 2x (ITI TF-2x): Appendices
 - Appendix E: Usage of the CX Data Type in PID-3-Patient identifier List
 - Appendix M: Using Patient Demographics Query in a Multi-Domain Environment
 - Appendix O: HL7 v3 Transmission and Trigger Event Control Act Wrappers
 - Appendix P: Examples of messages
 - Appendix Q: HL7 V3 Sample Payload XML Schemas
 - Appendix V: Web Services for IHE Transactions
 - ◇ Vol. 3 (ITI TF-3): Cross-Transaction Specifications and Content Specifications
 - 4 Cross-Transaction Specifications
- HL7 Version 3 Normative Edition 2008
 - ◇ HL7 Version 3 Standard: Patient Administration, Release 2
 - ◇ HL7 Version 3 Standard: Infrastructure Management: Transmission Infrastructure Release 1, 2004
 - ◇ HL7 Version 3 Standard: Master File / Registry Infrastructure, Release 1, 2006
 - ◇ HL7 Version 3 Standard: Infrastructure Management: Query Infrastructure, Release 1, 2004
 - ◇ HL7 Version 3 Standard: Infrastructure Management: Message Control Act Infrastructure, Release1, 2004
 - ◇ HL7 Version 3 Standard: Web Services - Basic Profile, Release 1, 2004
- ebRIM OASIS/ebXML Registry Information Model Version 3.0, OASIS Standard, 2 May, 2005
- ebRS OASIS/ebXML Registry Services and Protocols Version 3.0, OASIS Standard, 2 May, 2005

1 1. 2 参考 URL

- 諸官庁・団体
 - ◇ 厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/>
 - ◇ 経済産業省
<http://www.meti.go.jp/>
 - ◇ 総務省
<http://www.soumu.go.jp/>
 - ◇ 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）医療情報化に関するタスクフォース
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/iryoubyouhou/>
 - ◇ 日本HL7協会
<http://www.hl7.jp/>
 - ◇ 社団法人 日本画像医療システム工業会（略称：JIRA）

- ◇ <http://www.jira-net.or.jp/>
 - ◇ 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会（略称：JAHIS）
<http://www.jahis.jp/>
 - ◇ 医療情報標準化推進協議会（略称：HELICS 協議会）
<http://helics.umin.ac.jp/>
 - ◇ 日本 IHE 協会（略称：IHE-J）
<http://www.ihe-j.org/>
 - ◇ 一般社団法人 日本医療情報学会（略称：JAMI）
<http://www.jami.jp/>
 - ◇ 一般社団法人 医療情報システム開発センター（略称：MEDIS-DC）
<http://www.medis.or.jp/>
 - ◇ SS-MIX 普及推進コンソーシアム
<http://www.hci-bc.com/ss-mix/index.html>
- ・ 地域医療・標準化
 - ◇ 厚生労働省 地域医療再生基金
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/saiseikikin/index.html
 - ◇ 第1回地域医療再生計画に係る有識者会議資料：地域医療再生基金における IT 活用による地域医療連携について（厚生労働省、2010年1月25日）
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/s0125-9.html>
 - ◇ 医療情報の標準化に関する情報・資料など
<http://www.jami.jp/jamistd/index.html>
 - ・ 実証事業等
 - ◇ 経済産業省 健康情報活用基盤構築のための標準化及び実証事業
<https://microsite.accenture.com/meti/Pages/default.aspx>
 - ◇ 「平成22年度医療情報化促進事業」報告書の掲載について
<http://www.keieiken.co.jp/medit/240423.html>
 - ◇ 「平成22年度医療情報化促進事業」最終報告会資料
<http://www.keieiken.co.jp/medit/240229.html>
 - ◇ 医療情報システムにおける相互運用性実証事業
<http://www.nss-med.co.jp/project/project3.html>
 - ◇ 周産期医療および救急医療を支援する情報活用等に関する調査研究
<http://www.nss-med.co.jp/project/project1.html>
 - ◇ 地域見守り支援システム実証事業
<http://www.nss-med.co.jp/mimamori/seika.html>
 - ◇ 医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業
<http://www.nss-med.co.jp/H22mimamori/seika2011.html>
 - ◇ 健康情報活用基盤構築のための標準化及び実証事業
<http://www.accenture.com/Microsites/hpsv-meti/Pages/default.aspx>

1.1.3 参考資料

- ・ 標準化文書
 - ◇ JAHIS 標準文書
http://www.jahis.jp/jahis_hyojyun/seiteizumi_hyojyun/
 - ◇ IT Infrastructure Technical Framework
http://www.ihe.net/Technical_Framework/index.cfm#IT
 - ◇ 厚生労働省 厚生労働省標準規格通知
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuu/johoka/dl/02.pdf>

◇ HELICS 「医療情報標準化指針」一覧（採択されたもの）

<http://helics.umin.ac.jp/helicsStdList.html>

・ 医療情報関係のガイドライン

◇ 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（厚生労働省 2010.09）

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/kojin/dl/170805-11a.pdf>

◇ 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第4.1版」（厚生労働省 2010.02）

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/02/s0202-4.html>

◇ 「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン」（経済産業省 2008.07）

http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/privacy/080331iryuu-hontai.pdf

◇ 「ASP・SaaS 事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン第1.1版」（総務省 2010.12）

http://www.soumu.go.jp/main_content/000095031.pdf

・ 地域医療

◇ 「平成22年度医療情報化促進事業」最終報告会資料

http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/report_20120214.pdf

◇ 平成22年度医療情報化促進事業成果報告書

<http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report.pdf>

◇ 別紙1. 第二次医療情報化共通基盤構築調査事業報告書

http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report_1.pdf

◇ 別紙2. 医療情報に関する海外調査報告書

http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report_2.pdf

◇ 別紙3. 災害時の避難所等におけるITシステムの有効性調査報告書

http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report_3.pdf

◇ 09-103 地域医療情報連携システム 運用管理システムのサービス機能

<http://www.jahis.jp/standard/seitei/st09-103v1.0a/st09-103v1.0a.htm>

◇ 「地域医療連携情報システム構築ハンドブック2011」別冊

<http://www.jpacs.jp/201107-hanbook.pdf>

◇ 「地域医療連携情報システム(XDS)構築ハンドブック」

http://www.jpacs.jp/20110114_4.pdf

◇ 地域医療連携情報システム構築ハンドブック2010

<http://www.jpacs.jp/book2010.pdf>

◇ 地域医療連携情報システム構築ハンドブック2010—IHE XDSによるHIE（Health Information Exchange）の構築—〈日本PACS研究会・日本IHE協会〉

<http://www.ihe-j.org/file2/news/IHE-HIE-Handbook2010-06.pdf>

◇ IT戦略本部評価専門調査会「地域医療再生基金におけるIT活用による地域医療連携について」

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/dl/s0125-9a.pdf>

◇ SS-MIX2仕様書、関連資料（ZIPファイル版）

http://www.jami.jp/jamistd/docs/SS-MIX2pdf_for_release20120404.zip

付録1 WSDL

本書で解説したトランザクションを定義するWSDLの例を示す。これらは、本書で解説したトランザクションのみを抜粋したものであり、完全なWSDLは、下記に示すIHEのFTPサイトから入手することができる。

FTPサイト：ftp://ftp.ihe.net/TF_Implementation_Material/ITI/

1. 患者ID相互参照問合せ

PIXManager.wsdl

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<definitions name="PIXManager" targetNamespace="urn:ihe:iti:pixv3:2007"
  xmlns:tns="urn:ihe:iti:pixv3:2007"
  xmlns:wsoap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
  xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
  <documentation>Example WSDL for PIX Manager</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
      xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
        schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201309UV02.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
      xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
        schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201310UV02.xsd"/>
    </xsd:schema>
  </types>
  <message name="PRPA_IN201309UV02_Message">
    <part element="hl7:PRPA_IN201309UV02" name="Body"/>
  </message>
  <message name="PRPA_IN201310UV02_Message">
    <part element="hl7:PRPA_IN201310UV02" name="Body"/>
  </message>
  <portType name="PIXManager_PortType">
    <operation name="PIXManager_PRPA_IN201309UV02">
      <input message="tns:PRPA_IN201309UV02_Message"
        wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02"/>
      <output message="tns:PRPA_IN201310UV02_Message"
        wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201310UV02"/>
    </operation>
  </portType>
  <binding name="PIXManager_Binding_Soap12" type="tns:PIXManager_PortType">
    <wsoap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="PIXManager_PRPA_IN201309UV02">
      <wsoap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02"/>
    </operation>
  </binding>
</definitions>
```

```

    <input>
      <soap12:body use="literal"/>
    </input>
  </output>
    <soap12:body use="literal"/>
  </output>
</operation>
</binding>
<service name="PIXManager_Service">
  <port binding="tns:PIXManager_Binding_Soap12" name="PIXManager_Port_Soap12">
    <soap12:address location="http://servicelocation/PIXManager_Soap12"/>
  </port>
</service>
</definitions>

```

2. 患者基本情報の照会

PDQSupplier.wsdl

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<definitions name="PDQSupplier" targetNamespace="urn:ihe:iti:pdqv3:2007"
  xmlns:tns="urn:ihe:iti:pdqv3:2007" xmlns:soap11="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
  xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/" xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
  <documentation>Example WSDL for PDQ Patient Demogrphics Supplier</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
      xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201305UV02.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
      xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201306UV02.xsd"/>
    </xsd:schema>
  </types>
  <message name="PRPA_IN201305UV02_Message">
    <part element="hl7:PRPA_IN201305UV02" name="Body"/>
  </message>
  <message name="PRPA_IN201306UV02_Message">
    <part element="hl7:PRPA_IN201306UV02" name="Body"/>
  </message>
  <portType name="PDQSupplier_PortType">
    <operation name="PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02">
      <input message="tns:PRPA_IN201305UV02_Message"
wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02"/>
      <output message="tns:PRPA_IN201306UV02_Message"

```

```

        wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201306UV02" />
    </operation>
</portType>
<binding name="PDQSupplier_Binding_Soap12" type="tns:PDQSupplier_PortType">
    <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02">
        <soap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02" />
        <input>
            <soap12:body use="literal" />
        </input>
        <output>
            <soap12:body use="literal" />
        </output>
    </operation>
</binding>
<service name="PDQSupplier_Service">
    <port binding="tns:PDQSupplier_Binding_Soap12" name="PDQSupplier_Port_Soap12">
        <soap12:address location="http://example.org/PDQSupplier_Soap12" />
    </port>
</service>
</definitions>

```

3. ストアドクエリ

XDS.b_DocumentRegistry.wsdl

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<!-- This wsdl file is for an XDS.b Document Registry Actor -->
<definitions xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
    xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
    xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
    xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
    xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3"
    xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
    targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
    xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
    xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl" name="DocumentRegistry">
    <documentation>IHE XDS.b Document Registry</documentation>
    <types>
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
            targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
            xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd" />
        </xsd:schema>
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
            targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
            xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/lcm.xsd" />
        </xsd:schema>
    </types>

```

```

        <!-- While no elements are directly used from this schema in the WSDL, it needs to be
present here in order for
        code generating toolkits to work properly -->
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
            targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
            xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rim.xsd"/>
        </xsd:schema>
    </types>
    <message name="RegistryStoredQuery_Message">
        <documentation>Registry Stored Query</documentation>
        <part name="body" element="query:AdhocQueryRequest"/>
    </message>
    <message name="RegistryStoredQueryResponse_Message">
        <documentation>Registry Stored Query Response</documentation>
        <part name="body" element="query:AdhocQueryResponse"/>
    </message>
    <portType name="DocumentRegistry_PortType">
        <operation name="DocumentRegistry_RegistryStoredQuery">
            <input message="ihe:RegistryStoredQuery_Message"
                wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery"/>
            <output message="ihe:RegistryStoredQueryResponse_Message"
                wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQueryResponse"/>
        </operation>
    </portType>
    <binding name="DocumentRegistry_Binding_Soap12" type="ihe:DocumentRegistry_PortType">
        <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
        <operation name="DocumentRegistry_RegistryStoredQuery">
            <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery"/>
            <input>
                <soap12:body use="literal"/>
            </input>
            <output>
                <soap12:body use="literal"/>
            </output>
        </operation>
    <service name="DocumentRegistry_Service">
        <port name="DocumentRegistry_Port_Soap12"
binding="ihe:DocumentRegistry_Binding_Soap12">
            <soap12:address
location="http://servicelocation/DocumentRegistry_Service"/>
        </port>
    </service>
</definitions>

```

4. 文書セットの読み出し

XDS_b_DocumentRepository.wsdl

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

```

<!-- edited with XMLSpy v2012 rel. 2 sp1 (x64) (http://www.altova.com) by Jim Elden (Accumedic) -->
<!-- This wsdl file is for an XDS.b Document Repository Actor -->
<definitions xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007" xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
xmlns:ns="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:ns1="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:ns2="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/" name="DocumentRepository"
targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007">
  <documentation>IHE XDS.b Document Repository</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <!-- While no elements are directly used from these schema in the WSDL,
they need to be present here in order for
code generating toolkits to work properly -->
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/lcm.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rim.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <!-- Importing all schemas within one seems to confuse some parsers
and code-generation tools (and may be invalid)
<xsd:schema elementFormDefault="qualified">
  <xsd:import namespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
  <xsd:import namespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
schemaLocation="../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
</xsd:schema>
  -->
  </types>

```

```

<message name="RetrieveDocumentSet_Message">
  <documentation>Retrieve Document Set</documentation>
  <part name="body" element="ihe:RetrieveDocumentSetRequest"/>
</message>
<message name="RetrieveDocumentSetResponse_Message">
  <documentation>Retrieve Document Set Response</documentation>
  <part name="body" element="ihe:RetrieveDocumentSetResponse"/>
</message>
<portType name="DocumentRepository_PortType">
  <operation name="DocumentRepository_RetrieveDocumentSet">
    <input message="ihe:RetrieveDocumentSet_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSet"/>
    <output message="ihe:RetrieveDocumentSetResponse_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSetResponse"/>
  </operation>
</portType>
<binding name="DocumentRepository_Binding" type="ihe:DocumentRepository_PortType">
  <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
  <operation name="DocumentRepository_RetrieveDocumentSet">
    <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSet"/>
    <input>
      <soap12:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap12:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
</binding>
<service name="DocumentRepository_Service">
  <port name="DocumentRepository_Port_Soap12"
binding="ihe:DocumentRepository_Binding">
    <soap12:address
location="http://servicelocation/DocumentRepository_Service"/>
  </port>
</service>
</definitions>

```

5. ゲートウェイ間問合せ

XCARespondingGatewayQuery.wsdl

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!--
  IHE Cross Community Access (XCAD) WSDL defintions for Responding Gateway Query
-->
<definitions
  xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
  xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
  xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"

```

```

xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
name="RespondingGateway_Query">
  <documentation>IHE XCA Responding Gateway Query</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified">
      <xsd:import namespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
      <xsd:import namespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
schemaLocation="../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
<xsd:import namespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
schemaLocation="../schema/ebRS/query.xsd"/>
    </xsd:schema>
  </types>
  <message name="CrossGatewayQuery_Message">
    <documentation>Cross Gateway Query</documentation>
    <part name="body" element="query:AdhocQueryRequest"/>
  </message>
  <message name="CrossGatewayQueryResponse_Message">
    <documentation>Cross Gateway Query Response</documentation>
    <part name="body" element="query:AdhocQueryResponse"/>
  </message>
  <portType name="RespondingGatewayQuery_PortType">
    <operation name="RespondingGateway_CrossGatewayQuery">
      <input message="ihe:CrossGatewayQuery_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayQuery"/>
      <output message="ihe:CrossGatewayQueryResponse_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayQueryResponse"/>
    </operation>
  </portType>
  <binding name="RespondingGatewayQuery_Binding_Soap12"
type="ihe:RespondingGatewayQuery_PortType">
    <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="RespondingGateway_CrossGatewayQuery">
      <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayQuery"/>
      <input>
        <soap12:body use="literal"/>
      </input>
      <output>
        <soap12:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
  </binding>
  <service name="RespondingGatewayQuery_Service">
    <port name="RespondingGatewayQuery_Port_Soap12"
binding="ihe:RespondingGatewayQuery_Binding_Soap12">
      <soap12:address
location="http://service/RespondingGatewayQuery_Service"/>

```



```
        </port>
    </service>
</definitions>
```

6. ゲートウェイ間文書読出し

XCARespondingGatewayRetrieve.wsdl

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!--
  IHE Cross Community Access (XCAD) WSDL defintions for Responding Gateway Retrieve
-->
<definitions
  xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
  xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
  xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
  xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
  targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
  xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
  xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
  name="XCA_RespondingGateway_Retrieve">
  <documentation>IHE XCA Responding Gateway Retrieve</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified">
      <xsd:import namespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
        schemaLocation="../../schema/ebRS/rs.xsd"/>
      <xsd:import namespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
        schemaLocation="../../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
      <xsd:import namespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
        schemaLocation="../../schema/ebRS/query.xsd"/>
    </xsd:schema>
  </types>
  <message name="CrossGatewayRetrieve_Message">
    <documentation>Cross Gateway Retrieve</documentation>
    <part name="body" element="ihe:RetrieveDocumentSetRequest"/>
  </message>
  <message name="CrossGatewayRetrieveResponse_Message">
    <documentation>Cross Gateway Retrieve Response</documentation>
    <part name="body" element="ihe:RetrieveDocumentSetResponse"/>
  </message>
  <portType name="RespondingGatewayRetrieve_PortType">
    <operation name="RespondingGateway_CrossGatewayRetrieve">
      <input message="ihe:CrossGatewayRetrieve_Message"
        wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayRetrieve"/>
      <output message="ihe:CrossGatewayRetrieveResponse_Message"
        wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayRetrieveResponse"/>
    </operation>
  </portType>
```

```

    <binding name="RespondingGatewayRetrieve_Binding_Soap12"
type="ihe:RespondingGatewayRetrieve_PortType">
    <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="RespondingGateway_CrossGatewayRetrieve">
        <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:CrossGatewayRetrieve"/>
        <input>
            <soap12:body use="literal"/>
        </input>
        <output>
            <soap12:body use="literal"/>
        </output>
    </operation>
</binding>
<service name="RespondingGatewayRetrieve_Service">
    <port name="RespondingGatewayRetrieve_Port_Soap12"
binding="ihe:RespondingGatewayRetrieve_Binding_Soap12">
        <soap12:address
location="http://servicelocation/RespondingGatewayRetrieve_Service"/>
        </port>
    </service>
</definitions>

```

付録2 サンプルメッセージ

1. 患者 ID 照会メッセージ (PRPA_IN201309UV02)

項目	設定値
照会実施者職種	MedicalDoctor
照会実施者氏名	インタロウ
照会実施者所属機関番号	1312345678
検索条件：患者 ID	患者 ID ドメイン 0ID : 1. 2. 392. 200196. 102. 11398765432. 4 患者 ID : 12345678
検索条件：患者 ID ドメイン 1 のOID	1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1111
検索条件：患者 ID ドメイン 2 のOID	1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1112

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201309UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201309UV02.xsd"
xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="2220c1c4-87ef-11dc-b865-3603d6866807"/>
  <creationTime value="20130301141520"/>
  <versionCode code="V3PR1"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201309UV02"/>
  <processingCode code="P"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="AL"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567.1"/>
      <telecom value="https://example.org/PIXQuery"/>
      <manufacturerModelName>PIXManager</manufacturerModelName>
      <softwareName>PIXManager Ver1.0</softwareName>
      <asAgent classCode="AGNT">
        <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
        </representedOrganization>
      </asAgent>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.392.200196.102.11398765432.1.7788"/>
      <telecom value="https://example.org/PIXConsumer"/>
      <manufacturerModelName>PIXConsumer</manufacturerModelName>
      <softwareName>PIXConsumer Ver2.0</softwareName>
      <asAgent classCode="AGNT">
        <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.392.200196.102.11398765432"/>
        </representedOrganization>
      </asAgent>
    </device>
  </sender>
</PRPA_IN201309UV02>
```

```

</asAgent>
</device>
</sender>
<controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
  <code code="PRPA_TE201309UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18"/>
  <authorOrPerformer typeCode="AUT" contextControlCode="AP">
    <time>
      <center value="201303011415"/>
    </time>
    <modeCode code="ELECTRONIC" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1064"
codeSystemName="ParticipationMode" displayName="electronic data"/>
    <assignedPerson classCode="ASSIGNED">
      <id root="1.2.392.200196.102.11398765432.2" extension="USR5568"/>
      <code code="MedicalDoctor" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.1" codeSystemName="職種コード"
displayName="医師"/>
      <assignedPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
        <name use="SYL">イシタロウ</name>
      </assignedPerson>
      <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
        <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1398765432"/>
      </representedOrganization>
    </assignedPerson>
  </authorOrPerformer>
  <queryByParameter>
    <queryId root="1.2.392.200196.102.11398765432.3" extension="33452"/>
    <statusCode code="new"/>
    <responsePriorityCode code="I"/>
    <parameterList>
      <dataSource>
        <value root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111"/>
        <semanticsText>Datasource.id</semanticsText>
      </dataSource>
      <dataSource>
        <value root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112"/>
        <semanticsText>Datasource.id</semanticsText>
      </dataSource>
      <patientIdentifier>
        <value root="1.2.392.200196.102.11398765432.4" extension="12345678"/>
        <semanticsText>Patient.Id</semanticsText>
      </patientIdentifier>
    </parameterList>
  </queryByParameter>
</controlActProcess>
</PRPA_IN201309UV02>

```

2. 患者 ID 照会応答メッセージ (PRPA_IN201310UV02)

項目	設定値
検索結果：患者氏名	カンジャタロウ

検索結果 : 患者 ID (ドメイン1)	患者 ID ドメイン OID : 1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1111 患者 ID : 98765432
検索結果 : 患者 ID (ドメイン2)	患者 ID ドメイン OID : 1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1112 患者 ID : 34562345
検索条件 : 患者 ID	患者 ID ドメイン OID : 1. 2. 392. 200196. 102. 11398765432. 4 患者 ID : 12345678
検索条件 : 患者 ID ドメイン1 の OID	1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1111
検索条件 : 患者 ID ドメイン2 の OID	1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1112

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201310UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201310UV02.xsd"
xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567.2" extension="4321"/>
  <creationTime value="20070810140901"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201310UV02"/>
  <processingCode code="P"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="NE"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.392.200196.102.11398765432.1.7788"/>
      <telecom value="https://example.org/PIXConsumer"/>
      <manufacturerModelName>PIXConsumer</manufacturerModelName>
      <softwareName>PIXConsumer Ver2.0</softwareName>
      <asAgent classCode="AGNT">
        <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.392.200196.102.11398765432"/>
        </representedOrganization>
      </asAgent>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567.1"/>
      <telecom value="https://example.org/PIXQuery"/>
      <manufacturerModelName>PIXManager</manufacturerModelName>
      <softwareName>PIXManager Ver1.0</softwareName>
      <asAgent classCode="AGNT">
        <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
        </representedOrganization>
      </asAgent>
    </device>
  </sender>
  <acknowledgement>
    <typeCode code="AA"/>
    <targetMessage>
      <id root="2220c1c4-87ef-11dc-b865-3603d6866807"/>
    </targetMessage>
  </acknowledgement>
</PRPA_IN201310UV02>
```

```

</targetMessage>
</acknowledgement>
<controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
  <code code="PRPA_TE201310UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18" />
  <subject typeCode="SUBJ">
    <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
      <statusCode code="active" />
      <subject1 typeCode="SBJ">
        <patient classCode="PAT">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111" extension="98765432" assigningAuthorityName="地
地域連携ネットワークA" />
          <statusCode code="active" />
          <patientPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
            <name use="SYL">
              <family>カンジャ</family>
              <given>タロウ</given>
            </name>
            <asOtherIDs classCode="PAT">
              <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112" extension="34562345" assigningAuthorityName="
地域連携ネットワークB" />
              <scopingOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
                <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112" />
              </scopingOrganization>
            </asOtherIDs>
          </patientPerson>
          <providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111" />
            <name>地域連携ネットワークA</name>
            <contactParty classCode="CON">
              <telecom value="tel:03-1111-2222" />
            </contactParty>
          </providerOrganization>
        </patient>
      </subject1>
      <custodian typeCode="CST">
        <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567" />
          <assignedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <name>地域連携ネットワークAセンター</name>
          </assignedOrganization>
          <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567" />
            <contactParty classCode="CON">
              <telecom value="tel:03-1111-2222" />
              <contactPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
                <name>タントウシャタロウ</name>
              </contactPerson>
            </contactParty>
          </representedOrganization>
        </assignedEntity>

```

```

    </custodian>
  </registrationEvent>
</subject>
<queryAck>
  <queryId root="1.2.392.200196.102.11398765432.3" extension="33452"/>
  <queryResponseCode code="OK"/>
</queryAck>
<queryByParameter>
  <queryId root="1.2.392.200196.102.11398765432.3" extension="33452"/>
  <statusCode code="new"/>
  <responsePriorityCode code="I"/>
  <parameterList>
    <dataSource>
      <value root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111"/>
      <semanticsText>Datasource.id</semanticsText>
    </dataSource>
    <dataSource>
      <value root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112"/>
      <semanticsText>Datasource.id</semanticsText>
    </dataSource>
    <patientIdentifier>
      <value root="1.2.392.200196.102.11398765432.4" extension="12345678"/>
      <semanticsText>Patient.Id</semanticsText>
    </patientIdentifier>
  </parameterList>
</queryByParameter>
</controlActProcess>
</PRPA_IN201310UV02>

```

3. 患者基本情報照会メッセージ (PRPA_IN201305UV02)

項目	設定値
照会実施者職種	MedicalDoctor
照会実施者氏名	イシタロウ
照会実施者所属機関番号	1312345678
問合せ要求上限	5 レコード
マッチングアルゴリズム	前方一致 (本書コード表 9-1 2を使用した例)
最小関連度	75
検索条件：性別	男性(M)
検索条件：生年月日	1963年8月4日
検索条件：カナ氏名 (姓)	カンジヤ
検索条件：その他の ID 1 の患者 ID ドメインの OID	1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111
検索条件：その他の ID 2 の患者 ID ドメインの OID	1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201305UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"

```

```

xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201305UV02.xsd"
xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="2220c1c4-87ef-11dc-b865-3603d6866807"/>
  <creationTime value="20130301141520"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201305UV02"/>
  <processingCode code="T"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="AL"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567.1"/>
      <telecom value="https://example.org/PDQQuery"/>
      <manufacturerModelName>PIXManager</manufacturerModelName>
      <softwareName>PIXManager Ver1.0</softwareName>
      <asAgent classCode="AGNT">
        <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
        </representedOrganization>
      </asAgent>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.392.200196.102.11398765432.1.7788"/>
      <telecom value="https://example.org/PIXConsumer"/>
      <manufacturerModelName>PIXConsumer</manufacturerModelName>
      <softwareName>PIXConsumer Ver2.0</softwareName>
      <asAgent classCode="AGNT">
        <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.392.200196.102.11398765432"/>
        </representedOrganization>
      </asAgent>
    </device>
  </sender>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <code code="PRPA_TE201305UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18"/>
    <authorOrPerformer typeCode="AUT" contextControlCode="AP">
      <time>
        <center value="201303011415"/>
      </time>
      <modeCode code="ELECTRONIC" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1064"
codeSystemName="ParticipationMode" displayName="electronic data"/>
      <assignedPerson classCode="ASSIGNED">
        <id root="1.2.392.200196.102.11398765432.2" extension="USR5568"/>
        <code code="MedicalDoctor" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.1" codeSystemName="職種コード"
displayName="医師"/>
        <assignedPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
          <name use="SYL">イシタロウ</name>
        </assignedPerson>
      </representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">

```



```

    <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1398765432" />
  </representedOrganization>
</assignedPerson>
</authorOrPerformer>
<queryByParameter>
  <queryId root="1.2.392.200196.102.11398765432.3" extension="33459" />
  <statusCode code="new" />
  <initialQuantity value="5" />
  <initialQuantityCode code="RD" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1112" codeSystemName="record" />
  <matchCriterionList>
    <matchAlgorithm>
      <value xsi:type="ST">PFXM</value>
      <semanticsText>MatchAlgorithm</semanticsText>
    </matchAlgorithm>
    <minimumDegreeMatch>
      <value xsi:type="INT" value="75" />
      <semanticsText>MinimumDegreeMatch</semanticsText>
    </minimumDegreeMatch>
  </matchCriterionList>
  <parameterList>
    <livingSubjectAdministrativeGender>
      <value xsi:type="CE" code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1" />
      <semanticsText>LivingSubject.administrativeGender</semanticsText>
    </livingSubjectAdministrativeGender>
    <livingSubjectBirthTime>
      <value xsi:type="IVL_TS">
        <center value="19630804" />
      </value>
      <semanticsText>LivingSubject.birthTime</semanticsText>
    </livingSubjectBirthTime>
    <livingSubjectName>
      <value xsi:type="PN" use="SYL SRCH">
        <family>カンジャ</family>
      </value>
      <semanticsText>LivingSubject.name</semanticsText>
    </livingSubjectName>
    <otherIDsScopingOrganization>
      <value xsi:type="II" root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111" />
      <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
    </otherIDsScopingOrganization>
    <otherIDsScopingOrganization>
      <value xsi:type="II" root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112" />
      <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
    </otherIDsScopingOrganization>
  </parameterList>
</queryByParameter>
</controlActProcess>
</PRPA_IN201305UV02>

```

4. 患者基本情報照会応答メッセージ (PRPA_IN201306UV02)

項目	設定値
検索結果1：患者 ID	患者 ID ドメイン：1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1111
	患者 ID：34827123
検索結果1：カナ氏名 (姓)	カンジャ
検索結果1：カナ氏名 (名)	タロウ
検索結果1：性別	男性(M)
検索結果1：生年月日	1963年8月4日
検索結果1：住所	日本 105-0004 東京都港区新橋2丁目5-5
検索結果1：連絡先	勤務先電話番号：03-1111-9999 内線2342
	自宅電話番号：03-1111-3333
検索結果1：その他の ID	患者 ID ドメイン：1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1112
	患者 ID：99876754
検索結果1：検索確度	92
検索結果2：患者 ID	患者 ID ドメイン：1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1111
	患者 ID：92348921
検索結果2：カナ氏名 (姓)	カンジャ
検索結果2：カナ氏名 (名)	ジロウ
検索結果2：性別	男性(M)
検索結果2：生年月日	1963年8月4日
検索結果2：住所	日本 100-0001 東京都千代田区
検索結果2：連絡先	自宅電話番号：03-9999-8888
検索結果2：その他の ID	患者 ID ドメイン：1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1112
	患者 ID：56763210
検索結果2：検索確度	85
検索条件：生年月日	1963年8月4日
検索条件：カナ氏名 (姓)	カンジャ
検索条件：その他の ID 1 の患者 ID ドメインの OID	1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1111
検索条件：その他の ID 2 の患者 ID ドメインの OID	1. 2. 840. 114350. 1. 13. 99997. 2. 1112

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201306UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201306UV02.xsd"
xmlns="urn:h17-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567.2" extension="55789"/>
  <creationTime value="20070810140901"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201306UV02"/>
  <processingCode code="T"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="NE"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.392.200196.102.11398765432.1.7788"/>
      <telecom value="https://example.org/PIXConsumer"/>
    </device>
  </receiver>
</PRPA_IN201306UV02>
```

```

<manufacturerModelName>PIXConsumer</manufacturerModelName>
<softwareName>PIXConsumer Ver2.0</softwareName>
<asAgent classCode="AGNT">
  <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
    <id root="1.2.392.200196.102.11398765432"/>
  </representedOrganization>
</asAgent>
</device>
</receiver>
<sender typeCode="SND">
  <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
    <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567.1"/>
    <telecom value="https://example.org/PIXQuery"/>
    <manufacturerModelName>PIXManager</manufacturerModelName>
    <softwareName>PIXManager Ver1.0</softwareName>
    <asAgent classCode="AGNT">
      <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
      </representedOrganization>
    </asAgent>
  </device>
</sender>
<acknowledgement>
  <typeCode code="AA"/>
  <targetMessage>
    <id root="2220c1c4-87ef-11dc-b865-3603d6866807"/>
  </targetMessage>
</acknowledgement>
<controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
  <code code="PRPA_TE201306UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18"/>
  <subject typeCode="SUBJ">
    <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
      <statusCode code="active"/>
      <subject1 typeCode="SBJ">
        <patient classCode="PAT">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111" extension="34827123"/>
          <statusCode code="active"/>
          <patientPerson>
            <name use="SYL">
              <family>カンジヤ</family>
              <given>タロウ</given>
            </name>
            <telecom value="tel:03-1111-9999;ext=2342" use="WP"/>
            <telecom value="tel:03-1111-3333" use="HP"/>
            <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"/>
            <birthTime value="19630804"/>
            <addr>
              <country>JP</country>
              <postalCode>105-0004</postalCode>
              <state>東京都</state>
            </addr>
          </patientPerson>
        </patient>
      </subject1>
    </registrationEvent>
  </subject>
</controlActProcess>

```

```

<city>港区</city>
<streetAddressLine>新橋2丁目5-5</streetAddressLine>
</addr>
<asOtherIDs classCode="PAT">
  <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112" extension="99876754"/>
  <scopingOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
    <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112"/>
  </scopingOrganization>
</asOtherIDs>
</patientPerson>
<providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
  <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111"/>
  <name>地域連携ネットワークA</name>
  <contactParty classCode="CON">
    <telecom value="tel:03-1111-2222"/>
  </contactParty>
</providerOrganization>
<subjectOf1>
  <queryMatchObservation classCode="COND" moodCode="EVN">
    <code code="DOM" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.7"/>
    <value xsi:type="INT" value="92"/>
  </queryMatchObservation>
</subjectOf1>
</patient>
</subject1>
<custodian typeCode="CST">
  <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
    <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
    <assignedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
      <name>地域連携ネットワークAセンター</name>
    </assignedOrganization>
    <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
      <contactParty classCode="CON">
        <telecom value="tel:03-1111-2222"/>
        <contactPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
          <name>タントウシャタロウ</name>
        </contactPerson>
      </contactParty>
    </representedOrganization>
  </assignedEntity>
</custodian>
</registrationEvent>
</subject>
<subject typeCode="SUBJ">
  <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
    <statusCode code="active"/>
    <subject1 typeCode="SBJ">
      <patient classCode="PAT">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111" extension="92348921"/>

```

```

<statusCode code="active"/>
<patientPerson>
  <name use="SYL">
    <family>カンジヤ</family>
    <given>ジロウ</given>
  </name>
  <telecom value="tel:03-9999-8888" use="HP"/>
  <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"/>
  <birthTime value="19630804"/>
  <addr>
    <country>JP</country>
    <postalCode>100-0001</postalCode>
    <state>東京都</state>
    <city>千代田区</city>
  </addr>
  <asOtherIDs classCode="PAT">
    <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112" extension="56763210"/>
    <scopingOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112"/>
    </scopingOrganization>
  </asOtherIDs>
</patientPerson>
<providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
  <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111"/>
  <name>地域連携ネットワークA</name>
  <contactParty classCode="CON">
    <telecom value="tel:03-1111-2222"/>
  </contactParty>
</providerOrganization>
<subjectOf1>
  <queryMatchObservation classCode="COND" moodCode="EVN">
    <code code="DOM" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.7"/>
    <value xsi:type="INT" value="85"/>
  </queryMatchObservation>
</subjectOf1>
</patient>
</subject1>
<custodian typeCode="CST">
  <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
    <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
    <assignedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
      <name>地域連携ネットワークAセンター</name>
    </assignedOrganization>
    <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
      <contactParty classCode="CON">
        <telecom value="tel:03-1111-2222"/>
        <contactPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
          <name>タントウシヤタロウ</name>
        </contactPerson>
      </contactParty>
    </representedOrganization>
  </assignedEntity>

```

```

        </contactParty>
        </representedOrganization>
        </assignedEntity>
        </custodian>
    </registrationEvent>
</subject>
<queryAck>
    <queryId root="1.2.392.200196.102.11398765432.3" extension="33459"/>
    <queryResponseCode code="OK"/>
    <resultTotalQuantity value="2"/>
    <resultCurrentQuantity value="2"/>
    <resultRemainingQuantity value="0"/>
</queryAck>
<queryByParameter>
    <queryId root="1.2.392.200196.102.11398765432.3" extension="33459"/>
    <statusCode code="new"/>
    <initialQuantity value="5"/>
    <initialQuantityCode code="RD" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1112" codeSystemName="record"/>
    <matchCriterionList>
        <matchAlgorithm>
            <value xsi:type="ST">PFXM</value>
            <semanticsText>MatchAlgorithm</semanticsText>
        </matchAlgorithm>
        <minimumDegreeMatch>
            <value xsi:type="INT" value="75"/>
            <semanticsText>MinimumDegreeMatch</semanticsText>
        </minimumDegreeMatch>
    </matchCriterionList>
    <parameterList>
        <livingSubjectAdministrativeGender>
            <value xsi:type="CE" code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"/>
            <semanticsText>LivingSubject.administrativeGender</semanticsText>
        </livingSubjectAdministrativeGender>
        <livingSubjectBirthTime>
            <value xsi:type="IVL_TS">
                <center value="19630804"/>
            </value>
            <semanticsText>LivingSubject.birthTime</semanticsText>
        </livingSubjectBirthTime>
        <livingSubjectName>
            <value xsi:type="PN" use="SYL SRCH">
                <family>カンジヤ</family>
            </value>
            <semanticsText>LivingSubject.name</semanticsText>
        </livingSubjectName>
        <otherIDsScopingOrganization>
            <value xsi:type="II" root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1111"/>
            <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
        </otherIDsScopingOrganization>
        <otherIDsScopingOrganization>

```

```

<value xsi:type="II" root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.1112" />
<semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
</otherIDsScopingOrganization>
</parameterList>
</queryByParameter>
</controlActProcess>
</PRPA_IN201306UV02>

```

5. ストアドクエリメッセージ

```

<query:AdhocQueryRequest xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0 ../../schema/ebRS/query.xsd"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rims="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rims:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
  <query:ResponseOption returnComposedObjects="true" returnType="LeafClass" />
  <rims:AdhocQuery id=" urn:uuid:14d4debf-8f97-4251-9a74-a90016b0af0d ">
    <rims:Slot name="$XDSDocumentEntryPatientId">
      <rims:ValueList>
        <rims:Value>st3498702^^^&1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.7&ISO</rims:Value>
      </rims:ValueList>
    </rims:Slot>
    <rims:Slot name="$XDSDocumentEntryStatus">
      <rims:ValueList>
        <rims:Value>('urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Approved')</rims:Value>
      </rims:ValueList>
    </rims:Slot>
    <rims:Slot name="$XDSDocumentEntryCreationTimeFrom">
      <rims:ValueList>
        <rims:Value>200412252300</rims:Value>
      </rims:ValueList>
    </rims:Slot>
    <rims:Slot name="$XDSDocumentEntryCreationTimeTo">
      <rims:ValueList>
        <rims:Value>200501010800</rims:Value>
      </rims:ValueList>
    </rims:Slot>
    <rims:Slot name="$XDSDocumentEntryHealthcareFacilityTypeCode">
      <rims:ValueList>
        <rims:Value>('Emergency Department')</rims:Value>
      </rims:ValueList>
    </rims:Slot>
  </rims:AdhocQuery>
</query:AdhocQueryRequest>

```

6. ストアドクエリ応答メッセージ

```
<query:AdhocQueryResponse xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0 ../../schema/ebRS/query.xsd"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0" status="Success">
  <rim:RegistryObjectList>
    <rim:ExtrinsicObject xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf" isOpaque="false" mimeType="text/xml"
objectType="urn:uuid:7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1"
status="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Approved">
      <rim:Slot name="URI">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>http://localhost:8080/XDS/Repository/08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf.xml</r
im:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="authorInstitution">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>Fairview Hospital</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="creationTime">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>200412261119</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="hash">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>4cf4f82d78b5e2aac35c31bca8cb79fe6bd6a41e</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="languageCode">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>en-us</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="serviceStartTime">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>200412230800</rim:Value>
        </rim:ValueList>
    </rim:ExtrinsicObject>
  </rim:RegistryObjectList>
</query:AdhocQueryResponse>
```



```

</rim:Slot>
<rim:Slot name="serviceStopTime">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>200412230801</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name="size">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>54449</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name="sourcePatientId">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>jdl2323^^^wsh</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name="sourcePatientInfo">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>PID-3|pid1^^^domain</rim:Value>
    <rim:Value>PID-5|Doe^John^^^</rim:Value>
    <rim:Value>PID-7|19560527</rim:Value>
    <rim:Value>PID-8|M</rim:Value>
    <rim:Value>PID-11|100 Main
St^^Metropolis^I1^44130^USA</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Name>
  <rim:LocalizedString charset="UTF-8" value="Sample document 1"
xml:lang="en-us"/>
</rim:Name>
<rim:Description/>
<rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:ac872fc0-1c6e-439f-84d1-f76770a0ccdf" nodeRepresentation="Education"
objectType="Urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
  <rim:Slot name="codingScheme">
    <rim:ValueList>
      <rim:Value>Connect-a-thon classCodes</rim:Value>
    </rim:ValueList>
  </rim:Slot>
  <rim:Name>
    <rim:LocalizedString charset="UTF-8" value="Education"
xml:lang="en-us"/>
  </rim:Name>
  <rim:Description/>
</rim:Classification>
<rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705394840f"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"

```

```

id="urn:uuid:fla8c8e4-3593-4777-b7e0-8b0773378705" nodeRepresentation="C"
objectType="Urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
    <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
            <rim:Value>Connect-a-thon
confidentialityCodes</rim:Value>
        </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Name>
        <rim:LocalizedString charset="UTF-8" value="Celebrity"
xml:lang="en-us"/>
    </rim:Name>
    <rim:Description/>
</rim:Classification>
<rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:b6e49c73-96c8-4058-8c95-914d83bd262a" nodeRepresentation="CDAR2/IHE 1.0"
objectType="Urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
    <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
            <rim:Value>Connect-a-thon formatCodes</rim:Value>
        </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Name>
        <rim:LocalizedString charset="UTF-8" value="CDAR2/IHE 1.0"
xml:lang="en-us"/>
    </rim:Name>
    <rim:Description/>
</rim:Classification>
<rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:f33fb8ac-18af-42cc-ae0e-ed0b0bdb91e1"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:61e2b376-d74a-4984-ac21-dcd0b8890f9d" nodeRepresentation="Emergency Department"
objectType="Urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
    <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
            <rim:Value>Connect-a-thon
healthcareFacilityTypeCodes</rim:Value>
        </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Name>
        <rim:LocalizedString charset="UTF-8" value="Assisted
Living" xml:lang="en-us"/>
    </rim:Name>
    <rim:Description/>
</rim:Classification>
<rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:cccf5598-8b07-4b77-a05e-ae952c785ead"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"

```

```

id="urn:uuid:fb7677c5-c42f-485d-9010-dce0f3cd4ad5" nodeRepresentation="Cardiology"
objectType="Urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
    <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
            <rim:Value>Connect-a-thon
practiceSettingCodes</rim:Value>
        </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Name>
        <rim:LocalizedString charset="UTF-8" value="Cardiology"
xml:lang="en-us"/>
    </rim:Name>
    <rim:Description/>
</rim:Classification>
<rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:f0306f51-975f-434e-a61c-c59651d33983"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:0a8a8ed9-8be5-4a63-9b68-a51ladee8ed5" nodeRepresentation="34098-4"
objectType="Urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
    <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
            <rim:Value>LOINC</rim:Value>
        </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Name>
        <rim:LocalizedString charset="UTF-8" value="Conference
Evaluation Note" xml:lang="en-us"/>
    </rim:Name>
    <rim:Description/>
</rim:Classification>
<rim:ExternalIdentifier id="urn:uuid:db9f4438-ffff-435f-9d34-d76190728637"
registryObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
identificationScheme="urn:uuid:58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffeff98427" objectType="ExternalIdentifier"
value="st3498702^^^&amp;1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.7&amp;ISO">
    <rim:Name>
        <rim:LocalizedString charset="UTF-8"
value="XSDDocumentEntry.patientId" xml:lang="en-us"/>
    </rim:Name>
    <rim:Description/>
</rim:ExternalIdentifier>
<rim:ExternalIdentifier id="urn:uuid:c3fcbf0e-9765-4f5b-abaa-b37ac8ff05a5"
registryObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
identificationScheme="urn:uuid:2e82c1f6-a085-4c72-9da3-8640a32e42ab" objectType="ExternalIdentifier"
value="1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.99.1.1010">
    <rim:Name>
        <rim:LocalizedString charset="UTF-8"
value="XSDDocumentEntry.uniqueId" xml:lang="en-us"/>
    </rim:Name>
    <rim:Description/>
</rim:ExternalIdentifier>

```

```

        </rim:ExtrinsicObject>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a"/>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705394840f"/>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d"/>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:f33fb8ac-18af-42cc-ae0e-ed0b0bdb91e1"/>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:cccf5598-8b07-4b77-a05e-ae952c785ead"/>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:f0306f51-975f-434e-a61c-c59651d33983"/>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffeff98427"/>
        <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:2e82c1f6-a085-4c72-9da3-8640a32e42ab"/>
    </rim:RegistryObjectList>
</query:AdhocQueryResponse>

```

7. ドキュメント読み出し要求メッセージ

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<RetrieveDocumentSetRequest xmlns="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:ihe:iti:xds-b:2007 ../../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd">
    <DocumentRequest>
        <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4...1000</RepositoryUniqueId>
        <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4...2300</DocumentUniqueId>
    </DocumentRequest>
    <DocumentRequest>
        <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4...1000</RepositoryUniqueId>
        <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4...2301</DocumentUniqueId>
    </DocumentRequest>
</RetrieveDocumentSetRequest>

```

8. ドキュメント読み出し要求応答メッセージ

```
<RetrieveDocumentSetResponse xmlns="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:ihe:iti:xds-b:2007 ../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rjm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rjm:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
  <rs:RegistryResponse status="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success"/>
  <DocumentResponse>
    <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4...1000</RepositoryUniqueId>
    <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4...2300</DocumentUniqueId>
    <mimeType>text/xml</mimeType>
    <Document>UjBsR09EbGhjZ0dTQUxNQUFBUNBRU1tQ1p0dU1GUXhEUzhi</Document>
  </DocumentResponse>
  <DocumentResponse>
    <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4...1000</RepositoryUniqueId>
    <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4...2300</DocumentUniqueId>
    <mimeType>text/xml</mimeType>
    <Document>UjBsR09EbGhjZ0dTQUxNQUFBUNBRU1tQ1p0dU1GUXhEUzhi</Document>
  </DocumentResponse>
</RetrieveDocumentSetResponse>
```

付録3 作成者名簿

作成者（社内五十音順）

石原英里	日本ユニシス株式会社
市川潤	日本ユニシス株式会社
稲岡則子	日本アイ・ビー・エム株式会社
小河原昌希	富士ソフト株式会社
清水俊郎	株式会社SBS 情報システムズ
田中健一	株式会社トリニティデザイン ※1
田中智康	株式会社NTT データ ※2
田中康太郎	日本電気株式会社
田中良樹	富士通株式会社
豊田建	株式会社HCI ※3
廣田史門	株式会社久保田情報技研 ※6
増田剛	株式会社ケーアイエス ※4
光城元博	株式会社日立メディコ ※5
安田典弘	日本電気株式会社
矢原潤一	日本電気株式会社

- ※ 1 地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド検討SWG リーダ
- ※ 2 地域医療システム委員会 委員長
- ※ 3 地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド検討作業班 班長
- ※ 4 地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド検討作業班 副班長
- ※ 5 医療介護連携WG リーダ
- ※ 6 医療介護連携WG サブリーダー

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2013/4/9	Ver. 1.0	初版

(JAHIS技術文書 13-101)

2013年4月発行

JAHIS 地域医療連携のための IHE ITI 適用ガイド

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)

